
令和 7 年度
福岡市高齢者実態調査
報告書

令和 8 年 7 月

福岡市 福祉局

目 次

I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 回収結果	2
4. 集計の見方	2

II. 調査結果

第1章 高齢者一般調査共通設問

1. 回答者の属性	3
(1) 調査の回答者	3
(2) 性別	5
(3) 年齢	5
(4) 居住地区	6
(5) 家族の状況	7
(6) 世帯年間総収入額	10
(7) 要介護度	12
2. 情報通信機器利用状況	14
(1) 情報通信機器利用状況	14

第2章 高齢者一般調査A

1. 日常生活について	19
(1) 外出	19
(2) 自動車運転免許	23
(3) 外出の際に困っていること	24
(4) 心配事や悩み事の相談相手	25
(5) 近所付き合い	27
(6) 同居していない家族や友人との付き合い	28
(7) 孤独感	29
(8) 孤立死	30
(9) 孤立死防止策	32
(10) 地域福祉活動の参加状況	34
(11) 災害時における一人での避難	35
(12) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無	37
(13) 災害時の心配事や問題点	38
(14) 「個別避難計画」の認知	40

(15) 保健・医療・福祉の情報源	41
(16) 健康状態	43
(17) 経済的な不安	44
2. 生きがい・社会参加	45
(1) 生きがい	45
(2) ボランティア活動	48
(3) 老人クラブ活動	51
(4) グループ活動への参加	54
(5) 仕事	62
(6) 「シルバー人材センター」の認知	70
(7) 社会参加	71
(8) 高齢者乗車券	75
(9) 「福岡 100 プラザ」	78
(10) 老人いきいの家	81

第3章 高齢者一般調査B

1. 現在の住まいについて	83
(1) 居住の状況	83
(2) 住まいの困りごと	85
(3) 住み替えで困ったこと	87
2. 健康・福祉などについて	89
(1) 健康状態と運動習慣	89
(2) 運動以外の健康づくり習慣	96
(3) フレイルの認知度	100
(4) 歯科の定期健診の有無	101
(5) 歯の本数	102
(6) 咀嚼の状況	103
(7) 入れ歯・ブリッジの使用状況	104
(8) 口腔の健康状態	105
(9) 歯みがきの頻度	106
(10) 歯間部清掃用器具の使用状況	107
(11) 認知症を正しく理解する行動	108
(12) 認知症に関して知りたい内容	109
(13) 認知症の人や家族の立場への理解	110
(14) 認知症対策として充実してほしいこと	111
(15) 福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの 認識	113
(16) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと	114

3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について	115
（1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度	115
4. 権利擁護について	117
（1）高齢者虐待の通報義務の認知度	117
（2）成年後見制度の認知度	117
5. 医療について	118
（1）かかりつけ医の有無	118
（2）在宅医療への関心	119
（3）在宅医療の希望	120
（4）最期を迎えたい場所	122
6. これからについて	123
（1）住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか	123
（2）今後の介護意向	124
（3）医療や介護が必要になったとき不安なこと	126
（4）終活について	127
（5）「ACP」又は「人生会議」の認知	128
（6）行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策	129
（7）介護サービスの利用	131

第4章 介護サービス調査共通設問

1. 回答者の属性	133
（1）調査の回答者	133
（2）性別	134
（3）年齢	134
（4）居住地区	136
（5）家族の状況	136
（6）世帯年間総収入額	138
（7）要介護度	139
（8）現在の傷病	140
（9）介護が必要になった原因	142
（10）家族・親族からの介護の状況	143
2. 日常生活について	144
（1）住居形態	144
（2）現在の住まいで困っていること	145
（3）施設入所・入居の検討状況	146
（4）現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス	147
（5）今後の住宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	149
3. 現在利用している医療について	151
（1）かかりつけ医の有無	151

(2) 在宅医療への関心	151
(3) 訪問診療の利用の有無	153
(4) 在宅医療の希望	155
4. 今後の介護・医療について	156
(1) 今後、どのような介護を受けたいか.....	156
(2) 最期を迎えたい場所	157
(3) 「ACP」又は「人生会議」の認知.....	158
(4) 単身者となった場合に希望する「見守り」	159
(5) 地域の訪問による「見守り」の希望回数.....	161
5. 介護保険制度全般について	162
(1) 介護保険制度全体の満足度	162
(2) 介護保険制度で不満に思うこと	163
(3) 介護保険制度でわかりにくいこと	165
(4) 介護や福祉サービスについての相談先.....	166
6. 現在の高齢者サービスについて	167
(1) 高齢者サービス	167
7. 家族の回答	169
(1) 主な介護者	169
(2) 主な介護者の性別	169
(3) 主な介護者の同居状況	170
(4) 主な介護者の年齢	170
(5) 介護離職の状況	171
(6) 主な介護者の勤務状況	172
(7) 介護についての相談先	184
(8) 主な介護者が行っている介護の内容.....	185
(9) 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容	189
(10) 今後の介護の仕方	192
(11) 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容	193
(12) 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容	194
(13) 高齢者虐待の通報義務の認知度.....	195
(14) 「成年後見制度」の認知度	195

第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

1. 現在利用している介護保険サービスについて	196
(1) 令和7年8月の介護保険サービス利用.....	196
(2) 1か月あたりの利用料金	199
(3) 利用額上限までの利用	200
2. 今後の介護・医療について	202
(1) 在宅生活で必要性が高いサービス.....	202

3. 介護保険制度全般について	204
(1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること	204
(2) 小規模多機能型居宅介護の認知度	205
(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度	205
4. 家族の回答	206
(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること	206

第6章 介護保険在宅サービス未利用者調査

1. 日常生活について	207
(1) 日常生活の支援者	207
(2) 日常の買い物の頻度	209
(3) 日常の買い物で困っていることの有無	209
2. 介護保険サービスについて	210
(1) 介護保険の在宅サービスの利用状況	210
(2) 在宅で生活する上で困っていること	212
(3) 今後の介護サービスの利用意向	213

第7章 介護保険施設等サービス利用者調査

1. 回答者の属性	214
(1) 施設の種類	214
(2) 施設入所前の居住状況	215
(3) 施設への入所を希望した理由	217
2. 利用している介護保険施設・グループホームについて	218
(1) 利用者負担段階	218
(2) 利用者負担額	219
(3) 利用料金の負担者	220
(4) 現在の負担額をどう思うか	221
(5) 利用料金とサービスとの関係性	223
(6) 施設などを選ぶときに重視する点	224
(7) 現在の施設への満足度	226

第8章 介護支援専門員調査

1. 回答者の属性	228
(1) 性別	228
(2) 年齢	228
(3) 介護支援専門員としての経験年数	229
(4) 介護支援専門員としての経験事業所数	229
(5) 介護支援専門員以外に取得している資格	230

（６）勤務状況	231
（７）事業所の法人種別	232
（８）事業所の介護支援専門員数	233
2. ケアマネジメントについて	234
（１）給付管理件数	234
（２）保険外サービスを組み合わせたケアプラン	235
（３）介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス	240
（４）充実が必要な「見守り」サービス	241
（５）不足している認知症患者の支援体制	242
（６）在宅での生活が困難なケース	243
（７）小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験	245
（８）定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験	247
（９）ケアプラン作成で利用しにくいサービス	249
（１０）ケアプラン作成で過剰なサービス	250
（１１）ケアプラン作成で不足しているサービス	251
（１２）情報収集や連絡・調整の方法	252
（１３）医療機関からの情報収集の方法	253
（１４）自立につながる支援ができたケアプラン	254
（１５）計画作成での相談相手	256
（１６）計画作成での相談内容	257
（１７）計画作成の際に重視していること	258
（１８）事業所紹介の際に重視していること	259
3. 介護予防・生活支援サービス事業について	260
（１）訪問サービスについて	260
（２）通所サービスについて	262
（３）サービス選択のフローチャートについて	264
（４）生活支援型サービスの普及に有効な方法	266
4. 他機関との連携について	267
（１）主治医との連携	267
（２）地域ケア会議	270
（３）複雑化した課題の相談先	271
5. 処遇困難事例などへの対応について	272
（１）区役所や地域包括支援センターへの相談の有無	272
（２）成年後見制度が必要と思われる場合の相談先	273
（３）成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数	274
6. 行政の役割について	276
（１）行政の役割	276

Ⅲ. 調査票

1. 高齢者一般調査 A	278
2. 高齢者一般調査 B	288
3. 介護保険在宅サービス利用者調査	297
4. 介護保険在宅サービス未利用者調査	309
5. 介護保険施設等サービス利用者調査	319
6. 介護支援専門員調査	323

I. 調 査 概 要

1. 調査目的

本市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「第10期介護保険事業計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

2. 調査概要

調査種別	対象者・調査人数	発送日	回収期限
高齢者一般調査A	・市内在住の65歳以上（令和7年10月時点）の者 ・3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）	令和8年 1月15日	令和8年 2月13日 郵送着まで
高齢者一般調査B	・市内在住の65歳以上（令和7年10月時点）の者 ・3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）		
介護保険在宅サービス利用者調査	・介護保険在宅サービス利用者（令和7年8月時点） ・3,000人（無作為抽出）		
介護保険在宅サービス未利用者調査	・在宅の要介護認定者のうち、サービス未利用者（令和7年8月時点） ・2,000人（無作為抽出）		
介護保険施設等サービス利用者調査	・市内の介護保険施設、グループホーム入所者（令和7年8月時点） ・1,500人（無作為抽出）		
介護支援専門員調査	・市内の居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか所属の介護支援専門員（令和7年10月時点） ・1,504人		

3. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
高齢者一般調査 A	3,000	1,975	65.8%	1,970	65.7%
高齢者一般調査 B	3,000	1,915	63.8%	1,912	63.7%
介護保険在宅サービス利用者調査	3,000	1,493	49.8%	1,490	49.7%
介護保険在宅サービス未利用者調査	2,000	1,006	50.3%	996	49.8%
介護保険施設等サービス利用者調査	1,500	1,065	71.0%	910	60.7%
介護支援専門員調査	1,504	1,103	73.3%	1,103	73.3%

※回収された調査票から白紙のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

4. 集計の見方

- (1) 集計結果は、標本数（図では N と表示）を基数として百分比（%）を算出し、小数点第 1 位（第 2 位を四捨五入）までを図表に表している。
- (2) 小数点第 2 位を四捨五入しているため、構成比の計が 100% とならない場合がある。
また複数回答の質問においては、百分比の合計が 100% を超える場合がある。
- (3) 図表中の「N」（Number of cases の略）とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。
- (4) 図表の表頭、表側部分の文章は、適宜簡略化している場合があるので、必要に応じて巻末の調査票を参照のこと。
- (5) グラフ内の数値の単位はすべて % である。
- (6) 2 つ以上の選択肢を合計して表している比率は、各選択肢の割合を合計して算出している。
- (7) 文中の選択肢の表記は「」で行い、2 つ以上のものを合計して表す選択肢は『』で表記している。

Ⅱ. 調 査 結 果



第1章 高齢者一般調査共通設問

「高齢者一般調査A」「高齢者一般調査B」の2つの調査に共通する設問については、各調査別の傾向が比較できるよう「共通設問」として掲載した。

1. 回答者の属性

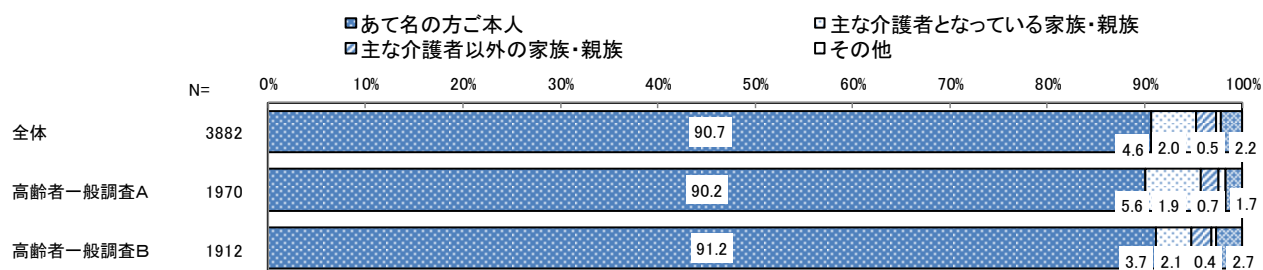
(1) 調査の回答者

＜高齢者一般調査A＞問1

＜高齢者一般調査B＞問1

現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(○は1つ)

【図表 1-1-1 調査の回答者】



調査の回答者は、全体で「あて名の方ご本人」が90.7%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が4.6%となっている。

【図表 1-1-2 調査の回答者×性別・年齢別・世帯構成別】

									(%)	
			回答数	あて名の方ご本人	親族を あて名の方の 家族・介	普 段あて名の方の 介	護 はしていない家 族・親族	普 段あて名の方の 介	その他	無回答
高齢者一般調査 A	全 体		1970	90.2	0.0	1.9	0.7	1.7		
	性別	男性	812	92.5	4.9	1.2	0.5	0.9		
		女性	1138	90.2	6.2	2.4	0.8	0.5		
	年齢別	65～69歳	446	97.1	1.3	0.7	0.4	0.4		
		70～74歳	478	97.1	1.5	0.4	0.4	0.6		
		75～79歳	493	93.5	4.9	1.0	0.2	0.4		
		80～84歳	270	90.7	6.3	0.7	1.5	0.7		
		85～89歳	172	77.3	15.1	6.4	0.6	0.6		
		90歳以上	87	42.5	34.5	14.9	3.4	4.6		
		世帯構成別	一人暮らし世帯	533	92.7	3.8	1.5	0.9	1.1	
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯		818	94.0	4.3	1.0	0.4	0.4		
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯		78	97.4	1.3	0.0	0.0	1.3		
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯		50	84.0	10.0	2.0	2.0	2.0		
	二世帯同居世帯		325	85.8	9.8	4.0	0.0	0.3		
	三世帯同居世帯		44	84.1	13.6	2.3	0.0	0.0		
	その他の世帯		84	81.0	9.5	6.0	3.6	0.0		
高齢者一般調査 B	全 体		1912	91.2	3.7	2.1	0.4	2.7		
	性別	男性	749	94.4	2.7	1.7	0.4	0.8		
		女性	1119	92.4	4.5	2.4	0.4	0.3		
	年齢別	65～69歳	435	97.5	0.7	0.7	0.5	0.7		
		70～74歳	470	97.0	1.1	1.5	0.4	0.0		
		75～79歳	462	96.1	2.4	0.6	0.2	0.6		
		80～84歳	272	90.4	4.8	3.3	0.0	1.5		
		85～89歳	147	81.0	10.9	6.8	0.7	0.7		
		90歳以上	86	61.6	25.6	9.3	2.3	1.2		
		世帯構成別	一人暮らし世帯	518	93.4	2.9	2.1	1.0	0.6	
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯		757	95.6	2.2	1.5	0.1	0.5		
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯		89	94.4	3.4	1.1	0.0	1.1		
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯		67	82.1	17.9	0.0	0.0	0.0		
	二世帯同居世帯		295	90.5	5.1	3.1	0.3	1.0		
	三世帯同居世帯		44	84.1	9.1	6.8	0.0	0.0		
	その他の世帯		76	88.2	5.3	5.3	1.3	0.0		

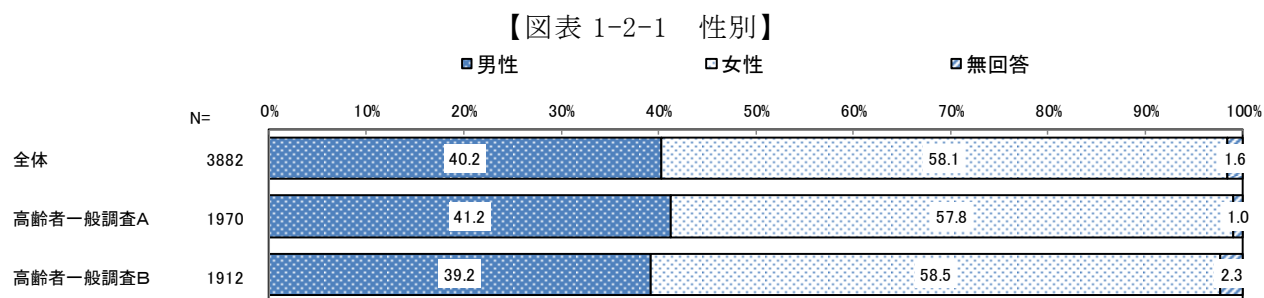
年齢別にみると、高齢者一般調査A、高齢者一般調査Bともに、85～89歳、90歳以上では、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっており、90歳以上では高齢者一般調査Aで3割半ば、高齢者一般調査Bで2割半ばとなっている。

(2) 性別

<高齢者一般調査A>問2

<高齢者一般調査B>問2

あなたの性別は。(○は1つ)



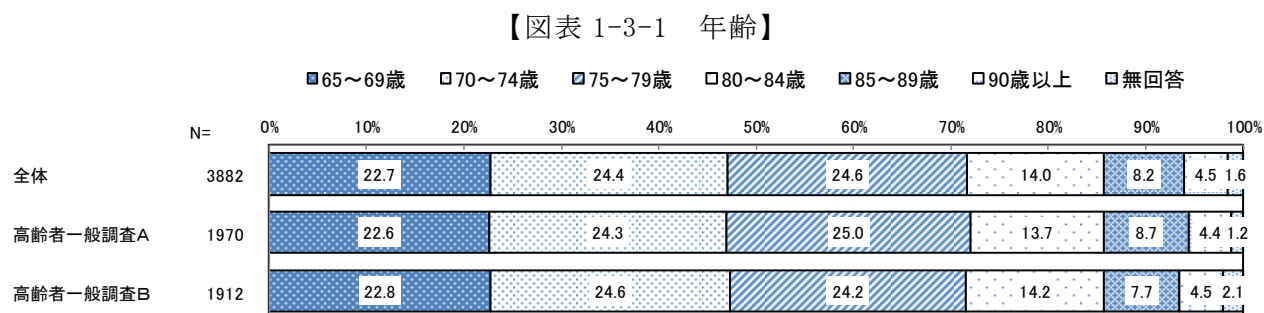
回答者は、高齢者一般調査Aでは「男性」が41.2%、「女性」が57.8%、高齢者一般調査Bでは「男性」が39.2%、「女性」が58.5%となっている。

(3) 年齢

<高齢者一般調査A>問3

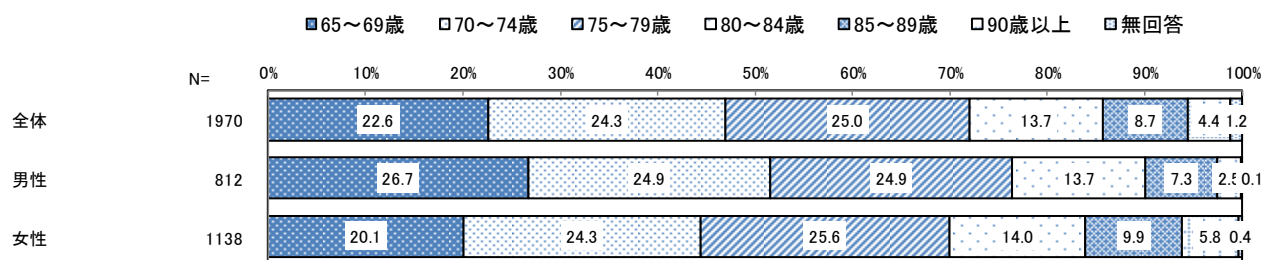
<高齢者一般調査B>問3

あなたの年齢は。(令和7年10月1日現在)(○は1つ)

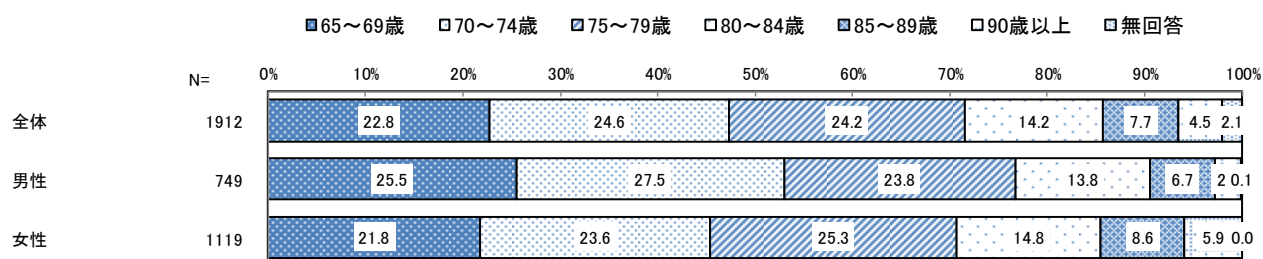


『75歳以上の後期高齢者』は、高齢者一般調査Aでは51.8%、高齢者一般調査Bでは50.6%となっている。

【図表 1-3-2 年齢×性別＜高齢者一般調査A＞】



【図表 1-3-3 年齢×性別＜高齢者一般調査B＞】



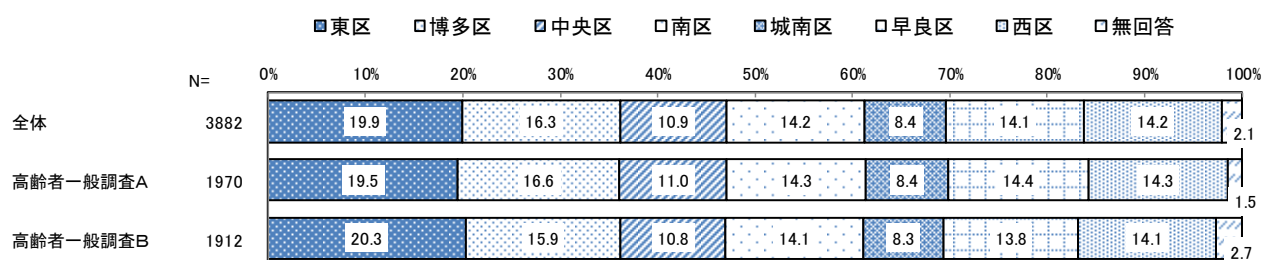
(4) 居住地区

＜高齢者一般調査A＞問4

＜高齢者一般調査B＞問4

あなたのお住いの区は。(区、町名、丁番号まで記入してください。)

【図表 1-4-1 居住地区】



(5) 家族の状況

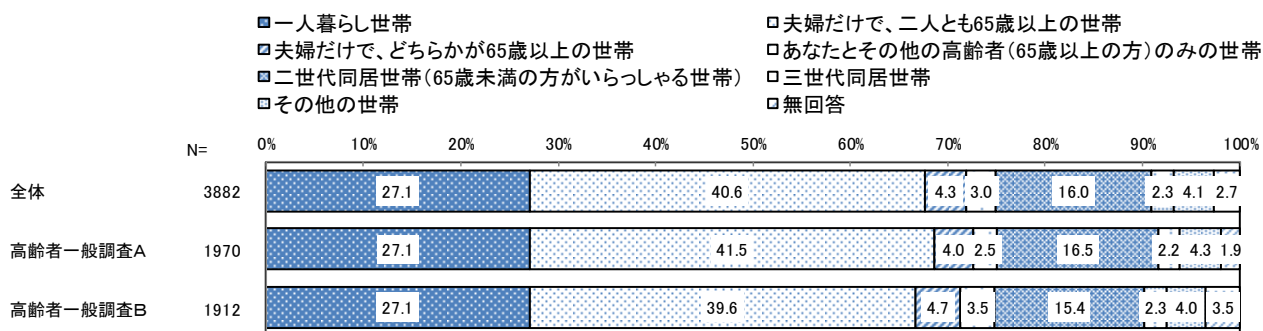
① 世帯構成

< 高齢者一般調査 A > 問 5

< 高齢者一般調査 B > 問 5

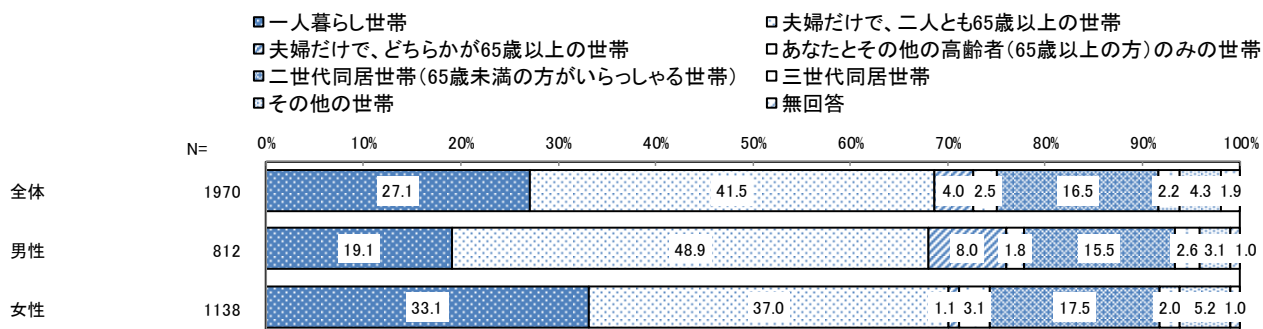
あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

【図表 1-5-1 世帯構成】

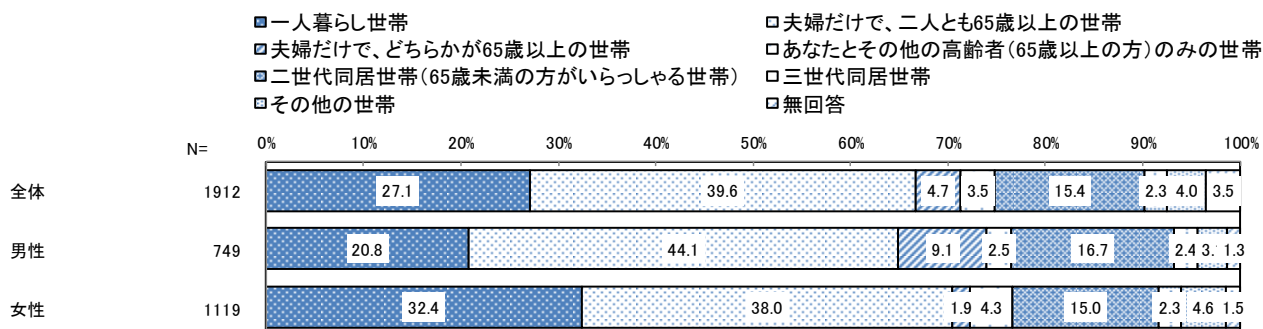


「一人暮らし世帯」は、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B とともに 27.1% となっている。

【図表 1-5-2 世帯構成×性別< 高齢者一般調査 A >】



【図表 1-5-3 世帯構成×性別< 高齢者一般調査 B >】



【図表 1-5-4 世帯構成×性別・年齢別】

(%)

		回答数	一人暮らし世帯	夫婦だけで、二人世帯と	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	あなたとその他の高齢者のみの世帯	二世帯同居世帯	三世帯同居世帯	その他の世帯	無回答
高齢者一般調査 A	全体	1970	27.1	41.5	4.0	2.5	16.5	2.2	4.3	1.9
	性別 男性	812	19.1	48.9	8.0	1.8	15.5	2.6	3.1	1.0
	性別 女性	1138	33.1	37.0	1.1	3.1	17.5	2.0	5.2	1.0
	年齢別 65～69歳	446	21.7	38.6	12.6	4.5	16.8	2.0	3.1	0.7
	年齢別 70～74歳	478	26.2	48.5	2.1	1.3	15.5	1.5	4.4	0.6
	年齢別 75～79歳	493	26.8	47.1	1.8	1.8	16.2	2.8	2.2	1.2
	年齢別 80～84歳	270	32.6	39.3	1.1	1.5	15.2	2.6	6.7	1.1
	年齢別 85～89歳	172	33.1	34.3	0.0	1.7	21.5	2.9	5.8	0.6
	年齢別 90歳以上	87	37.9	17.2	0.0	9.2	18.4	2.3	11.5	3.4
高齢者一般調査 B	全体	1912	27.1	39.6	4.7	3.5	15.4	2.3	4.0	3.5
	性別 男性	749	20.8	44.1	9.1	2.5	16.7	2.4	3.1	1.3
	性別 女性	1119	32.4	38.0	1.9	4.3	15.0	2.3	4.6	1.5
	年齢別 65～69歳	435	22.1	36.1	12.0	5.3	17.7	2.3	4.1	0.5
	年齢別 70～74歳	470	23.6	48.1	4.0	3.0	15.3	2.3	2.6	1.1
	年齢別 75～79歳	462	30.1	44.4	1.9	1.7	12.8	2.2	5.4	1.5
	年齢別 80～84歳	272	31.3	41.2	2.2	1.8	14.7	2.6	4.4	1.8
	年齢別 85～89歳	147	36.7	29.9	1.4	2.0	19.7	2.7	2.7	4.8
	年齢別 90歳以上	86	37.2	15.1	1.2	16.3	20.9	2.3	5.8	1.2

性別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B とともに、女性の「一人暮らし世帯」の割合は 3 割強で、男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B とともに、80～84 歳、85～89 歳、90 歳以上では「一人暮らし世帯」の割合が 3 割強から 4 割近くで、80 歳未満に比べて高くなっている。高齢者一般調査 B の 90 歳以上では、「あなたとその他の高齢者のみの世帯」の割合が 1 割半ばで、他と比べて高くなっている。

②行き来のある親族のいる場所

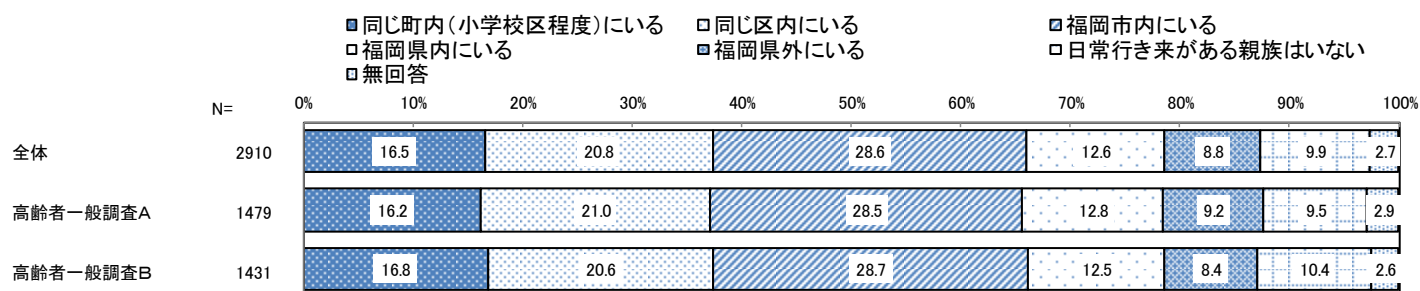
<高齢者一般調査A>【問5】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。問5－1

<高齢者一般調査B>【問5】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。問5－1

あなたには、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。

2か所以上にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。(○は1つ)

【図表 1-5-5 行き来のある親族のいる場所】



「一人暮らし世帯」と「夫婦だけで、二人とも 65 歳以上の世帯」、「夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯」、「夫婦だけで、二人とも 65 歳未満の世帯」、「あなたとその他の高齢者（65 歳以上の方）のみの世帯」を合わせた『高齢者のみで暮らす世帯』のうち、日常行き来がある親族のいる場所が『福岡市内』であるのは、高齢者一般調査Aでは 65.7%、高齢者一般調査Bでは 66.1%となっている。

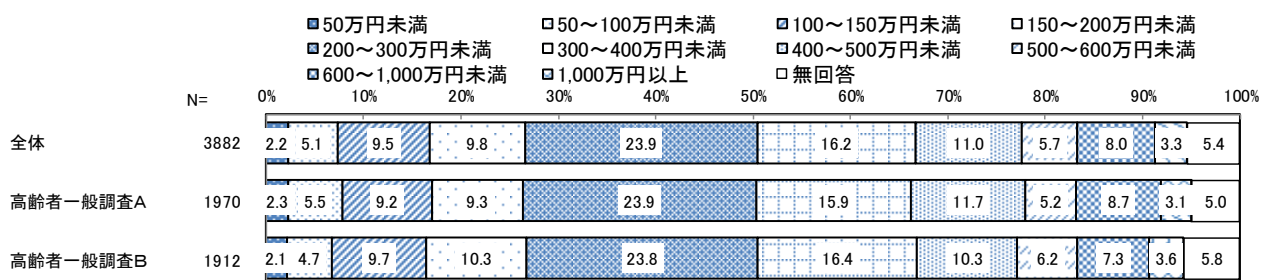
（6）世帯年間総収入額

＜高齢者一般調査A＞問6

＜高齢者一般調査B＞問6

あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

【図表 1-6-1 世帯年間総収入額】



世帯年間総収入額は、高齢者一般調査Aでは「200～300 万円未満」が 23.9%と最も高く、次いで「300～400 万円未満」が 15.9%、「400～500 万円未満」が 11.7%となっている。

高齢者一般調査Bでも「200～300 万円未満」が 23.8%と最も高く、次いで「300～400 万円未満」が 16.4%、「150～200 万円未満」及び「400～500 万円未満」が 10.3%となっている。

【図表 1-6-2 世帯年間総収入額×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

			回答数	50万円未満	50.1万円未満	100万円未満	100.1万円未満	200万円未満	200.1万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	1,000万円以上	(%) 無回答
全 体			3882	2.2	5.1	9.5	9.8	23.9	16.2	11.0	5.7	8.0	3.3	5.4	
高齢者一般調査 A	全 体		1970	2.3	5.5	9.2	9.3	23.9	15.9	11.7	5.2	8.7	3.1	5.0	
	性別	男性	812	1.7	2.7	5.8	6.4	24.9	20.1	13.2	5.7	11.6	3.6	4.4	
		女性	1138	2.7	7.4	11.7	11.4	23.0	12.9	10.8	4.9	6.9	2.8	5.4	
	年齢別	65～69歳	446	2.5	2.5	7.6	5.4	19.1	18.2	15.0	7.0	15.0	5.2	2.7	
		70～74歳	478	0.8	5.9	7.9	8.8	22.6	18.8	14.0	6.3	9.0	2.9	2.9	
		75～79歳	493	2.0	7.3	11.0	9.7	26.2	14.0	10.1	4.5	7.5	2.6	5.1	
		80～84歳	270	3.7	5.9	9.3	17.0	28.5	13.3	7.8	3.3	4.1	1.1	5.9	
		85～89歳	172	4.1	5.8	14.5	8.7	23.3	12.8	8.7	4.7	5.8	1.2	10.5	
		90歳以上	87	3.4	6.9	4.6	8.0	27.6	12.6	10.3	2.3	3.4	6.9	13.8	
		世帯構成別	一人暮らし世帯	533	4.7	13.5	23.1	17.3	20.6	7.1	3.6	0.9	3.4	0.2	5.6
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯		818	1.3	1.8	3.1	7.2	30.6	23.5	14.8	5.5	6.2	2.9	3.1	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯		78	1.3	3.8	5.1	1.3	19.2	19.2	14.1	3.8	20.5	9.0	2.6	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯		50	4.0	8.0	8.0	16.0	20.0	10.0	16.0	4.0	8.0	2.0	4.0	
二世帯同居世帯	325		0.9	1.8	3.4	4.3	16.6	15.1	15.7	12.0	19.1	4.9	6.2		
三世帯同居世帯	44		4.5	0.0	2.3	2.3	6.8	4.5	15.9	9.1	20.5	20.5	13.6		
その他の世帯	84		1.2	8.3	11.9	7.1	20.2	10.7	13.1	4.8	11.9	2.4	8.3		
高齢者一般調査 B	全 体		1912	2.1	4.7	9.7	10.3	23.8	16.4	10.3	6.2	7.3	3.6	5.8	
	性別	男性	749	2.1	2.9	5.7	8.1	25.4	18.3	12.1	6.8	9.7	5.2	3.5	
		女性	1119	2.0	6.0	12.1	11.8	22.6	15.2	9.1	5.6	5.8	2.5	7.3	
	年齢別	65～69歳	435	1.4	2.5	6.7	8.0	20.7	17.2	14.3	8.5	10.3	7.8	2.5	
		70～74歳	470	1.1	5.5	7.0	9.1	25.3	20.6	10.0	6.6	7.9	2.8	4.0	
		75～79歳	462	2.4	5.4	11.7	10.8	26.2	16.7	8.4	4.1	4.8	2.2	7.4	
		80～84歳	272	2.2	5.5	14.0	12.5	22.1	11.4	10.7	5.9	5.9	1.5	8.5	
		85～89歳	147	4.1	4.8	9.5	11.6	25.2	13.6	6.1	6.1	7.5	2.7	8.8	
		90歳以上	86	4.7	5.8	11.6	16.3	18.6	10.5	8.1	3.5	9.3	2.3	9.3	
		世帯構成別	一人暮らし世帯	518	3.7	11.2	23.0	19.7	21.6	5.2	2.1	1.4	2.9	1.9	7.3
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯		757	1.1	2.1	3.4	7.4	29.2	25.1	11.8	6.9	6.6	2.4	4.1	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯		89	1.1	0.0	2.2	3.4	19.1	20.2	18.0	10.1	7.9	11.2	6.7	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯		67	0.0	7.5	9.0	11.9	25.4	9.0	13.4	1.5	7.5	4.5	10.4	
二世帯同居世帯	295		1.4	2.7	5.8	5.4	16.6	15.9	16.6	10.5	16.3	4.7	4.1		
三世帯同居世帯	44		0.0	4.5	2.3	2.3	15.9	9.1	13.6	11.4	15.9	15.9	9.1		
その他の世帯	76		6.6	0.0	7.9	7.9	14.5	21.1	13.2	11.8	6.6	5.3	5.3		
経年	令和4年度	3584	3.2	5.6	8.3	11.1	22.3	15.8	8.7	7.1	8.4	3.9	5.5		
	令和元年度	3630	2.7	4.5	9.3	10.0	23.3	16.3	10.1	6.7	7.4	4.4	5.3		
	平成28年度	3783	2.4	5.4	7.7	10.4	23.9	17.0	9.2	6.4	7.2	4.2	6.2		
	平成25年度	2985	2.6	5.7	9.8	10.9	20.8	17.5	9.4	5.9	6.2	4.2	6.9		
	平成22年度	2939	2.7	5.4	8.7	11.0	20.6	18.9	10.2	6.5	7.8	3.4	4.9		

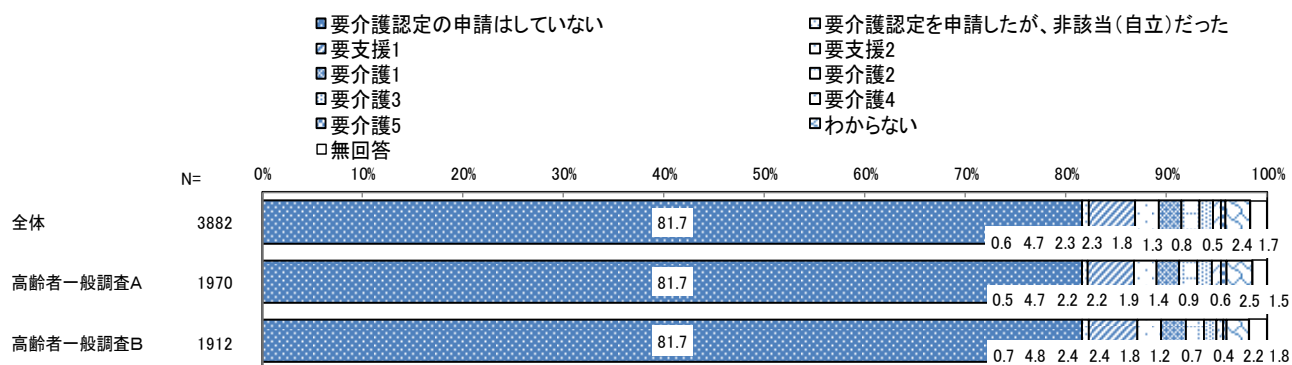
(7) 要介護度

<高齢者一般調査A>問7

<高齢者一般調査B>問7

あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。(○は1つ)

【図表 1-7-1 要介護度】



要介護度は、高齢者一般調査Aでは「要介護認定の申請はしていない」が81.7%と最も高く、次いで「要支援1」が4.7%、「わからない」が2.5%となっている。

高齢者一般調査Bでも「要介護認定の申請はしていない」が81.7%と最も高く、次いで「要支援1」が4.8%、「要支援2」及び「要介護1」が2.4%となっている。

【図表 1-7-2 要介護度×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

		回答数	要介護認定の申請はしていない	要介護認定を申請した（自）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
													(%)
全 体		3882	81.7	0.6	4.7	2.3	2.3	1.8	1.3	0.8	0.5	2.4	1.7
高齢者一般調査 A	全 体	1970	81.7	0.5	4.7	2.2	2.2	1.9	1.4	0.9	0.6	2.5	1.5
	性別												
	男性	812	85.7	0.4	2.3	1.2	1.6	1.7	1.0	0.9	0.4	3.3	1.5
	女性	1138	78.9	0.6	6.4	2.9	2.5	1.8	1.7	1.0	0.8	1.8	1.5
	年齢別												
	65～69歳	446	94.8	0.4	0.4	0.9	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	1.6	0.4
	70～74歳	478	90.6	0.6	1.5	1.7	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4	2.3	0.6
	75～79歳	493	85.8	0.2	3.7	1.0	0.8	1.0	1.2	1.0	0.4	3.4	1.4
	80～84歳	270	73.7	0.0	10.7	3.0	3.0	1.5	2.2	0.7	0.4	2.2	2.6
	85～89歳	172	51.2	1.2	15.7	5.8	8.1	7.0	2.3	0.6	1.2	2.9	4.1
	90歳以上	87	27.6	2.3	9.2	9.2	11.5	12.6	9.2	6.9	4.6	3.4	3.4
	世帯構成別												
	一人暮らし世帯	533	75.4	0.9	7.5	3.6	2.4	1.9	2.1	0.4	0.8	2.6	2.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	86.7	0.2	3.4	1.3	2.0	1.2	0.6	0.6	0.5	2.0	1.5
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	96.2	0.0	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	74.0	0.0	6.0	8.0	2.0	4.0	2.0	0.0	0.0	4.0	0.0
	二世帯同居世帯	325	82.5	0.9	3.7	2.5	1.5	2.2	0.9	1.8	0.3	3.4	0.3
	三世帯同居世帯	44	79.5	0.0	4.5	0.0	4.5	2.3	6.8	0.0	0.0	2.3	0.0
	その他の世帯	84	69.0	0.0	3.6	1.2	3.6	4.8	4.8	4.8	1.2	4.8	2.4
高齢者一般調査 B	全 体	1912	81.7	0.7	4.8	2.4	2.4	1.8	1.2	0.7	0.4	2.2	1.8
	性別												
	男性	749	86.5	0.7	3.1	1.3	2.3	1.2	0.7	0.4	0.4	1.9	1.6
	女性	1119	78.8	0.8	6.0	2.9	2.3	2.2	1.5	0.9	0.4	2.3	1.9
	年齢別												
	65～69歳	435	95.9	0.7	0.5	0.2	0.2	0.5	0.2	0.0	0.0	1.6	0.2
	70～74歳	470	92.3	0.0	1.5	0.2	0.6	0.9	0.2	0.2	0.0	2.3	1.7
	75～79歳	462	85.1	0.6	2.8	2.4	1.5	1.3	0.6	0.6	0.6	1.7	2.6
	80～84歳	272	68.0	2.2	10.7	2.9	4.4	1.5	3.3	0.0	0.0	3.3	3.7
	85～89歳	147	51.0	1.4	19.0	4.8	7.5	6.8	2.0	2.0	1.4	2.7	1.4
	90歳以上	86	31.4	0.0	12.8	17.4	11.6	9.3	7.0	7.0	2.3	1.2	0.0
	世帯構成別												
	一人暮らし世帯	518	73.0	1.4	9.3	4.4	3.1	1.9	1.0	0.8	0.2	2.3	2.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	87.8	0.7	2.8	1.2	1.7	1.3	0.7	0.4	0.1	1.7	1.6
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	87.6	0.0	4.5	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	2.2	2.2
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	68.7	0.0	6.0	3.0	7.5	7.5	1.5	0.0	3.0	1.5	1.5
	二世帯同居世帯	295	84.4	0.3	2.4	2.0	1.7	2.0	2.4	1.4	0.3	2.4	0.7
	三世帯同居世帯	44	81.8	0.0	2.3	2.3	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	2.3	2.3
	その他の世帯	76	78.9	1.3	2.6	2.6	2.6	0.0	3.9	2.6	1.3	3.9	0.0
経 年	令和4年度	3584	80.8	0.6	2.8	2.3	2.1	0.9	0.8	0.8	0.6	5.0	3.5
	令和元年度	3630	80.7	0.6	3.1	2.7	1.8	1.7	0.9	1.0	0.5	4.0	2.8
	平成28年度	3783	76.0	0.9	3.8	1.9	2.4	1.5	1.2	0.9	1.1	5.1	5.3
	平成25年度	2985	68.7	14.0	3.4	1.4	2.0	1.4	0.8	0.7	0.4	3.0	4.2
	平成22年度	2939	77.5	6.0	3.8	0.0	1.8	1.6	0.8	0.6	0.6	2.6	4.6
	平成19年度	3161	73.3	8.8	4.0	0.0	2.9	1.5	0.9	0.6	0.7	4.0	3.4

2. 情報通信機器利用状況

(1) 情報通信機器利用状況

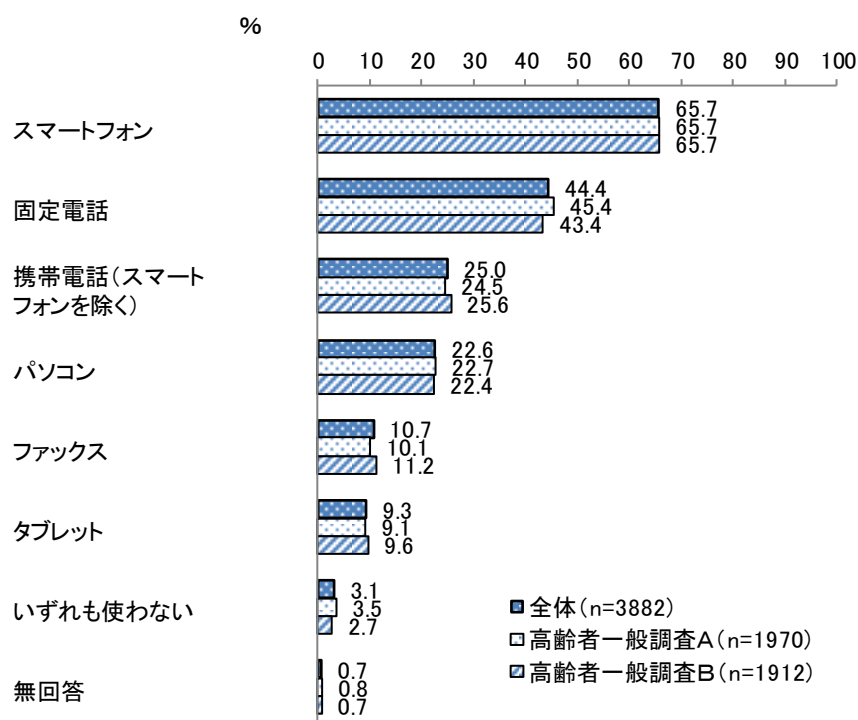
①利用している情報通信機器

<高齢者一般調査A>問8

<高齢者一般調査B>問8

あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。(〇はいくつでも)

【図表 1-8-1 利用している情報通信機器】



利用している情報通信機器は、全体で「スマートフォン」が 65.7%で最も高く、次いで「固定電話」が 44.4%、「携帯電話（スマートフォンを除く）」が 25.0%となっている。

【図表 1-8-2 利用している情報通信機器×性別・年齢別・世帯構成別】

			回答数	固定電話	ファックス	携帯電話（スマートフォンを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	いずれも使わない	無回答
全 体			3882	44.4	10.7	25.0	65.7	9.3	22.6	3.1	0.7
高齢者一般調査 A	全 体		1970	45.4	10.1	24.5	65.7	9.1	22.7	3.5	0.8
	性別	男性	812	42.1	12.3	23.2	68.1	10.1	36.0	3.1	0.7
		女性	1138	47.7	8.4	25.1	64.1	8.5	13.3	3.8	0.9
	年齢別	65～69歳	446	30.9	9.4	11.2	85.9	15.9	35.9	1.3	0.4
		70～74歳	478	41.6	11.1	19.7	78.7	11.7	25.7	0.6	0.4
		75～79歳	493	49.7	11.0	28.0	65.1	6.5	20.5	2.6	1.4
		80～84歳	270	56.7	11.9	33.7	50.0	5.9	16.3	3.7	1.1
		85～89歳	172	58.7	8.1	41.9	30.2	2.3	8.1	9.9	1.2
		90歳以上	87	56.3	1.1	32.2	14.9	0.0	1.1	21.8	0.0
	世帯構成別	一人暮らし世帯	533	37.9	5.3	28.1	62.5	7.3	16.5	3.6	0.8
		夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	49.8	11.7	23.1	69.3	9.9	26.7	2.0	0.6
		夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	39.7	15.4	15.4	83.3	23.1	53.8	0.0	0.0
		あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	54.0	10.0	24.0	52.0	4.0	10.0	10.0	0.0
		二世帯同居世帯	325	47.7	11.1	23.1	65.5	9.5	20.0	3.1	0.6
		三世帯同居世帯	44	38.6	13.6	27.3	63.6	4.5	22.7	9.1	0.0
		その他の世帯	84	48.8	11.9	22.6	53.6	4.8	14.3	14.3	2.4
高齢者一般調査 B	全 体		1912	43.4	11.2	25.6	65.7	9.6	22.4	2.7	0.7
	性別	男性	749	39.5	10.9	24.3	70.8	11.9	35.4	2.1	0.5
		女性	1119	46.5	11.1	25.9	63.2	8.0	13.6	3.0	0.6
	年齢別	65～69歳	435	28.0	10.3	12.0	86.7	13.3	32.0	0.2	0.2
		70～74歳	470	34.5	9.8	18.9	77.7	11.5	26.6	1.3	0.4
		75～79歳	462	49.4	12.3	29.0	65.4	10.0	20.3	1.7	0.6
		80～84歳	272	57.7	14.3	38.2	47.1	5.1	15.1	3.3	1.8
		85～89歳	147	65.3	9.5	42.2	33.3	2.7	12.2	8.8	0.0
		90歳以上	86	62.8	7.0	36.0	20.9	2.3	2.3	16.3	0.0
	世帯構成別	一人暮らし世帯	518	38.4	7.5	29.7	60.2	7.5	16.2	3.1	0.6
		夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	46.2	14.8	25.0	71.5	11.5	27.6	1.6	0.4
		夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	25.8	7.9	16.9	77.5	13.5	32.6	1.1	1.1
		あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	49.3	9.0	23.9	52.2	4.5	14.9	4.5	0.0
		二世帯同居世帯	295	47.1	8.8	20.3	68.5	9.5	22.4	3.1	0.7
		三世帯同居世帯	44	34.1	6.8	25.0	61.4	11.4	15.9	2.3	2.3
		その他の世帯	76	60.5	14.5	23.7	55.3	3.9	13.2	9.2	0.0

性別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B とともに、男性では女性に比べ「パソコン」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、高齢者一般調査 A、高齢者一般調査 B とともに、80～84 歳、85～89 歳、90 歳以上では「スマートフォン」の割合が 5 割以下と低くなっており、90 歳以上では高齢者一般調査 A で 1 割半ば、高齢者一般調査 B で 2 割強となっている。

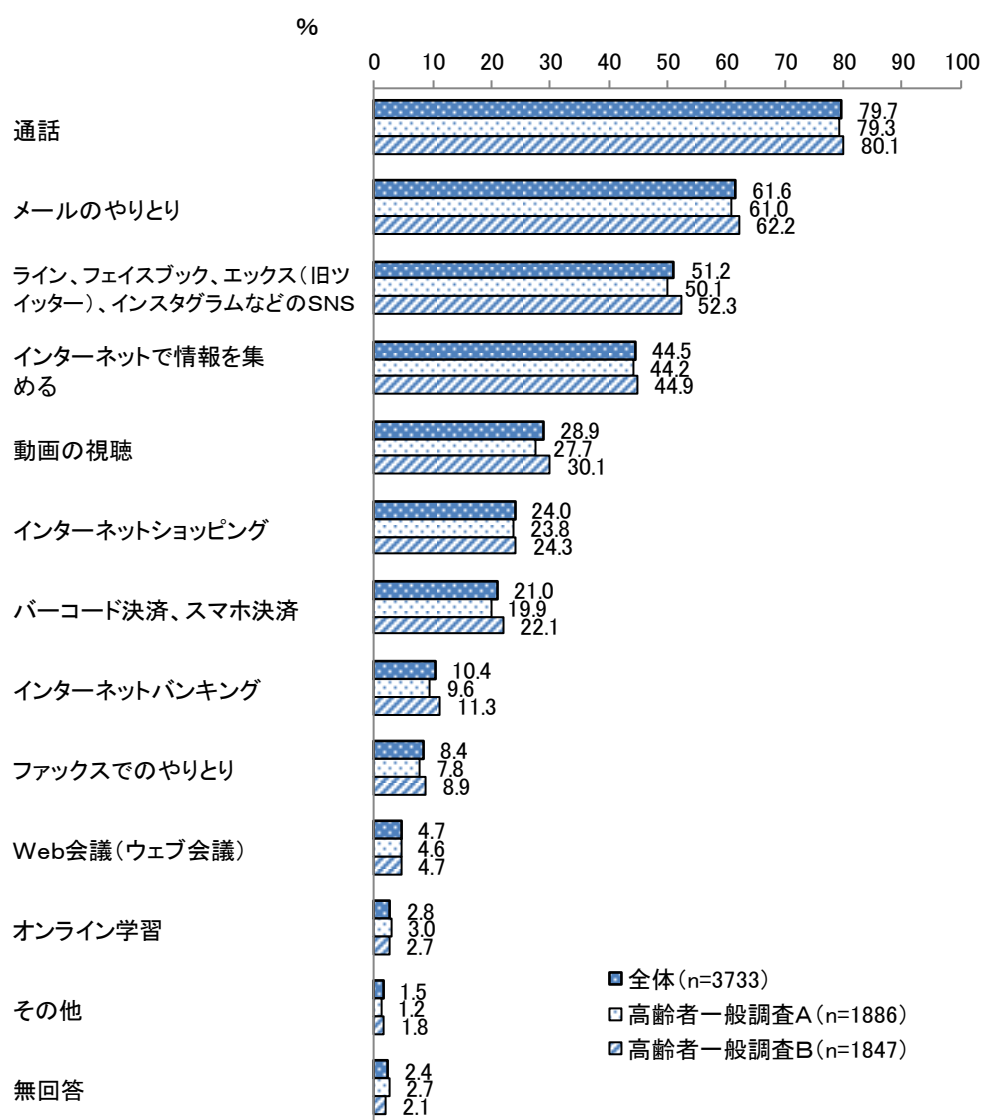
②情報通信機器の利用用途

＜高齢者一般調査A＞【問8】で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます。問8－1

＜高齢者一般調査B＞【問8】で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます。問8－1

あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。（○はいくつでも）

【図表 1-8-3 情報通信機器の利用用途】



情報通信機器の利用用途は全体で「通話」が79.7%で最も高く、次いで「メールのやりとり」が61.6%、「ライン、フェイスブック、エックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS」が51.2%となっている。

【図表 1-8-4 情報通信機器の利用用途×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	通話	ファックスでのやりとり	メールのやりとり	ライン、フェイスブック、エックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS	インターネットで情報を集める	インターネットショッピング	インターネットバンキング	バーコード決済、スマホ決済	動画の視聴	Web会議（ウェブ会議）	オンライン学習	その他	無回答	(%)
全 体		3733	79.7	8.4	61.6	51.2	44.5	24.0	10.4	21.0	28.9	4.7	2.8	1.5	2.4	
高齢者一般調査 A	全 体	1886	79.3	7.8	61.0	50.1	44.2	23.8	9.6	19.9	27.7	4.6	3.0	1.2	2.7	
	性別															
	男性	781	79.6	10.2	62.9	47.9	55.2	30.7	14.7	21.0	32.5	6.7	2.8	1.4	2.3	
	女性	1085	79.3	6.0	59.8	51.9	36.3	18.7	5.9	19.0	24.5	3.2	3.1	1.1	2.9	
	年齢別															
	65～69歳	438	76.5	6.6	71.0	73.1	71.0	49.1	24.2	42.2	48.9	10.3	5.9	1.6	1.4	
	70～74歳	473	77.6	8.9	70.6	59.8	52.0	25.8	9.9	22.4	34.7	5.7	3.6	1.3	1.9	
	75～79歳	473	80.8	7.6	62.8	44.8	38.3	17.3	4.4	12.3	22.0	2.5	1.9	0.6	2.3	
	80～84歳	257	78.2	10.1	51.4	33.5	26.5	7.4	1.2	6.2	11.3	1.2	0.8	1.9	3.9	
	85～89歳	153	88.9	6.5	35.9	21.6	11.1	3.3	1.3	2.0	5.9	0.0	1.3	1.3	4.6	
	90歳以上	68	83.8	2.9	14.7	1.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	
	世帯構成別															
	一人暮らし世帯	510	79.4	4.3	58.8	43.3	33.7	18.2	8.4	16.3	23.7	2.9	2.9	1.8	3.3	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	797	78.8	9.0	63.7	55.2	50.8	26.1	9.3	21.8	29.9	4.6	2.5	0.4	2.3	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	76.9	9.0	69.2	66.7	70.5	53.8	33.3	42.3	51.3	11.5	5.1	0.0	3.8	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	45	95.6	8.9	60.0	42.2	31.1	22.2	4.4	8.9	26.7	4.4	4.4	2.2	0.0	
	二世帯同居世帯	313	81.2	7.0	56.9	50.5	41.2	19.5	7.0	16.9	24.6	5.1	3.2	2.6	2.2	
	三世帯同居世帯	40	75.0	15.0	55.0	47.5	45.0	25.0	10.0	27.5	35.0	7.5	2.5	0.0	2.5	
	その他の世帯	70	78.6	12.9	61.4	34.3	38.6	21.4	8.6	12.9	20.0	5.7	4.3	2.9	4.3	
高齢者一般調査 B	全 体	1847	80.1	8.9	62.2	52.3	44.9	24.3	11.3	22.1	30.1	4.7	2.7	1.8	2.1	
	性別															
	男性	729	78.1	9.5	61.7	52.1	56.0	30.6	16.9	23.7	34.8	7.3	2.5	1.5	1.9	
	女性	1078	81.7	8.4	62.8	52.7	37.5	19.9	7.4	21.2	27.3	3.1	2.8	1.9	2.2	
	年齢別															
	65～69歳	433	78.5	7.9	68.6	74.4	70.2	44.1	22.6	41.8	50.1	9.0	6.5	1.4	0.2	
	70～74歳	462	77.9	7.4	71.4	62.6	55.0	29.2	13.2	26.2	36.8	6.3	2.6	1.5	0.9	
	75～79歳	451	82.9	10.4	65.0	49.0	37.9	18.6	7.8	16.6	25.3	2.7	1.1	1.8	1.6	
	80～84歳	258	80.6	10.5	52.7	33.7	22.5	8.9	3.1	6.2	12.8	2.3	1.2	2.3	4.3	
	85～89歳	134	82.1	11.9	42.5	18.7	14.9	3.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	2.2	7.5	
	90歳以上	72	84.7	2.8	19.4	8.3	8.3	2.8	1.4	0.0	8.3	0.0	0.0	1.4	6.9	
	世帯構成別															
	一人暮らし世帯	499	80.8	5.6	59.3	47.3	34.3	19.2	8.8	17.0	26.3	3.0	1.8	2.2	3.4	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	742	81.8	12.0	68.9	57.7	51.9	27.5	12.4	25.5	32.7	5.3	3.5	1.5	1.1	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	87	70.1	4.6	58.6	69.0	67.8	43.7	28.7	40.2	40.2	5.7	2.3	0.0	0.0	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	64	85.9	7.8	45.3	34.4	32.8	21.9	6.3	12.5	26.6	7.8	3.1	1.6	1.6	
	二世帯同居世帯	284	78.5	7.4	56.0	51.4	45.1	21.5	10.2	22.2	31.7	5.6	2.5	1.1	2.5	
	三世帯同居世帯	42	83.3	7.1	61.9	52.4	52.4	31.0	11.9	14.3	33.3	2.4	2.4	4.8	0.0	
	その他の世帯	69	75.4	11.6	59.4	40.6	30.4	13.0	4.3	18.8	20.3	7.2	1.4	4.3	2.9	

年齢別にみると、高齢者一般調査A、高齢者一般調査Bともに、「メールのやりとり」「ライン、フェイスブック、エックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS」「インターネットで情報を集める」「インターネットショッピング」「バーコード決済、スマホ決済」「動画の視聴」では、65～69歳では4割強から7割半ばを占めるが、概ね年齢が高いほど低い割合となっている。

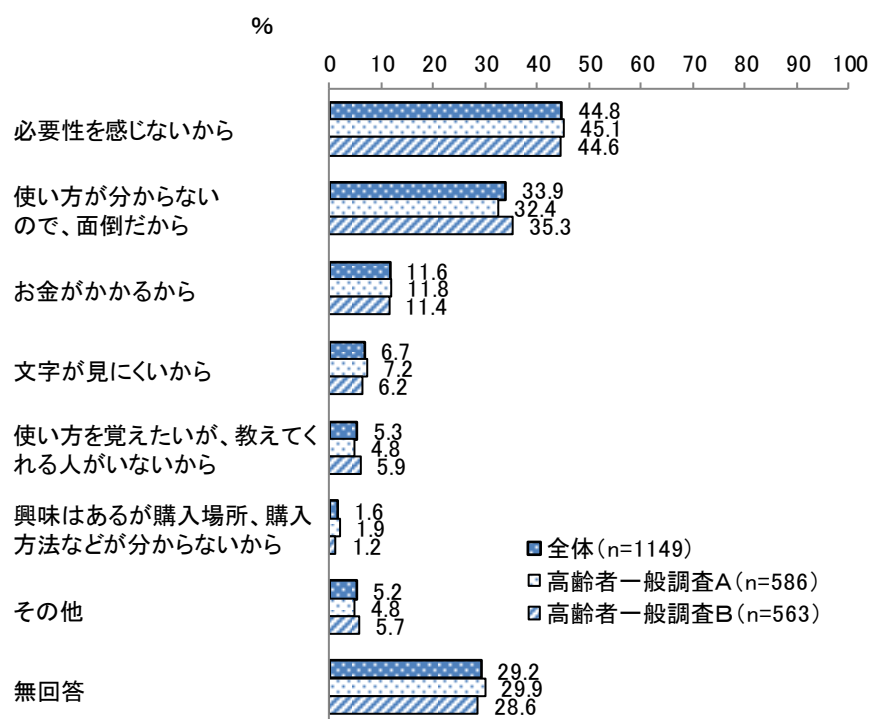
③スマホ等を利用していない理由

<高齢者一般調査A>【問8】で「4」「5」「6」のいずれかも選択していない方（「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方）にうかがいます。問8－2

<高齢者一般調査B>【問8】で「4」「5」「6」のいずれかも選択していない方（「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方）にうかがいます。問8－2

あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は何ですか。
（○はいくつでも）

【図表 1-8-5 スマホ等を利用していない理由】



スマホ等を利用していない理由は、全体で「必要性を感じないから」が44.8%で最も高く、次いで「使い方が分からないので、面倒だから」が33.9%、「お金がかかるから」が11.6%となっている。

第2章 高齢者一般調査A

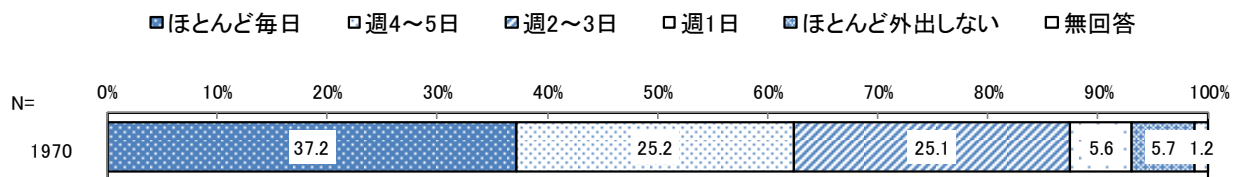
1. 日常生活について

(1) 外出

①外出頻度

問9 あなたは、週にどれくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

【図表 2-1-1 外出頻度】



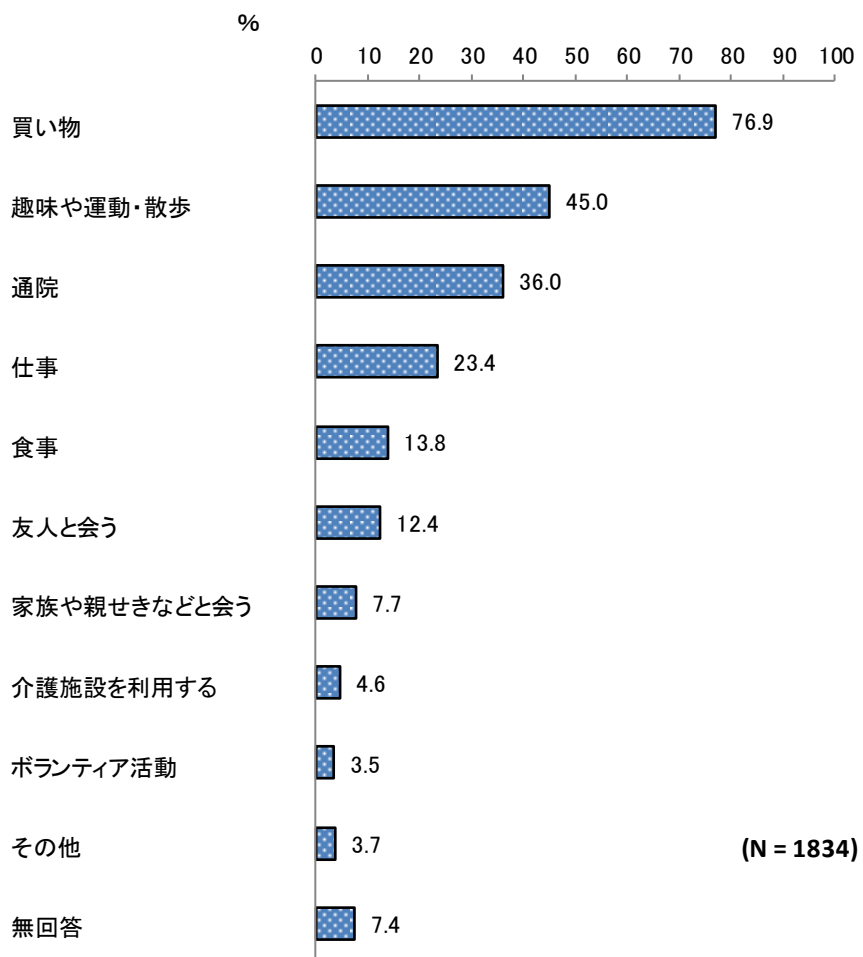
一週間あたりの外出頻度は、「ほとんど毎日」が 37.2%と最も高く、次いで「週 4～5 日」が 25.2%、「週 2～3 日」が 25.1%となっている。

②外出目的

【問9】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの外出の目的は何ですか。(主なものを3つまで)

【図表 2-1-2 外出目的】



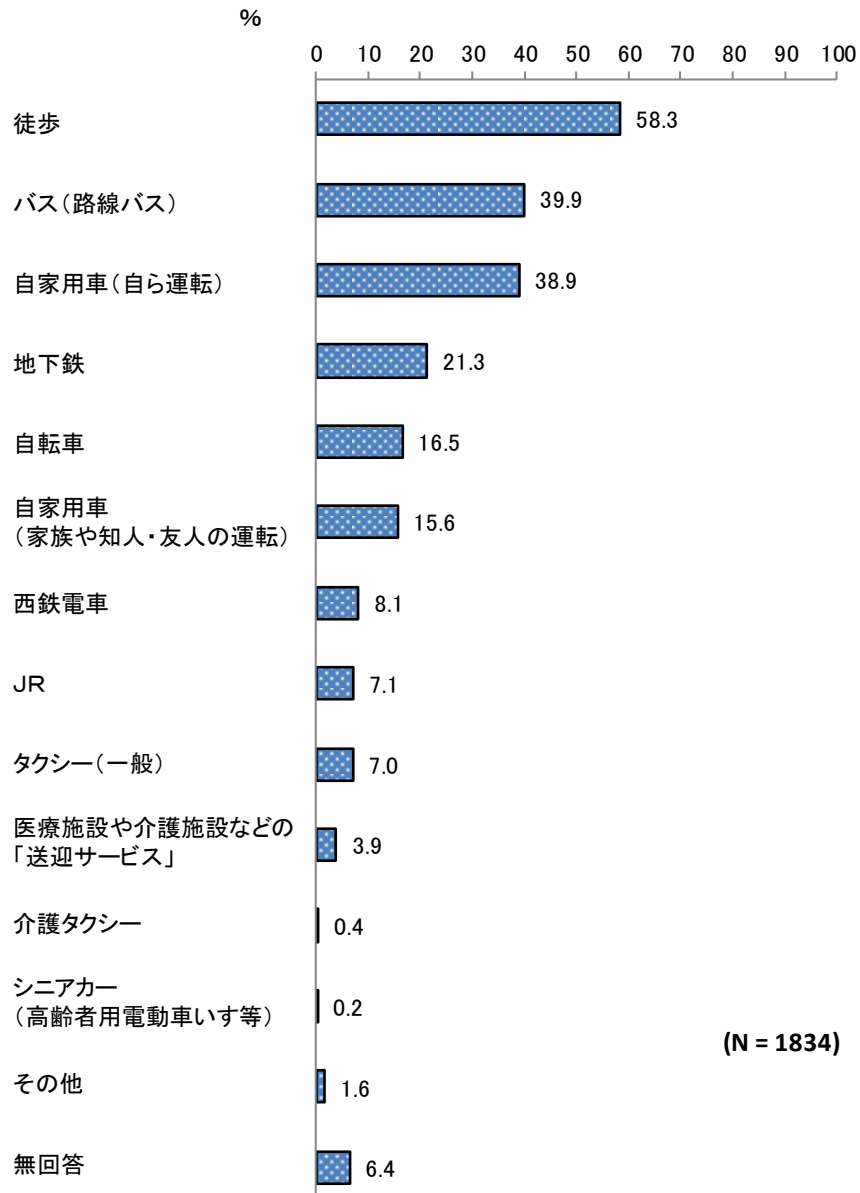
外出の目的は、「買い物」が 76.9%と最も高く、次いで「趣味や運動・散歩」が 45.0%、「通院」が 36.0%となっている。

③交通手段

【問9】で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問9-2 あなたが外出する際の交通手段は何ですか。（主なものを3つまで）

【図表 2-1-3 交通手段】



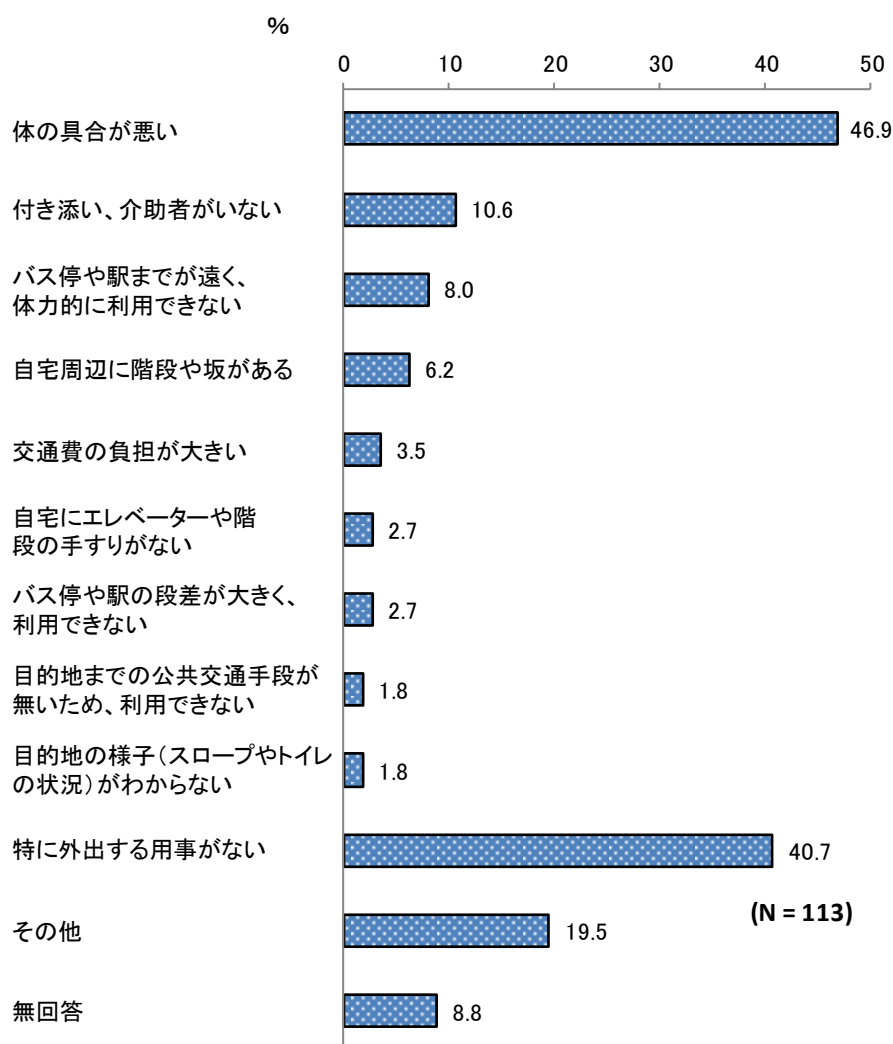
外出する際の交通手段は、「徒歩」が58.3%と最も高く、次いで「バス（路線バス）」が39.9%、「自家用車（自ら運転）」が38.9%となっている。

④外出しない理由

【問9】で「5」と答えた方にうかがいます。

問9-3 あなたが、外出しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-1-4 外出しない理由】



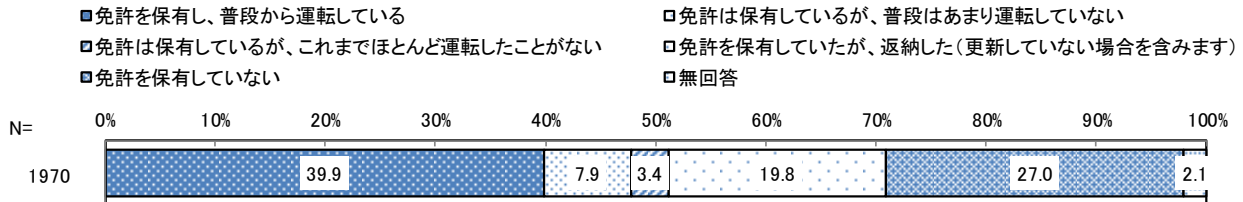
外出しない理由は、「体の具合が悪い」が 46.9%と最も高く、次いで「特に外出する用事がない」が 40.7%、「付き添い、介助者がいない」が 10.6%となっている。なお、「その他」が 19.5%となっている。

(2) 自動車運転免許

①活用状況

問 10 あなたは今現在、自動車運転免許を保有し、活用されていますか。(○は1つ)

【図表 2-2-1 自動車運転免許の活用状況】



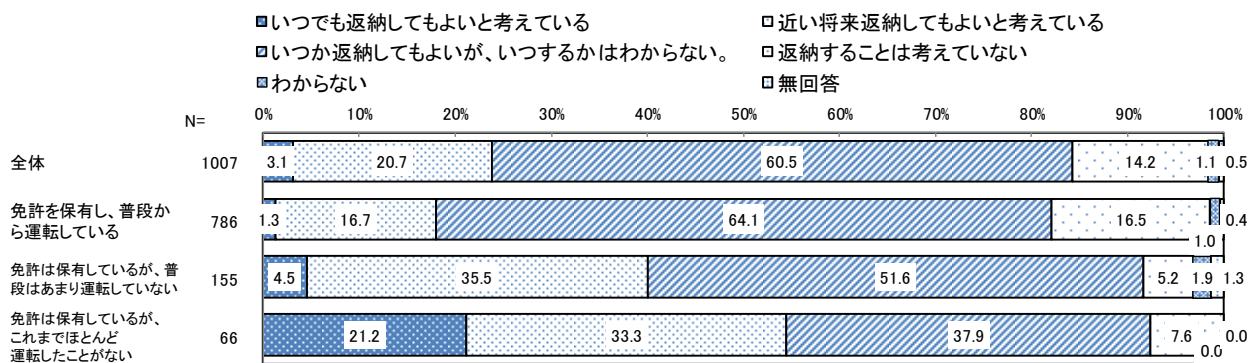
自動車運転免許の保有・活用状況は、「免許を保有し、普段から運転している」が 39.9%と最も高く、次いで「免許を保有していない」が 27.0%、「免許を保有していたが、返納した(更新していない場合を含みます)」が 19.8%となっている。

②自主返納への考え

【問 10】で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 10-1 あなたは、自動車運転免許の自主返納についてどのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

【図表 2-2-2 自主返納への考え×活用状況別】



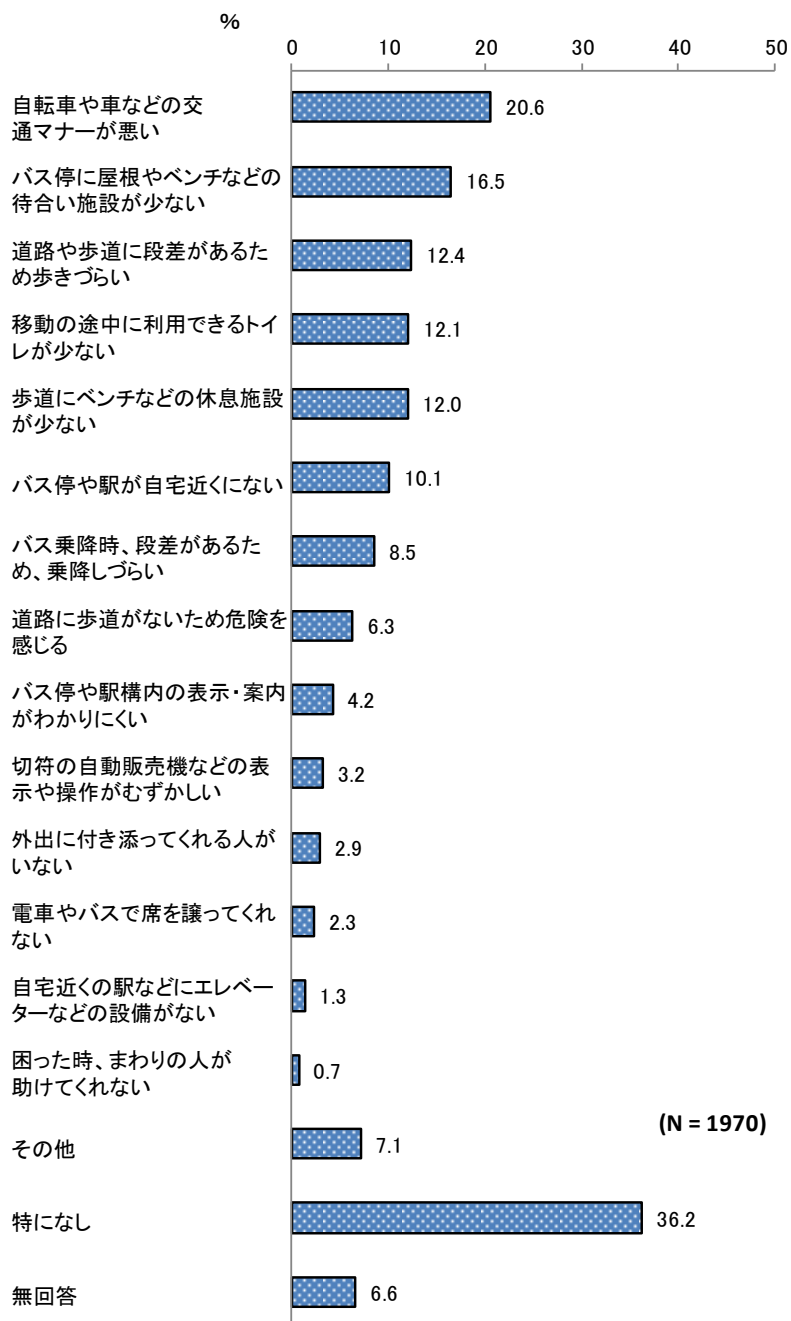
自動車運転免許の自主返納については、「いつか返納してもよいが、いつするかはわからない。」が 60.5%と最も高く、次いで「近い将来返納してもよいと考えている」が 20.7%、「返納することは考えていない」が 14.2%となっている。

活用状況別にみると、運転の頻度が少ない人では普段から運転している人に比べて、「いつでも返納してもよいと考えている」「近い将来返納してもよいと考えている」の割合が高くなっている。

(3) 外出の際に困っていること

問 11 あなたが、徒歩や公共交通機関による外出の際に困っていることは何ですか。
(○はいくつでも)

【図表 2-3-1 外出の際に困っていること】

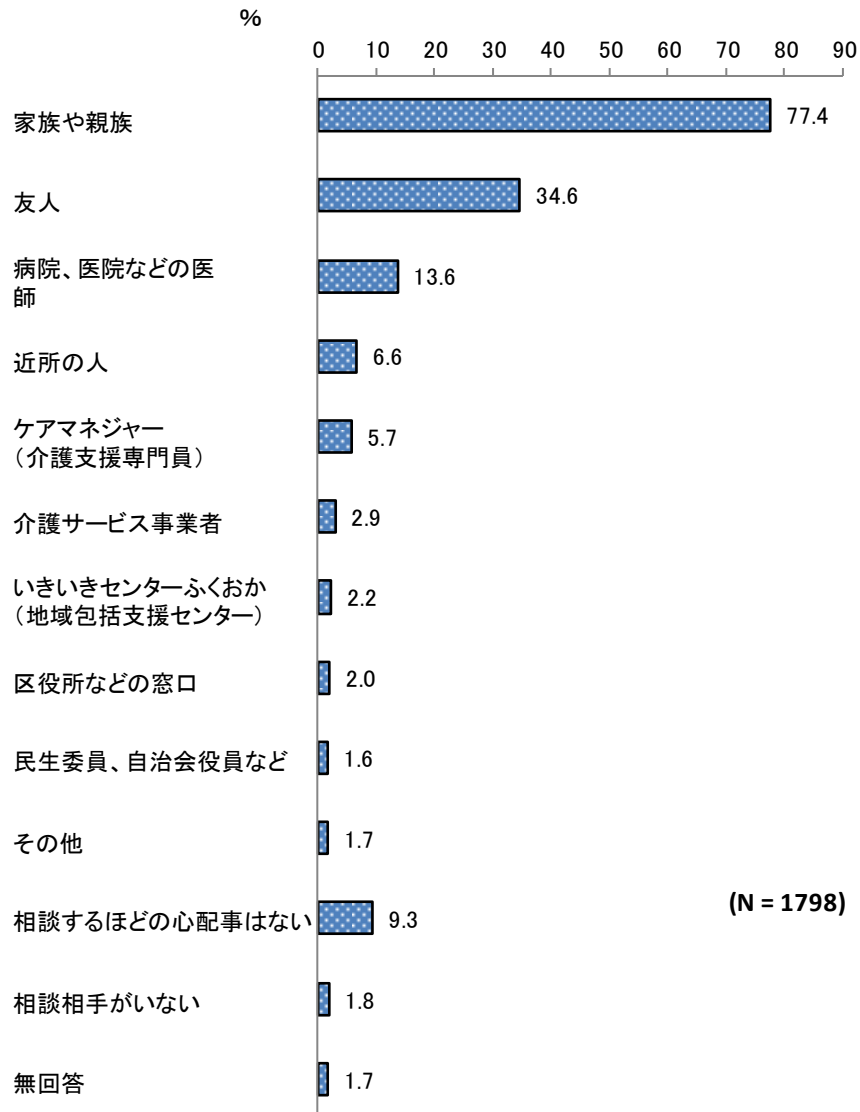


外出の際に困っていることは、「自転車や車などの交通マナーが悪い」が 20.6%、次いで「バス停に屋根やベンチなどの待合い施設が少ない」が 16.5%、「道路や歩道に段差があるため歩きづらい」が 12.4%となっている。なお「特になし」が 36.2%となっている。

(4) 心配事や悩み事の相談相手

問 12 あなたは、困ったことや心配事、悩み事について、誰に相談していますか。
(○はいくつでも)

【図表 2-4-1 心配事や悩み事の相談相手】



心配事や悩み事の相談相手は、「家族や親族」が 77.4%と最も高く、次いで「友人」が 34.6%、「病院、医院などの医師」が 13.6%となっている。

【図表 2-4-2 心配事や悩み事の相談相手×経年比較】

		回答数	家族や親族	友人や知人、近所の人（令和元年調査まで）	友人（令和4年調査）	近所の人（令和4年調査）	民生委員、自治会役員など	区役所などの窓口	いきいきセンター（地域包括支援センター）	(%)
全 体		1970	77.4		34.6	6.6	1.6	2.0	2.2	
経 年	令和4年度	1798	77.8		35.5	4.8	1.6	2.6	2.5	
	令和元年度	1866	74.6	34.0			1.7	1.6	2.6	
	平成28年度	1897	73.6	26.8			1.3	1.3	2.1	
	平成25年度	2985	70.8	28.6			1.9	2.3	2.1	
	平成22年度	2939	67.2	23.1			1.0	1.6	1.3	
	平成19年度	3161	60.5	19.6			0.9	1.2		
	平成16年度	2722	64.9	18.6			1.0	1.8		

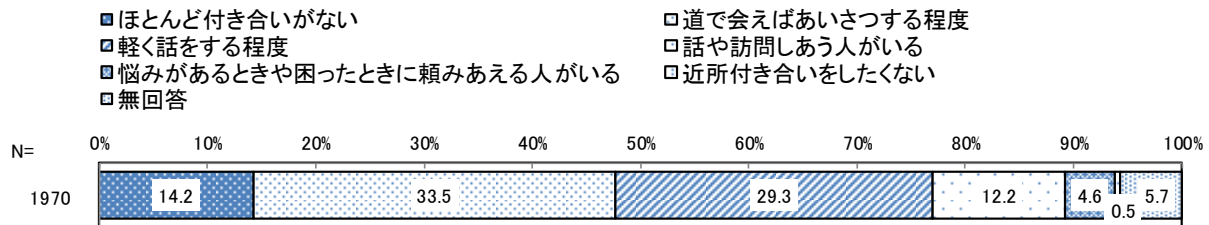
		回答数	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護サービス事業者	病院、医院などの医師	その他	相談するほどの心配事はない	相談相手がいない	無回答
全 体		1970	5.7	2.9	13.6	1.7	9.3	1.8	1.7
経 年	令和4年度	1798	4.3	2.4	11.7	2.1	9.2	2.6	1.7
	令和元年度	1866	5.9	2.8	13.4	1.8	12.8	1.7	1.8
	平成28年度	1897	5.3	3.3	11.6	1.9	12.1	1.8	2.6
	平成25年度	2985	4.3	1.9	11.8	1.2	2.4	14.4	2.3
	平成22年度	2939	3.3	1.9	12.2	0.7	2.4	17.7	3.6
	平成19年度	3161	3.9	2.2	16.1	1.1	3.8	20.4	3.0
	平成16年度	2722	3.0	1.8	12.2	1.2	2.9	21.0	2.7

令和4年度調査との比較では、特に大きな変化はみられない。

(5) 近所付き合い

問 13 あなたの近所との付き合いで最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

【図表 2-5-1 近所付き合い】



近所付き合いの程度は、「ほとんど付き合いがない」と「道で会えばあいさつする程度」を合わせた『近所付き合いが少ない』は 47.7%、一方、「話や訪問しあう人がある」と「悩みがあるときや困ったときに頼みあえる人がある」を合わせた『近所付き合いが多い』は 16.8%となっている。

【図表 2-5-2 近所付き合い×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	ほとんど付き合いがない	道で会えばあいさつする程度	軽く話をする程度	話や訪問しあう人がある	悩みがあるときや困ったときに頼みあえる人がある	近所付き合いをしたくない	無回答 (%)
全 体		1970	14.2	33.5	29.3	12.2	4.6	0.5	5.7
性別	男性	812	16.3	43.5	26.8	7.3	2.2	0.5	3.4
	女性	1138	12.7	26.4	31.2	15.6	6.3	0.4	7.4
年齢別	65～69歳	446	14.8	40.8	30.7	8.7	2.0	0.0	2.9
	70～74歳	478	11.7	37.4	30.3	11.1	3.3	1.0	5.0
	75～79歳	493	13.8	30.8	28.4	13.8	7.1	0.2	5.9
	80～84歳	270	10.4	28.1	31.9	17.0	5.9	0.4	6.3
	85～89歳	172	16.9	24.4	25.0	13.4	5.2	1.2	14.0
	90歳以上	87	34.5	26.4	23.0	5.7	5.7	0.0	4.6
世帯構成別	一人暮らし世帯	533	21.2	25.0	25.7	13.5	6.4	0.6	7.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	8.9	37.9	33.3	11.4	3.9	0.4	4.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	14.1	47.4	20.5	9.0	3.8	0.0	5.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	24.0	24.0	32.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	二世帯同居世帯	325	12.9	36.6	28.6	13.2	3.7	0.9	4.0
	三世帯同居世帯	44	9.1	31.8	38.6	6.8	6.8	0.0	6.8
	その他の世帯	84	22.6	28.6	25.0	13.1	6.0	0.0	4.8

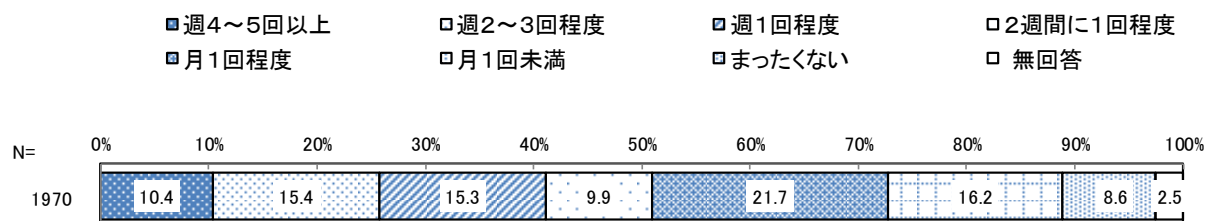
年齢別にみると、90歳以上では『近所付き合いが少ない』(60.9%)が比較的高い。

世帯構成別にみると、夫婦だけの世帯、二世帯同居、三世帯同居世帯では「道で会えばあいさつする程度」の割合が3割強から5割近くで、他と比べて高くなっている。

（6）同居していない家族や友人との付き合い

問 14 あなたは同居していない家族や友人と、どの程度直接会って話をしていますか。
（○は1つ）

【図表 2-6-1 同居していない家族や友人との付き合い】

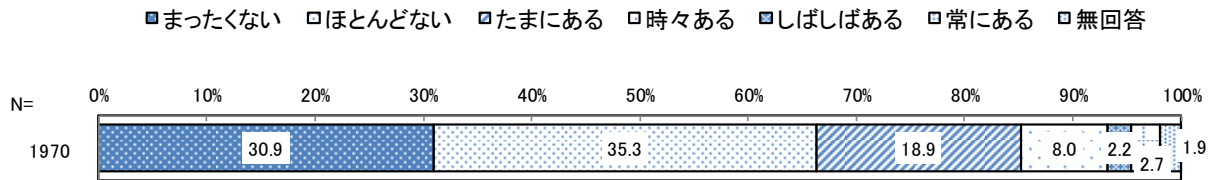


同居していない家族や友人との付き合いの頻度は、「月1回程度」が21.7%と最も高く、次いで「月1回未満」が16.2%、「週2～3回程度」が15.4%となっている。

(7) 孤独感

問 15 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

【図表 2-7-1 孤独感】



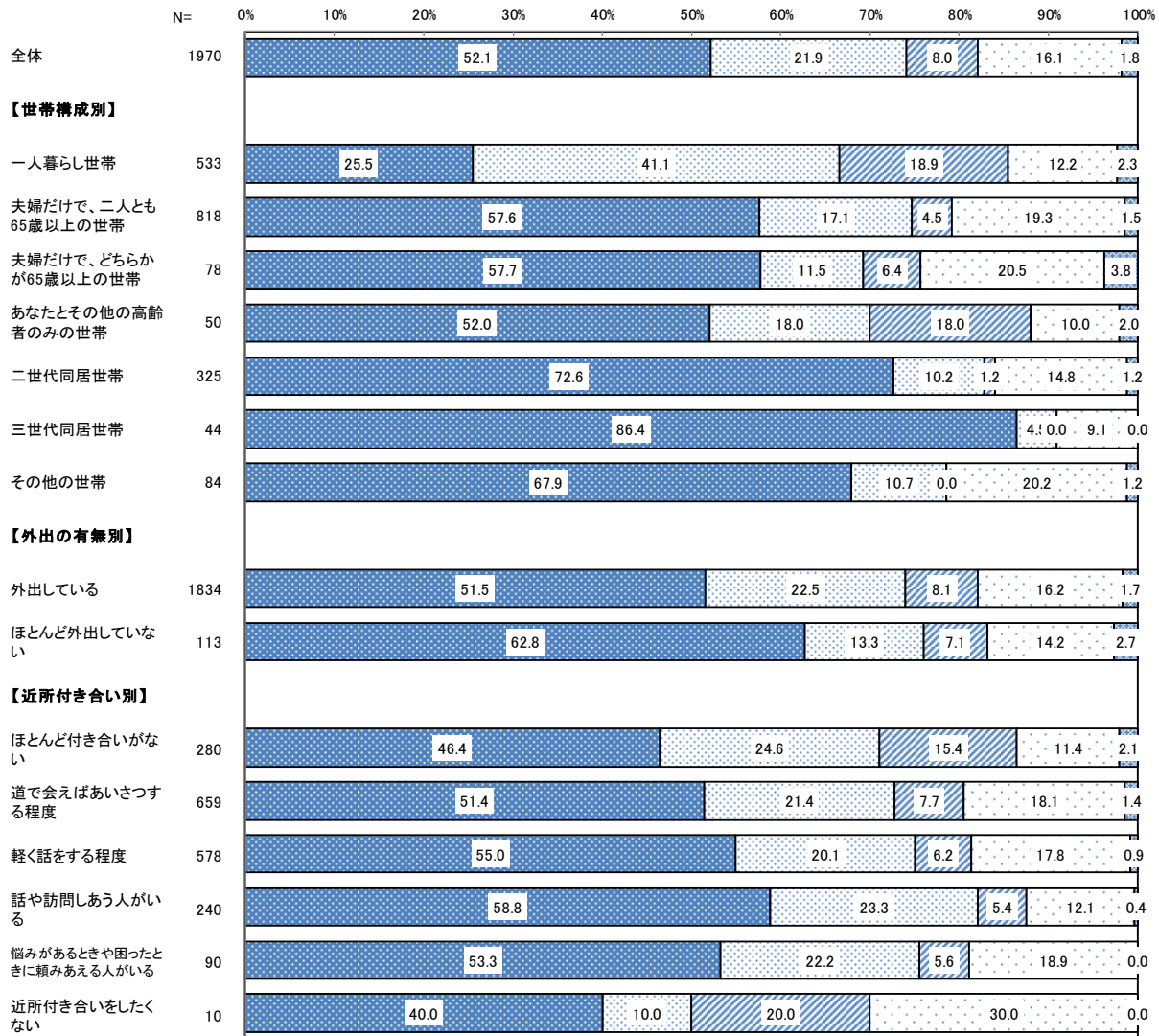
孤独感を感じることは、「ほとんどない」が 35.3%と最も高く、次いで「まったくない」が 30.9%、「たまにある」が 18.9%となっている。

(8) 孤立死

① 孤立死する可能性

問 16 あなたは、ご自身が孤立死する可能性があると思いますか。(○は1つ)

【図表 2-8-1 孤立死する可能性×世帯構成別・外出の有無別・近所付き合い別】
 ■ほとんど可能性はない □多少の可能性はある ▨十分可能性はある □わからない ■無回答



孤立死する可能性の認識は、「ほとんど可能性はない」が 52.1%で最も高く、次いで「多少の可能性はある」と「十分可能性はある」を合わせた『可能性がある』が 29.9%となっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では『可能性がある』(60.0%)が他に比べ高く、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「ほとんど可能性はない」が7割を超え、比較的高くなっている。

外出の有無別にみると、ほとんど外出していない人では、「ほとんど可能性はない」が 62.8%と、外出している人に比べて高くなっている。

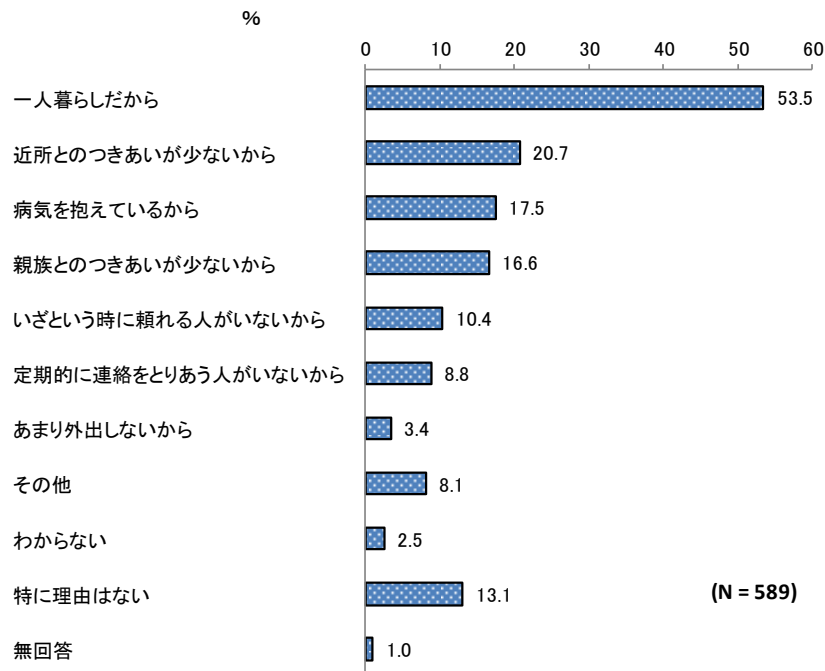
近所付き合い別にみると、ほとんど付き合いがない人では「ほとんど可能性はない」が4割半ばと、付き合いのある人に比べて低くなっている。

②孤立死する可能性がある理由

【問16】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問16-1 主な理由は、次のどれに当たりますか。(○はいくつでも)

【図表 2-8-2 孤立死する可能性がある理由】



孤立死する可能性がある理由は、「一人暮らしだから」が53.5%で最も高く、次いで「近所とのつきあいが少ないから」が20.7%、「病気を抱えているから」が17.5%となっている。

【図表 2-8-3 孤立死する可能性がある理由×性別・年齢別・世帯構成別】

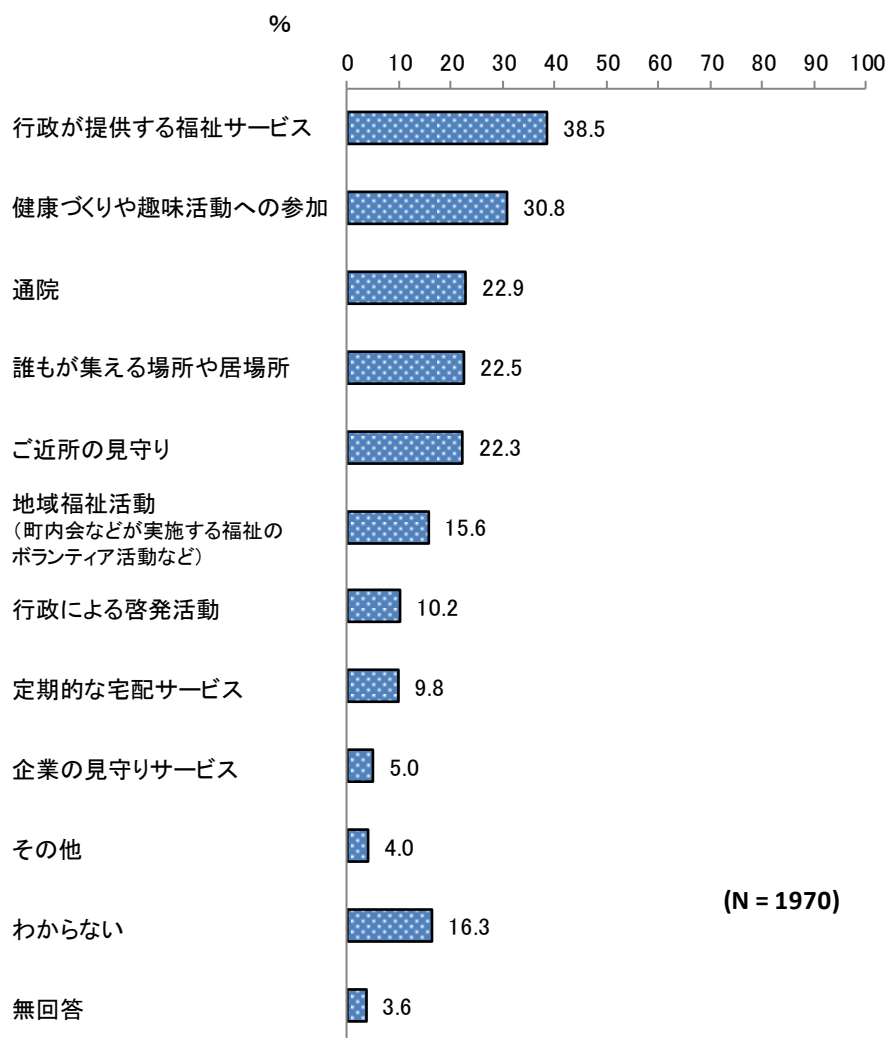
		回答数	一人暮らしだから	少親族とのつきあいが	近所とのつきあいが	定期的な連絡をとりあう人がいないから	いざという時に頼れる人がいないから	あまり外出しないから	病気を抱えているから	その他	わからない	特に理由はない	無回答
全 体		589	53.5	16.6	20.7	8.8	10.4	3.4	17.5	8.1	2.5	13.1	1.0
性別	男性	244	46.3	18.0	20.1	10.7	11.5	3.3	15.6	7.4	3.3	17.6	0.4
	女性	336	58.6	15.5	20.8	7.1	9.2	3.6	18.8	8.6	2.1	10.1	1.5
年齢別	65～69歳	149	48.3	18.1	26.8	10.7	14.8	0.7	16.1	14.1	2.7	14.8	0.0
	70～74歳	148	51.4	16.2	16.9	7.4	9.5	3.4	16.9	8.8	1.4	17.6	0.0
	75～79歳	128	58.6	16.4	23.4	5.5	11.7	3.9	19.5	6.3	1.6	9.4	2.3
	80～84歳	82	58.5	17.1	19.5	12.2	6.1	6.1	15.9	2.4	3.7	8.5	2.4
	85～89歳	56	51.8	14.3	12.5	7.1	5.4	5.4	21.4	5.4	7.1	12.5	1.8
	90歳以上	17	58.8	11.8	5.9	11.8	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	17.6	0.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	320	93.4	12.8	19.4	8.8	8.8	3.1	16.9	2.2	0.3	2.2	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	177	4.0	21.5	22.6	8.5	11.9	5.1	17.5	14.1	4.0	28.8	2.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	14	0.0	21.4	21.4	0.0	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	42.9	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	18	11.1	27.8	33.3	11.1	27.8	0.0	16.7	22.2	5.6	22.2	0.0
	二世帯同居世帯	37	0.0	18.9	10.8	10.8	8.1	2.7	27.0	18.9	10.8	21.6	0.0
	三世帯同居世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他の世帯	9	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0

性別にみると、女性では「一人暮らしだから」(58.6%)が男性に比べ高くなっている。

(9) 孤立死防止策

問 17 あなたが、孤立死防止策として必要と思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-9-1 孤立死防止策】



孤立死防止策は、「行政が提供する福祉サービス」が 38.5%と最も高く、次いで「健康づくりや趣味活動への参加」が 30.8%、「通院」が 22.9%となっている。

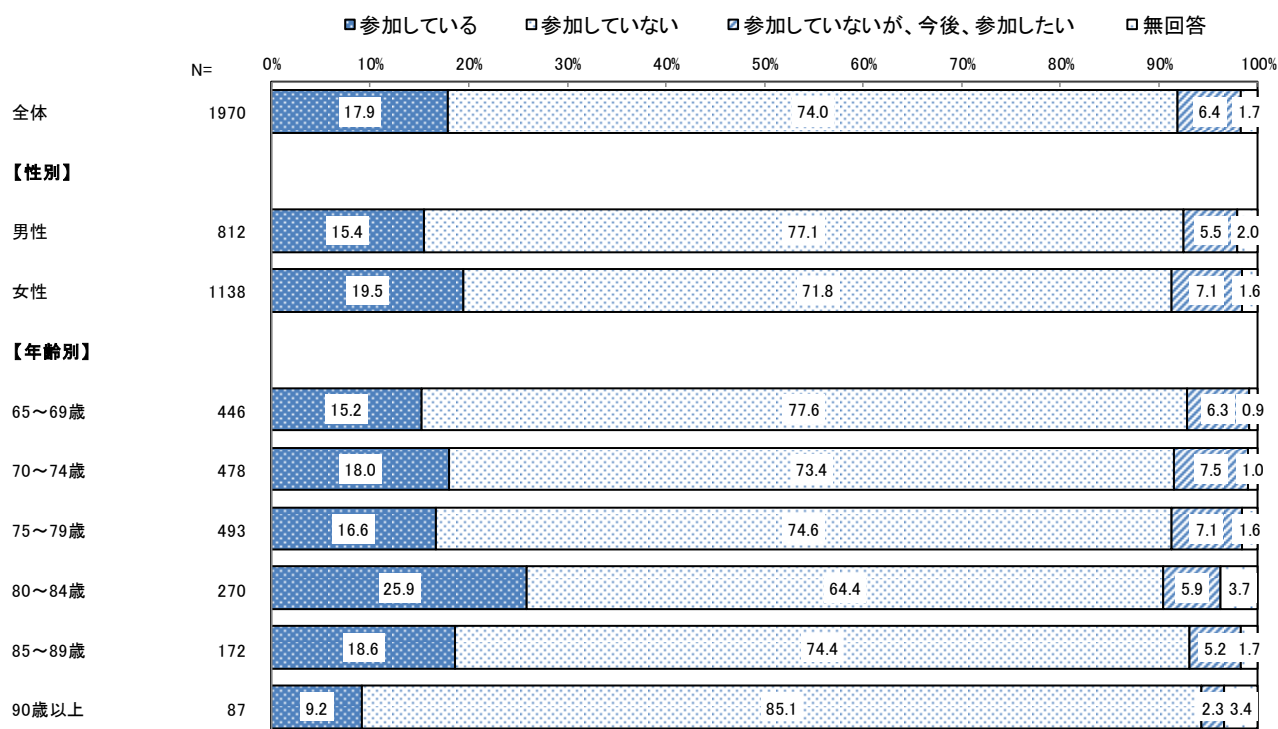
【図表 2-9-2 孤立死防止策×性別・年齢別・世帯構成別】

															(%)
		回答数	行政が提供する福祉サービス	行政による啓発活動	通院	ご近所の見守り	誰もが集える場所や居場所	誰のボランティア活動など（地域の福祉活動、町内会など）が実施する福祉活動	健康づくりや趣味活動への参加	定期的な宅配サービス	企業の見守りサービス	その他	わからない	無回答	
全 体		1970	38.5	10.2	22.9	22.3	22.5	15.6	30.8	9.8	5.0	4.0	16.3	3.6	
性別	男性	812	38.7	12.1	21.3	20.8	19.7	16.1	27.1	9.1	5.5	3.6	16.9	3.3	
	女性	1138	38.5	8.9	24.0	23.5	24.7	15.5	33.5	10.5	4.7	4.4	15.6	3.7	
年齢別	65～69歳	446	43.5	11.7	14.8	22.2	27.6	19.3	37.2	13.7	8.1	6.3	15.0	0.9	
	70～74歳	478	38.7	10.7	22.6	21.1	24.1	16.9	31.6	10.7	6.1	3.3	16.3	1.7	
	75～79歳	493	35.5	10.3	25.8	24.3	22.1	13.6	30.2	7.1	3.0	3.2	15.0	3.2	
	80～84歳	270	37.0	10.4	30.0	21.5	20.7	16.7	30.7	6.7	3.0	1.1	15.9	6.7	
	85～89歳	172	37.2	6.4	25.0	25.6	17.4	12.8	23.8	12.2	4.7	5.8	18.6	8.7	
	90歳以上	87	36.8	6.9	24.1	14.9	8.0	5.7	11.5	8.0	2.3	6.9	21.8	9.2	
世帯構成別	一人暮らし世帯	533	36.0	9.9	21.2	17.3	19.5	12.6	26.1	10.9	5.3	4.9	17.1	4.3	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	40.2	11.2	24.2	24.8	24.4	16.6	35.8	9.7	5.1	3.3	14.4	3.1	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	38.5	11.5	9.0	20.5	29.5	23.1	38.5	10.3	7.7	2.6	17.9	3.8	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	36.0	8.0	18.0	22.0	16.0	20.0	22.0	10.0	2.0	6.0	24.0	0.0	
	二世帯同居世帯	325	40.3	9.5	26.2	22.8	22.8	18.2	30.2	10.2	4.0	3.1	15.7	3.4	
	三世帯同居世帯	44	34.1	6.8	22.7	31.8	27.3	9.1	18.2	6.8	9.1	9.1	15.9	2.3	
	その他の世帯	84	36.9	8.3	25.0	23.8	20.2	10.7	22.6	9.5	6.0	7.1	22.6	1.2	

(10) 地域福祉活動の参加状況

問 18 あなたは、地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）に参加していますか。（○は1つ）

【図表 2-10-1 地域福祉活動の参加状況×性別・年齢別】



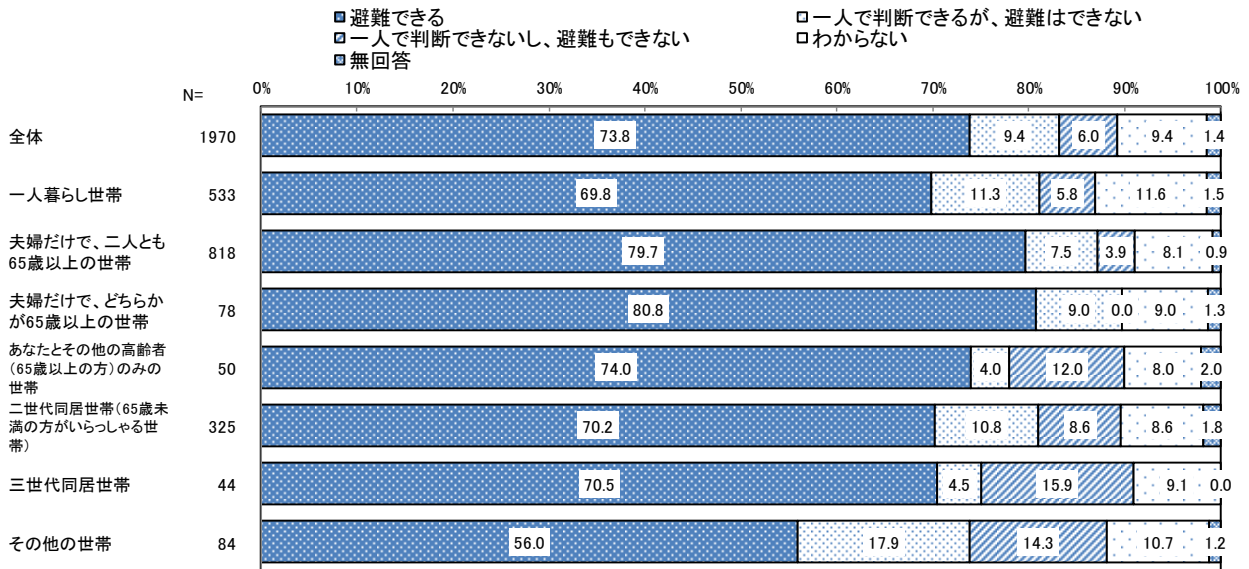
地域福祉活動の参加状況は、「参加していない」が 74.0%と最も高く、次いで「参加している」が 17.9%、「参加していないが、今後、参加したい」が 6.4%となっている。

年齢別にみると、90歳以上では「参加していない」の割合が8割半ばで他と比べて高くなっている。80～84歳では「参加している」が2割半ばと比較的高くなっている。

(11) 災害時における一人での避難

問 19 あなたは、災害時に、一人で避難することができますか。(○は1つ)

【図表 2-11-1 災害時における一人での避難×世帯構成別】



災害時における一人での避難は、「避難できる」が 73.8%と最も高く、次いで「一人で判断できるが、避難はできない」及び「わからない」が 9.4%となっている。

【図表 2-11-2 災害時における一人での避難
×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

							(%)
		回 答 数	避 難 で き る	一 人 で 判 断 で き る が、 避 難 は で き な い	一 人 で 判 断 で き な い し、 避 難 も で き な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1970	73.8	9.4	6.0	9.4	1.4
性 別	男性	812	82.9	5.7	3.6	6.3	1.6
	女性	1138	67.3	12.1	7.8	11.5	1.2
年 齢 別	65～69歳	446	87.0	3.4	2.0	7.0	0.7
	70～74歳	478	81.4	7.3	1.3	8.8	1.3
	75～79歳	493	74.8	8.1	4.5	11.4	1.2
	80～84歳	270	69.3	14.4	4.8	8.5	3.0
	85～89歳	172	47.7	20.3	19.2	11.6	1.2
	90歳以上	87	23.0	23.0	40.2	11.5	2.3
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	533	69.8	11.3	5.8	11.6	1.5
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	818	79.7	7.5	3.9	8.1	0.9
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	78	80.8	9.0	0.0	9.0	1.3
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	50	74.0	4.0	12.0	8.0	2.0
	二世帯同居世帯	325	70.2	10.8	8.6	8.6	1.8
	三世帯同居世帯	44	70.5	4.5	15.9	9.1	0.0
	その他の世帯	84	56.0	17.9	14.3	10.7	1.2
要 介 護 度 別	要介護認定の申請は していない	1609	83.0	6.4	0.9	8.7	1.0
	要介護認定を申請し たが、非該当(自立) だった	10	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0
	要支援1	92	46.7	27.2	9.8	15.2	1.1
	要支援2	43	18.6	46.5	27.9	7.0	0.0
	要介護1	43	18.6	25.6	46.5	7.0	2.3
	要介護2	37	5.4	21.6	51.4	13.5	8.1
	要介護3	27	7.4	7.4	74.1	7.4	3.7
	要介護4	18	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0
	要介護5	12	16.7	8.3	66.7	0.0	8.3
	わからない	49	57.1	10.2	8.2	22.4	2.0

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「避難できる」の割合が低くなっている。

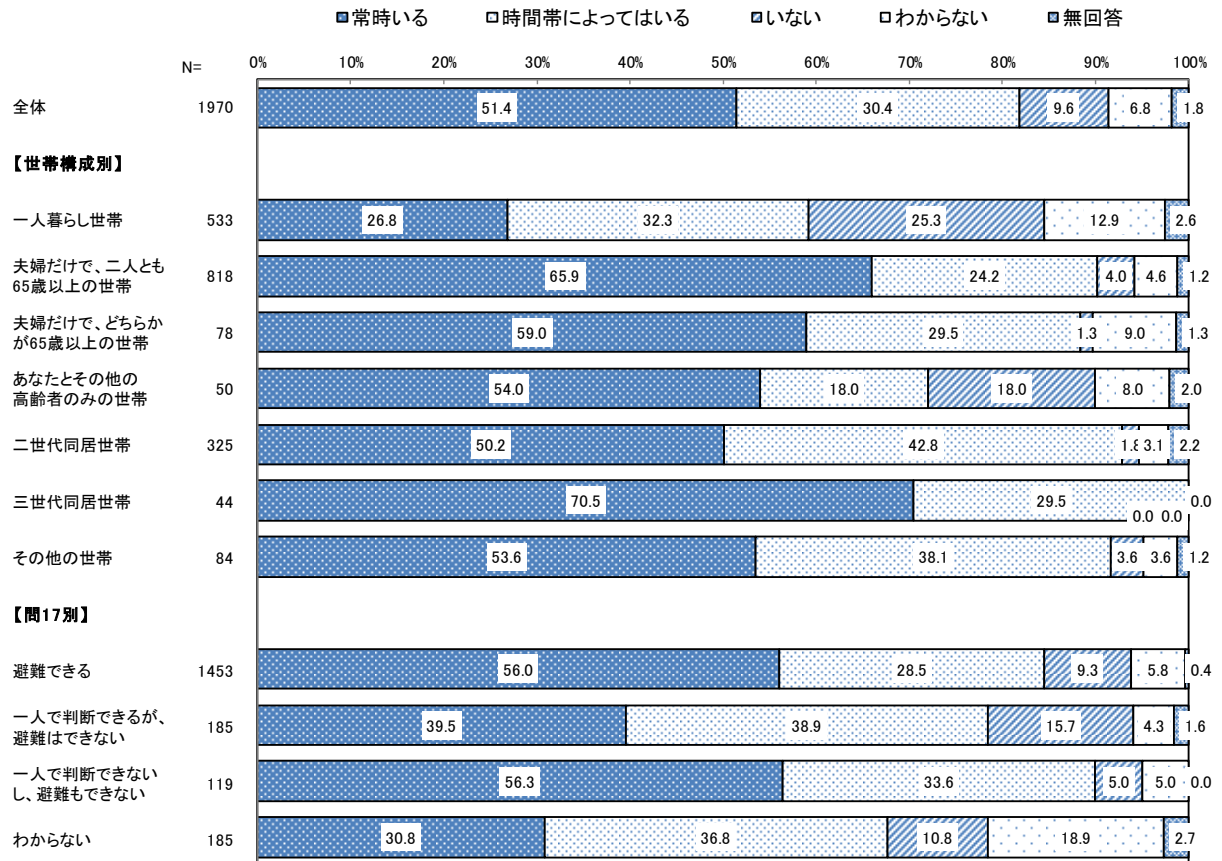
世帯構成別にみると、その他の世帯では『避難できない』の割合が 32.2%であり、他と比べて高くなっている。

要介護度別にみると、要支援 2 及び要介護 1～5 では『避難できない』が 7 割強から 8 割強で、より軽度の人に比べ高くなっている。

(12) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無

問 20 あなたには、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。
 (○は1つ)

【図表 2-12-1 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無×世帯構成別・問17別】



災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無は、「常時いる」が 51.4%と最も高く、次いで「時間帯によってはいる」が 30.4%、「いない」が 9.6%となっている。

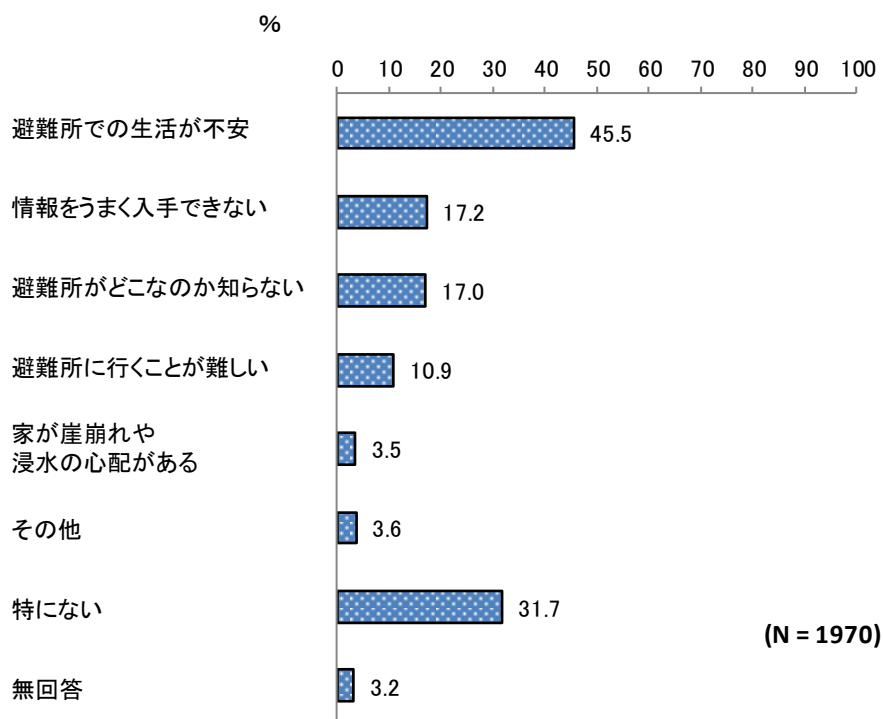
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「常時いる」(26.8%) が他と比べて低く、「いない」(25.3%) が他と比べて高くなっている。

災害時や緊急時における一人での避難別にみると、一人で判断できるが、避難はできない人、わからない人では「常時いる」が 3 割台で他と比べて低くなっている。

(13) 災害時の心配事や問題点

問 21 あなたには、災害が起きた時の心配事や問題点がありますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-13-1 災害時の心配事や問題点】



災害時の心配事や問題点は、全体で「避難所での生活が不安」が 45.5%と最も高く、次いで「情報をうまく入手できない」が 17.2%、「避難所がどこなのか知らない」が 17.0%となっている。なお、「特にない」が 31.7%となっている。

【図表 2-13-2 災害時の心配事や問題点×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

		(%)								
		回答数	き情報 ないを うまく 入手で	難避 し難 い所 に行 くこ とが	安避 難所 での 生活 が不	知避 難所 がど こな のか	心家が 配が ある 崖崩 れや 浸水 の	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		1970	17.2	10.9	45.5	17.0	3.5	3.6	31.7	3.2
性 別	男性	812	13.1	6.9	36.2	17.2	3.8	2.5	41.9	2.8
	女性	1138	19.9	13.8	52.5	17.0	3.3	4.4	24.3	3.3
年 齢 別	65～69歳	446	13.9	5.2	50.0	13.0	4.9	3.8	33.0	0.9
	70～74歳	478	17.6	6.7	48.1	16.5	2.9	2.7	32.6	2.9
	75～79歳	493	14.8	10.5	45.8	19.1	4.1	2.8	32.7	1.8
	80～84歳	270	20.7	12.6	38.5	18.5	1.5	4.8	32.2	6.3
	85～89歳	172	22.1	26.2	45.9	20.9	4.1	4.7	23.8	6.4
	90歳以上	87	20.7	31.0	31.0	17.2	1.1	5.7	27.6	8.0
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	533	19.5	12.6	43.9	21.0	2.1	3.8	28.1	3.8
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	818	15.3	8.7	46.5	16.9	3.7	3.2	33.4	2.3
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	78	10.3	2.6	41.0	9.0	3.8	0.0	44.9	2.6
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	50	22.0	14.0	44.0	12.0	6.0	6.0	38.0	2.0
	二世帯同居世帯	325	18.8	13.5	50.8	14.5	3.4	4.0	28.9	4.6
	三世帯同居世帯	44	9.1	9.1	43.2	13.6	15.9	2.3	34.1	0.0
	その他の世帯	84	17.9	19.0	44.0	15.5	3.6	7.1	29.8	2.4
要 介 護 度 別	要介護認定の申請は していない	1609	15.7	6.0	45.3	16.3	3.5	3.3	34.6	2.4
	要介護認定を申請し たが、非該当(自立) だった	10	20.0	20.0	60.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	要支援1	92	25.0	30.4	50.0	20.7	2.2	5.4	17.4	5.4
	要支援2	43	23.3	55.8	51.2	27.9	0.0	4.7	9.3	4.7
	要介護1	43	37.2	27.9	67.4	27.9	2.3	0.0	14.0	4.7
	要介護2	37	24.3	51.4	51.4	16.2	5.4	5.4	16.2	8.1
	要介護3	27	29.6	55.6	51.9	22.2	3.7	3.7	18.5	3.7
	要介護4	18	11.1	33.3	33.3	11.1	0.0	16.7	27.8	5.6
	要介護5	12	25.0	41.7	58.3	25.0	0.0	16.7	8.3	8.3
わからない		49	18.4	8.2	28.6	14.3	8.2	4.1	32.7	6.1

性別にみると、女性では「避難所に行くことが難しい」(13.8%)、「避難所での生活が不安」(52.5%)が、男性に比べ高くなっている。

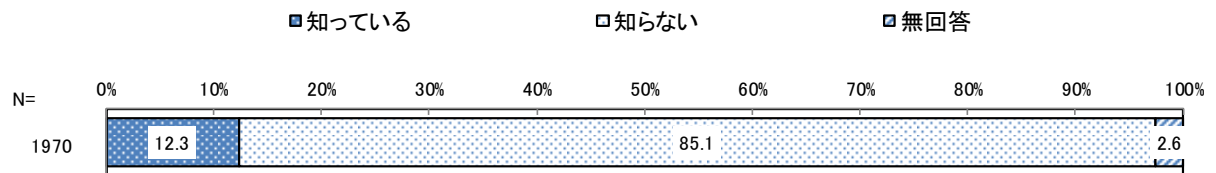
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「避難所に行くことが難しい」の割合が高くなっており、90歳以上では31.0%となっている。

要介護度別にみると、要支援1・2、要介護1～5では、「避難所に行くことが難しい」の割合が3割近くから5割半ばで、要介護認定の申請はしていない人、要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった人に比べて高くなっている。

(14)「個別避難計画」の認知

問 22 あなたは「個別避難計画」を知っていますか。(○は1つ)

【図表 2-14-1 「個別避難計画」の認知】

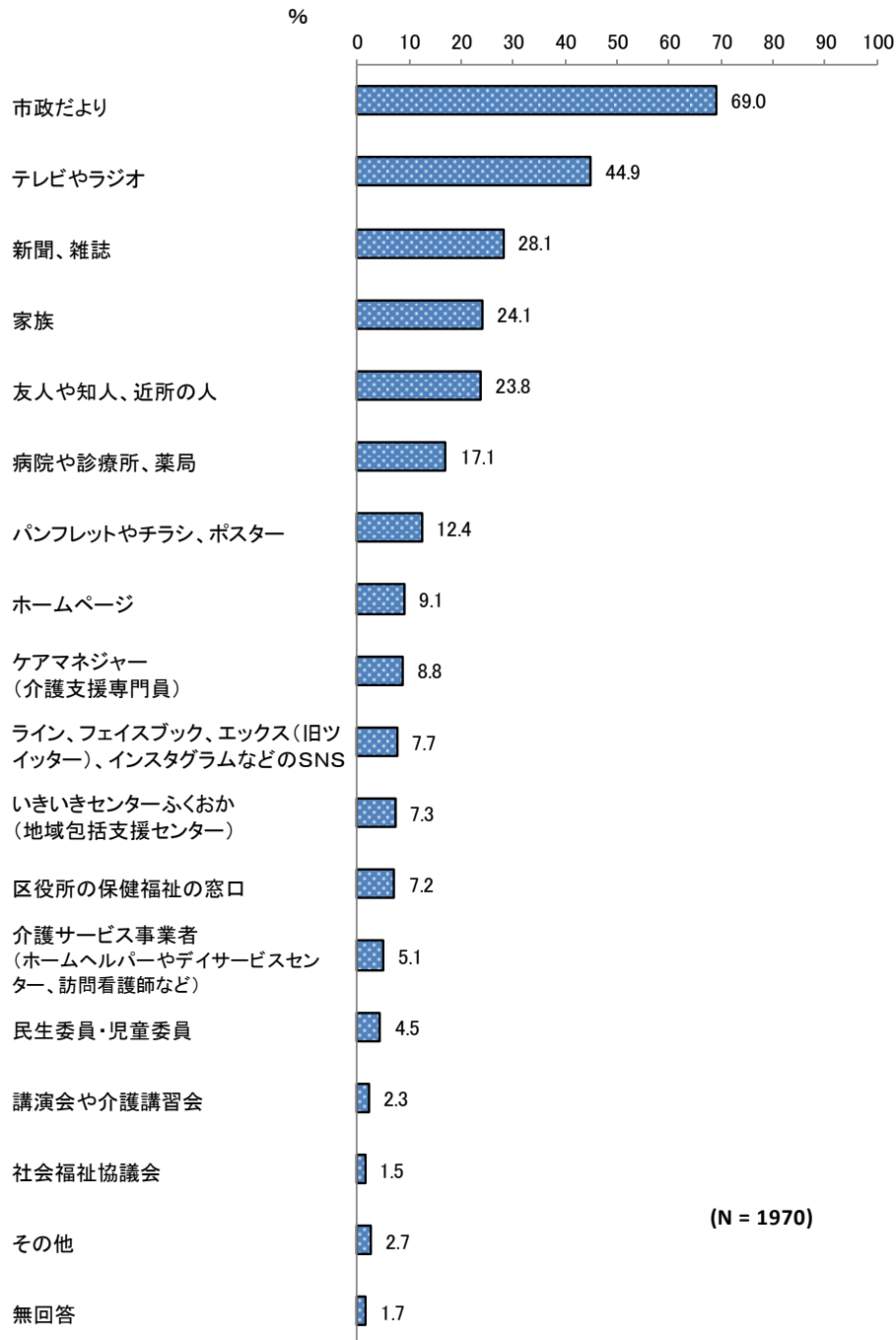


「個別避難計画」の認知は、「知っている」が12.3%、「知らない」が85.1%となっている。

(15) 保健・医療・福祉の情報源

問 23 あなたは、介護保険をはじめ、保健・医療・福祉などについての情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-15-1 保健・医療・福祉の情報源】



保健・医療・福祉の情報源は、「市政だより」が 69.0%と最も高く、次いで「テレビやラジオ」が 44.9%、「新聞、雑誌」が 28.1%となっている。

【図表 2-15-2 保健・医療・福祉の情報源×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	市政だより	テレビやラジオ	新聞、雑誌	パンフレットやチラシ、ポスター	ホームページ	グーグルマップなどのSNS	ライン、フェイスブック、エックス・インスタグラムなどのSNS	窓口 区役所の保健福祉の窓口	いきいきセンター （地域包括支援センター）	ケアマネジャー（介護支援専門員）	(%)
全 体		1970	69.0	44.9	28.1	12.4	9.1	7.7	7.2	7.3	8.8		
性別	男性	812	65.5	44.2	32.6	13.2	13.7	8.3	7.5	4.9	5.9		
	女性	1138	71.6	45.3	24.9	11.9	6.0	7.2	6.9	9.1	10.9		
年齢別	65～69歳	446	66.1	41.0	20.0	13.5	19.1	14.3	7.4	4.9	5.6		
	70～74歳	478	73.4	44.4	26.8	13.6	11.1	8.6	6.7	6.5	5.4		
	75～79歳	493	73.8	51.5	32.5	14.4	5.5	6.3	7.5	6.3	7.1		
	80～84歳	270	67.8	51.1	33.3	11.5	4.4	3.3	8.1	13.0	9.3		
	85～89歳	172	65.7	38.4	39.0	8.1	0.6	2.3	8.7	10.5	20.3		
	90歳以上	87	42.5	23.0	16.1	1.1	1.1	0.0	1.1	8.0	29.9		
世帯構成別	一人暮らし世帯	533	68.1	43.3	22.7	10.5	6.9	6.2	8.1	7.5	8.3		
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	72.1	47.1	32.2	14.7	10.3	8.2	5.6	7.9	7.3		
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	62.8	43.6	23.1	10.3	24.4	16.7	6.4	7.7	3.8		
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	62.0	48.0	24.0	12.0	6.0	10.0	6.0	6.0	14.0		
	二世帯同居世帯	325	69.2	45.2	29.8	12.3	10.2	7.1	9.8	7.7	11.1		
	三世帯同居世帯	44	56.8	38.6	27.3	9.1	0.0	6.8	4.5	0.0	11.4		
	その他の世帯	84	63.1	36.9	26.2	6.0	3.6	4.8	6.0	6.0	16.7		

		回答数	介護サービス事業者、訪問看護師など（ホームヘルパーやデイサービスセンター）	病院や診療所、薬局	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	講演会や介護講習会	友人や知人、近所の	家族	その他	無回答
全 体		1970	5.1	17.1	4.5	1.5	2.3	23.8	24.1	2.7	1.7
性別	男性	812	3.6	17.6	3.9	1.2	1.2	13.8	24.6	3.2	2.5
	女性	1138	6.2	16.9	4.9	1.7	3.1	30.8	23.6	2.3	1.1
年齢別	65～69歳	446	2.9	14.8	2.7	2.2	2.0	22.2	17.7	2.9	0.4
	70～74歳	478	3.1	19.0	4.6	1.3	3.1	23.4	20.9	3.8	1.5
	75～79歳	493	3.4	17.6	3.7	1.0	1.4	26.0	24.3	1.6	2.0
	80～84歳	270	6.3	16.3	5.6	1.9	3.3	29.3	27.8	2.2	3.7
	85～89歳	172	11.6	21.5	8.7	1.7	2.9	18.0	32.6	1.7	1.2
	90歳以上	87	18.4	11.5	6.9	0.0	0.0	12.6	42.5	4.6	2.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	533	4.7	16.1	5.6	2.1	2.6	26.1	15.2	3.8	1.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	818	4.5	17.5	3.9	1.2	2.1	22.1	25.1	2.3	1.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	78	1.3	16.7	6.4	5.1	1.3	16.7	15.4	2.6	1.3
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	50	8.0	12.0	4.0	0.0	0.0	30.0	28.0	0.0	2.0
	二世帯同居世帯	325	6.2	19.4	3.7	0.9	3.4	24.0	31.7	2.2	2.2
	三世帯同居世帯	44	6.8	20.5	2.3	0.0	0.0	25.0	43.2	0.0	2.3
	その他の世帯	84	8.3	15.5	6.0	1.2	2.4	25.0	34.5	4.8	1.2

性別にみると、女性では「友人や知人、近所の人」（30.8％）が男性よりも高く、男性では「ホームページ」（13.7％）が女性に比べ高くなっている。

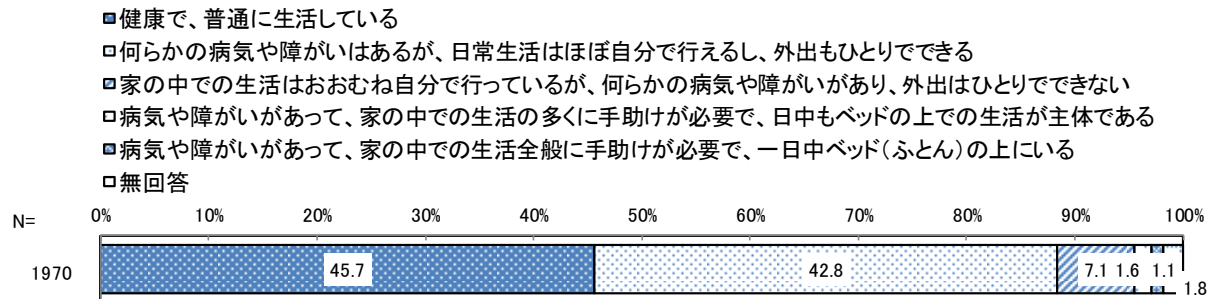
年齢別にみると、年齢が高いほど「家族」「ケアマネジャー（介護支援専門員）」「介護サービス事業者（ホームヘルパーやデイサービスセンター、訪問看護師など）」の割合が概ね高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯では、「ホームページ」（24.4％）が他と比べて高くなっている。

(16) 健康状態

問 24 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 2-16-1 現在の健康状態】



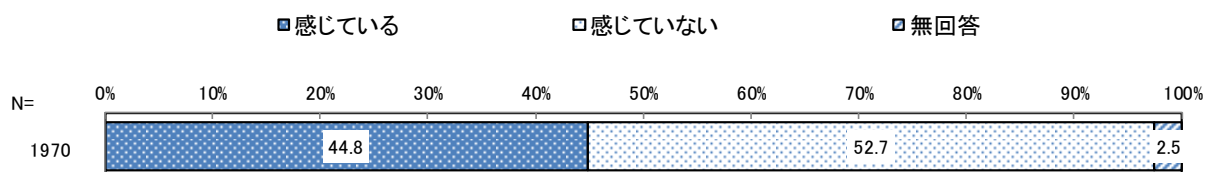
現在の健康状態については、「健康で、普通に生活している」が 45.7%と最も高く、次いで「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」が 42.8%、「家の中での生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない」が 7.1%となっている。

(17) 経済的な不安

①経済的な不安の有無

問 25 あなたは、経済的に不安を感じていますか。(○は1つ)

【図表 2-17-1 経済的な不安の有無】



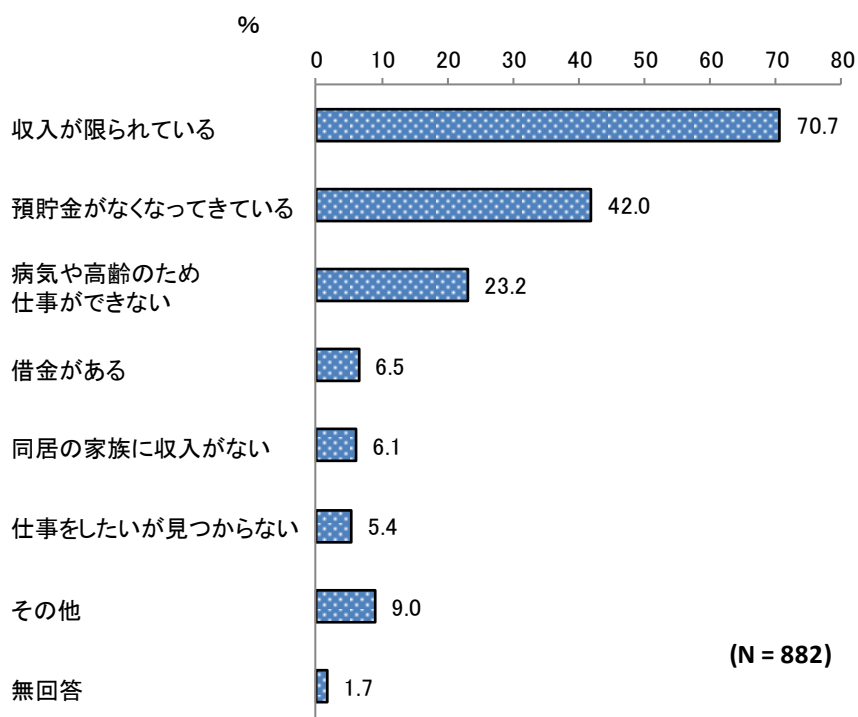
経済的な不安の有無は、「感じている」が 44.8%、「感じていない」が 52.7%となっている。

②経済的な不安を感じる理由

【問 25】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 経済的に不安を感じている主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 2-17-2 経済的な不安を感じる理由】



経済的な不安を感じている主な理由は、「収入が限られている」が 70.7%と最も高く、次いで「預貯金がなくなってきている」が 42.0%、「病気や高齢のため仕事ができない」が 23.2%となっている。

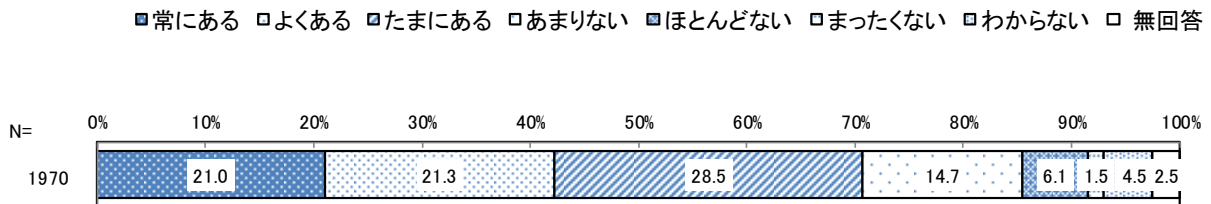
2. 生きがい・社会参加

(1) 生きがい

① 生きがいの有無

問 26 あなたは、現在生きがいを感じるがありますか。(○は1つ)

【図表 2-18-1 生きがいの有無】



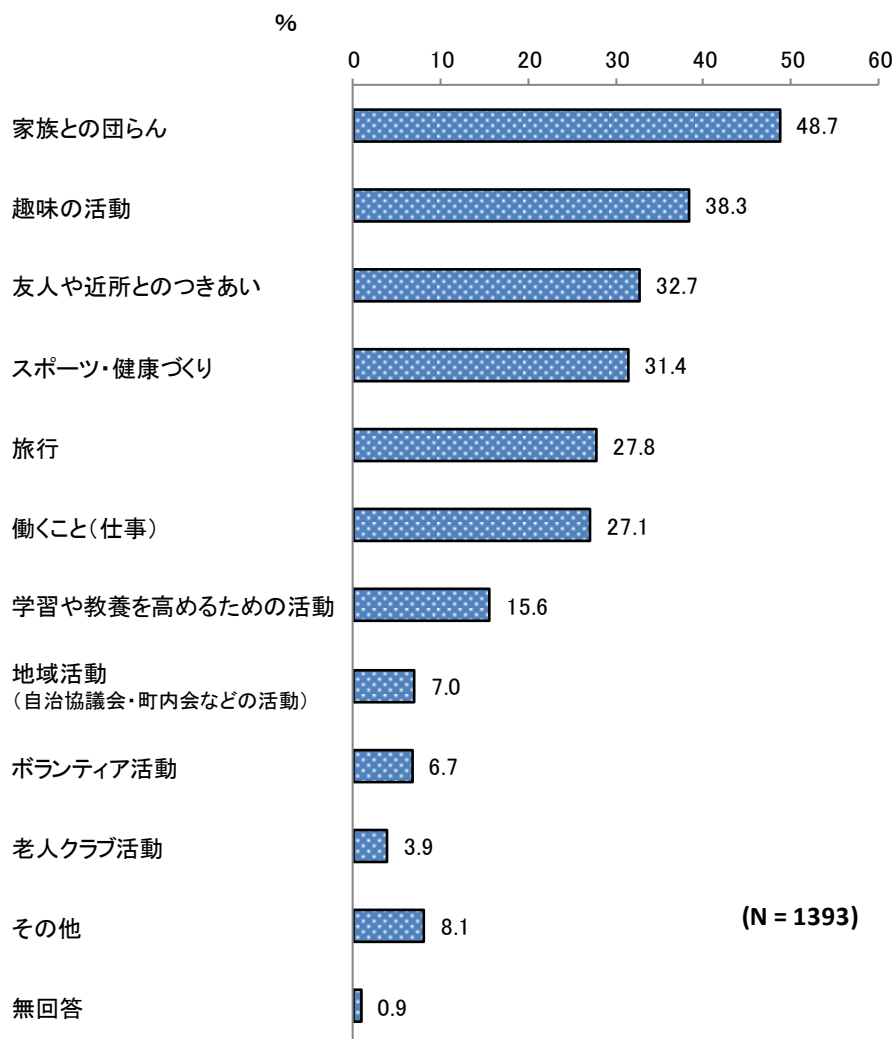
生きがいの有無は、「たまにある」が 28.5%と最も高く、次いで「よくある」が 21.3%、「常にある」が 21.0%となっている。

②生きがいを感じること

【問 26】で「1」～「3」のいずれかと答えた方にうかがいます。

問 26－1 あなたが、現在生きがいを感じるのはどんなことですか。（〇はいくつでも）

【図表 2-18-2 生きがいを感じる こと】



生きがいを感じることは、「家族との団らん」が 48.7%と最も高く、次いで「趣味の活動」が 38.3%、「友人や近所とのつきあい」が 32.7%となっている。

【図表 2-18-3 生きがいを感じる事×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

		回 答 数	学 習 や 教 養 を 高 め る た め の 活 動	リ ス ポ ー ツ ・ 健 康 づ く	趣 味 の 活 動	老 人 ク ラ ブ 活 動	地 域 活 動 （ 自 治 協 議 会 ・ 町 内 会 な ど の 活 動 ）	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	働 く こ と （ 仕 事 ）	(%)
全 体		1393	15.6	31.4	38.3	3.9	7.0	6.7	27.1	
性 別	男性	594	17.7	37.4	43.8	3.9	7.1	5.1	35.9	
	女性	785	14.1	26.9	34.3	3.9	6.8	7.9	20.5	
年 齢 別	65～69歳	339	19.8	34.5	44.8	0.6	7.1	5.6	44.5	
	70～74歳	347	18.2	33.7	36.6	0.9	6.9	7.5	34.3	
	75～79歳	350	12.0	26.6	35.4	3.1	5.4	7.1	22.0	
	80～84歳	198	13.6	35.4	37.4	13.1	8.6	9.6	9.1	
	85～89歳	104	14.4	28.8	39.4	11.5	9.6	1.9	8.7	
	90歳以上	37	2.7	10.8	27.0	0.0	0.0	2.7	0.0	
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	346	15.6	28.9	36.1	3.5	8.1	8.4	23.1	
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	619	15.7	34.1	38.8	4.0	6.0	6.1	26.2	
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	60	20.0	40.0	45.0	1.7	13.3	6.7	51.7	
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	28	3.6	14.3	21.4	3.6	3.6	0.0	32.1	
	二世帯同居世帯	233	15.9	28.8	42.9	4.7	6.0	6.9	30.5	
	三世帯同居世帯	35	17.1	22.9	25.7	0.0	5.7	0.0	28.6	
	その他の世帯	48	14.6	31.3	37.5	8.3	8.3	8.3	18.8	
経 年	令和4年度	1291	17.5	31.2	39.3	2.7	5.5	5.3	34.0	
	令和元年度	1460	18.3	30.0	39.9	5.1	5.8	5.4	31.9	
	平成28年度	1897	15.5	20.0	36.4	4.0	3.5	2.5	27.8	

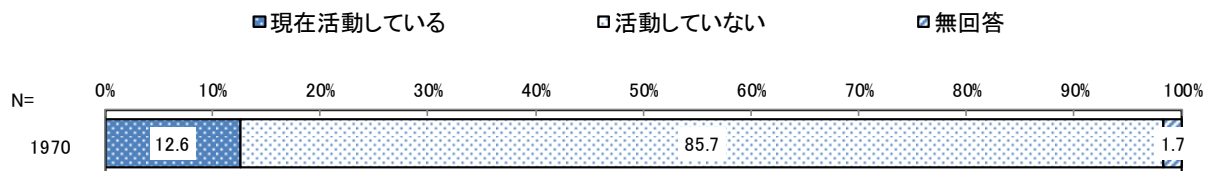
		回答数	家族との団らん	友人や近所とのつきあい	旅行	その他	特にない	無回答
全 体		1393	48.7	32.7	27.8	8.1		0.9
性別	男性	594	47.8	22.9	28.6	5.6		0.8
	女性	785	49.4	39.6	27.4	10.1		1.0
年齢別	65～69歳	339	53.7	33.0	35.4	5.0		0.3
	70～74歳	347	50.7	29.7	30.3	6.9		0.6
	75～79歳	350	50.0	32.9	28.9	8.3		0.3
	80～84歳	198	38.9	34.8	18.7	12.1		2.5
	85～89歳	104	41.3	36.5	16.3	8.7		2.9
	90歳以上	37	43.2	24.3	8.1	21.6		2.7
世帯構成別	一人暮らし世帯	346	24.9	38.7	21.7	10.7		1.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	619	54.6	29.1	30.0	6.8		1.5
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	60	55.0	21.7	41.7	3.3		0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	28	53.6	25.0	14.3	7.1		0.0
	二世帯同居世帯	233	63.5	34.8	26.6	9.4		0.0
	三世帯同居世帯	35	62.9	34.3	37.1	8.6		0.0
	その他の世帯	48	54.2	33.3	35.4	8.3		0.0
経年	令和4年度	1291	51.9	30.5	32.2	7.6		0.5
	令和元年度	1460	47.6	31.4	31.6	7.4		0.5
	平成28年度	1897	40.6	26.3	30.4	4.6	8.9	6.6

(2) ボランティア活動

① ボランティア活動の有無

問 27 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。(○は1つ)

【図表 2-19-1 ボランティア活動の有無】



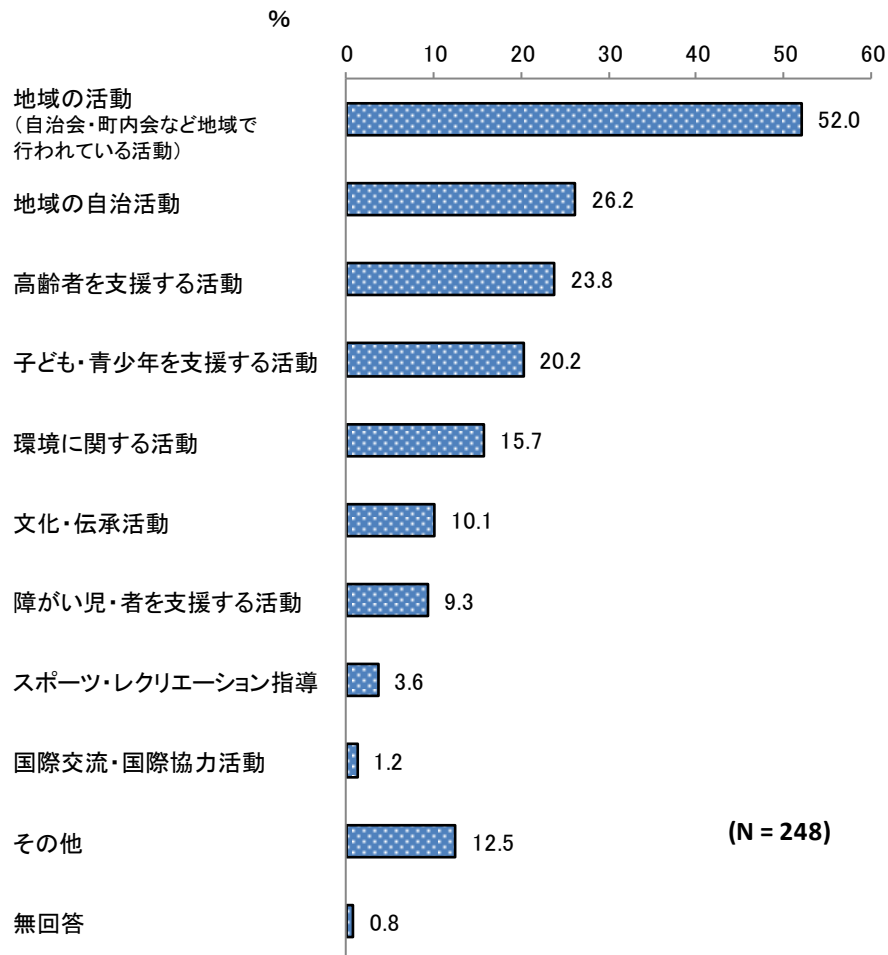
ボランティア活動の有無は、「現在活動している」が 12.6%、「活動していない」が 85.7% となっている。

②ボランティア活動の内容

【問 27】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 27-1 あなたのボランティア活動の内容はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

【図表 2-19-2 ボランティア活動の内容】



ボランティア活動の内容は、「地域の活動（自治会・町内会など地域で行われている活動）」が 52.0%と最も高く、次いで「地域の自治活動」が 26.2%、「高齢者を支援する活動」が 23.8%となっている。

【図表 2-19-3 ボランティア活動の内容×性別・年齢別】

(%)

		回答数	高齢者を支援する活動	障がい児・者を支援する活動	子ども・青少年を支援する活動	環境に関する活動	国際交流・国際協力活動	文化・伝承活動
全 体		248	23.8	9.3	20.2	15.7	1.2	10.1
性別	男性	100	14.0	6.0	20.0	24.0	2.0	15.0
	女性	146	30.8	11.6	20.5	9.6	0.7	6.8
年齢別	65～69歳	61	24.6	16.4	32.8	6.6	0.0	8.2
	70～74歳	66	27.3	6.1	18.2	18.2	3.0	9.1
	75～79歳	59	23.7	5.1	18.6	18.6	1.7	15.3
	80～84歳	43	20.9	11.6	7.0	23.3	0.0	4.7
	85～89歳	16	18.8	6.3	25.0	6.3	0.0	18.8
	90歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答数	地域の自治活動	スポーツ・レクリエーション指導	地域での活動（自治会・町内会などで行われている活動）	その他	無回答
全 体		248	26.2	3.6	52.0	12.5	0.8
性別	男性	100	35.0	2.0	60.0	7.0	1.0
	女性	146	20.5	4.8	46.6	16.4	0.7
年齢別	65～69歳	61	29.5	1.6	55.7	16.4	0.0
	70～74歳	66	28.8	6.1	54.5	13.6	0.0
	75～79歳	59	20.3	3.4	45.8	10.2	1.7
	80～84歳	43	27.9	2.3	53.5	11.6	0.0
	85～89歳	16	18.8	6.3	43.8	6.3	6.3
	90歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

性別にみると、男性では「地域の活動（自治会・町内会など地域で行われている活動）」（60.0%）、「地域の自治活動」（35.0%）、「環境に関する活動」（24.0%）が女性に比べ高く、女性では「高齢者を支援する活動」（30.8%）が男性に比べ高くなっている。

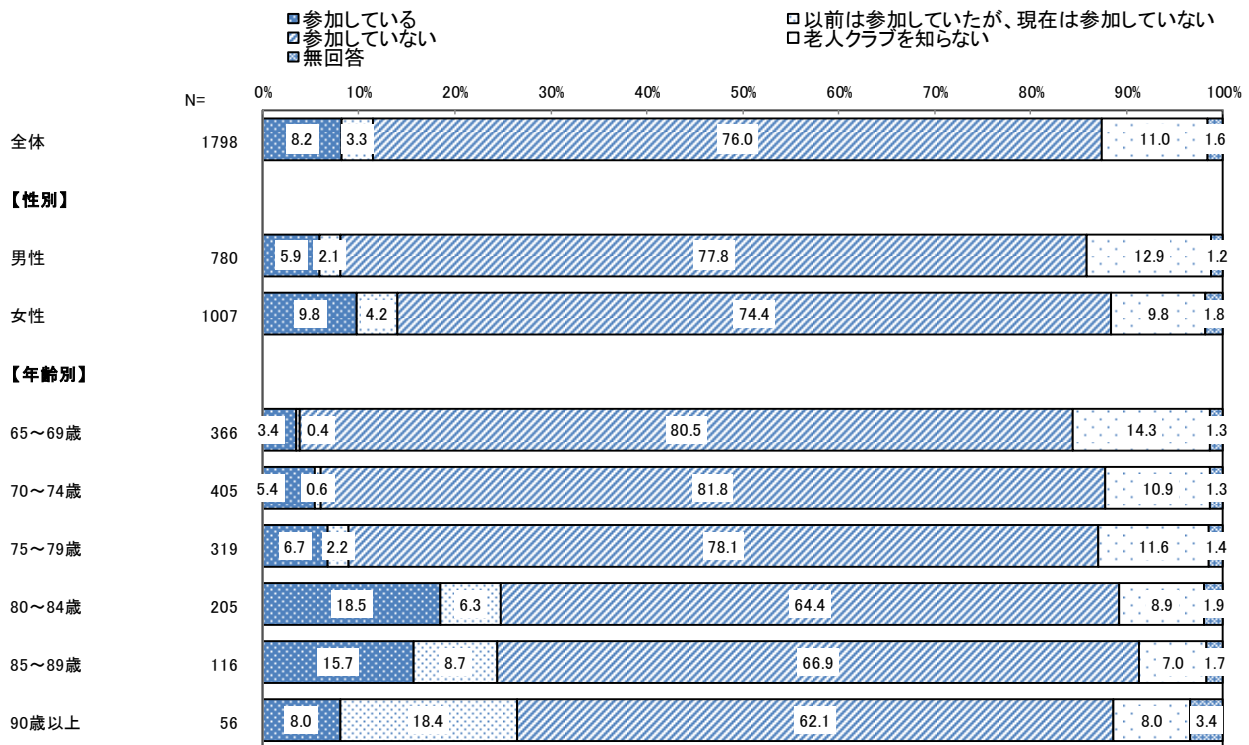
年齢別にみると 65～69 歳では「子ども・青少年を支援する活動」（32.8%）が他と比べて高くなっている。

(3) 老人クラブ活動

① 老人クラブ活動の有無

問 28 あなたは、老人クラブに参加していますか。(○は1つ)

【図表 2-20-1 老人クラブ活動の有無×性別・年齢別】



老人クラブ活動の有無は、「参加していない」が 76.0%と最も高く、次いで「老人クラブを知らない」が 11.0%、「参加している」が 8.2%となっている。

性別にみると、女性では「参加している」が 1 割弱を占め、男性よりも「参加していない」「知らない」の割合が低くなっている。

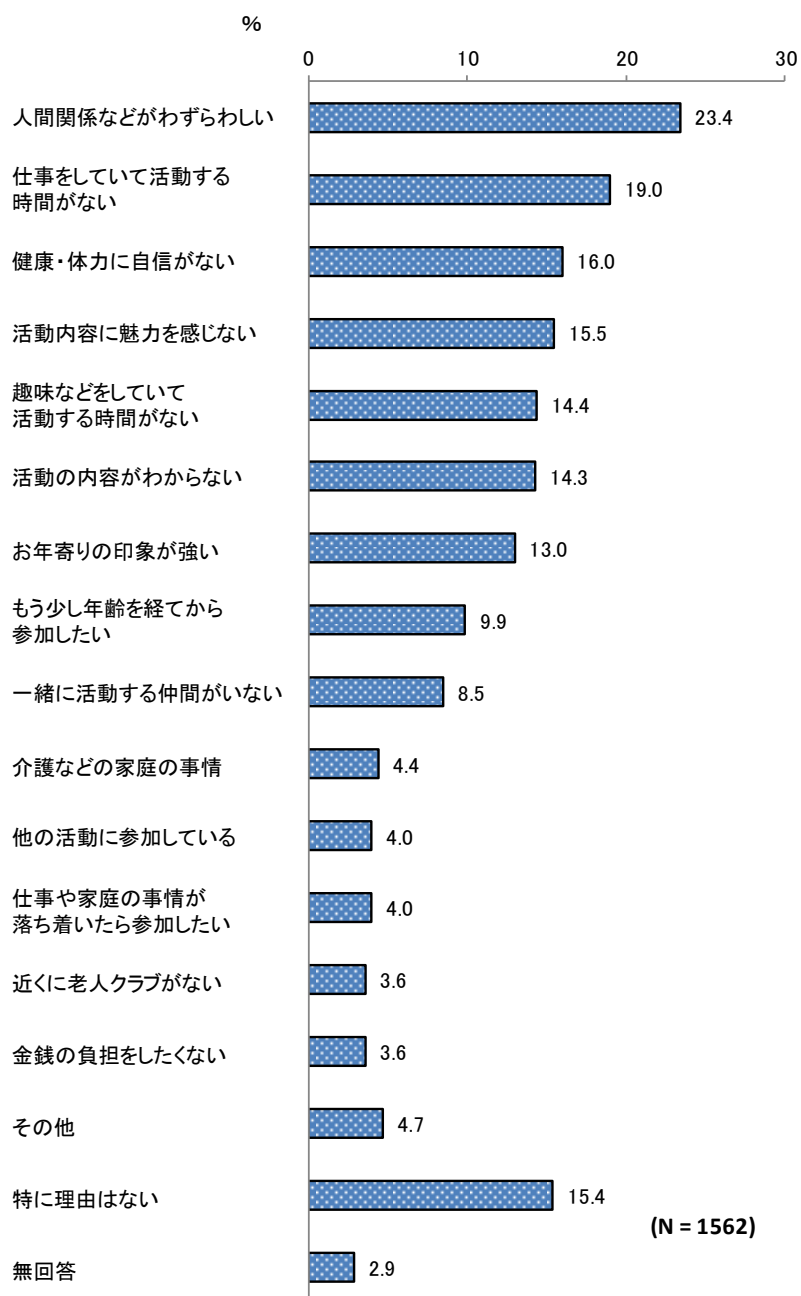
年齢別にみると、80 歳未満では「参加していない」が 7 割を超え、80 歳代では「参加している」が 1 割台と、それぞれ他と比べて高い割合となっている。

②老人クラブ活動に参加していない理由

【問28】で「2」「3」と答えた方にうかがいます。

問28-1 あなたが、老人クラブの活動に参加していない主な理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

【図表 2-20-2 老人クラブ活動に参加していない理由】



老人クラブ活動に参加していない理由は、「人間関係などがわずらわしい」が23.4%と最も高く、次いで「仕事をしていて活動する時間がない」が19.0%、「健康・体力に自信がない」が16.0%となっている。

【図表 2-20-3 老人クラブ活動に参加していない理由×性別・年齢別】

		回答数	健康・体力に自信がない	介護などの家庭の事情	仕事をしていて活動する時間がない	趣味などをしていて活動する時間がない	一緒に活動する仲間がいない	近くに老人クラブがない	活動の内容がわからない	活動内容に魅力を感じない	お年寄りの印象が強い
全 体		1562	16.0	4.4	19.0	14.4	8.5	3.6	14.3	15.5	13.0
性別	男性	649	12.5	3.1	24.7	18.2	10.9	3.7	16.2	16.8	12.8
	女性	895	18.7	5.4	15.1	11.6	6.9	3.5	13.0	14.4	13.0
年齢別	65～69歳	361	4.4	5.8	32.7	18.0	6.9	3.9	13.3	13.3	15.8
	70～74歳	394	11.9	4.1	26.1	16.8	9.6	1.8	17.5	19.0	15.7
	75～79歳	396	16.7	4.3	15.4	14.1	9.8	2.3	14.9	19.2	13.4
	80～84歳	191	22.5	2.6	4.2	9.4	9.4	4.2	15.7	13.1	8.9
	85～89歳	130	36.9	6.2	3.8	10.8	7.7	10.0	7.7	8.5	6.2
	90歳以上	70	38.6	1.4	0.0	2.9	2.9	5.7	5.7	2.9	0.0

		回答数	人間関係などがわず	金銭の負担をしたくない	もう少し年齢を経ても参加したい	他の活動に参加している	仕事や家庭の事情が忙しい	その他	特に理由はない	無回答
全 体		1562	23.4	3.6	9.9	4.0	4.0	4.7	15.4	2.9
性別	男性	649	21.4	3.9	11.1	3.5	3.9	2.9	16.2	2.8
	女性	895	24.7	3.4	8.9	4.2	4.1	6.0	14.7	2.9
年齢別	65～69歳	361	19.4	2.5	21.6	4.4	5.8	3.9	14.4	2.2
	70～74歳	394	24.6	4.8	9.6	3.3	6.9	2.5	15.2	1.8
	75～79歳	396	27.3	4.3	7.1	4.3	2.0	6.3	14.6	2.5
	80～84歳	191	23.6	3.7	3.1	5.2	3.1	1.0	18.3	4.7
	85～89歳	130	23.8	2.3	1.5	2.3	0.0	7.7	13.8	3.8
	90歳以上	70	12.9	0.0	0.0	2.9	0.0	17.1	20.0	8.6

性別にみると、男性では「仕事をしていて活動する時間がない」（24.7％）が女性より高くなっている。

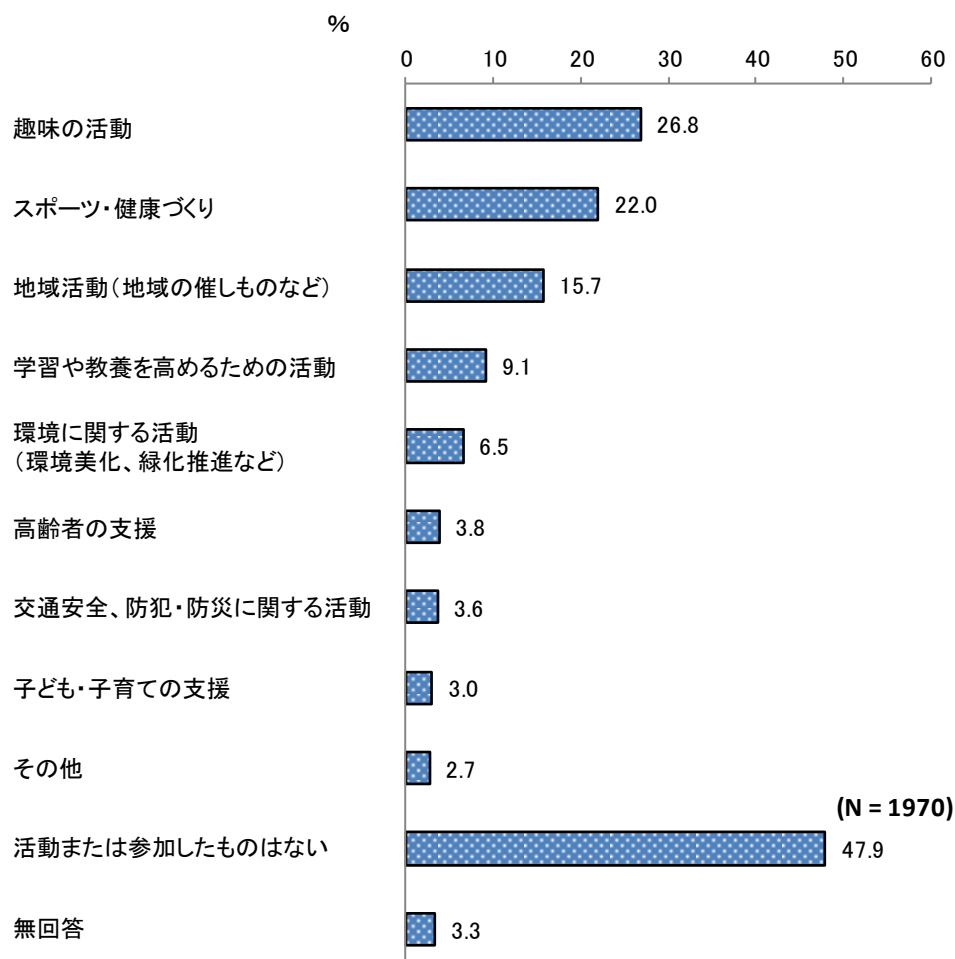
年齢別にみると、年齢が高いほど「健康・体力に自信がない」の割合が高く、「仕事をしていて活動する時間がない」の割合が低くなっている。65～69歳では「もう少し年齢を経ても参加したい」（21.6％）が他に比べ高くなっている。

(4) グループ活動への参加

①この1年間に参加したグループ活動

問 29 あなたは、この1年間に、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしましたか。(〇はいくつでも)

【図表 2-21-1 この1年間に参加したグループ活動】



この1年間に参加したグループ活動は、「趣味の活動」が26.8%と最も高く、次いで、「スポーツ・健康づくり」が22.0%、「地域活動(地域の催しものなど)」が15.7%となっている。なお、「活動または参加したものはなし」が47.9%となっている。

【図表 2-21-2 この1年間に参加したグループ活動×性別・年齢別】

		回答数	趣味の活動	スポーツ・健康づくり	学習や教養を高めるための活動	地域活動（地域の催しものなど）	高齢者の支援	子ども・子育ての支援	環境に関する活動（環境美化、緑化推進など）	交通安全、防犯・防災に関する活動	その他	活動または参加したものは無い	無回答
			(%)										
全 体		1970	26.8	22.0	9.1	15.7	3.8	3.0	6.5	3.6	2.7	47.9	3.3
性別	男性	812	29.1	22.9	7.0	12.1	1.8	1.7	6.7	4.3	2.0	47.7	3.6
	女性	1138	25.0	21.4	10.7	18.3	5.3	4.0	6.4	2.8	3.3	48.2	3.1
年齢別	65～69歳	446	29.6	23.8	11.0	13.0	4.9	4.3	5.8	4.5	3.4	45.7	2.5
	70～74歳	478	27.6	25.3	9.6	16.7	4.4	3.8	7.7	4.4	1.3	47.3	1.5
	75～79歳	493	26.0	19.3	7.7	16.6	3.2	2.2	5.9	2.6	2.6	48.7	3.7
	80～84歳	270	30.0	25.2	11.1	19.3	3.7	2.2	8.1	2.6	2.2	43.3	5.2
	85～89歳	172	23.3	18.6	9.3	17.4	2.9	2.9	6.4	3.5	3.5	51.7	5.2
	90歳以上	87	8.0	8.0	0.0	2.3	1.1	1.1	2.3	0.0	8.0	66.7	5.7

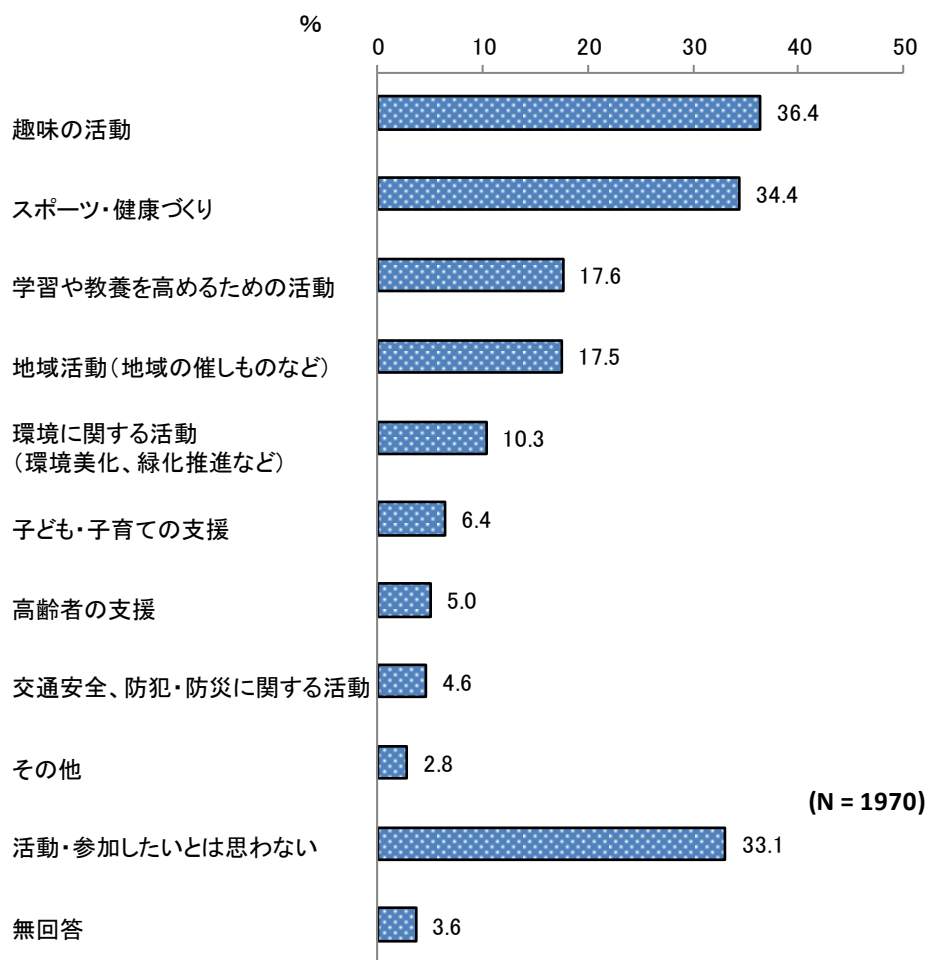
性別にみると、女性では「地域活動（地域の催しものなど）」（18.3%）が男性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「活動または参加したものは無い」が6割半ばで、他の年代より高くなっている。

②今後参加したいグループ活動

問 30 あなたは、今後（今後も）、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

【図表 2-21-3 今後参加したいグループ活動】



今後参加したいグループ活動は、「趣味の活動」が 36.4%と最も高く、次いで「スポーツ・健康づくり」が 34.4%、「学習や教養を高めるための活動」が 17.6%となっている。なお、「活動・参加したいとは思わない」が 33.1%となっている。

【図表 2-21-4 今後参加したいグループ活動×性別・年齢別】

		回答数	趣味の活動	スポーツ・健康づくり	学習や教養を高めるための活動	地域活動（地域の催しなど）	高齢者の支援	子ども・子育ての支援	環境に関する活動（環境美化、緑化推進など）	交通安全、防犯・防災に関する活動	その他	活動・参加したいとは思わない	無回答
			(%)										
全 体		1970	36.4	34.4	17.6	17.5	5.0	6.4	10.3	4.6	2.8	33.1	3.6
性別	男性	812	38.1	35.7	14.3	15.1	2.7	5.2	11.3	5.9	2.3	32.5	3.0
	女性	1138	35.0	33.7	20.0	19.2	6.6	7.3	9.4	3.5	3.3	33.7	4.0
年齢別	65～69歳	446	46.2	43.7	23.5	16.6	5.8	10.5	11.9	6.3	2.2	26.2	1.6
	70～74歳	478	36.2	38.5	17.8	18.0	7.1	8.4	12.8	6.5	1.7	31.4	1.7
	75～79歳	493	35.3	30.8	16.2	18.3	3.0	4.7	9.1	2.8	2.2	34.1	4.1
	80～84歳	270	34.4	33.3	18.1	22.2	3.7	4.1	10.0	3.0	4.1	32.6	5.2
	85～89歳	172	27.9	23.8	12.8	16.9	4.1	2.3	7.6	3.5	4.7	43.0	7.6
	90歳以上	87	13.8	10.3	3.4	2.3	5.7	0.0	0.0	1.1	9.2	57.5	8.0

性別にみると、女性では「学習や教養を高めるための活動」（20.0％）が男性より高くなっている。

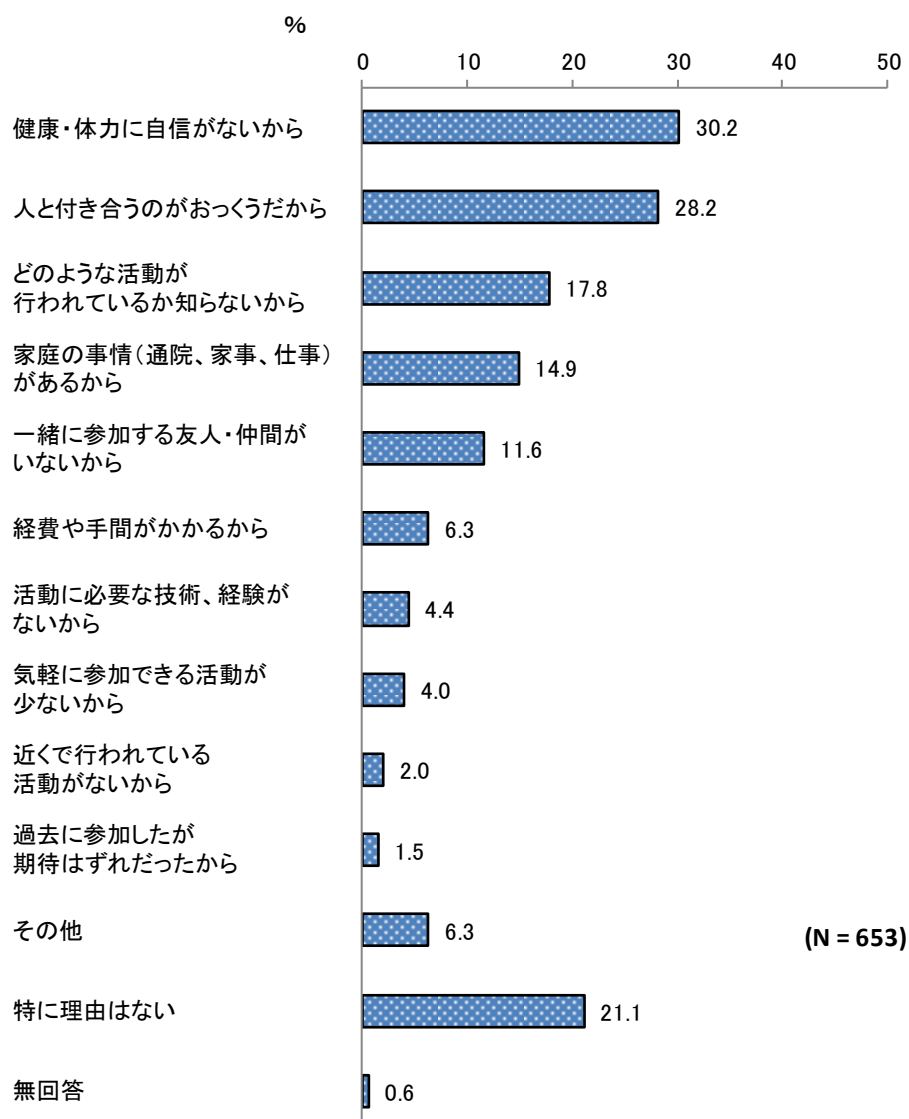
年齢別にみると、65～69歳では「趣味の活動」「スポーツ・健康づくり」がともに4割台で、他の年代より高くなっている。90歳以上では「活動・参加したいとは思わない」が6割近くで、他に比べ高くなっている。

③グループ活動に参加したいと思わない理由

【問 30】で「10」と答えた方にうかがいます。

問 30-1 友人とまたはグループや団体で活動を行ったり、参加したりしたいと思わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 2-21-5 グループ活動に参加したいと思わない理由】



グループ活動に参加したいと思わない理由は、「健康・体力に自信がないから」が 30.2%と最も高く、次いで「人と付き合うのがおっくうだから」が 28.2%、「どのような活動が行われているか知らないから」が 17.8%となっている。なお、「特に理由はない」が 21.1%となっている。

【図表 2-21-6 グループ活動に参加したいと思わない理由×性別・年齢別】

		回答数	どれくらいの活動が行われているか	経費や手間がかかるか	気軽に参加できる活動が少ないから	仲間がいらないから友人・仲間と一緒に参加する友・仲間	活動に必要な技術、経験がないから	家庭の事情（病院、家事、仕事）があるから	近くで行われている活動がないから	健康・体力に自信がないから	過去に参加したが期待はずれだったから	人と付き合うのがおっくうだから	その他	特に理由はない	(%) 無回答
全 体		653	17.8	6.3	4.0	11.6	4.4	14.9	2.0	30.2	1.5	28.2	6.3	21.1	0.6
性別	男性	264	20.1	8.7	4.9	15.2	4.9	11.4	1.5	23.5	1.1	33.7	3.4	25.4	0.8
	女性	384	16.1	4.7	3.1	9.4	4.2	16.9	2.3	34.6	1.6	24.2	8.3	18.5	0.5
年齢別	65～69歳	117	23.1	13.7	3.4	12.8	4.3	17.9	0.9	16.2	0.0	36.8	5.1	23.1	0.0
	70～74歳	150	21.3	8.7	6.0	15.3	6.7	20.7	2.0	23.3	2.0	30.0	5.3	20.7	0.0
	75～79歳	168	17.9	3.6	5.4	11.9	4.8	12.5	1.8	27.4	2.4	28.6	4.2	24.4	0.0
	80～84歳	88	14.8	4.5	3.4	13.6	3.4	13.6	4.5	31.8	2.3	23.9	9.1	20.5	2.3
	85～89歳	74	12.2	2.7	0.0	5.4	2.7	10.8	2.7	50.0	0.0	23.0	9.5	17.6	2.7
	90歳以上	50	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	58.0	0.0	16.0	10.0	16.0	0.0

性別にみると、女性では「健康・体力に自信がないから」（34.6％）が男性に比べ高く、男性では「人と付き合うのがおっくうだから」（33.7％）が女性に比べ高くなっている。

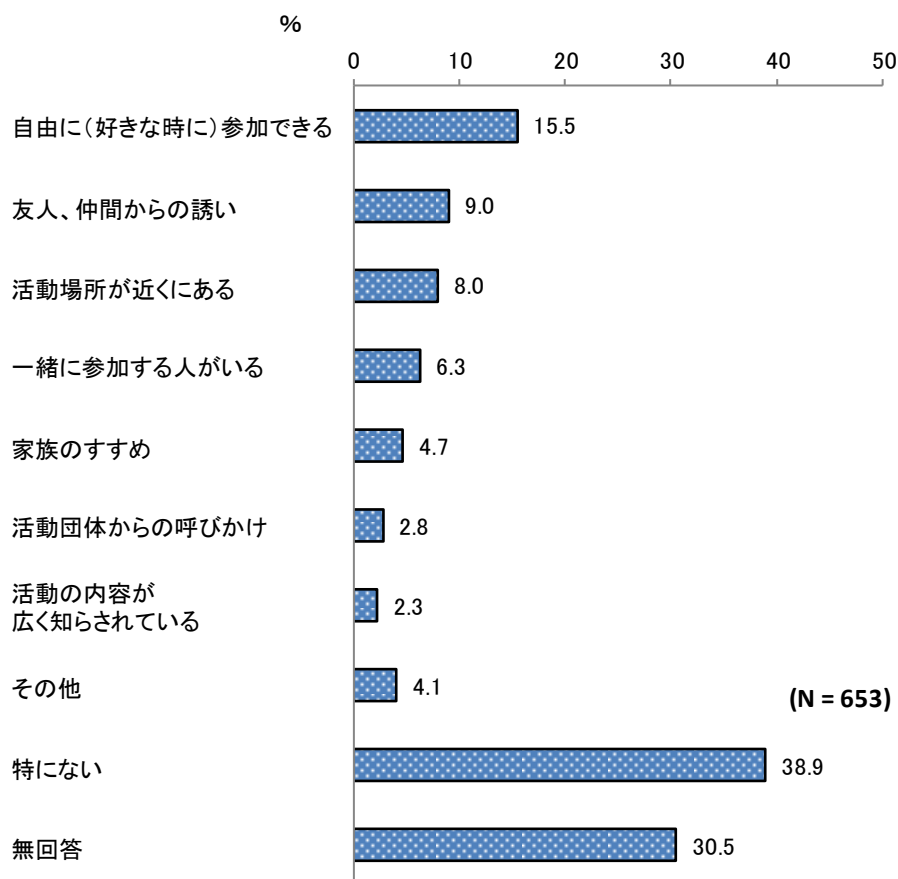
年齢別にみると、年齢が高いほど「健康・体力に自信がないから」の割合が高く、「人と付き合うのがおっくうだから」が低くなっている。

④グループ活動に参加したいと思うきっかけ

【問 30】で「10」と答えた方にうかがいます。

問 30-2 あなたは、どのようなきっかけや働きかけがあれば、友人とまたはグループや団体に活動を行ったり、参加したりすると思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-21-7 グループ活動に参加したいと思うきっかけ】



グループ活動に参加したいと思うきっかけは、「自由に（好きな時に）参加できる」が15.5%と最も高く、次いで、「友人、仲間からの誘い」が9.0%、「活動場所が近くにある」が8.0%となっている。なお、「特にない」が38.9%となっている。

【図表 2-21-8 グループ活動に参加したいと思うきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	友人、仲間からの誘い	家族のすすめ	活動団体からの呼びかけ	一緒に参加する人がいる	活動の内容が広く知られている	活動場所が近くにある	自由に（好きな時に）参加できる	その他	特にない	(%) 無回答
全 体		653	9.0	4.7	2.8	6.3	2.3	8.0	15.5	4.1	38.9	30.5
性別	男性	264	7.6	7.6	4.2	3.8	3.4	6.8	15.5	4.5	41.3	27.3
	女性	384	9.9	2.9	1.8	8.1	1.6	8.9	15.4	3.6	37.0	33.1
年齢別	65～69歳	117	17.1	6.0	1.7	11.1	0.0	12.0	17.1	3.4	40.2	23.1
	70～74歳	150	9.3	5.3	4.7	5.3	5.3	10.0	22.7	1.3	38.7	26.7
	75～79歳	168	7.7	4.8	2.4	5.4	1.8	7.1	17.3	4.8	35.1	32.7
	80～84歳	88	4.5	2.3	2.3	2.3	3.4	6.8	10.2	5.7	37.5	39.8
	85～89歳	74	8.1	6.8	4.1	10.8	1.4	5.4	8.1	4.1	36.5	36.5
	90歳以上	50	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	4.0	8.0	52.0	30.0

性別にみると、特に大きな違いはみられない。

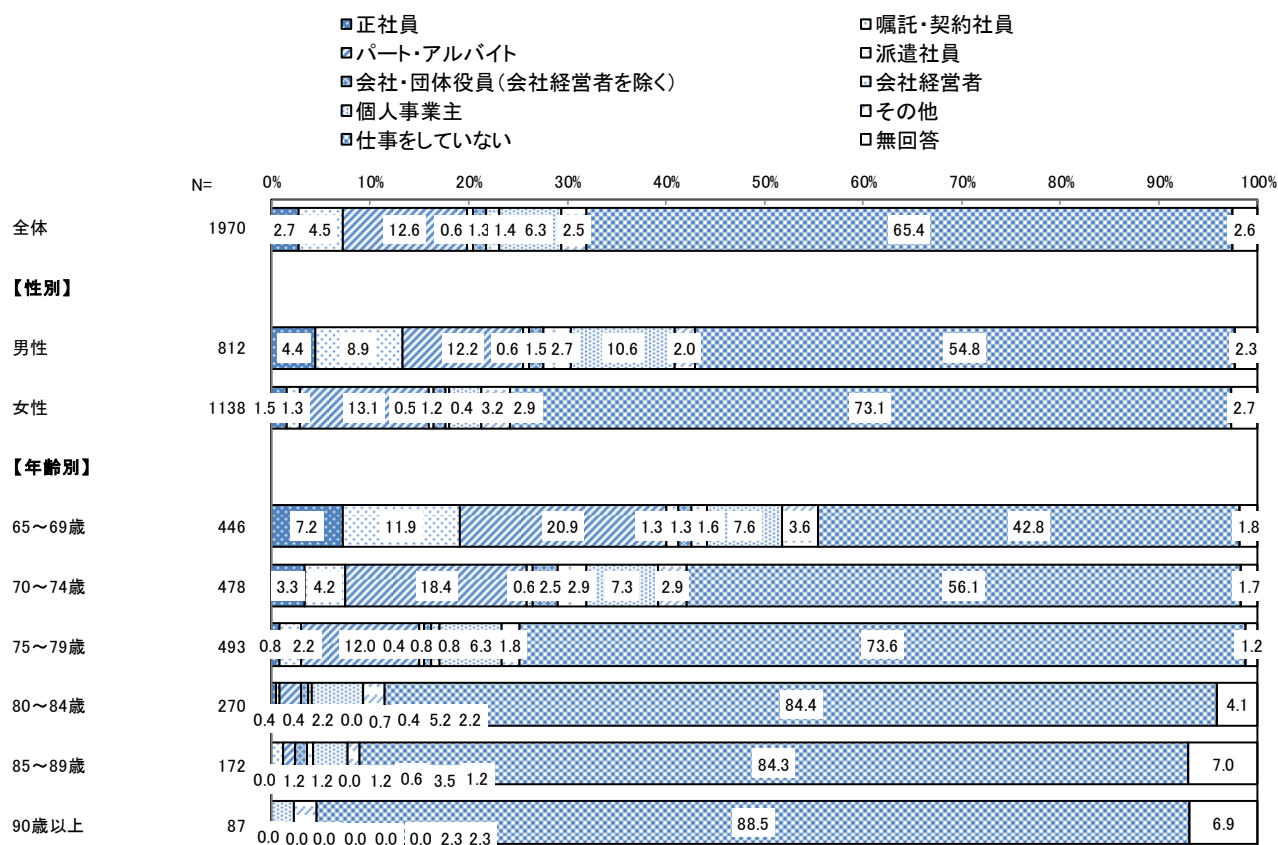
年齢別にみると、70～74歳では「自由に（好きな時に）参加できる」（22.7%）が他に比べて高くなっている。

(5) 仕事

①日々の過ごし方

問 31 あなたは、ふだん何か収入になる仕事をしていますか。(○は1つ)

【図表 2-22-1 日々の過ごし方×性別・年齢別】



収入になる仕事については、「パート・アルバイト」が12.6%と最も高く、次いで、「個人事業主」が6.3%、「嘱託・契約社員」が4.5%となっている。なお、「仕事をしていない」が65.4%となっている。

性別にみると、女性では「仕事をしていない」(73.1%)が男性に比べ高くなっている。

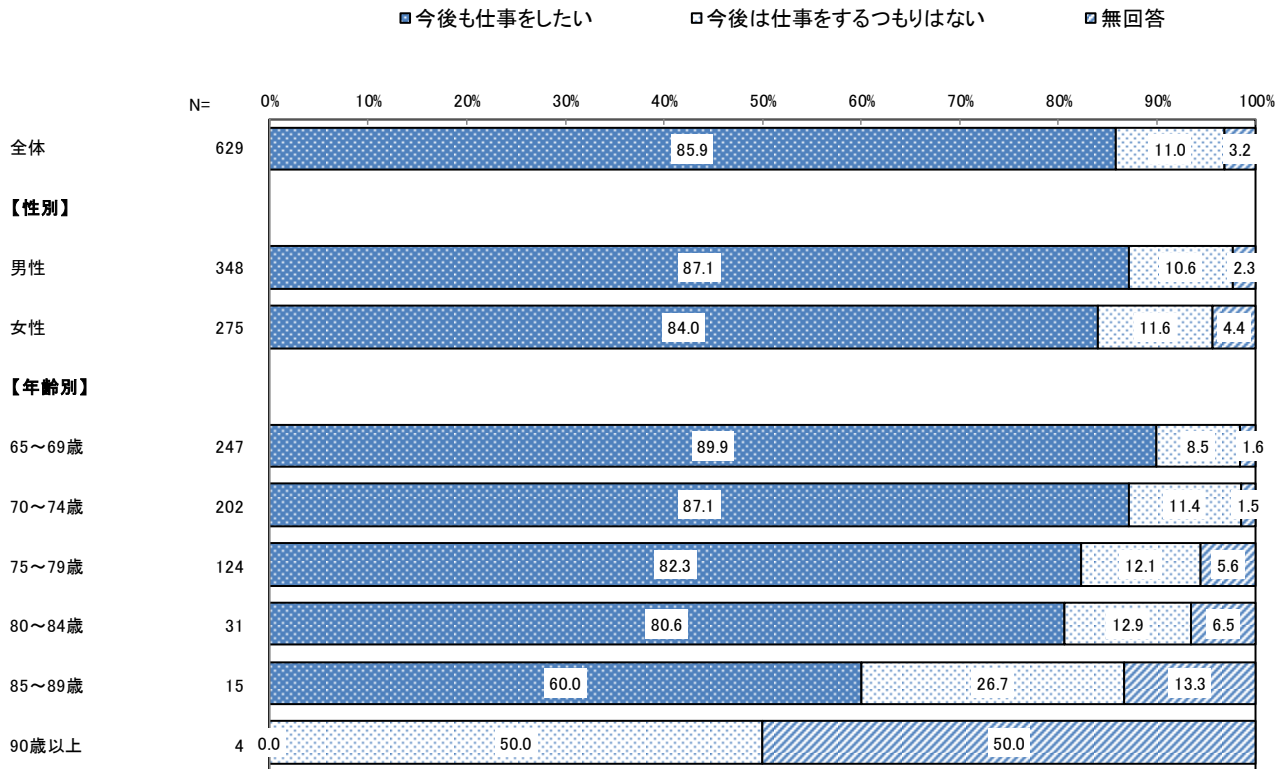
年齢別にみると、年齢が高いほど「仕事をしていない」の割合が高くなっている。65～69歳では「パート・アルバイト」(20.9%)が他の就労形態よりも高くなっている。

②仕事を継続することの意向

【問 31】で「1」～「8」と答えた方にうかがいます。

問 31－1 あなたは、今後も仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

【図表 2-22-2 仕事を継続することの意向×性別・年齢別】



仕事を継続することの意向は、「今後も仕事をしたい」が85.9%、「今後は仕事をするつもりはない」が11.0%となっている。

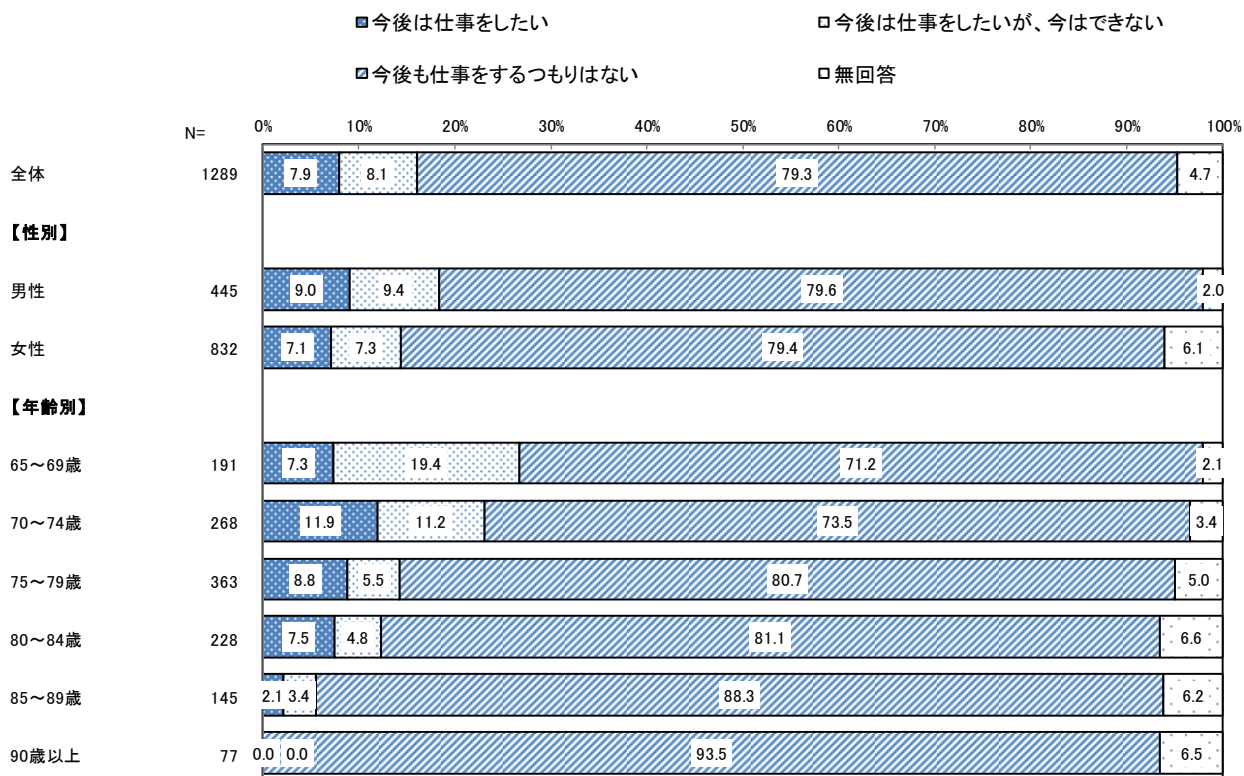
年齢別にみると、年齢が低い人ほど「今後も仕事をしたい」の割合が高く、90歳未満の年齢層ではいずれも「今後も仕事をしたい」の割合が5割を超えている。

③仕事をする事への意向

【問 31】で「9」と答えた方にうかがいます。

問 31-2 あなたは、今後、仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

【図表 2-22-3 仕事をする事への意向×性別・年齢別】



仕事をしていない人の仕事をする事への意向は、「今後も仕事をするつもりはない」が79.3%と最も高く、次いで「今後仕事をしたいが、今はできない」が8.1%、「今後仕事をしたい」が7.9%となっている。

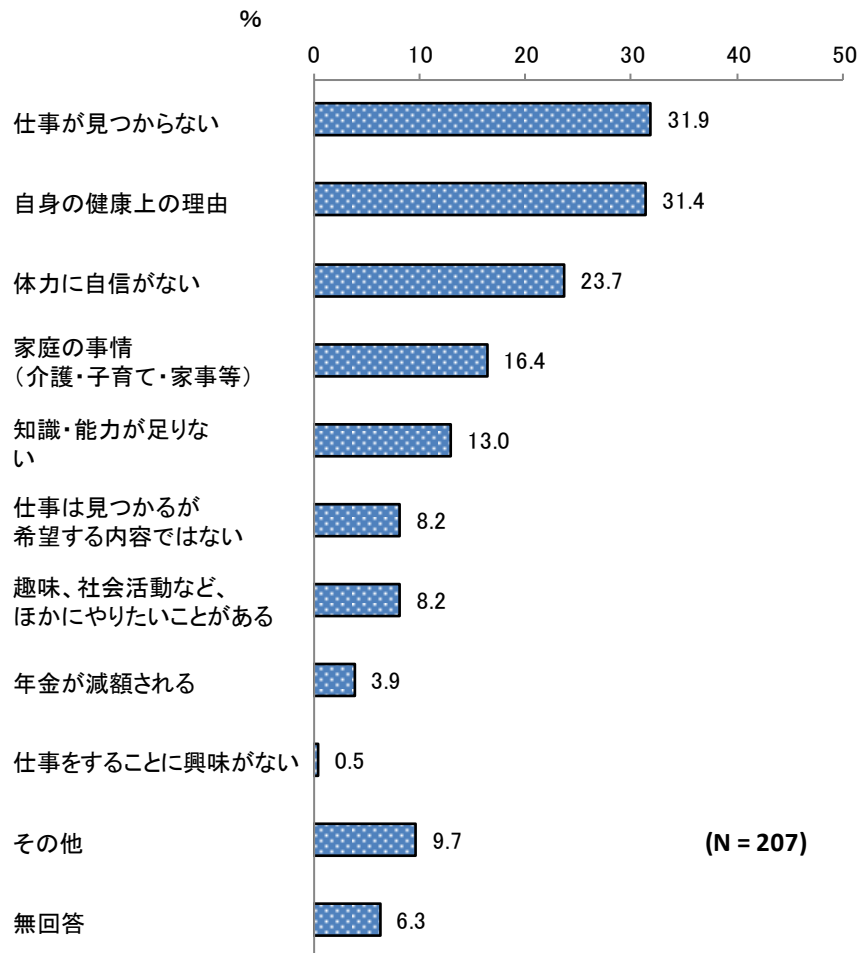
年齢別にみると、65～69歳では「今後仕事をしたいが、今はできない」(19.4%)が、70～74歳では「今後仕事をしたい」(11.9%)が、ともに他の年代より高くなっている。

④仕事をしていない理由

【問 31－2】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 31－3 仕事をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 2-22-4 仕事をしていない理由】



仕事をしていない理由は、「仕事が見つからない」が 31.9%と最も高く、次いで「自身の健康上の理由」が 31.4%、「体力に自信がない」が 23.7%となっている。

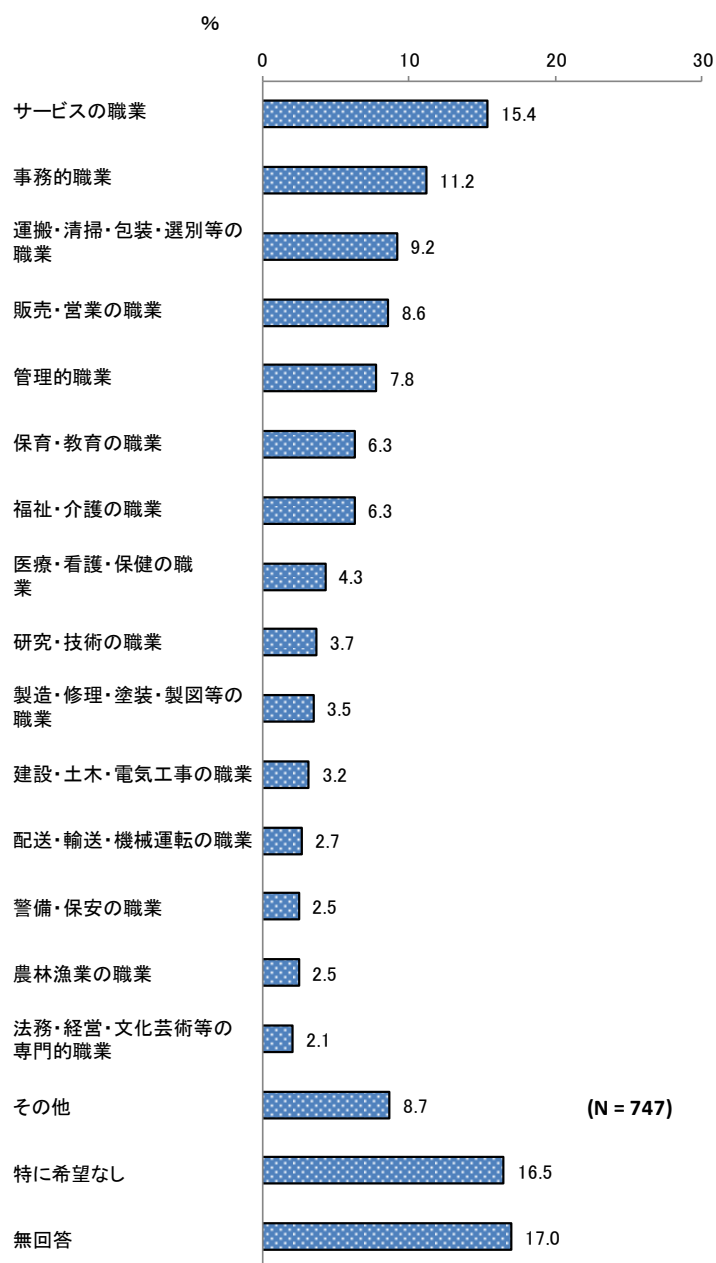
⑤希望する仕事内容

【問 31－1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問 31－2】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 31－4 今後、どのような内容の仕事を希望しますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-22-5 希望する仕事内容】



希望する仕事内容は、「サービスの職業」が 15.4%と最も高く、次いで「事務的職業」が 11.2%、「運搬・清掃・包装・選別等の職業」が 9.2%となっている。なお、「特に希望なし」が 16.5%となっている。

【図表 2-22-6 希望する仕事内容×性別・年齢別】

											(%)
		回答数	管理的職業	研究・技術の職業	法務・経営・専門的職業	医療・看護・保健の職業	保育・教育の職業	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業
全 体		747	7.8	3.7	2.1	4.3	6.3	11.2	8.6	6.3	15.4
性別	男性	385	12.7	6.5	2.9	4.4	3.1	10.9	7.3	2.3	13.0
	女性	351	2.6	0.9	1.4	4.3	9.7	11.7	10.3	10.8	18.5
年齢別	65～69歳	273	9.5	4.0	3.3	5.9	8.4	12.5	8.1	8.4	14.7
	70～74歳	238	8.0	5.0	2.1	3.8	6.7	10.9	9.7	4.6	20.2
	75～79歳	154	5.8	1.9	0.6	4.5	2.6	9.7	9.1	6.5	12.3
	80～84歳	53	3.8	3.8	1.9	0.0	3.8	11.3	7.5	5.7	13.2
	85～89歳	17	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9	0.0	5.9
	90歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答数	警備・保安の職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	配送・輸送・機械運	建設・土木・電気工事の職業	運搬・清掃・包装・選別等の職業	その他	特に希望なし	無回答
全 体		747	2.5	2.5	3.5	2.7	3.2	9.2	8.7	16.5	17.0
性別	男性	385	4.9	2.9	5.2	4.9	6.2	7.5	7.8	17.7	16.1
	女性	351	0.0	2.0	1.4	0.3	0.0	10.5	10.0	14.5	17.9
年齢別	65～69歳	273	3.7	3.7	2.6	3.3	3.7	9.2	7.7	14.7	12.1
	70～74歳	238	2.5	2.1	4.2	2.9	3.4	10.9	7.6	14.3	16.8
	75～79歳	154	1.9	1.9	4.5	2.6	3.9	6.5	13.0	17.5	19.5
	80～84歳	53	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	7.5	9.4	22.6	30.2
	85～89歳	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	35.3	29.4
	90歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

性別にみると、男性では「管理的職業」（12.7％）が女性に比べ高く、女性では「福祉・介護の職業」（10.8％）が男性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、70～74歳では「サービスの職業」（20.2％）が他の年代より高くなっている。

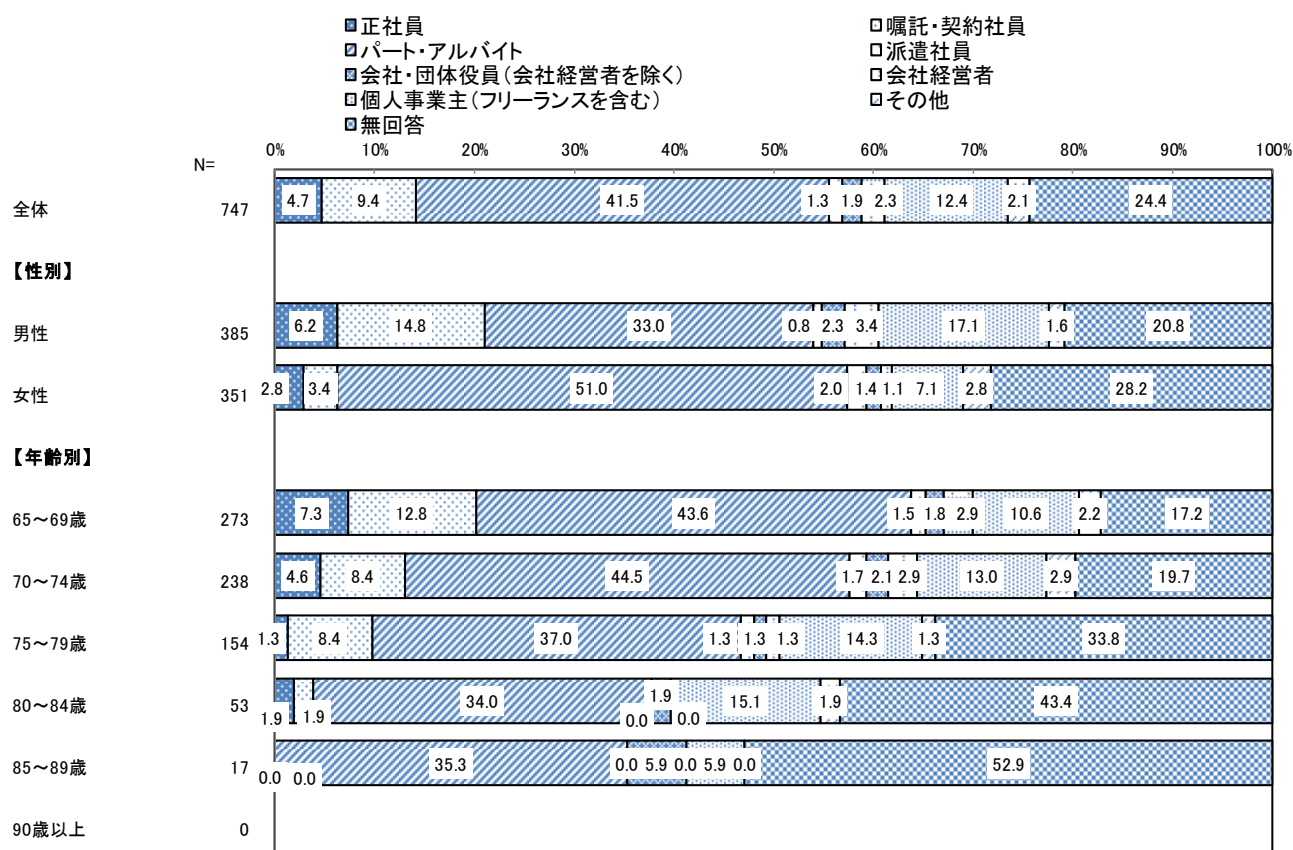
⑥希望する就労形態

【問 31－1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問 31－2】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 31－5 今後、どのような就労形態で仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

【図表 2-22-7 希望する就労形態×性別・年齢別】



希望する就労形態は、「パート・アルバイト」が 41.5%と最も高く、次いで「個人事業主（フリーランスを含む）」が 12.4%、「嘱託・契約社員」が 9.4%となっている。

性別にみると、男性では「個人事業主（フリーランスを含む）」（17.1%）、「嘱託・契約社員」（14.8%）が女性よりも高く、女性では「パート・アルバイト」（51.0%）が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、90歳未満では「パート・アルバイト」が3割半ばから4割半ばで、他の就労形態よりも高くなっている。

⑦仕事をしたい頻度

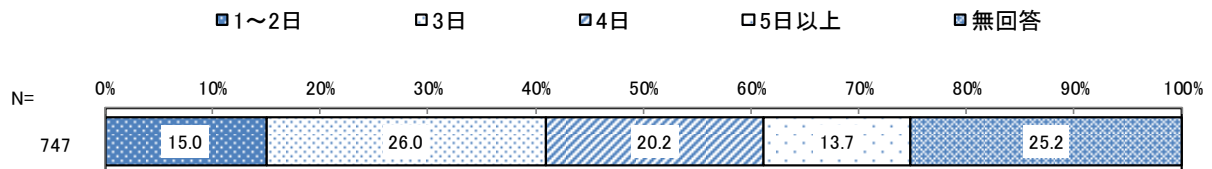
【問 31－1】で「1」と答えた方にうかがいます。

【問 31－2】で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 31－6 今後、どれくらいの頻度で仕事をしたいと思いますか。

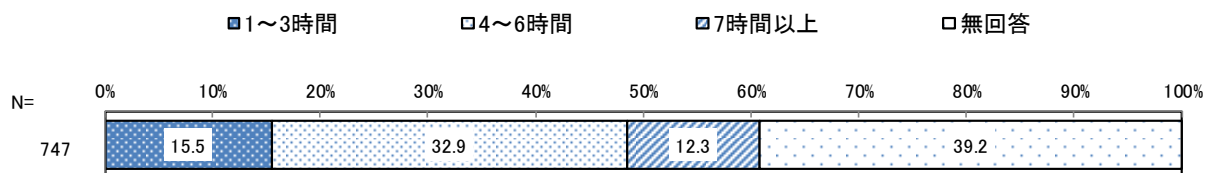
(①・②それぞれ○は1つ)

【図表 2-22-8 仕事をしたい頻度/一週間に】



一週間に仕事をしたい頻度は、「3日」が26.0%と最も高く、次いで「4日」が20.2%、「1～2日」が15.0%となっている。

【図表 2-22-9 仕事をしたい頻度/一日に】

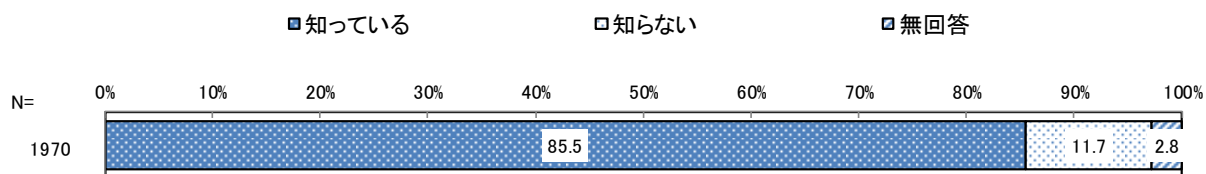


一日に仕事をしたい時間は、「4～6時間」が32.9%と最も高く、次いで「1～3時間」が15.5%、「7時間以上」が12.3%となっている。

(6)「シルバー人材センター」の認知

問 32 あなたは「シルバー人材センター」を知っていますか。(○は1つ)

【図表 2-23-1 「シルバー人材センター」の認知】



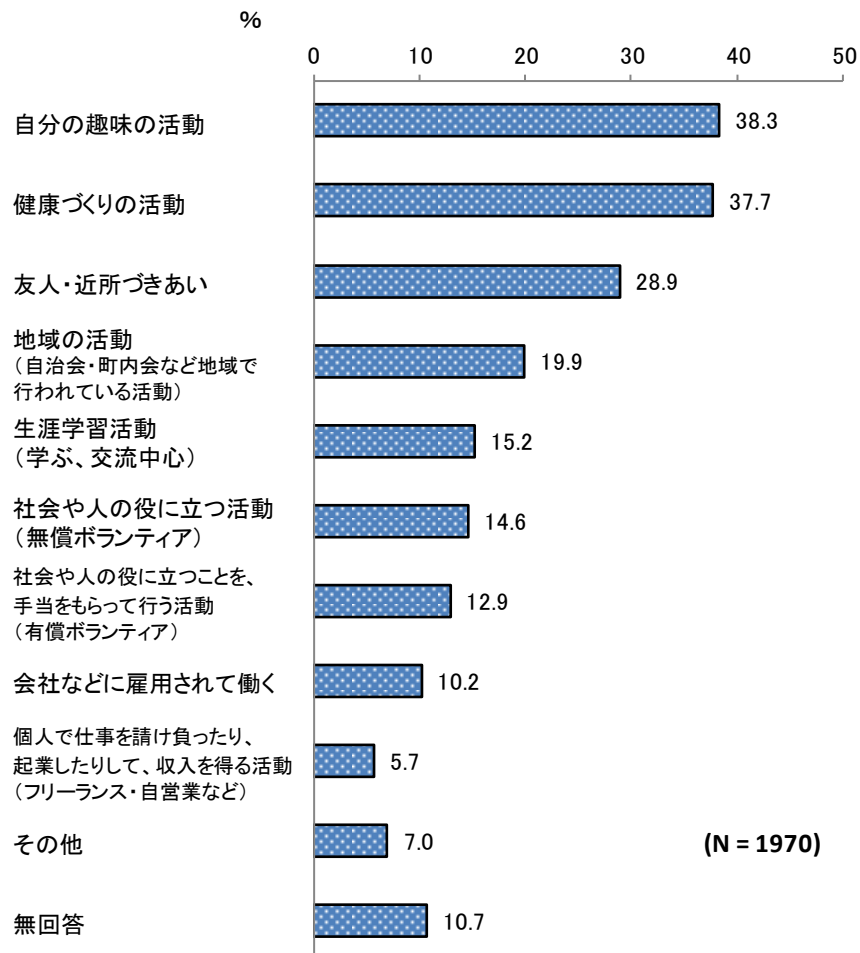
「シルバー人材センター」の認知度は、「知っている」が85.5%、「知らない」が11.7%となっている。

(7) 社会参加

①社会参加したい活動

問 33 さまざまな活動についてお尋ねしてきましたが、今後（今後も）、あなたが社会参加を行うとすれば、どのような活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）

【図表 2-24-1 社会参加したい活動】



社会参加したい活動は、「自分の趣味の活動」が 38.3%と最も高く、次いで「健康づくりの活動」が 37.7%、「友人・近所づきあい」が 28.9%となっている。

【図表 2-24-2 社会参加したい活動×性別・年齢別】

		回答数	地域での活動（自治会・町会など）	社会や人の役に立つ活動（無償ボランティア）	社会や人の役に立つことを、手当をもらって行う活動（有償ボランティア）	会社などに雇用されて働く	個人で仕事を請け負ったり、起業したりして、収入を得る活動（フリーランス・自営業など）	自分の趣味の活動	健康づくりの活動	生涯学習活動（学ぶ、交流中心）	友人・近所づきあい	その他	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全 体		1970	19.9	14.6	12.9	10.2	5.7	38.3	37.7	15.2	28.9	7.0	10.7
性別	男性	812	22.0	15.9	13.3	13.4	9.5	42.0	34.7	11.5	21.3	7.1	10.5
	女性	1138	18.5	13.6	12.5	8.0	3.1	35.7	39.8	17.9	34.4	7.0	10.6
年齢別	65～69歳	446	23.1	17.7	23.3	23.3	9.4	46.6	43.7	20.0	30.3	5.4	3.1
	70～74歳	478	22.6	18.4	15.7	13.2	7.5	43.3	39.5	14.6	28.9	5.6	5.2
	75～79歳	493	18.1	11.8	9.5	5.5	5.1	37.3	36.5	15.4	28.2	5.7	12.8
	80～84歳	270	23.7	15.2	6.3	1.5	3.0	30.4	35.6	15.6	34.1	7.0	14.8
	85～89歳	172	11.6	9.3	3.5	0.6	0.6	27.9	32.0	8.1	23.3	12.2	23.3
	90歳以上	87	4.6	2.3	0.0	0.0	0.0	18.4	20.7	6.9	20.7	21.8	27.6

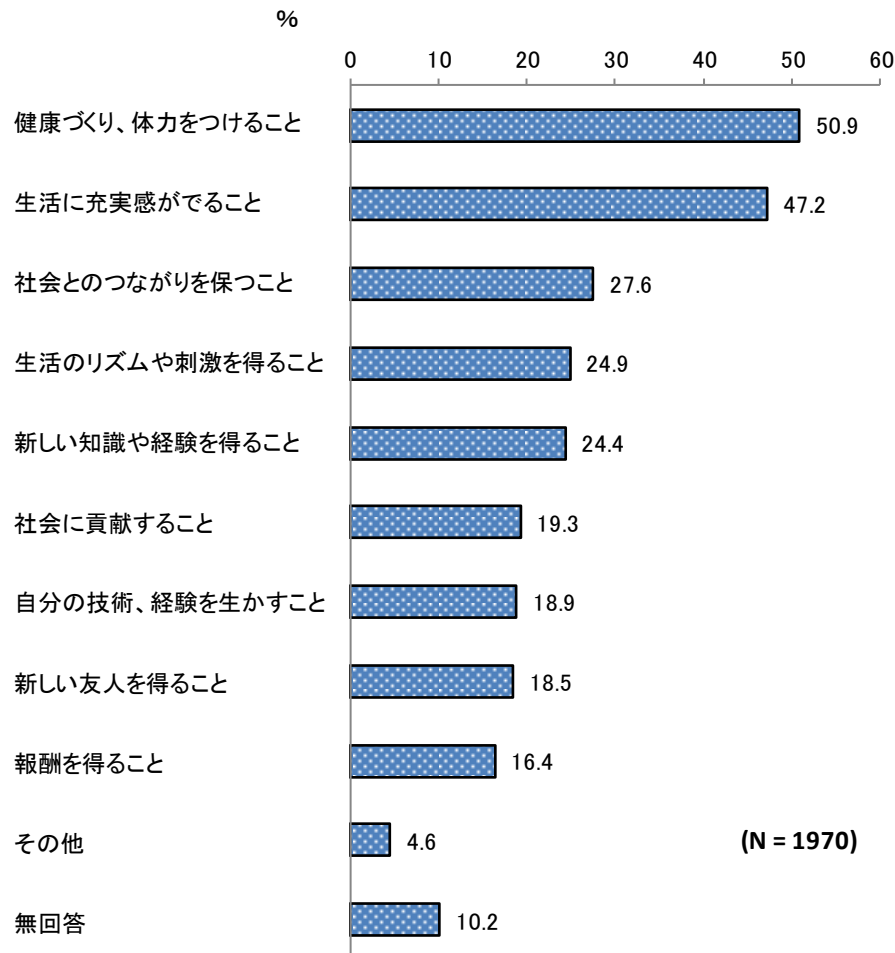
性別にみると、女性では「友人・近所づきあい」（34.4％）が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「自分の趣味の活動」「健康づくりの活動」「社会や人の役に立つことを、手当をもらって行う活動（有償ボランティア）」「会社などに雇用されて働く」の割合が高くなっている。

②社会参加を行う際に期待すること

問 34 今後（今後も）、あなたが社会参加を行うとする場合、どのようなことを期待しますか。（○はいくつでも）

【図表 2-24-3 社会参加を行う際に期待すること】



社会参加を行う際に期待することは、「健康づくり、体力をつけること」が 50.9%と最も高く、次いで「生活に充実感がでること」が 47.2%、「社会とのつながりを保つこと」が 27.6%となっている。

【図表 2-24-4 社会参加を行う際に期待すること×性別・年齢別】

		回答数	生活に充実感がでること	自分の技術、経験を生かすこと	新しい友人を得ること	新しい知識や経験を得ること	健康づくり、体力をつけること	社会に貢献すること	社会とのつながりを保つこと	生活のリズムや刺激を得ること	報酬を得ること	その他	(%) 無回答
全 体		1970	47.2	18.9	18.5	24.4	50.9	19.3	27.6	24.9	16.4	4.6	10.2
性別	男性	812	47.4	24.4	19.2	21.4	48.4	24.1	25.7	24.6	19.1	4.9	9.0
	女性	1138	47.1	14.9	18.3	26.4	52.8	15.7	29.1	25.2	14.1	4.5	10.7
年齢別	65～69歳	446	58.3	26.5	20.9	33.4	54.7	27.6	36.1	30.9	30.3	2.9	2.2
	70～74歳	478	53.6	23.4	21.1	28.7	54.4	22.6	32.0	29.1	20.3	3.6	5.2
	75～79歳	493	42.8	16.6	18.1	22.5	52.3	16.2	26.8	24.1	12.4	3.9	9.9
	80～84歳	270	44.1	12.2	20.7	21.5	50.0	15.6	21.9	21.5	6.3	4.8	15.9
	85～89歳	172	33.1	10.5	10.5	9.3	40.1	9.9	15.1	11.6	2.3	8.7	25.6
	90歳以上	87	19.5	5.7	8.0	3.4	29.9	5.7	9.2	13.8	1.1	16.1	26.4

性別にみると、男性では「自分の技術、経験を生かすこと」(24.4%)、「社会に貢献すること」(24.1%)が女性よりも高くなっている。

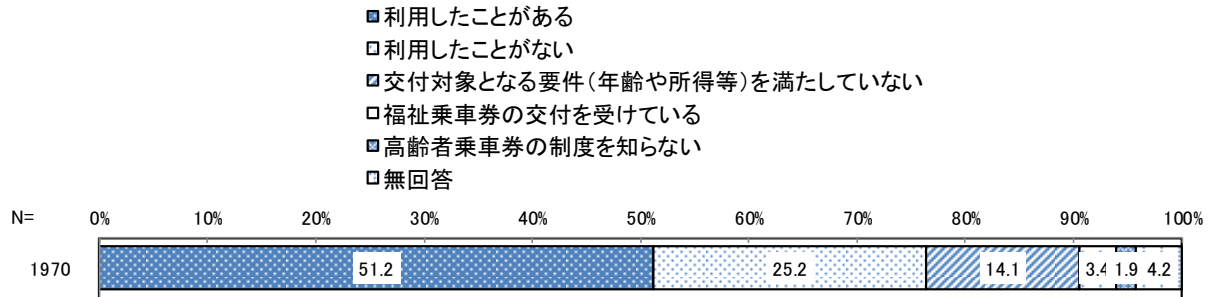
年齢別にみると、すべての年代で「健康づくり、体力をつけること」「生活に充実感がでること」が上位2位となっている。65～69歳では「生活に充実感がでること」(58.3%)、「新しい知識や経験を得ること」(33.4%)、「報酬を得ること」(30.3%)が、比較的高くなっている。

(8) 高齢者乗車券

① 高齢者乗車券の利用有無

問 35 高齢者乗車券を利用したことがありますか。(○は1つ)

【図表 2-25-1 高齢者乗車券の利用有無】



高齢者乗車券の利用有無は、「利用したことがある」が 51.2%と最も高く、次いで「利用したことがない」が 25.2%、「交付対象となる要件(年齢や所得等)を満たしていない」が 14.1%となっている。

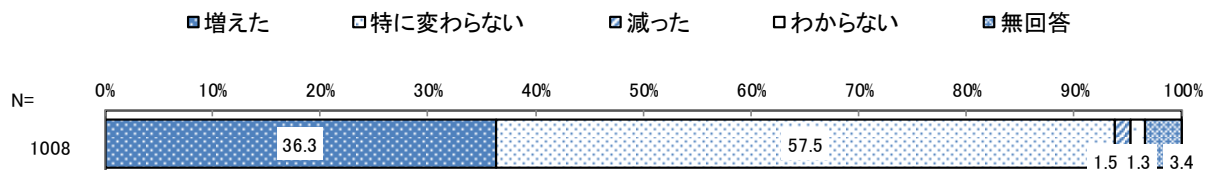
② 高齢者乗車券による外出への影響

【問 35】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 35-1 高齢者乗車券を利用するようになって、外出する機会は増えましたか。

(○は1つ)

【図表 2-25-2 高齢者乗車券による外出への影響】



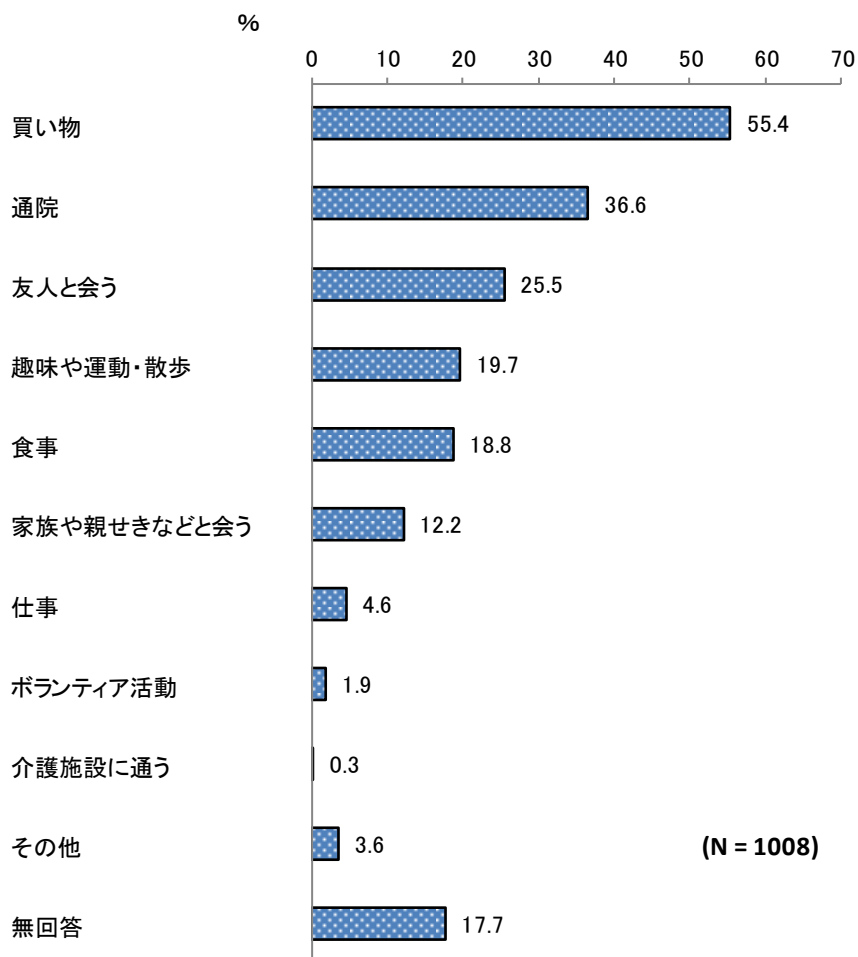
高齢者乗車券による外出への影響は、「特に変わらない」が 57.5%と最も高く、次いで「増えた」が 36.3%、「減った」が 1.5%となっている。

③高齢者乗車券による外出の目的

【問 35】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 35－2 高齢者乗車券を利用した、外出の目的はなんですか。（主なものを3つまで）

【図表 2-25-3 高齢者乗車券による外出の目的】



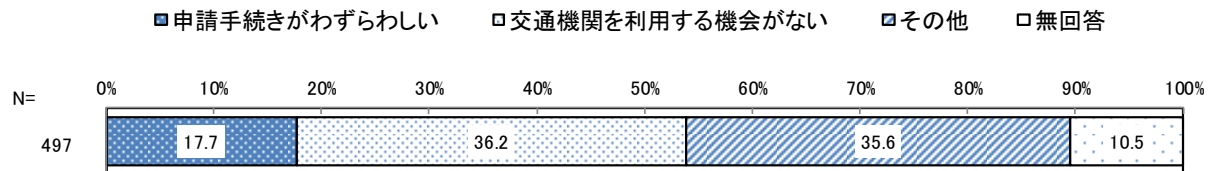
高齢者乗車券による外出の目的は、「買い物」が 55.4%と最も高く、次いで「通院」が 36.6%、「友人と会う」が 25.5%となっている。

④高齢者乗車券を利用したことがない理由

【問 35】で「2」と答えた方にうかがいます。

問 35－3 高齢者乗車券を利用したことがない主な理由は何ですか。（○は1つ）

【図表 2-25-4 高齢者乗車券を利用したことがない理由】



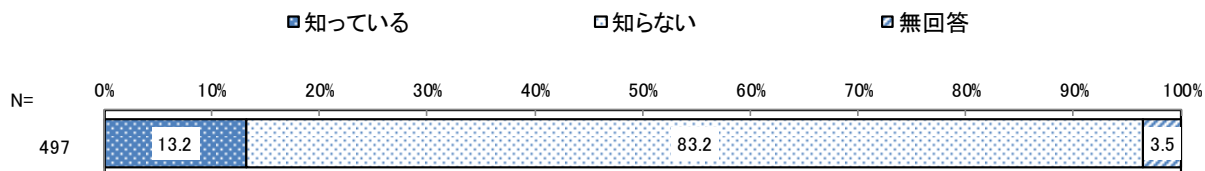
高齢者乗車券を利用したことがない理由については、「交通機関を利用する機会がない」が36.2%と最も高く、次いで「申請手続きがわずらわしい」が17.7%となっている。なお、「その他」が35.6%となっている。

(9)「福岡 100 プラザ」

①「福岡 100 プラザ」の認知

問 36 あなたは「福岡 100 プラザ」を知っていますか。(○は1つ)

【図表 2-26-1 「福岡 100 プラザ」の認知】

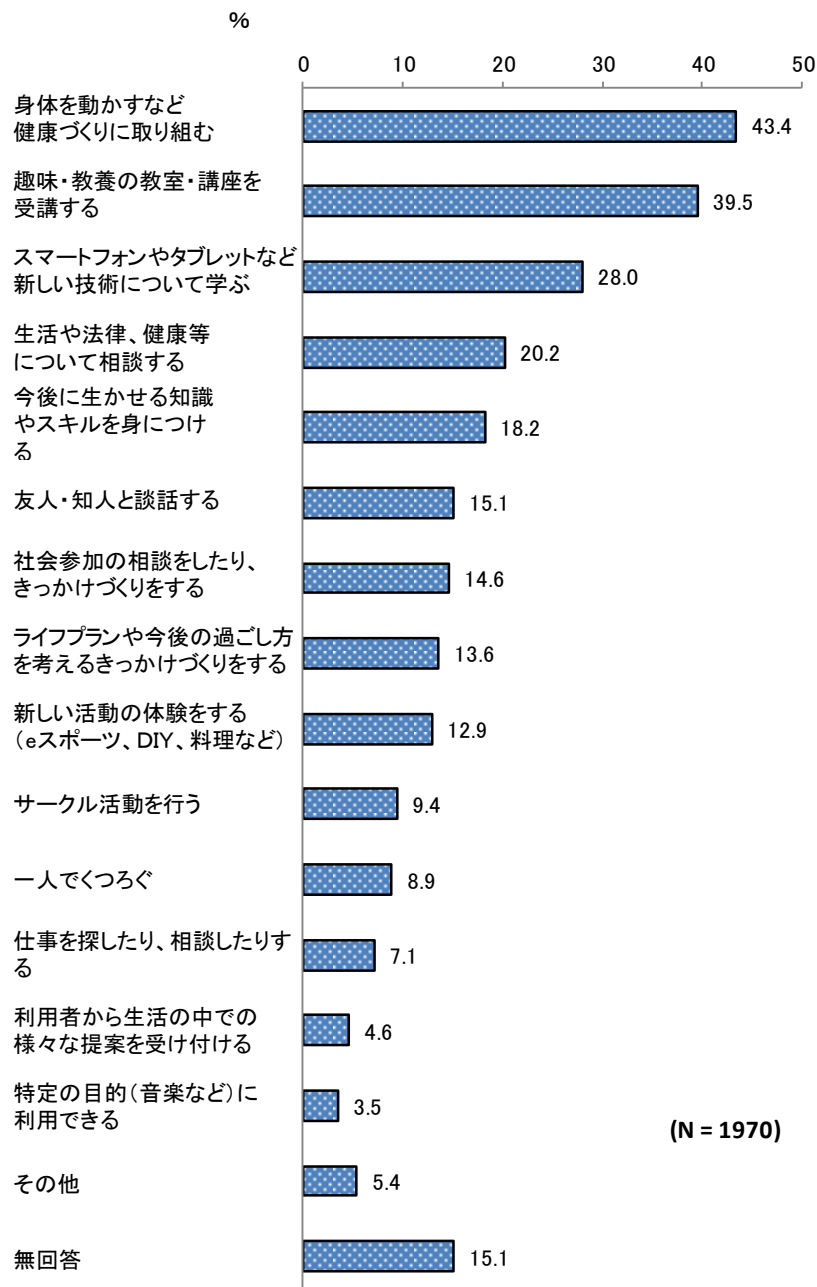


「福岡 100 プラザ」の認知度は、「知っている」が 13.2%、「知らない」が 83.2%となっている。

②「福岡 100 プラザ」の活用希望

問 37 市は、各区に1か所福岡 100 プラザを設置しています。この福岡 100 プラザが皆様にとってよりよい施設であるために、どのような場として活用できるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 2-26-2 「福岡 100 プラザ」の活用希望】



「福岡 100 プラザ」の活用希望は、「身体を動かすなど健康づくりに取り組む」が 43.4%と最も高く、次いで「趣味・教養の教室・講座を受講する」が 39.5%、「スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ」が 28.0%となっている。

【図表 2-26-3 「福岡 100 プラザ」の活用希望×性別・年齢別】

		回答数	趣味・教養の教室・講座を受講する	スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ	ライフプランや今後の過ごし方を考える	今後に生かせる知識やスキルを身につける	身体を動かすなど健康づくりに取り組む	生活や法律、健康等について相談する	仕事を探したり、相談したりする	社会参加（趣味、ボランティア、地域活動、きつかけの相談をする）	(%)
全 体		1970	39.5	28.0	13.6	18.2	43.4	20.2	7.1	14.6	
性別	男性	812	38.5	26.6	13.5	17.6	41.4	20.4	8.0	15.3	
	女性	1138	40.2	29.0	13.7	18.6	44.9	20.0	6.4	14.2	
年齢別	65～69歳	446	51.3	29.4	20.9	27.4	47.3	27.6	15.2	22.4	
	70～74歳	478	40.2	32.8	16.3	20.9	44.4	20.3	9.4	14.9	
	75～79歳	493	37.1	30.4	10.1	15.0	44.4	19.3	3.0	12.2	
	80～84歳	270	34.4	25.2	9.6	13.7	40.7	13.3	2.2	11.1	
	85～89歳	172	31.4	18.0	7.0	10.5	38.4	18.6	1.7	11.6	
	90歳以上	87	21.8	8.0	8.0	4.6	31.0	11.5	1.1	5.7	

		回答数	サークル活動を行う	友人・知人と談話する	一人でくつろぐ	新しい活動の体験をする（ヘルススポーツ、DIY、料理など）	特定の目的（音楽など）に利用できる	利用者から生活の中での様々な提案を受け付ける	その他	無回答
全 体		1970	9.4	15.1	8.9	12.9	3.5	4.6	5.4	15.1
性別	男性	812	7.1	10.8	10.7	11.8	3.7	3.6	6.0	14.5
	女性	1138	11.1	18.2	7.6	13.9	3.4	5.4	5.1	15.4
年齢別	65～69歳	446	13.0	12.3	12.6	20.6	4.7	5.8	5.2	5.8
	70～74歳	478	11.1	14.2	9.8	15.9	4.2	4.0	6.1	10.5
	75～79歳	493	6.3	14.0	7.7	10.8	3.2	3.4	5.5	17.4
	80～84歳	270	9.3	18.5	5.6	7.8	1.9	4.4	3.7	23.3
	85～89歳	172	7.0	17.4	5.2	6.4	2.9	7.6	5.8	27.3
	90歳以上	87	4.6	25.3	9.2	1.1	2.3	3.4	9.2	23.0

性別にみると、女性では「友人・知人と談話する」（18.2％）が男性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、65～69 歳では「趣味・教養の教室・講座を受講する」（51.3％）が最も高く、70 歳以上では「身体を動かすなど健康づくりに取り組む」が 3 割強から 4 割半ばで最も高い。また、65～69 歳では「今後に生かせる知識やスキルを身につける」「生活や法律、健康等について相談する」が 3 割近くで、他に比べ高くなっている。

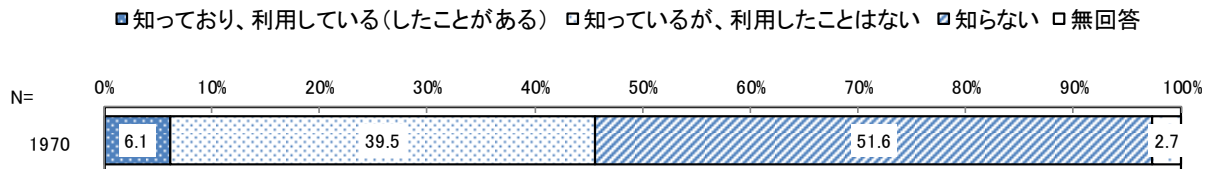
(10) 老人いこいの家

①老人いこいの家の設置への認知

問 38 あなたは老人いこいの家が各校区に設置されていることを知っていますか。

(○は1つ)

【図表 2-27-1 老人いこいの家の設置への認知】



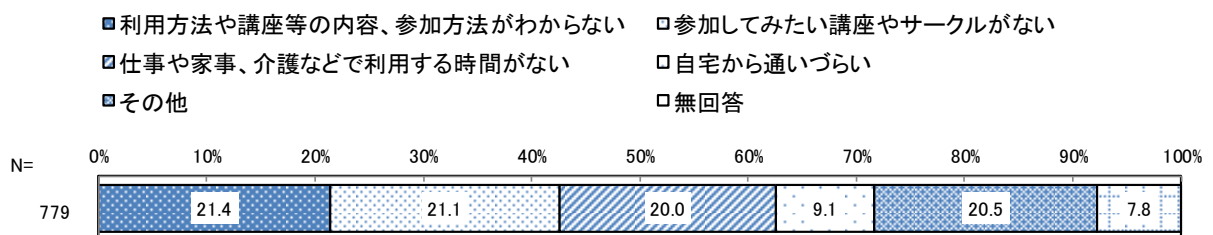
老人いこいの家の設置への認知度は、「知らない」が 51.6%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が 39.5%、「知っており、利用している(したことがある)」が 6.1%となっている。

②老人いこいの家を利用したことがない理由

【問 38】で「2」と答えた方にうかがいます。

問 38-1 利用したことがない主な理由は何ですか。(○は1つ)

【図表 2-27-2 老人いこいの家を利用したことがない理由】

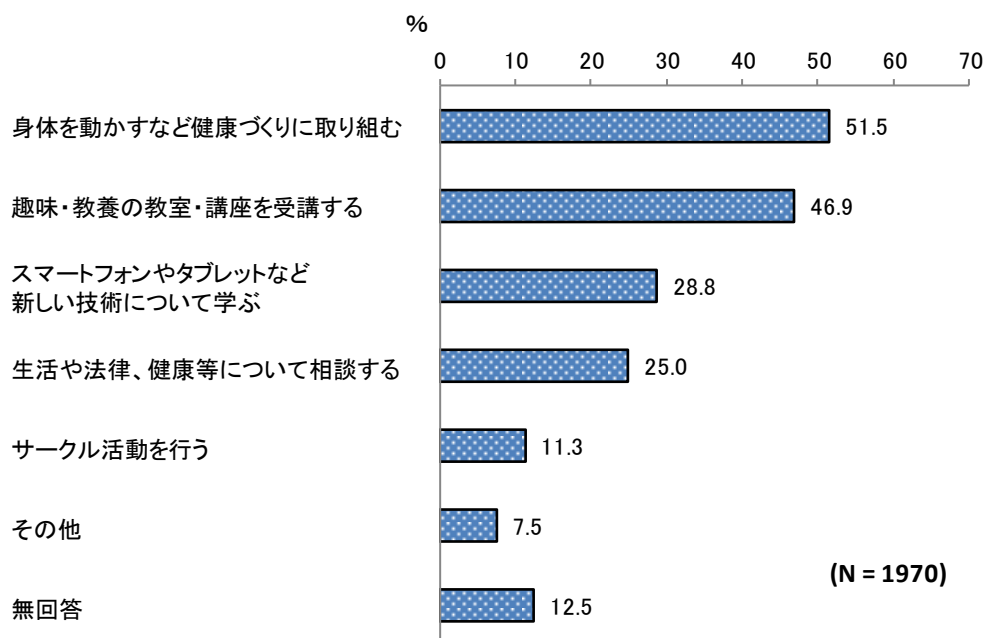


老人いこいの家を利用したことがない理由については、「利用方法や講座等の内容、参加方法がわからない」が 21.4%と最も高く、次いで「参加してみたい講座やサークルがない」が 21.1%、「仕事や家事、介護などで利用する時間がない」が 20.0%となっている。なお、「その他」が 20.5%となっている。

③老人いきいの家の活用希望

問 39 老人いきいの家が皆様にとってより良い施設であるために、どのような場として活用できるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 2-27-3 老人いきいの家の活用希望】



老人いきいの家の活用希望については、「身体を動かすなど健康づくりに取り組む」が 51.5%と最も高く、次いで「趣味・教養の教室・講座を受講する」が 46.9%、「スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ」が 28.8%となっている。

第3章 高齢者一般調査B

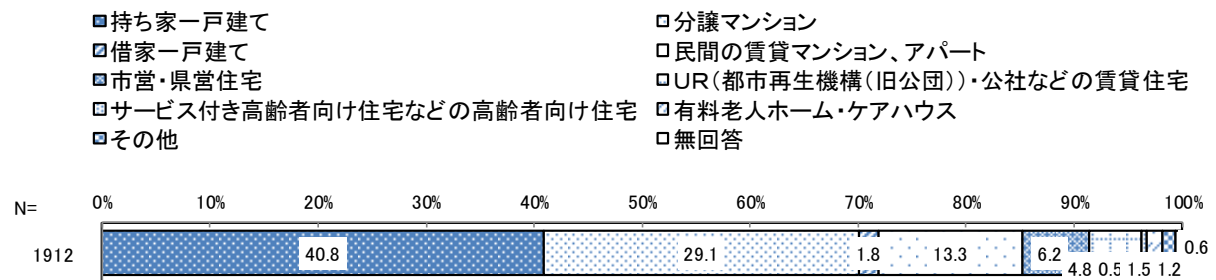
1. 現在の住まいについて

(1) 居住の状況

①住居形態

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

【図表 3-1-1 住居形態】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が40.8%と最も高く、次いで「分譲マンション」が29.1%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が69.9%となっている。

【図表 3-1-2 住居形態×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	UR(都市再生機構(旧公団))・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答
全 体		1912	40.8	29.1	1.8	13.3	6.2	4.8	0.5	1.5	1.2	0.6
性 別	男性	749	40.6	29.5	2.1	14.6	6.5	3.7	0.1	0.8	1.3	0.7
	女性	1119	40.9	29.4	1.7	12.4	5.9	5.3	0.8	2.1	0.9	0.6
年 齢 別	65～69歳	435	32.9	39.3	2.3	17.0	3.9	4.1	0.2	0.0	0.0	0.2
	70～74歳	470	38.7	29.8	2.1	15.7	7.2	4.3	0.2	0.2	1.5	0.2
	75～79歳	462	44.2	26.0	1.7	11.7	7.4	5.8	0.2	1.5	0.9	0.6
	80～84歳	272	48.2	23.2	0.7	8.8	8.5	5.5	1.8	1.5	1.5	0.4
	85～89歳	147	49.0	24.5	2.7	10.2	3.4	2.7	0.7	3.4	2.0	1.4
	90歳以上	86	37.2	24.4	1.2	8.1	2.3	4.7	1.2	14.0	2.3	4.7
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	518	29.2	27.8	2.1	19.3	8.9	6.6	1.4	2.7	1.7	0.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	44.1	31.7	1.8	10.4	5.3	4.2	0.3	0.8	0.7	0.7
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	36.0	41.6	2.2	11.2	0.0	4.5	1.1	0.0	1.1	2.2
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	47.8	17.9	4.5	11.9	10.4	3.0	0.0	4.5	0.0	0.0
	二世帯同居世帯	295	50.2	28.1	1.0	11.2	4.7	2.7	0.0	0.7	0.7	0.7
	三世帯同居世帯	44	63.6	20.5	0.0	9.1	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0
	その他の世帯	76	38.2	27.6	1.3	15.8	6.6	5.3	0.0	2.6	2.6	0.0

年齢別にみると、65～69歳では「分譲マンション」(39.3%)が最も高く、70歳以上では「持ち家一戸建て」が4割近くから5割弱で最も高い。

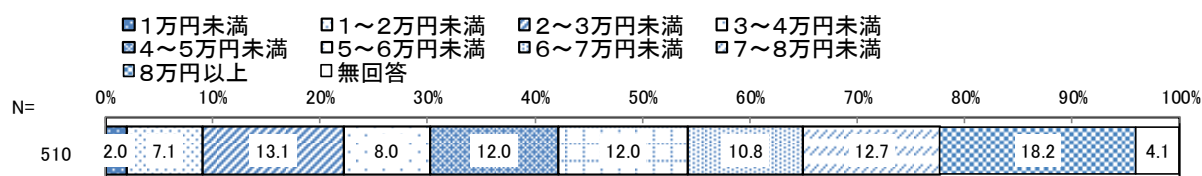
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「民間の賃貸マンション、アパート」(19.3%)が他と比べて高くなっている。

②住まいの1か月の家賃

【問9】で「3」～「7」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。
（○は1つ）

【図表 3-1-3 住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「8万円以上」が18.2%と最も高く、次いで「2～3万円未満」が13.1%、「7～8万円未満」が12.7%となっている。

【図表 3-1-4 住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・世帯構成別】

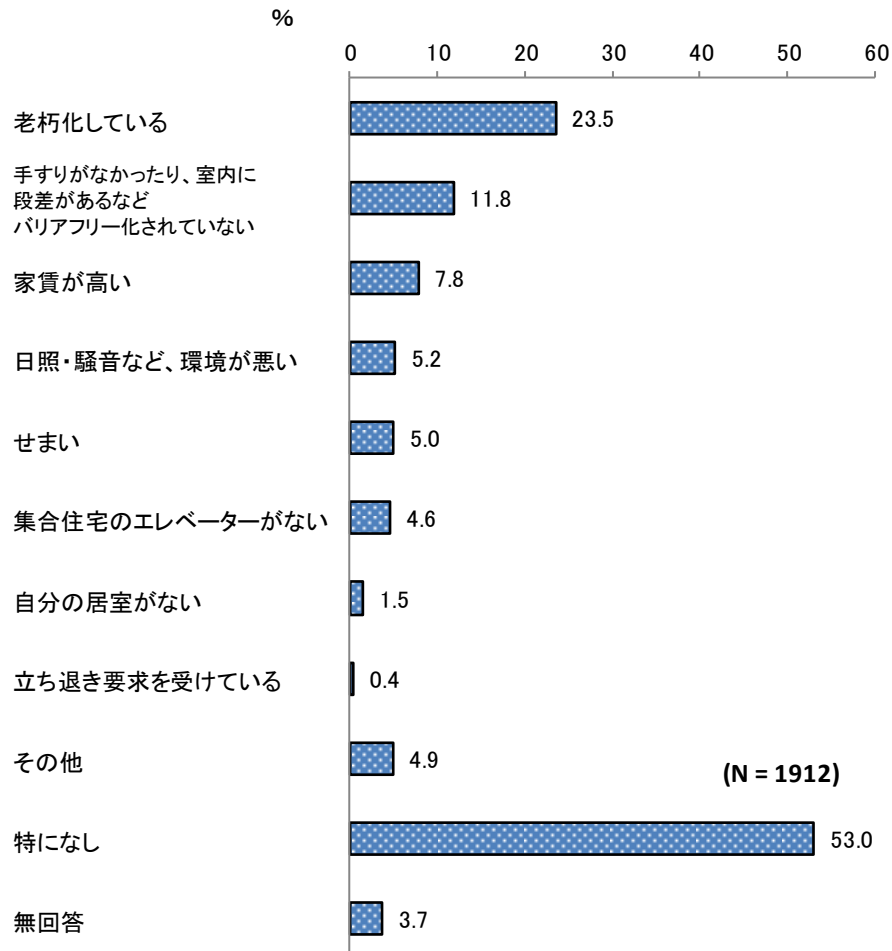
		回答数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7～8万円未満	8万円以上	無回答
全 体		510	2.0	7.1	13.1	8.0	12.0	12.0	10.8	12.7	18.2	4.1
性別	男性	203	1.0	8.9	12.3	9.4	12.3	10.3	12.3	7.9	20.7	4.9
	女性	292	2.4	6.2	13.0	6.8	11.3	13.4	9.6	16.1	17.5	3.8
年齢別	65～69歳	120	0.0	4.2	9.2	6.7	10.0	15.0	12.5	15.0	26.7	0.8
	70～74歳	139	3.6	6.5	13.7	8.6	10.1	9.4	10.8	14.4	18.7	4.3
	75～79歳	124	0.8	12.1	14.5	8.9	13.7	10.5	9.7	11.3	15.3	3.2
	80～84歳	69	4.3	5.8	13.0	7.2	15.9	11.6	10.1	7.2	13.0	11.6
	85～89歳	29	0.0	10.3	6.9	3.4	10.3	20.7	10.3	13.8	17.2	6.9
	90歳以上	15	0.0	0.0	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	13.3	13.3	0.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	198	3.5	9.1	13.1	11.6	13.1	14.1	10.1	11.6	11.1	2.5
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	167	0.6	7.2	13.8	6.0	12.6	9.6	12.0	13.2	21.0	4.2
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	17	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6	47.1	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	20	0.0	5.0	25.0	5.0	10.0	15.0	0.0	10.0	20.0	10.0
	二世帯同居世帯	58	1.7	3.4	8.6	6.9	5.2	8.6	13.8	8.6	31.0	12.1
	三世帯同居世帯	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	その他の世帯	22	0.0	4.5	13.6	0.0	13.6	22.7	9.1	22.7	13.6	0.0

世帯構成別にみると、夫婦だけの世帯と二世帯同居世帯では「8万円以上」、あなたとその他の高齢者のみの世帯では「2～3万円未満」がそれぞれ最も高い。一人暮らし世帯とその他の世帯では「5～6万円未満」が最も高く、その他の世帯では「7～8万円未満」も同率で最も高い。

(2) 住まいの困りごと

問 10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-2-1 住まいの困りごと】



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 53.0%と最も高く、半数以上が今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「老朽化している」が 23.5%で最も高く、次いで「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 11.8%となっている。

【図表 3-2-2 住まいの困りごと×性別・年齢別・健康状態別・住居形態別】

		回答数	せまい	老朽化している	室内に段差があるなど、バリアフリー化されていない	日照・騒音など、環境が悪い	家賃が高い	立ち退き要求を受けている	自分の居室がない	集合住宅のエレベーターがない	その他	特になし	(%) 無回答
全 体		1912	5.0	23.5	11.8	5.2	7.8	0.4	1.5	4.6	4.9	53.0	3.7
性別	男性	749	6.5	25.1	11.3	5.5	7.6	0.3	1.6	4.0	3.7	53.1	3.3
	女性	1119	3.7	22.8	12.2	5.2	7.9	0.4	1.3	5.2	5.5	53.1	3.6
年齢別	65～69歳	435	6.7	24.4	9.4	7.8	11.0	0.7	3.0	5.5	5.3	50.8	1.6
	70～74歳	470	4.7	24.7	10.2	4.7	7.0	0.2	0.4	3.4	5.3	52.8	3.8
	75～79歳	462	4.5	22.9	14.9	5.4	8.2	0.6	1.7	5.4	5.2	50.4	3.9
	80～84歳	272	3.3	23.9	11.8	3.7	6.3	0.0	0.7	5.9	3.7	56.6	4.8
	85～89歳	147	4.8	21.8	16.3	2.7	4.1	0.0	0.7	2.7	2.7	58.5	3.4
	90歳以上	86	3.5	23.3	10.5	4.7	3.5	0.0	1.2	3.5	4.7	58.1	5.8
健康状態別	健康である	854	2.7	21.8	8.3	4.3	6.7	0.2	0.8	3.4	4.2	59.5	3.3
	外出はひとりできる	841	6.7	24.0	14.1	6.7	9.2	0.6	1.9	5.8	4.6	48.3	3.7
	外出はひとりできない	131	8.4	29.0	16.0	3.8	7.6	0.0	1.5	4.6	6.9	46.6	3.1
	ベッドでの生活が主体	28	10.7	28.6	32.1	3.6	10.7	0.0	3.6	7.1	14.3	39.3	0.0
	一日中ベッドの上	12	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	58.3	0.0
住居形態別	持ち家一戸建て	781	3.2	29.2	13.8	4.5	2.6	0.3	0.9	1.7	4.9	53.4	3.3
	分譲マンション	557	4.1	16.9	9.9	5.0	2.0	0.2	1.3	5.4	4.3	61.4	4.1
	借家一戸建て	35	0.0	25.7	5.7	8.6	11.4	5.7	0.0	0.0	2.9	51.4	5.7
	民間の賃貸マンション、アパート	255	9.8	22.0	10.2	6.3	27.5	0.8	4.3	5.9	5.1	40.4	1.2
	市営・県営住宅	119	5.9	30.3	16.8	4.2	9.2	0.0	1.7	13.4	5.0	45.4	5.0
	UR(都市再生機構(旧公団))・公社などの賃貸住宅	91	8.8	20.9	9.9	6.6	28.6	0.0	1.1	13.2	7.7	39.6	3.3
	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0
	有料老人ホーム・ケアハウス	29	10.3	6.9	6.9	6.9	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1	6.9
	その他	23	17.4	13.0	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0	8.7	13.0	60.9	0.0

年齢別では、特に大きな差はみられない。

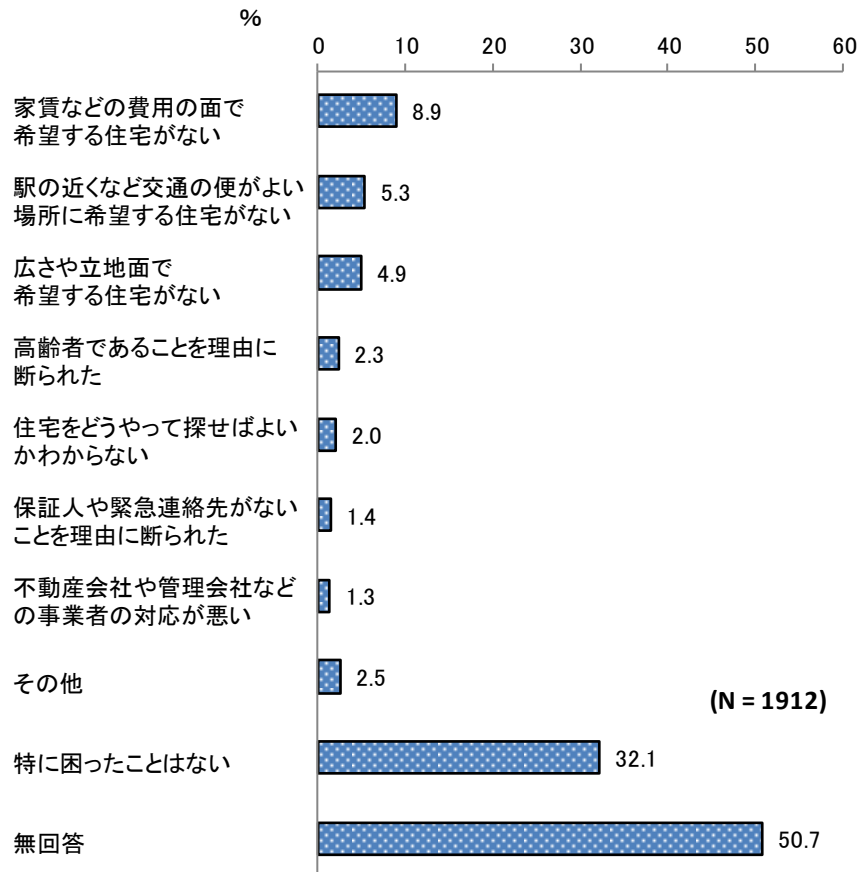
住居形態別にみると、持ち家一戸建て、市営・県営住宅では「老朽化している」が3割前後と比較的高くなっている。また、民間の賃貸マンション、アパート、UR（都市再生機構（旧公団））・公社などの賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅では、「家賃が高い」が3割近くから3割と、他と比べて高くなっている。

(3) 住み替えで困ったこと

これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。

問 11 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-3-1 住み替えで困ったこと】



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 32.1%と最も高く、次いで「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」が 8.9%、「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」が 5.3%となっている。

【図表 3-3-2 住み替えで困ったこと×世帯構成別】

													(%)
		回答数	住宅をどうやって探せばよいかわからない	家賃などの費用の面で希望する住宅がない	広さや立地面で希望する住宅がない	駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない	悪い不動産会社や管理会社などの事業者の対応が	高齢者であることを理由に断られた	保証人や緊急連絡先がないことを理由に断られた	その他	特に困ったことはない	無回答	
全 体		1912	2.0	8.9	4.9	5.3	1.3	2.3	1.4	2.5	32.1	50.7	
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	3.9	12.9	3.9	5.8	2.5	4.4	2.9	3.9	30.3	47.7	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	1.2	5.9	4.6	5.4	0.7	1.7	0.8	2.0	34.2	52.0	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	0.0	14.6	11.2	9.0	3.4	0.0	1.1	0.0	41.6	37.1	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	1.5	9.0	1.5	3.0	0.0	4.5	3.0	7.5	38.8	41.8	
	二世帯同居世帯	295	2.7	9.2	6.1	5.8	0.7	0.3	0.0	1.0	28.1	54.9	
	三世帯同居世帯	44	0.0	6.8	9.1	2.3	2.3	4.5	0.0	0.0	22.7	61.4	
	その他の世帯	76	0.0	7.9	3.9	1.3	0.0	0.0	1.3	2.6	28.9	60.5	

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯では「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」「広さや立地面で希望する住宅がない」がともに1割台で、他と比べて高くなっている。

2. 健康・福祉などについて

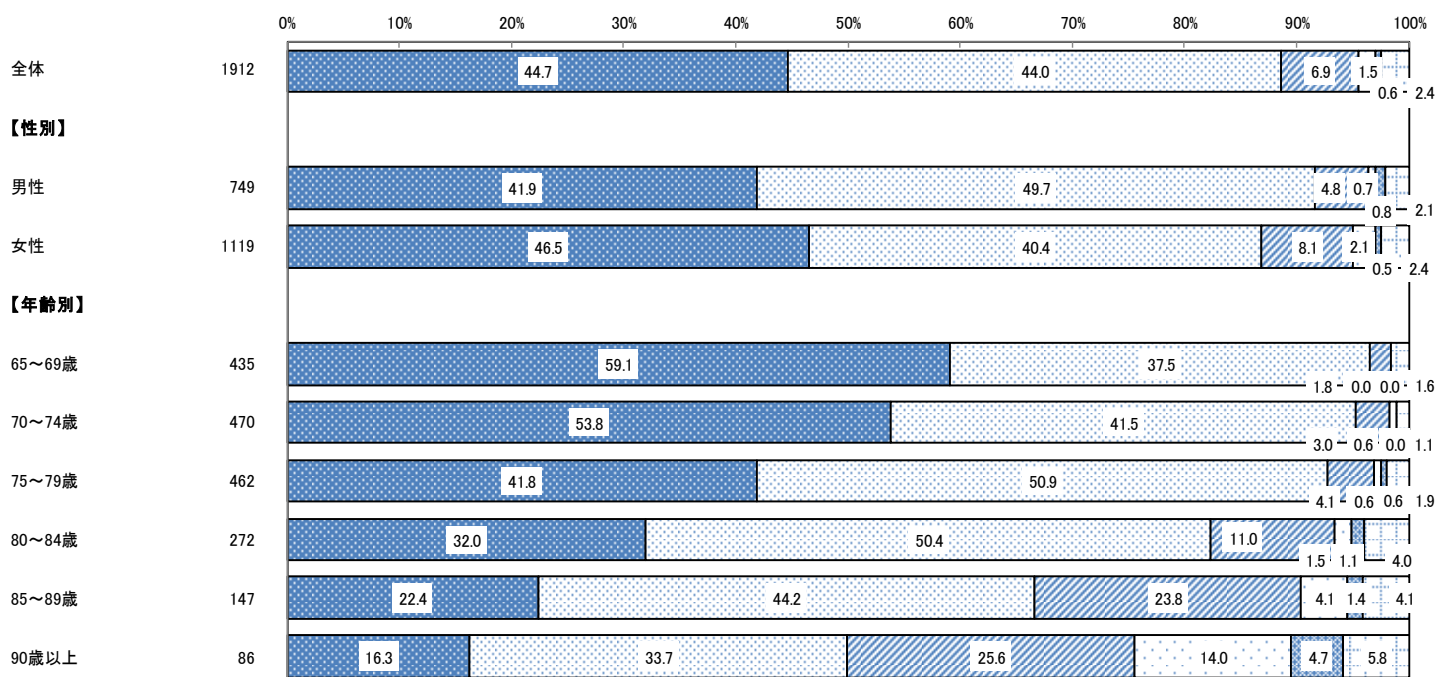
(1) 健康状態と運動習慣

①健康状態

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 3-4-1 健康状態×性別・年齢別】

- 健康で、普通に生活している
- 何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
- 家の中での生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
- 病気や障がいがあって、家の中での生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である
- 病気や障がいがあるが、家の中での生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド(ふとん)の上にいる
- 無回答



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が44.7%と最も高く、次いで「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」が44.0%となっており、合わせて88.7%の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性では「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」(49.7%)が、女性より高くなっている。

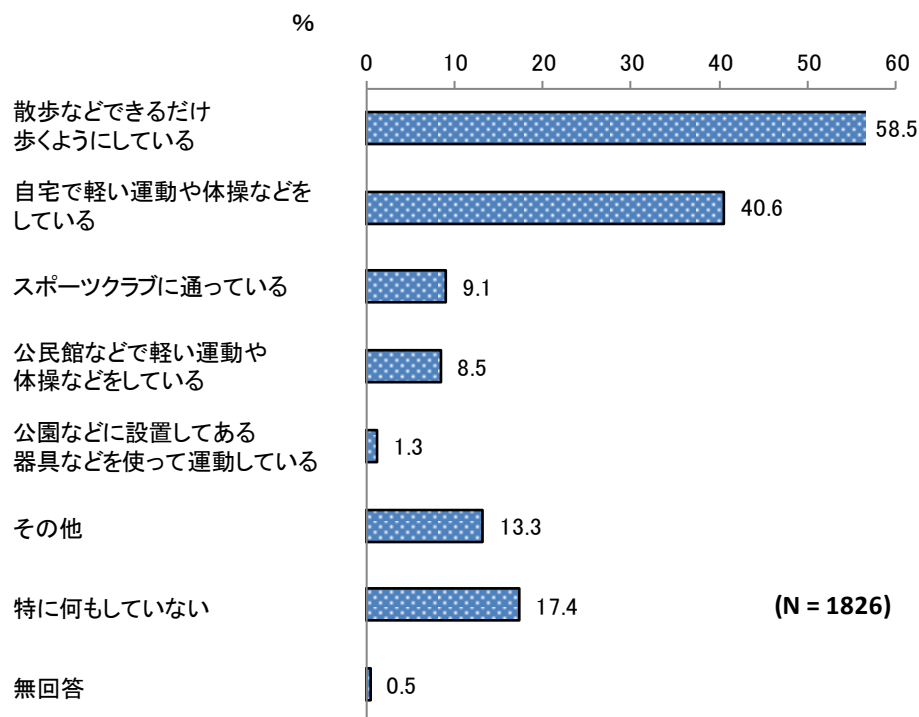
年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が低くなっている。

②運動習慣

【問 12】で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 12-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(○はいくつでも)

【図表 3-4-2 運動習慣】



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 58.5%と最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が 40.6%、「スポーツクラブに通っている」が 9.1%となっている。なお、「特に何もしていない」が 17.4%、「その他」が 13.3%となっている。

【図表 3-4-3 運動習慣×性別・年齢別】

											(%)
		回 答 数	散歩など できるだけ 歩くように している	自宅で軽い 運動や体操 などをして いる	公民館など で軽い運動 や体操など をしている	公園などに 設置してある 器具などを使 って運動して いる	スポーツク ラブに通っ ている	その他	特に何も していない	無 回 答	
全 体		1826	58.5	40.6	8.5	1.3	9.1	13.3	17.4	0.5	
性 別	男性	722	61.1	37.7	3.7	1.8	6.9	15.7	18.7	0.3	
	女性	1063	57.7	42.7	11.9	0.8	10.7	11.9	15.9	0.7	
年 齢 別	65～69歳	428	55.1	33.6	5.4	0.7	13.1	10.3	22.4	0.2	
	70～74歳	462	60.6	35.7	8.0	1.1	10.2	13.4	14.9	0.6	
	75～79歳	447	62.0	45.0	10.7	0.9	7.8	13.4	15.2	0.9	
	80～84歳	254	61.0	48.8	9.1	1.6	7.5	15.7	14.2	0.4	
	85～89歳	133	60.2	51.1	12.8	4.5	3.8	16.5	17.3	0.0	
	90歳以上	65	43.1	40.0	7.7	0.0	3.1	18.5	21.5	0.0	

性別にみると、女性では「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が4割強、「公民館などで軽い運動や体操などを行っている」「スポーツクラブに通っている」がともに1割を超え、男性より高くなっている。

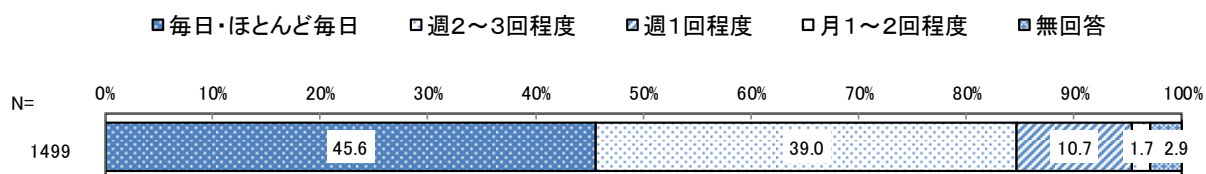
年齢別にみると、85～89歳では、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」(51.1%)が他に比べ高くなっている。

③運動頻度

【問 12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問 12-2 それはどのくらいの頻度でしていますか。(○は1つ)

【図表 3-4-4 運動頻度】



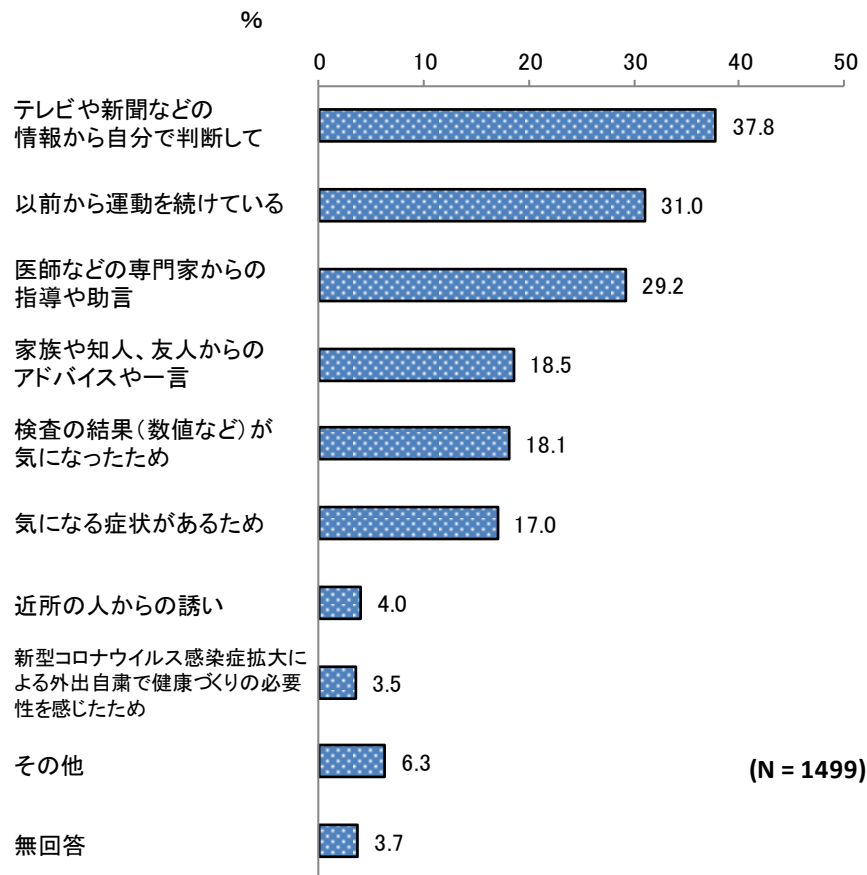
運動頻度は、「毎日・ほとんど毎日」が 45.6%と最も高く、次いで「週2～3回程度」が 39.0%、「週1回程度」が 10.7%となっている。

④運動に取り組むきっかけ

【問 12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問 12-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-5 運動に取り組むきっかけ】



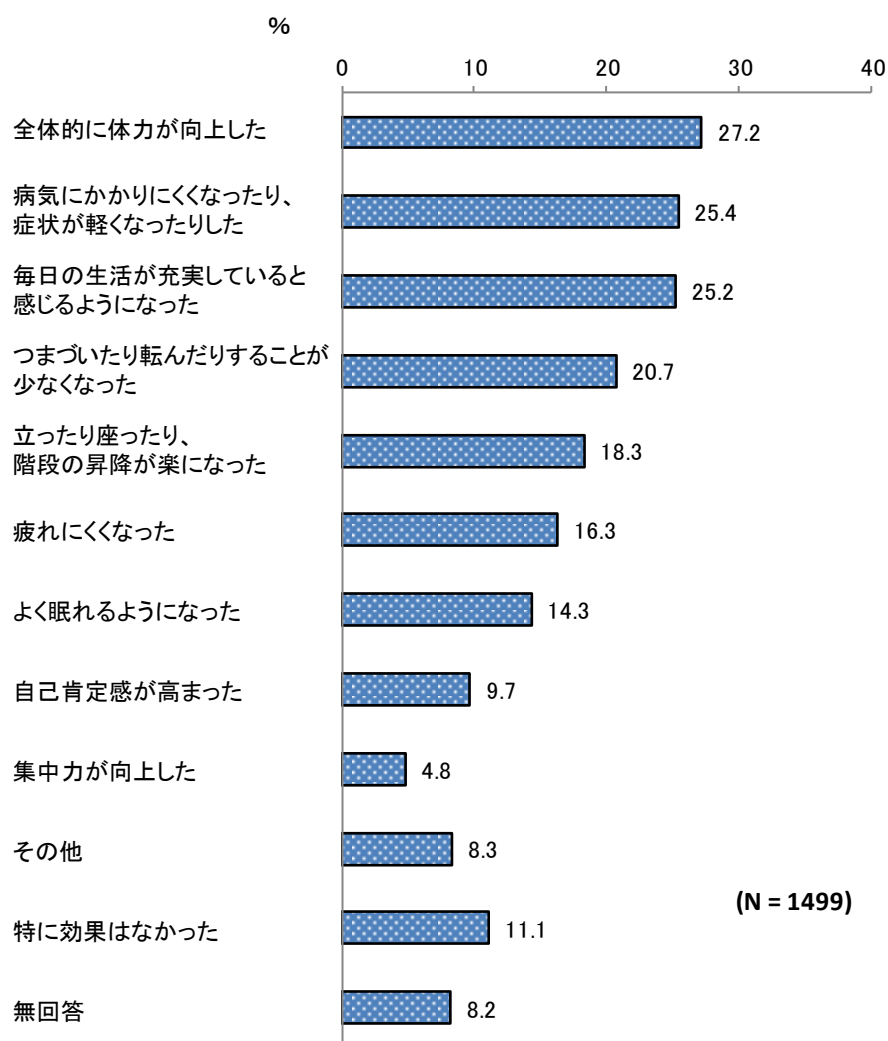
運動に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 37.8%と最も高く、次いで「以前から運動を続けている」が 31.0%、「医師などの専門家からの指導や助言」が 29.2%となっている。

⑤運動の効果

【問 12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問 12-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。（〇はいくつでも）

【図表 3-4-6 運動の効果】



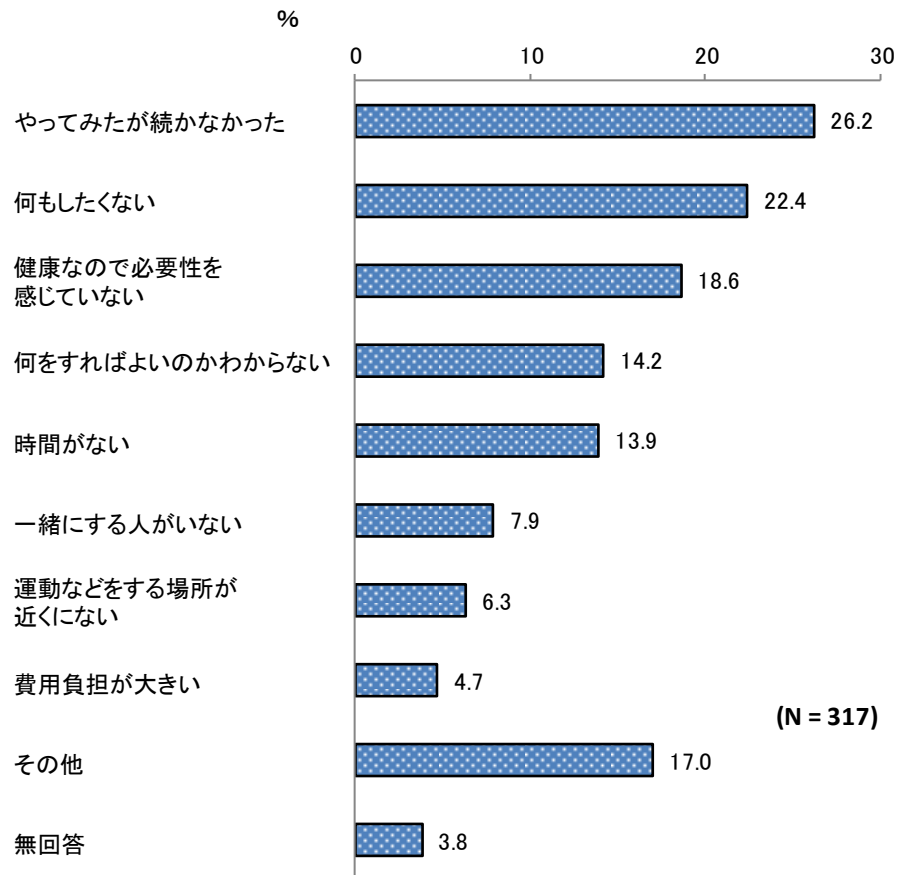
運動の効果は、「全体的に体力が向上した」が 27.2%と最も高く、次いで「病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした」が 25.4%、「毎日の生活が充実していると感じるようになった」が 25.2%となっている。

⑥運動をしていない理由

【問 12－1】で「7」と答えた方にうかがいます。

問 12－5 何もしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 3-4-7 運動をしていない理由】



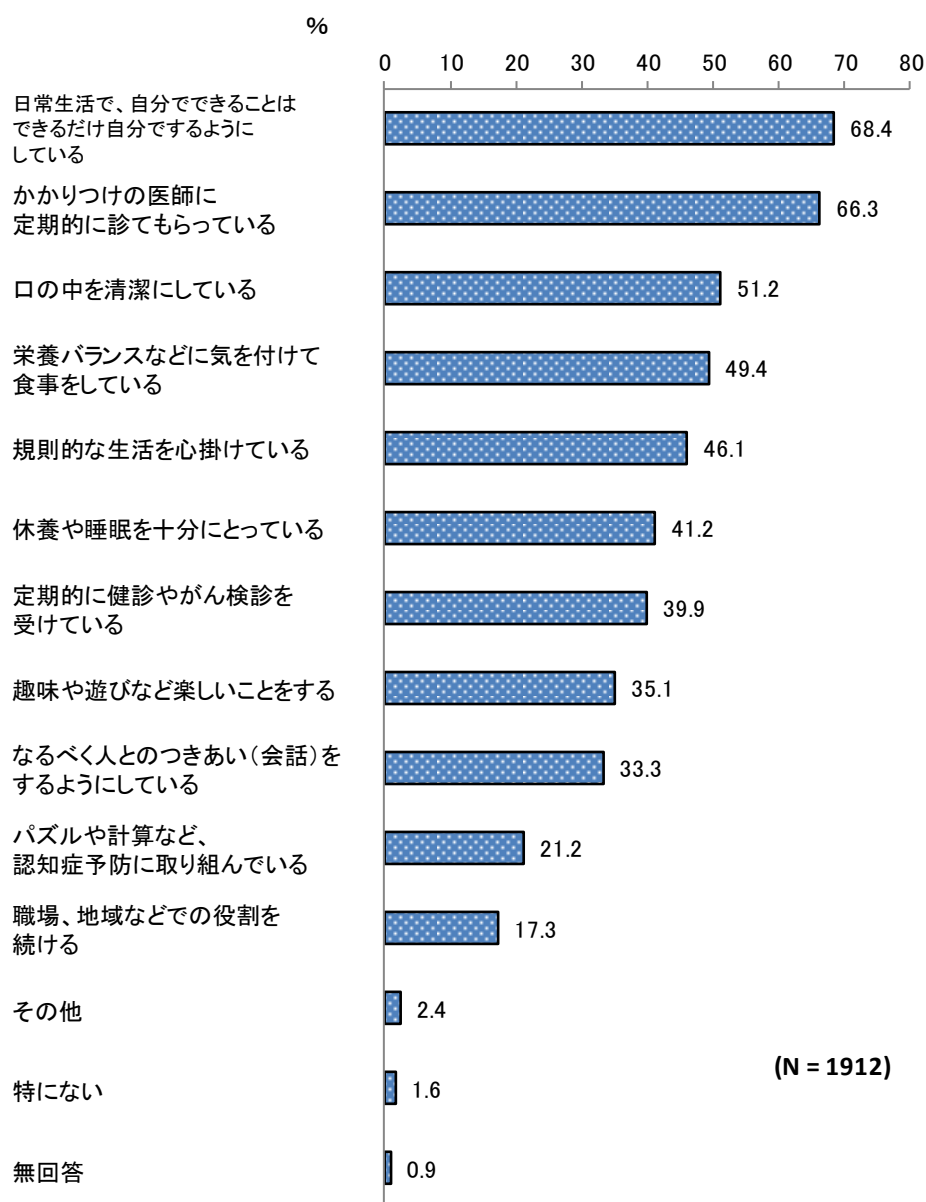
運動をしていない理由は、「やって見たが続かなかった」が 26.2%と最も高く、次いで「何もしたくない」が 22.4%、「健康なので必要性を感じていない」が 18.6%となっている。

(2) 運動以外の健康づくり習慣

①運動以外で気を付けていること

問 13 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。
(○はいくつでも)

【図表 3-5-1 運動以外で気を付けていること】



運動以外で気を付けていることは、「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」が 68.4%と最も高く、次いで「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が 66.3%、「口の中を清潔にしている」が 51.2%となっている。

【図表 3-5-2 運動以外で気を付けていること×性別・年齢別・健康状態別】

		回答数	定期的に 診てもらっ ている	定期的に 健診やがん 検診を受け ている	日常生活で、 自分でする ことができる ようにしてい る	口の中を清 潔にしてい る	休養や睡眠 を十分に とっている	規則的な生 活を心掛 けている	栄養バラン スなどに 気を付けて いる
全 体		1912	66.3	39.9	68.4	51.2	41.2	46.1	49.4
性別	男性	749	68.5	41.8	59.8	42.5	41.7	42.1	39.0
	女性	1119	64.3	38.7	74.5	57.5	41.0	49.2	56.5
年齢別	65～69歳	435	54.9	49.9	64.8	51.3	37.9	49.2	49.9
	70～74歳	470	60.2	41.3	66.8	50.0	40.6	43.2	46.4
	75～79歳	462	73.4	41.3	71.6	53.9	41.6	47.4	53.5
	80～84歳	272	73.9	33.5	73.5	53.3	45.6	49.3	54.0
	85～89歳	147	75.5	25.9	72.8	47.6	40.8	39.5	41.5
	90歳以上	86	73.3	19.8	59.3	46.5	47.7	44.2	44.2
健康状態別	健康である	854	52.5	43.9	68.6	54.8	45.6	51.8	56.3
	外出はひとりでできる	841	78.6	40.4	72.1	50.8	36.6	42.7	44.4
	外出はひとりでできない	131	74.8	23.7	65.6	42.0	45.0	40.5	46.6
	ベッドでの生活が主体	28	78.6	7.1	10.7	21.4	32.1	17.9	28.6
	一日中ベッドの上	12	75.0	25.0	25.0	33.3	41.7	41.7	33.3

		回答数	認知症予防に取り組むパズルや計算など、	趣味や遊びなど楽しいことをする	なるべく人とのつきあ(会話)をするようにしている	職場、地域などでの役割を続ける	その他	特にな	無回答
全 体		1912	21.2	35.1	33.3	17.3	2.4	1.6	0.9
性別	男性	749	15.2	35.0	22.2	21.0	3.3	2.5	0.7
	女性	1119	25.3	35.3	41.1	14.8	1.7	1.1	1.1
年齢別	65～69歳	435	15.2	38.6	29.0	28.0	2.5	2.8	0.2
	70～74歳	470	21.3	37.2	29.4	21.7	1.3	1.1	0.9
	75～79歳	462	22.3	37.0	36.1	13.0	2.6	1.5	0.4
	80～84歳	272	25.7	33.1	39.7	8.5	2.2	1.8	1.8
	85～89歳	147	26.5	27.2	42.9	9.5	3.4	0.0	3.4
	90歳以上	86	24.4	17.4	29.1	2.3	4.7	2.3	1.2
健康状態別	健康である	854	21.1	44.7	39.6	24.5	2.6	1.9	0.6
	外出はひとりでできる	841	22.4	31.3	29.7	13.6	1.7	1.0	0.6
	外出はひとりでできない	131	19.1	9.9	24.4	3.1	2.3	2.3	1.5
	ベッドでの生活が主体	28	17.9	3.6	0.0	0.0	10.7	3.6	7.1
	一日中ベッドの上	12	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0

性別にみると、女性では「日常生活で、自分ですることはできるだけ自分でするようにしている」(74.5%)、「口の中を清潔にしている」(57.5%)、「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」(56.5%)、「なるべく人とのつきあい(会話)をするようにしている」(41.1%)、「パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる」(25.3%)が男性に比べ高くなっている。

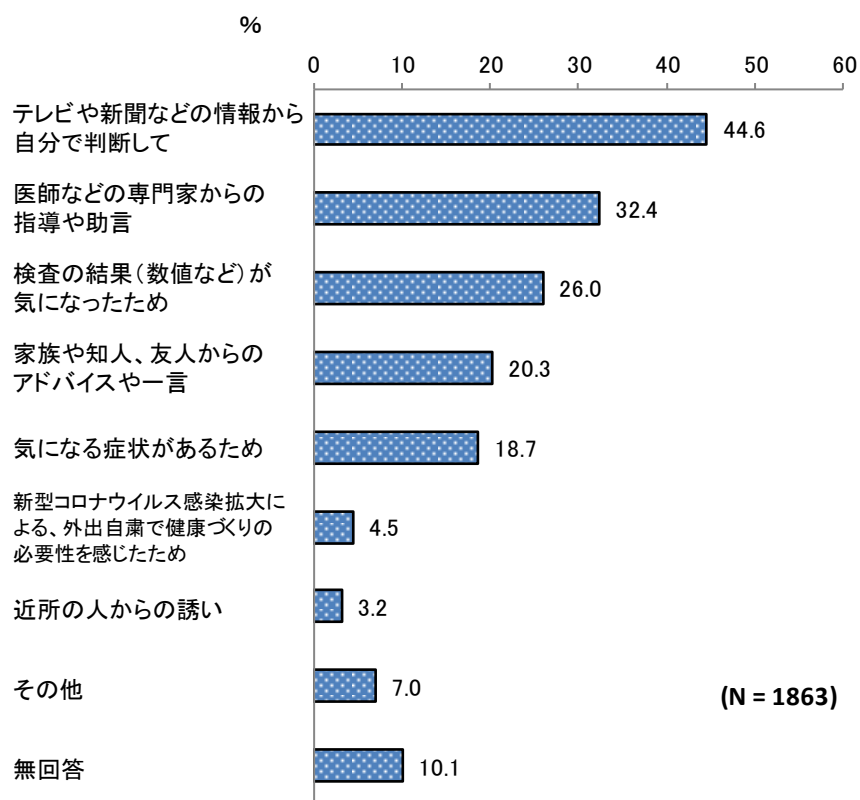
健康状態別にみると、健康である人は「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「趣味や遊びなど楽しいことをする」「なるべく人とのつきあい(会話)をするようにしている」「職場、地域などでの役割を続ける」の割合が高くなっている。

②運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問13】で「1」～「12」と答えた方にうかがいます。

問13-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 3-5-3 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が44.6%と最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が32.4%、「検査の結果（数値など）が気になったため」が26.0%となっている。

【図表 3-5-4 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	医師などの専門家からの指導や助言	テレビや新聞などの情報から自分で判断して	家族や知人、友人からのアドバイス	近所の人からの誘い	検査の結果（数値など）が気になったため	気になる症状があるため	新型コロナウイルスの感染拡大による外出の自粛や健康づくりの必要性を感じたため	その他	(%) 無回答
全 体		1863	32.4	44.6	20.3	3.2	26.0	18.7	4.5	7.0	10.1
性別	男性	725	37.4	41.0	17.9	1.2	33.1	21.1	3.0	7.4	8.6
	女性	1095	28.9	47.2	21.8	4.6	21.5	17.1	5.5	6.8	10.9
年齢別	65～69歳	422	30.1	48.1	17.1	1.9	32.7	18.2	4.0	9.5	4.5
	70～74歳	461	28.6	44.7	22.1	2.6	25.8	17.4	4.1	4.8	10.8
	75～79歳	453	33.1	45.7	18.1	4.4	29.4	20.8	4.4	6.8	11.3
	80～84歳	262	34.4	46.9	24.0	3.4	20.2	18.3	5.7	6.9	13.4
	85～89歳	142	41.5	37.3	23.9	4.2	19.0	21.1	4.2	4.9	9.9
	90歳以上	83	37.3	27.7	19.3	4.8	7.2	15.7	6.0	12.0	15.7

性別にみると、男性では「医師などの専門家からの指導や助言」（37.4%）、「検査の結果（数値など）が気になったため」（33.1%）が女性より高く、女性では「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」（47.2%）が男性より高くなっている。

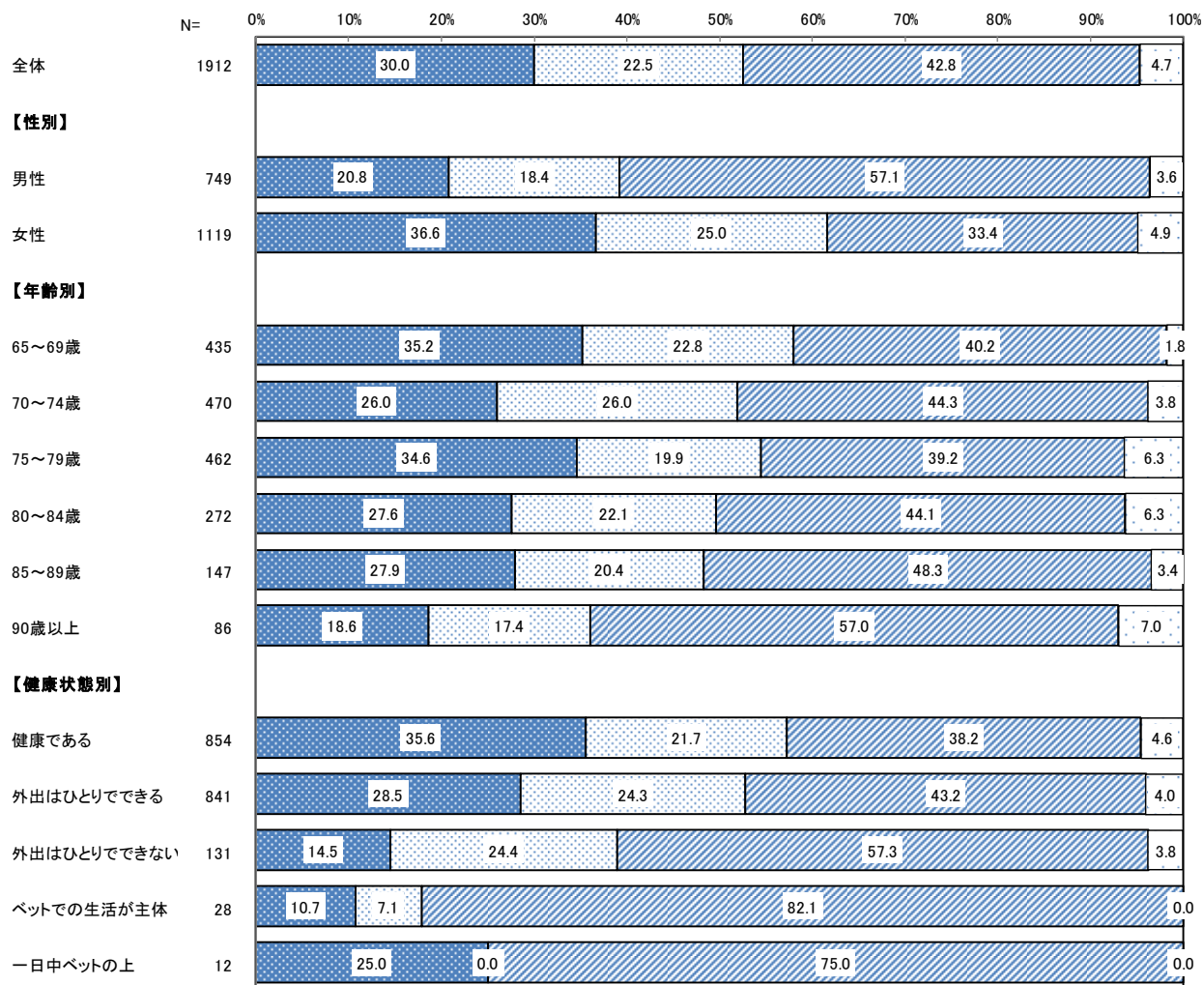
年齢別にみると、65～69歳では「検査の結果（数値など）が気になったため」（32.7%）、85～89歳では「医師などの専門家からの指導や助言」（41.5%）が、他と比べて高くなっている。

(3) フレイルの認知度

問 14 「フレイル」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

【図表 3-6-1 フレイルの認知度×性別・年齢別】

■言葉だけでなく、内容も知っている □言葉は知っているが、内容はよく知らない ▨知らない □無回答



フレイルの認知度は、「知らない」が 42.8%と最も高く、次いで「言葉だけでなく、内容も知っている」が 30.0%、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が 22.5%となっている。

性別にみると、男性では「知らない」(57.1%)が女性に比べ高くなっている。

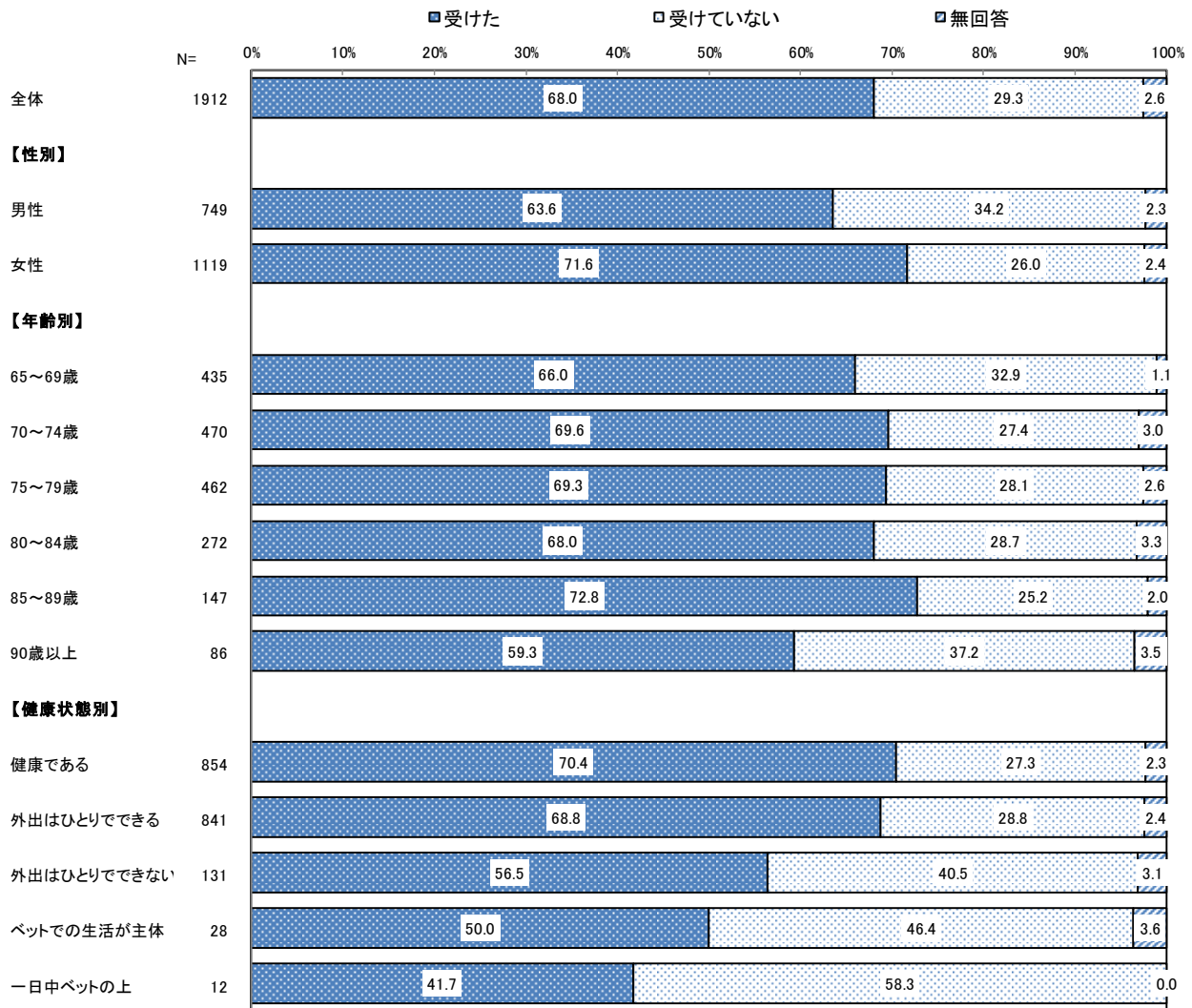
年齢別にみると、90歳以上では「知らない」(57.0%)が他と比べて高くなっている。

健康状態別にみると、健康である人はそれ以外の状態の人に比べ、「知らない」(38.2%)が低く、「言葉だけでなく内容も知っている」(35.6%)が高くなっている。

(4) 歯科の定期健診の有無

問 15 あなたは、この1年間に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

【図表 3-7-1 歯科の定期健診の有無×性別・年齢別・健康状態別】



歯科の定期健診の有無は、「受けた」が68.0%、「受けていない」が29.3%となっている。

年齢別にみると、すべての年代で「受けた」が過半数を占め、90歳未満では6割半ばから7割強となっている。

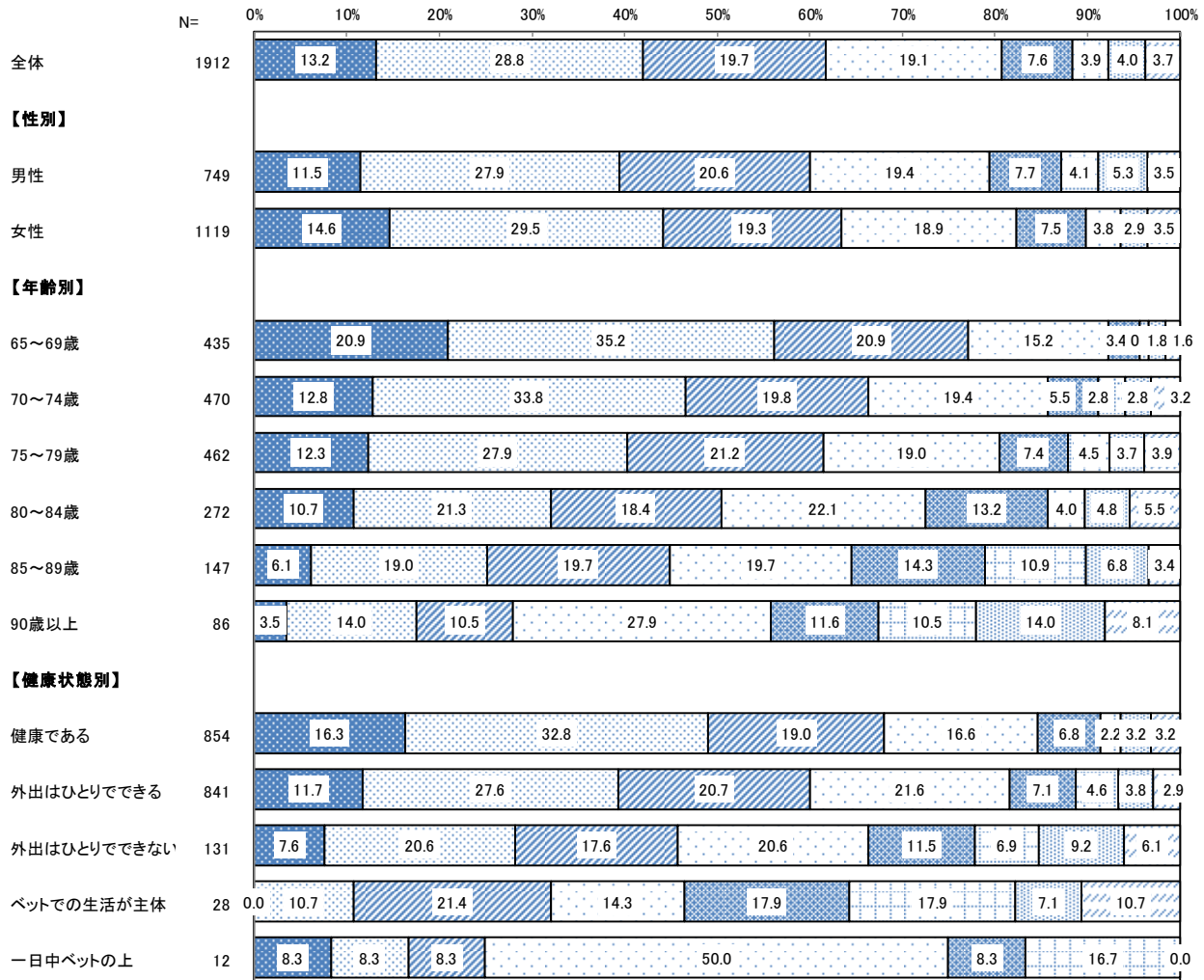
健康状態別にみると、健康状態が悪いほど「受けた」の割合が低く、健康である人では70.4%となったのに対し、一日中ベッドの上の人では41.7%と半数を下回った。

(5) 歯の本数

問 16 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

【図表 3-8-1 歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】

■28本(全部ある) □24～27本 ▨20～23本 □10～19本 ▨5～9本 □1～4本 □0本 □無回答



歯の本数は、「24～27本」が28.8%と最も高く、次いで「20～23本」が19.7%、「10～19本」が19.1%となっている。

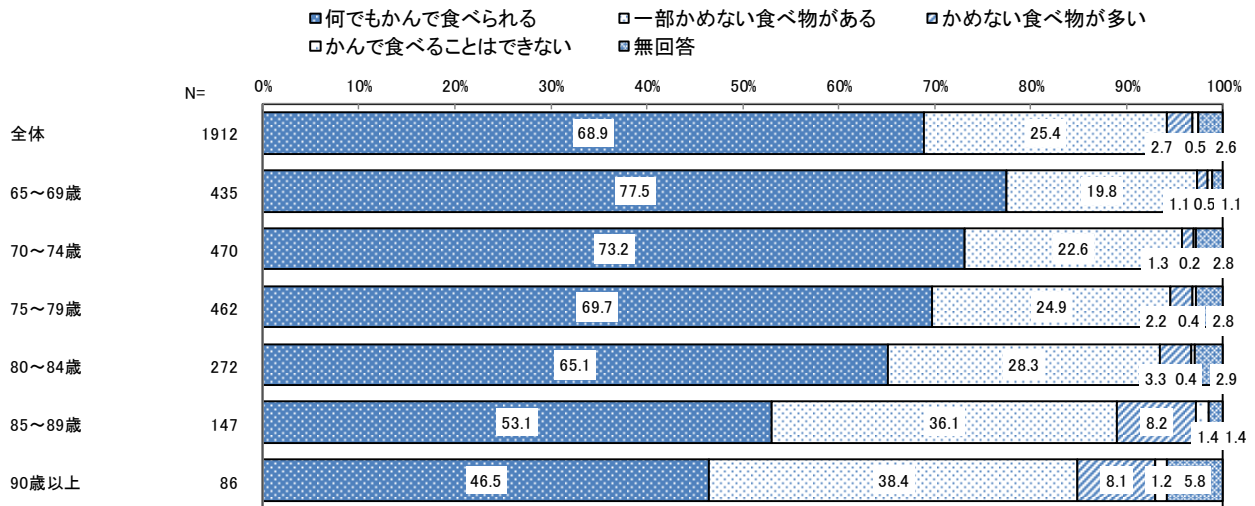
年齢別にみると、年齢が高いほど歯の本数が少ない人の割合が高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよいほど歯の本数が20本以上ある人の割合が高くなっている。

(6) 咀嚼の状況

問 17 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

【図表 3-9-1 咀嚼の状況×年齢別】



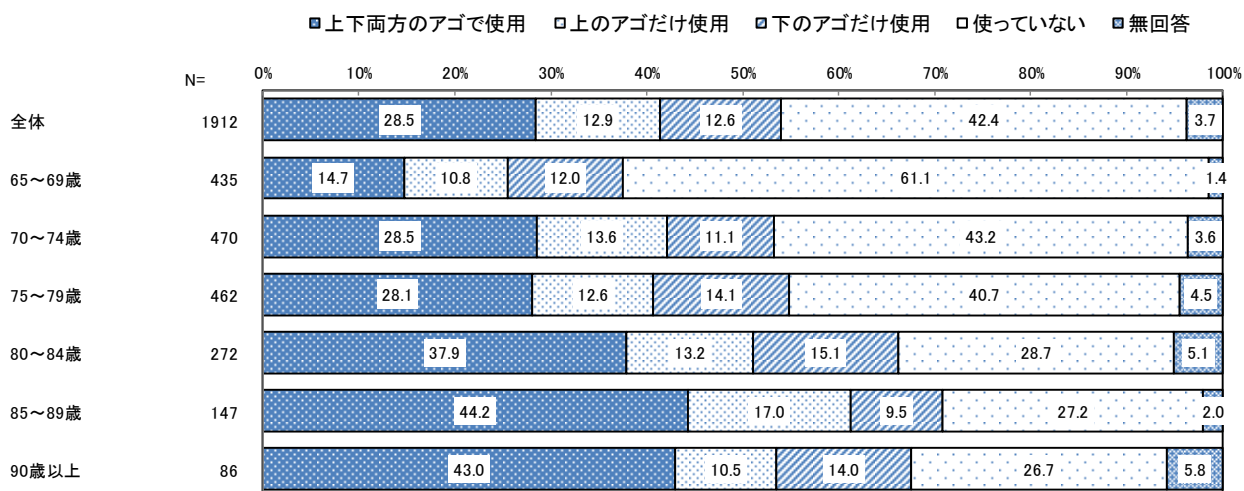
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が 68.9%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が 25.4%、「かめない食べ物が多い」が 2.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなる傾向があり、90歳以上では 46.5%となっている。

(7) 入れ歯・ブリッジの使用状況

問 18 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。(○は1つ)

【図表 3-10-1 入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



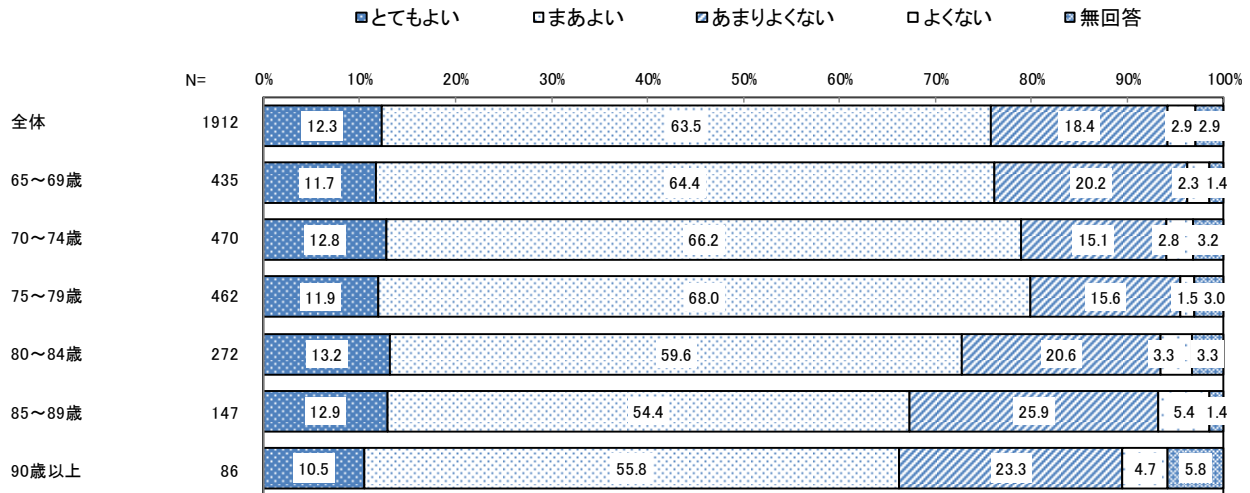
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が 42.4%と最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が 28.5%、「上のアゴだけ使用」が 12.9%となっている。

年齢別にみると、85歳以上では「上下両方のアゴで使用」が4割を超え、比較的高い割合となっている。

(8) 口腔の健康状態

問 19 あなたのお口（歯や歯ぐき，入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【図表 3-11-1 口腔の健康状態×年齢別】



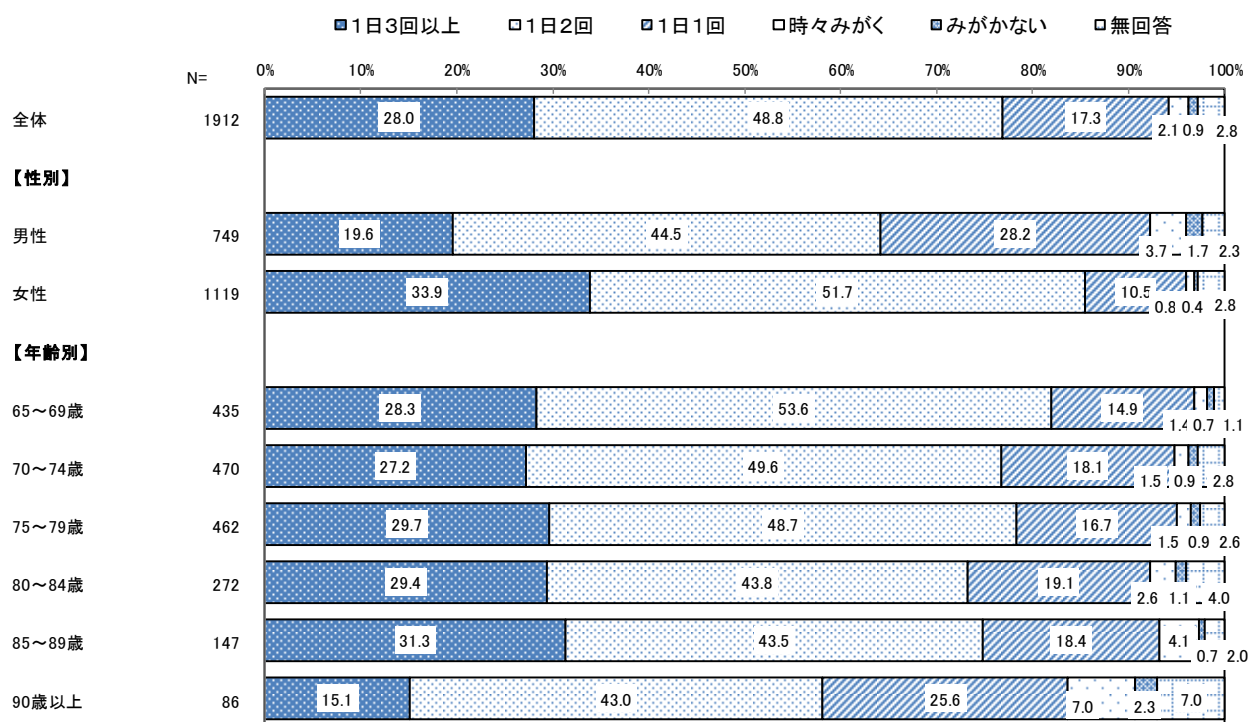
口腔の健康状態は、「まあよい」が 63.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が 18.4%、「とてもよい」が 12.3%となっている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』の割合は 75.8%となっている。

年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では『よい』の割合が7割を下回り、他と比べて低くなっている。

(9) 歯みがきの頻度

問 20 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(○は1つ)

【図表 3-12-1 歯みがきの頻度×性別・年齢別】



歯みがきの頻度は、「1日2回」が48.8%と最も高く、次いで「1日3回以上」が28.0%、「1日1回」が17.3%となっている。

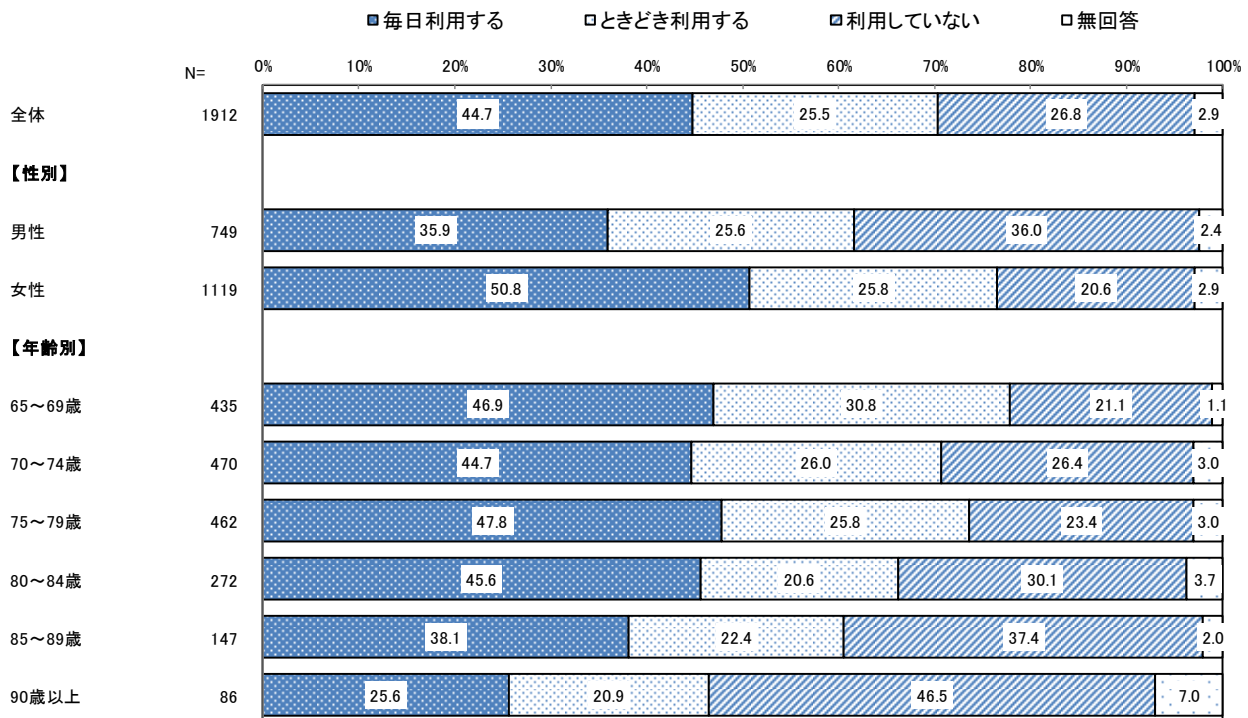
性別にみると、女性では「1日2回」(51.7%)、「1日3回以上」(33.9%)の割合が男性より高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「1日3回以上」(15.1%)が他と比べ低く、「1日1回」(25.6%)が高くなっている。

(10) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 21 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(○は1つ)

【図表 3-13-1 歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「毎日利用する」が 44.7%と最も高く、次いで「利用していない」が 26.8%、「ときどき利用する」が 25.5%となっている。

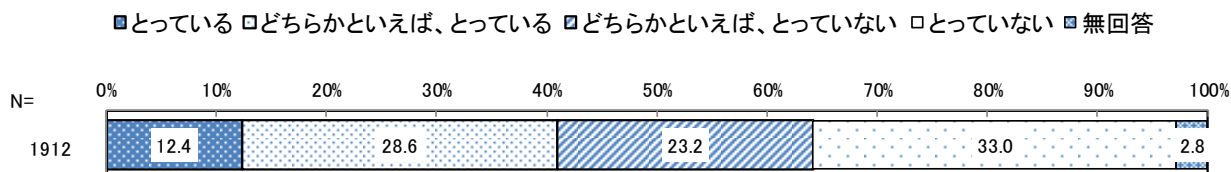
性別にみると、女性では「毎日利用する」(50.8%)が男性より高く、男性では「利用しない」(36.0%)が女性より高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『利用する』(「毎日利用する」と「ときどき利用する」の合計)の割合は概ね低くなる傾向があり、90歳以上では「利用していない」(46.5%)が他に比べ高い割合となっている。

(11) 認知症を正しく理解する行動

問 22 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。(○は1つ)

【図表 3-14-1 認知症を正しく理解する行動】



認知症を正しく理解する行動は、「とっていない」が 33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、とっている」が 28.6%、「どちらかといえば、とっていない」が 23.2%となっている。

【図表 3-14-2 認知症を正しく理解する行動×年齢別】

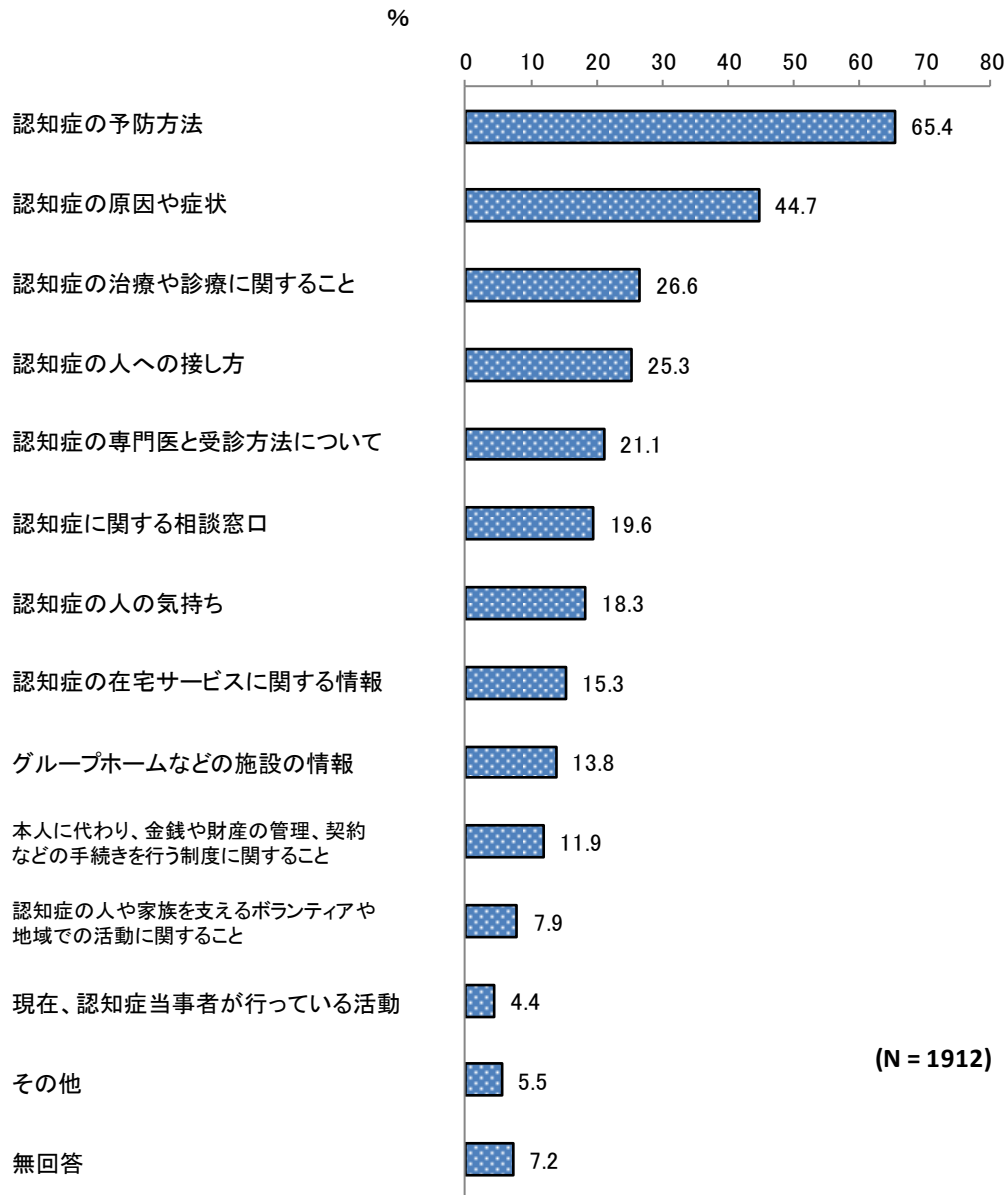
		(%)					
		回答数	とっている	どちらかといえ ば、	どちらかといえ ば、	とっていない	無回答
全 体		1912	12.4	28.6	23.2	33.0	2.8
年 齢 別	65～69歳	435	11.0	25.3	26.7	36.1	0.9
	70～74歳	470	8.7	30.0	24.3	34.0	3.0
	75～79歳	462	13.9	30.5	22.7	29.9	3.0
	80～84歳	272	13.6	30.1	20.6	32.7	2.9
	85～89歳	147	17.7	35.4	17.7	26.5	2.7
	90歳以上	86	16.3	17.4	18.6	41.9	5.8

年齢別にみると、90歳以上では「とっていない」(41.9%)が比較的高くなっている。

(12) 認知症に関して知りたい内容

問 23 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-15-1 認知症に関して知りたい内容】

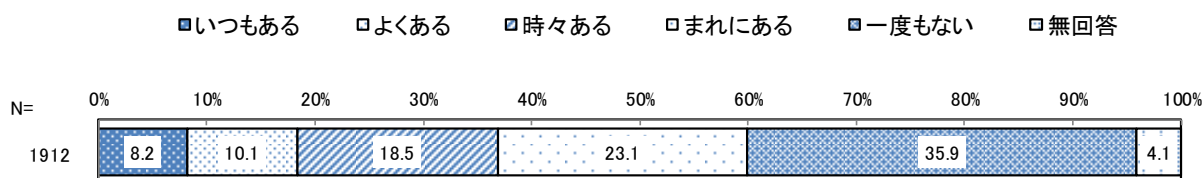


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 65.4%と最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 44.7%、「認知症の治療や診療に関すること」が 26.6%となっている。

(13) 認知症の人や家族の立場への理解

問 24 認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動（認知症の理解、本人の意思を尊重する心がけや接し方、声かけや見守り、相談助言や情報提供など）した経験がありますか。（○は1つ）

【図表 3-16-1 認知症の人や家族の立場への理解】

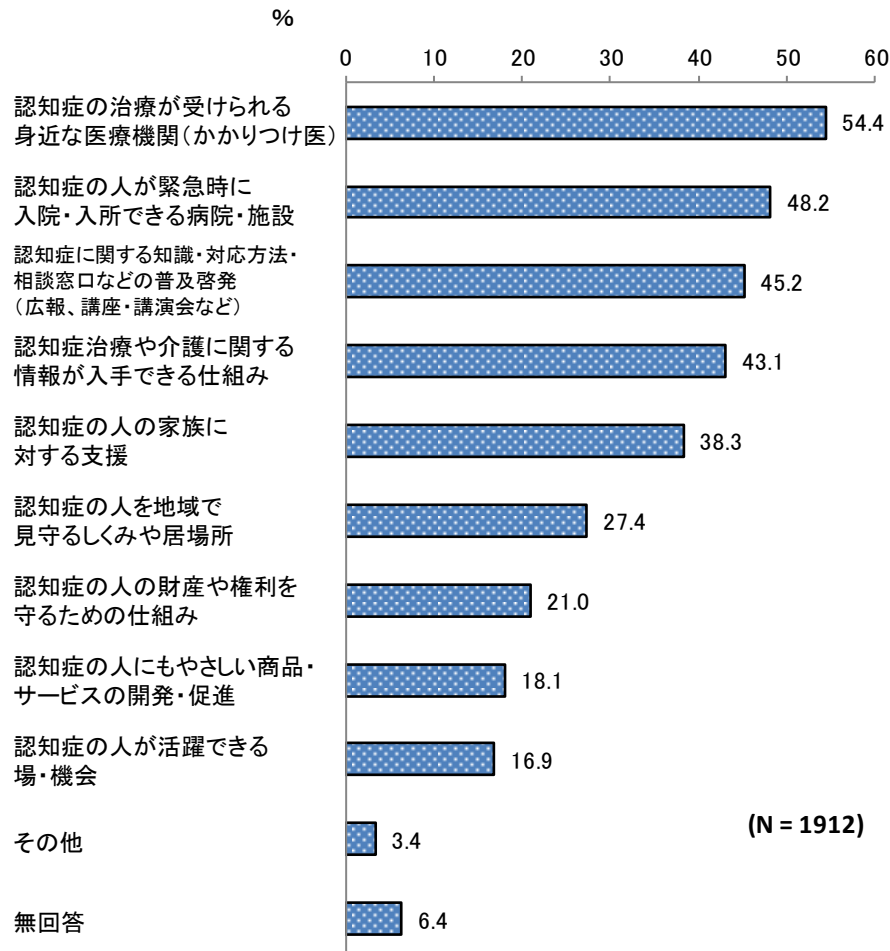


認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動した経験の有無については、「一度もない」が35.9%と最も高く、次いで「まれにある」が23.1%、「時々ある」が18.5%となっている。

(14) 認知症対策として充実してほしいこと

問 25 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-17-1 認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)」が 54.4%と最も高く、次いで「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」が 48.2%、「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発(広報、講座・講演会など)」が 45.2%となっている。

【図表 3-17-2 認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

									(%)
		回答数	認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（講演会など）	認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）	認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み	認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設	認知症の人や地域で見守るしくみや居場所	認知症の人の家族に対する支援	
全 体		1912	45.2	54.4	43.1	48.2	27.4	38.3	
性別	男性	749	49.8	53.0	43.5	43.3	23.5	36.2	
	女性	1119	42.5	56.4	43.2	51.8	30.4	39.9	
年齢別	65～69歳	435	48.0	59.8	51.7	54.7	31.0	48.0	
	70～74歳	470	48.3	58.3	45.5	47.9	25.3	38.1	
	75～79歳	462	44.6	55.2	39.0	47.8	28.4	36.6	
	80～84歳	272	40.4	49.3	38.6	43.8	27.9	31.6	
	85～89歳	147	48.3	44.9	42.2	42.9	27.9	38.8	
	90歳以上	86	32.6	45.3	27.9	45.3	16.3	19.8	

		回答数	認知症の人が活躍できる場・機会	認知症の人の財産や権利を守るための仕組み	認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進	その他	無回答
全 体		1912	16.9	21.0	18.1	3.4	6.4
性別	男性	749	15.1	23.1	16.7	4.4	4.8
	女性	1119	18.1	19.7	19.1	2.6	7.3
年齢別	65～69歳	435	21.1	30.1	22.8	2.1	4.1
	70～74歳	470	16.6	19.1	16.6	1.3	4.5
	75～79歳	462	18.0	21.2	18.8	4.1	6.5
	80～84歳	272	11.0	11.8	12.5	4.8	9.2
	85～89歳	147	16.3	19.0	19.7	5.4	10.2
	90歳以上	86	10.5	17.4	14.0	9.3	10.5

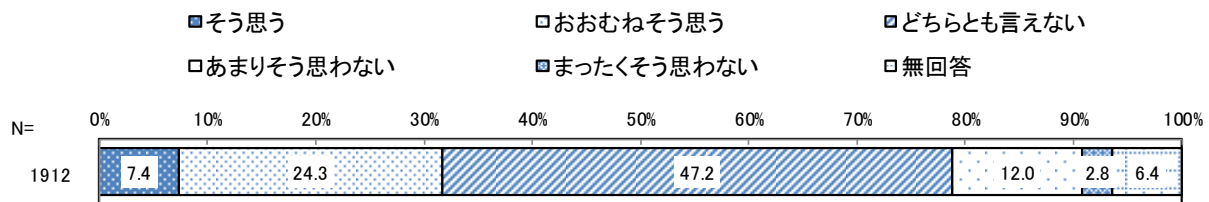
性別にみると、男性、女性ともに「認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）」が 5 割を超えて最も高く、女性では「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」（51.8%）が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、80 歳未満では「認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）」が 5 割を超え、最も高くなっている。65～69 歳では「認知症の人の家族に対する支援」（48.0%）、「認知症の人の財産や権利を守るための仕組み」（30.1%）が比較的高くなっている。

(15) 福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識

問 26 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちだと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-18-1 福岡市が認知症の人にとって
安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識】



福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識は、「どちらとも言えない」が 47.2%と最も高い。次いで『そう思う』（「そう思う」「おおむねそう思う」の合計）が 31.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計）が 14.8%となっている。

【図表 3-18-2 福岡市が認知症の人にとって
安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識×年齢別】

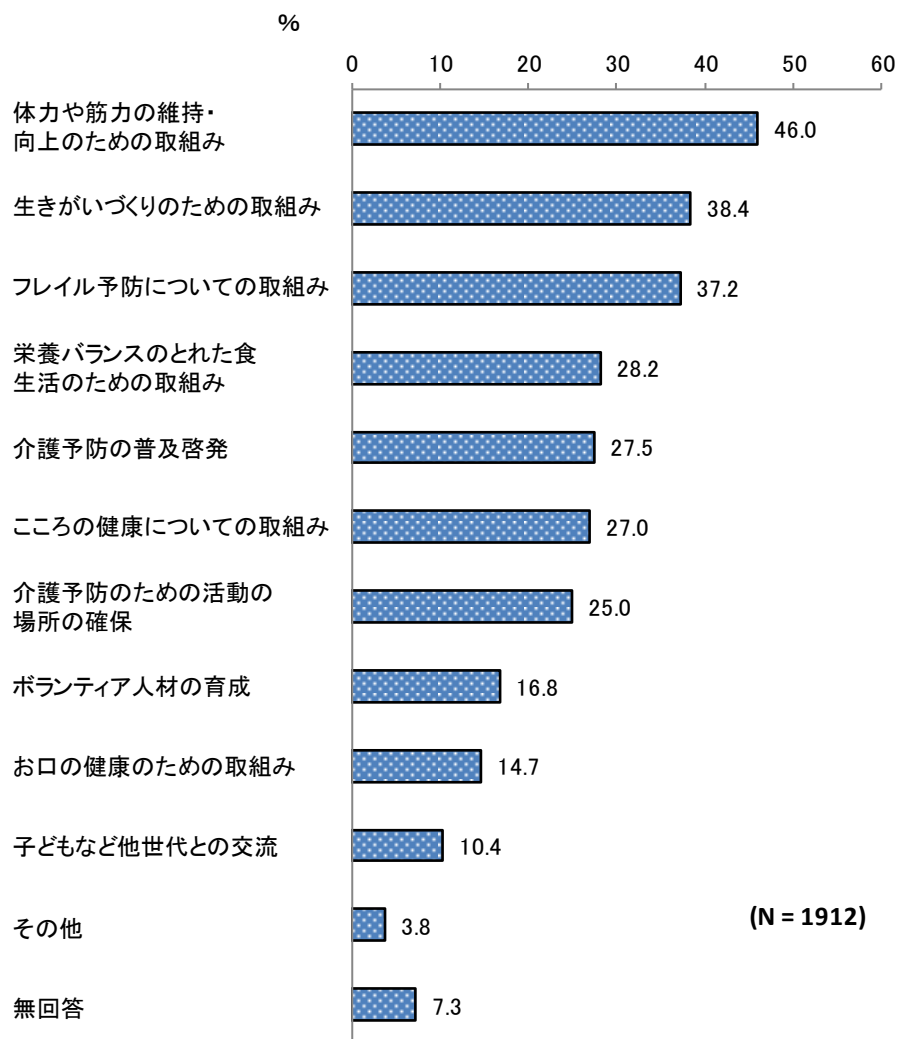
								(%)
		回答数	そう思う	おおむねそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
全 体		1912	7.4	24.3	47.2	12.0	2.8	6.4
年 齢 別	65～69歳	435	5.7	21.8	54.3	11.0	1.8	5.3
	70～74歳	470	6.8	26.8	46.2	10.4	3.6	6.2
	75～79歳	462	7.6	21.9	48.3	14.1	2.6	5.6
	80～84歳	272	7.7	25.0	44.9	14.0	2.6	5.9
	85～89歳	147	8.2	27.2	37.4	13.6	4.1	9.5
	90歳以上	86	14.0	31.4	36.0	5.8	3.5	9.3

年齢別にみると、『そう思う』は 90 歳以上で 4 割半ば、それ以外の年代では 3 割近くから 3 割半ばとなっている。

(16) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと

問 27 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-19-1 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと】



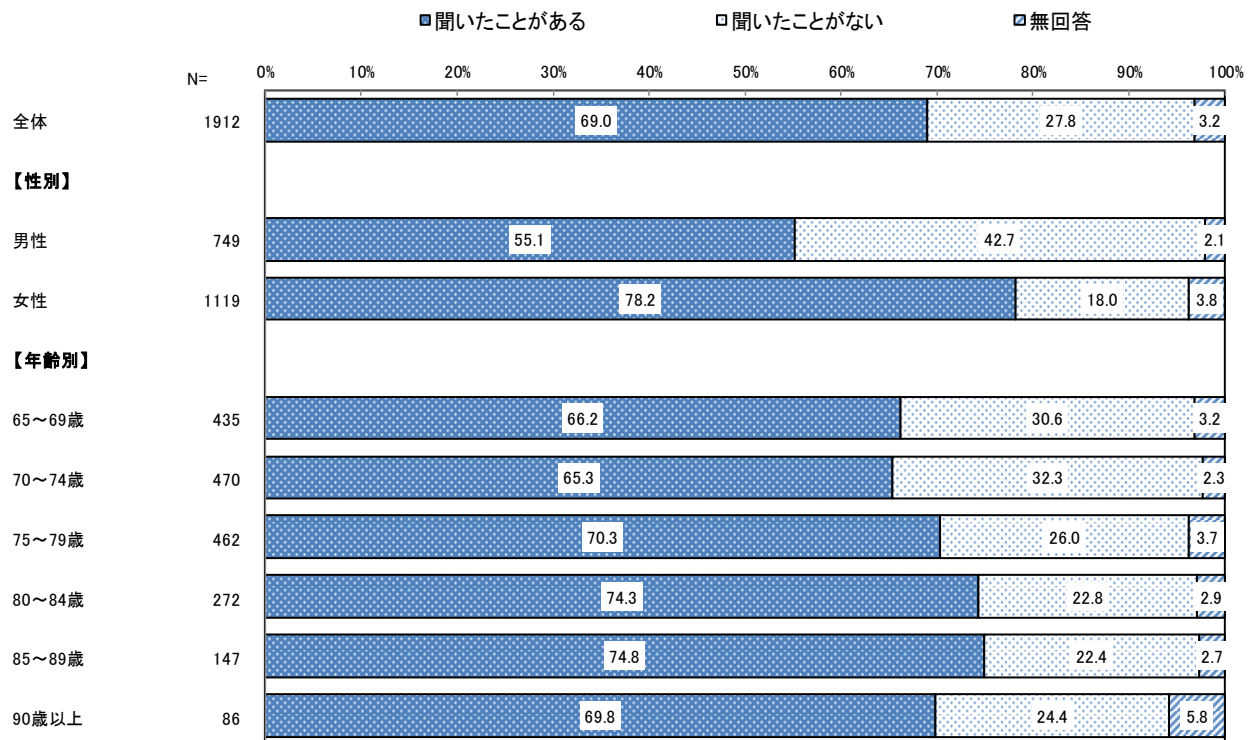
健康づくりで福岡市に力を入れてほしいことは、「体力や筋力の維持・向上のための取組み」が 46.0%と最も高く、次いで「生きがいをづくりのための取組み」が 38.4%、「フレイル予防についての取組み」が 37.2%となっている。

3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

（1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 28 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

【図表 3-20-1 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」は69.0%、「聞いたことがない」は27.8%であった。

性別にみると、女性では「聞いたことがある」（78.2%）が男性より高くなっている。

年齢別にみると、80～84歳、85～89歳では「聞いたことがある」がともに7割半ばで、他の年代に比べ高くなっている。

【図表 3-20-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

		(%)			
		回答数	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全 体		1912	69.0	27.8	3.2
経年	令和4年度	1786	66.0	32.3	1.7
	令和元年度	1764	63.0	34.8	2.2
	平成28年度	1886	53.6	45.1	1.3
	平成25年度	2985	46.8	49.6	3.6
	平成22年度	2939	40.6	52.9	6.5

過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

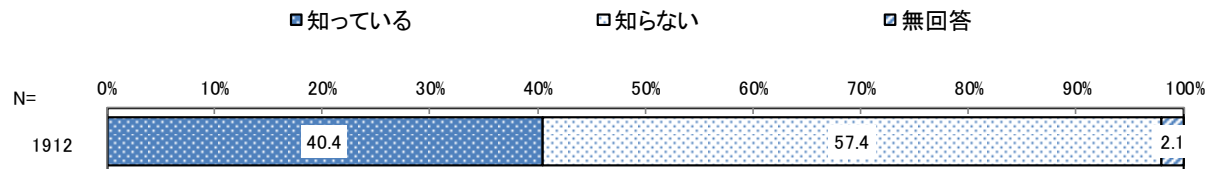
4. 権利擁護について

(1) 高齢者虐待の通報義務の認知度

問 29 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【図表 3-21-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】

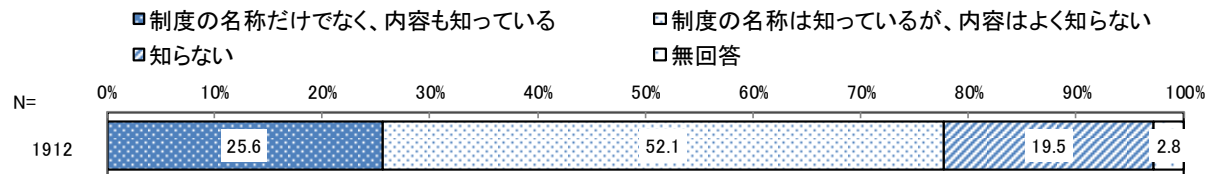


高齢者虐待の通報義務の認知度は、「知っている」が40.4%、「知らない」が57.4%となっている。

(2) 成年後見制度の認知度

問 30 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-22-1 成年後見制度の認知度】



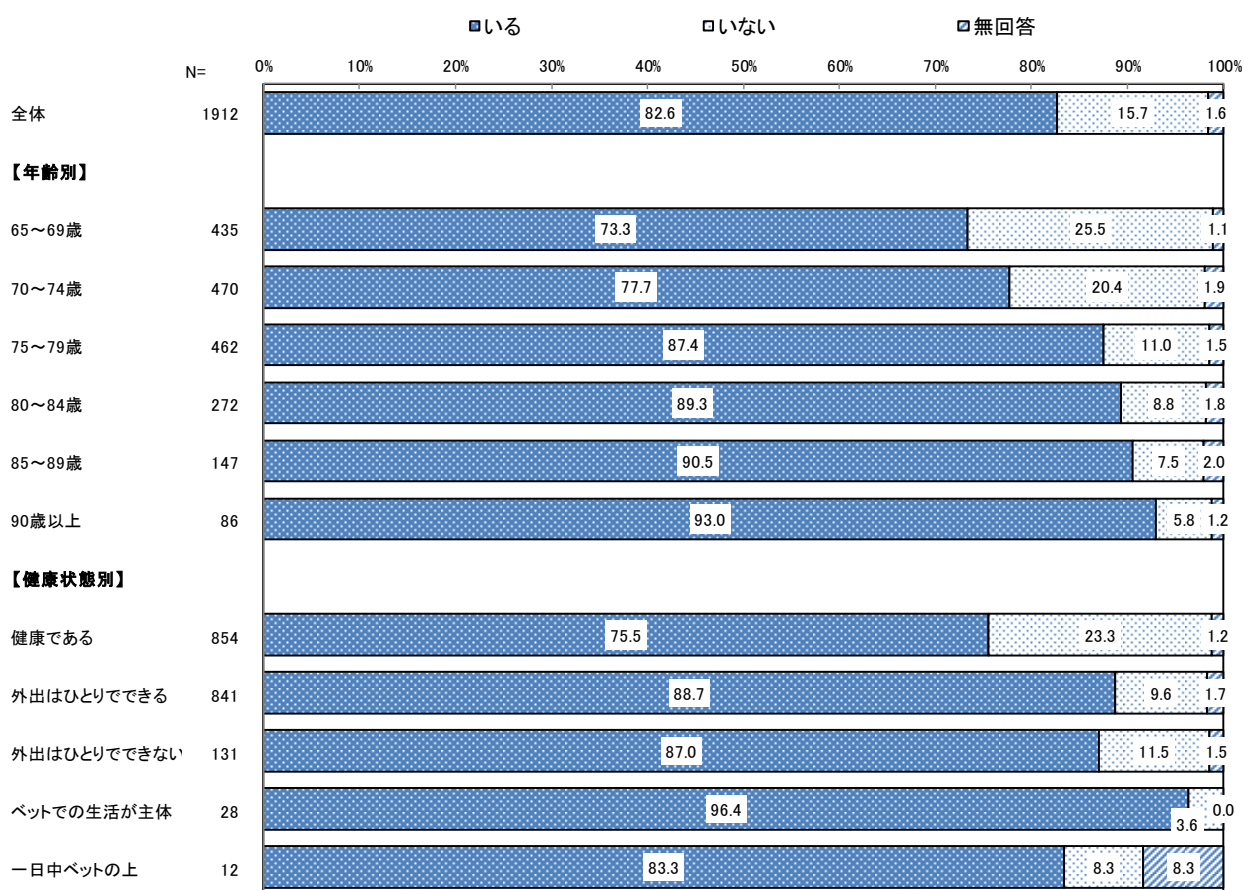
成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が52.1%と最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が25.6%、「知らない」が19.5%となっている。

5. 医療について

(1) かかりつけ医の有無

問 31 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 3-23-1 かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】



かかりつけ医の有無は、「いる」が82.6%、「いない」が15.7%となっている。

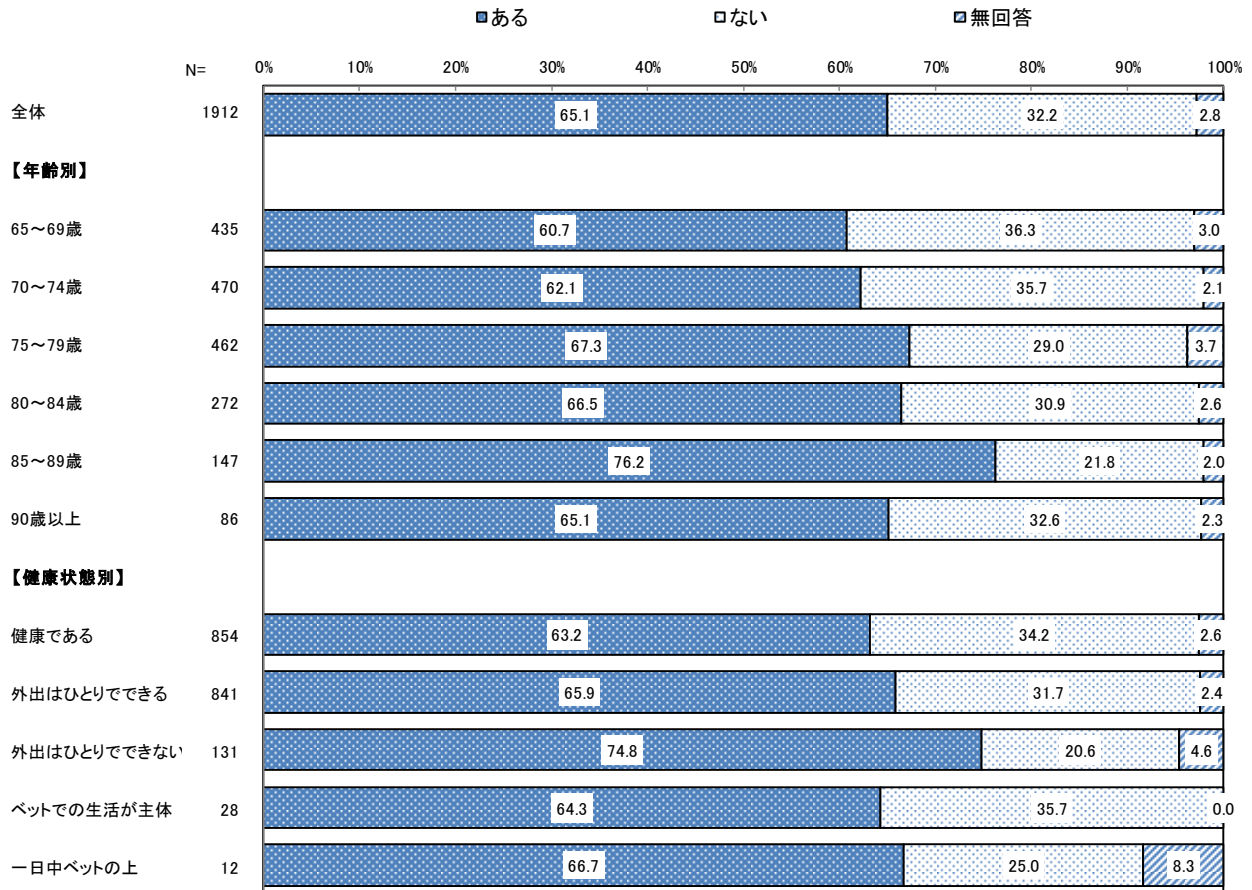
年齢別にみると、年代が高いほど「いる」の割合は高くなり、85歳以上では9割を超えている。

健康状態別にみると、健康である人は「いる」が75.5%であるのに対し、他の健康状態では「いる」が8割を超えている。

(2) 在宅医療への関心

問 32 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-24-1 在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



在宅医療への関心は、「ある」が 65.1%、「ない」が 32.2%となっている。

年齢別にみると、すべての年代で「ある」が過半数を占め、85～89 歳では 7 割半ばと高くなっている。

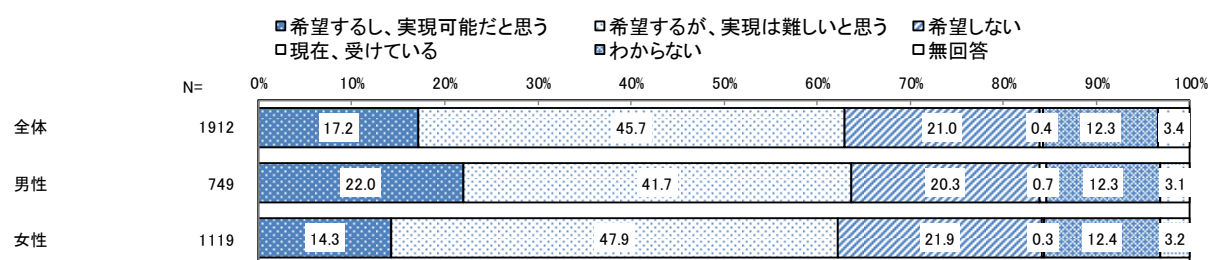
健康状態別にみると、外出はひとりできない人では「ある」が 7 割半ばと他と比べ高くなっている。

(3) 在宅医療の希望

①在宅医療の希望・実現可能性

問 33 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(〇は1つ)

【図表 3-25-1 在宅医療の希望・実現可能性×性別】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」が17.2%、「希望するが、実現は難しいと思う」が45.7%で、これらを合わせた『希望する』が62.9%であり、「希望しない」が21.0%となっている。

性別にみると、男性では「希望するし、実現可能だと思う」(22.0%)が女性より高くなっている。

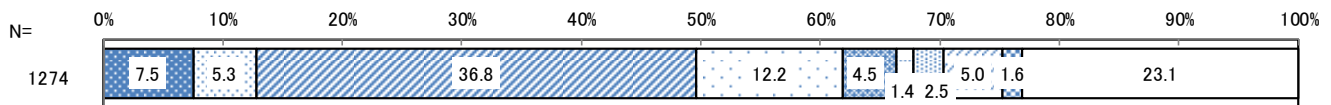
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問 33】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 33-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【図表 3-25-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】

- 往診などをしてくれる医師がいないから
- 家族に負担をかけるから
- 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
- その他
- 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 介護してくれる家族がいないから
- 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
- 経済的に負担が大きいから
- 無回答



在宅医療を希望しないまたは実現が難しい理由は、「家族に負担をかけるから」が 36.8%と最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が 12.2%、「往診などをしてくれる医師がいないから」が 7.5%となっている。

【図表 3-25-3 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

		回答数	往診などをしてくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がいないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいから	その他	無回答
全 体		1274	7.5	5.3	36.8	12.2	4.5	1.4	2.5	5.0	1.6	23.1
年 齢 別	65～69歳	310	7.4	4.8	35.8	11.0	3.9	1.6	1.9	3.2	2.6	27.7
	70～74歳	319	5.6	4.4	38.6	10.0	4.4	1.6	1.3	6.0	0.9	27.3
	75～79歳	314	8.6	5.4	36.3	14.0	4.5	0.3	4.5	5.7	1.0	19.7
	80～84歳	161	7.5	6.2	34.8	16.1	6.2	2.5	2.5	5.6	1.9	16.8
	85～89歳	94	13.8	9.6	36.2	8.5	5.3	1.1	2.1	6.4	1.1	16.0
	90歳以上	51	3.9	2.0	37.3	17.6	3.9	2.0	3.9	2.0	5.9	21.6
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	355	5.1	4.5	16.1	33.2	5.9	1.4	1.7	5.9	2.3	23.9
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	521	10.4	6.0	43.4	4.4	3.8	1.3	3.1	4.6	1.3	21.7
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	52	3.8	5.8	48.1	3.8	3.8	0.0	1.9	1.9	0.0	30.8
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	42	4.8	7.1	38.1	4.8	9.5	7.1	2.4	4.8	0.0	21.4
	二世帯同居世帯	191	6.8	5.2	45.5	1.6	2.6	1.0	3.1	7.3	2.1	24.6
	三世帯同居世帯	30	3.3	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	23.3
	その他の世帯	45	6.7	4.4	44.4	6.7	11.1	0.0	4.4	2.2	2.2	17.8

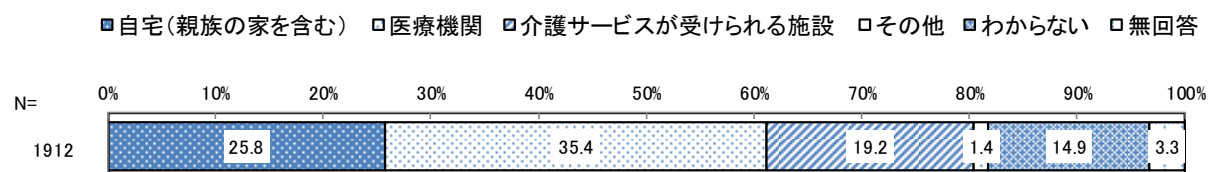
年齢別にみると、85～89歳では「往診などをしてくれる医師がいないから」(13.8%)が比較的高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「介護してくれる家族がいないから」(33.2%)が、それ以外の世帯では「家族に負担をかけるから」が4割弱から7割で、それぞれ比較的高くなっている。

(4) 最期を迎えたい場所

問 34 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。
(○は1つ)

【図表 3-26-1 最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 35.4%と最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 25.8%、「介護サービスが受けられる施設」が 19.2%となっている。

【図表 3-26-2 最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		回答数	自宅 (親族の家を含む)	医療 機関	介護 サービスが 受けられ る施設	その他	わから ない	(%) 無回 答
全 体		1912	25.8	35.4	19.2	1.4	14.9	3.3
性別	男性	749	32.6	31.5	15.8	1.3	16.2	2.7
	女性	1119	20.7	38.1	21.9	1.4	14.1	3.8
世帯 構成 別	一人暮らし世帯	518	17.4	39.0	23.0	1.5	14.3	4.8
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	757	29.5	35.1	18.1	1.2	13.6	2.5
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	89	30.3	32.6	14.6	1.1	20.2	1.1
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	67	25.4	38.8	13.4	1.5	17.9	3.0
	二世帯同居世帯	295	27.1	31.2	19.7	1.7	17.6	2.7
	三世帯同居世帯	44	34.1	27.3	20.5	2.3	13.6	2.3
	その他の世帯	76	25.0	38.2	17.1	1.3	13.2	5.3

性別にみると、男性では「自宅(親族の家を含む)」(32.6%)が女性より高くなっている。女性では「医療機関」(38.1%)が他の場所に比べて比較的高くなっている。

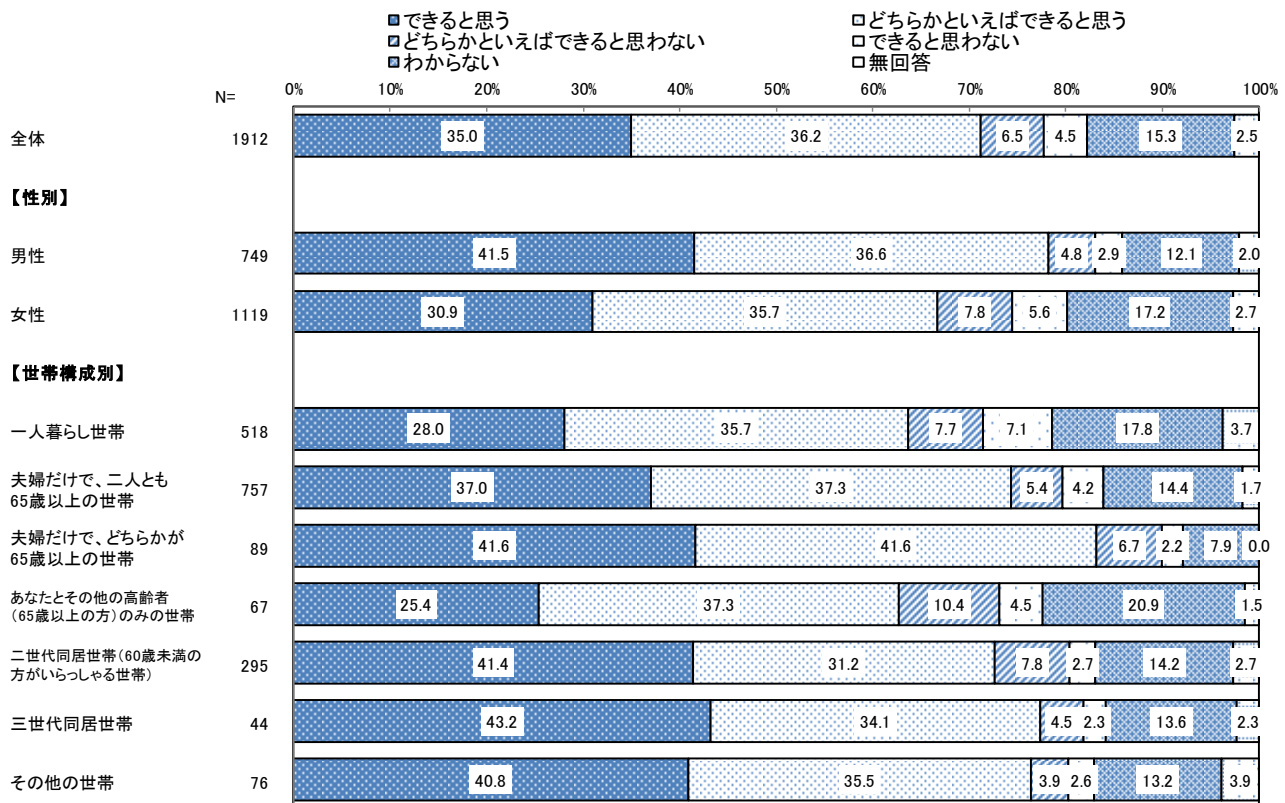
世帯構成別にみると、三世帯同居世帯では「自宅(親族の家を含む)」(34.1%)が最も高く、それ以外では「医療機関」が3割強から4割弱で最も高くなっている。

6. これからについて

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 35 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思いますか。(○は1つ)

【図表 3-27-1 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成別】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかについては、「できると思う」が35.0%、「どちらかといえばできると思う」が36.2%で、これらを合わせた『できると思う』が71.2%となっており、「わからない」が15.3%となっている。

性別にみると、男性では「できると思う」(41.5%)が女性より高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯、二世帯同居世帯(60歳未満の方がいらっしゃる世帯)、三世帯同居世帯、その他の世帯では「できると思う」の割合が4割を超え、比較的高くなっている。

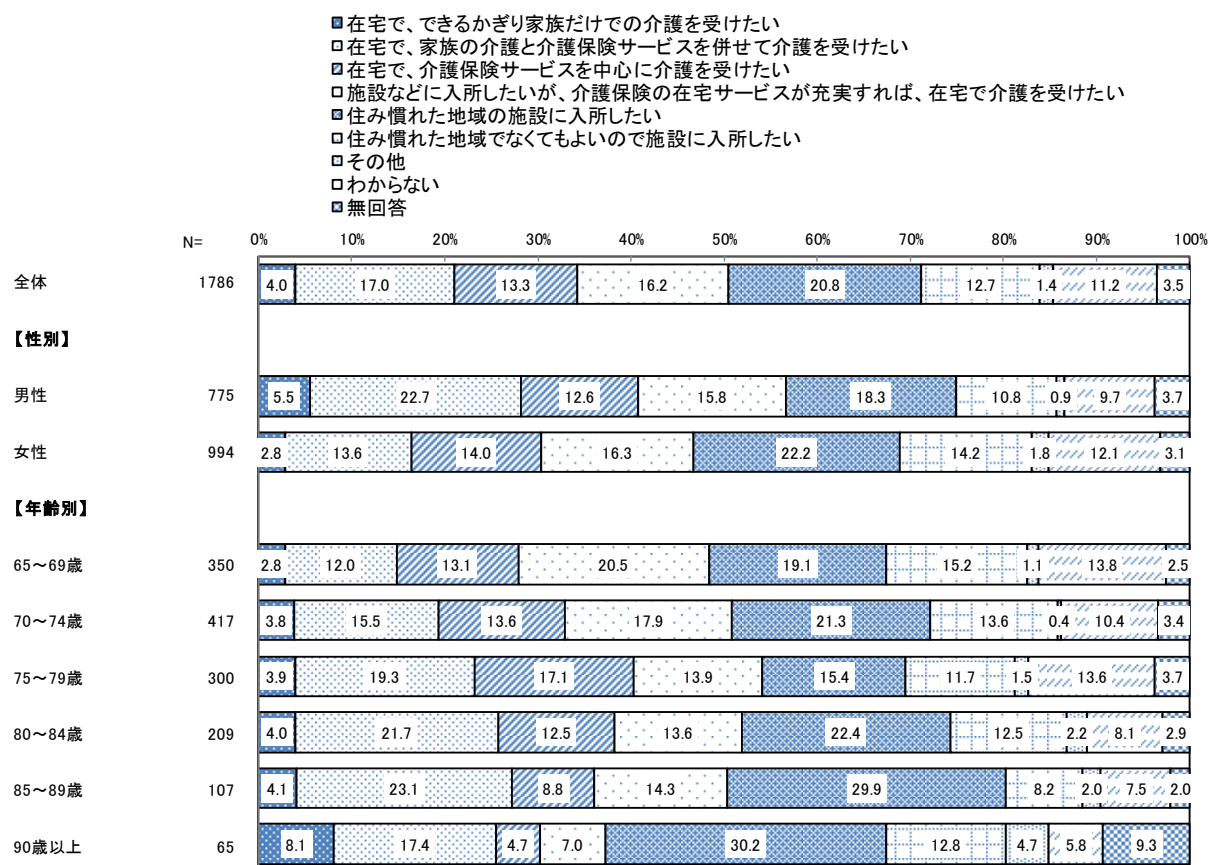
（２）今後の介護意向

問 36 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。

（○は１つ）

※ここで在宅とは、自宅や家族の家のことを指します。

【図表 3-28-1 今後の介護意向×性別・年齢別】



今後の介護意向は、「住み慣れた地域の施設に入所したい」が 20.8%と最も高く、次いで「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が 17.0%、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」が 16.2%となっている。

また「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」を合わせた『在宅で介護を受けたい』の割合は 50.5%と半数を占めている。

【図表 3-28-2 今後の介護意向×性別・年齢別・世帯構成別】

											(%)
		回答数	在宅で、家族の介護を受けたい	在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい	在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けた	施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい	住み慣れた地域の施設に入所したい	住み慣れた地域でなくともよい施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全 体		1912	4.0	17.0	13.3	16.2	20.8	12.7	1.4	11.2	3.5
性別	男性	749	5.5	22.7	12.6	15.8	18.3	10.8	0.9	9.7	3.7
	女性	1119	2.8	13.6	14.0	16.3	22.2	14.2	1.8	12.1	3.1
年齢別	65～69歳	435	2.8	12.0	13.1	20.5	19.1	15.2	1.1	13.8	2.5
	70～74歳	470	3.8	15.5	13.6	17.9	21.3	13.6	0.4	10.4	3.4
	75～79歳	462	3.9	19.3	17.1	13.9	15.4	11.7	1.5	13.6	3.7
	80～84歳	272	4.0	21.7	12.5	13.6	22.4	12.5	2.2	8.1	2.9
	85～89歳	147	4.1	23.1	8.8	14.3	29.9	8.2	2.0	7.5	2.0
	90歳以上	86	8.1	17.4	4.7	7.0	30.2	12.8	4.7	5.8	9.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	1.7	6.6	16.2	15.4	24.3	16.8	1.9	11.4	5.6
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	3.4	22.5	14.1	16.0	17.7	11.9	1.6	9.9	2.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	4.5	23.6	10.1	28.1	20.2	6.7	2.2	3.4	1.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	3.0	17.9	16.4	13.4	23.9	11.9	0.0	11.9	1.5
	二世帯同居世帯	295	6.1	21.0	8.8	18.0	20.3	10.8	0.7	11.9	2.4
	三世帯同居世帯	44	11.4	18.2	6.8	13.6	22.7	18.2	0.0	6.8	2.3
	その他の世帯	76	6.6	14.5	10.5	6.6	22.4	10.5	1.3	25.0	2.6

性別にみると、男性では『在宅で介護を受けたい』(56.6%)が女性より高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では『在宅で介護を受けたい』(37.2%)が他と比べ低く、「住み慣れた地域の施設に入所したい」(30.2%)が高くなっている。

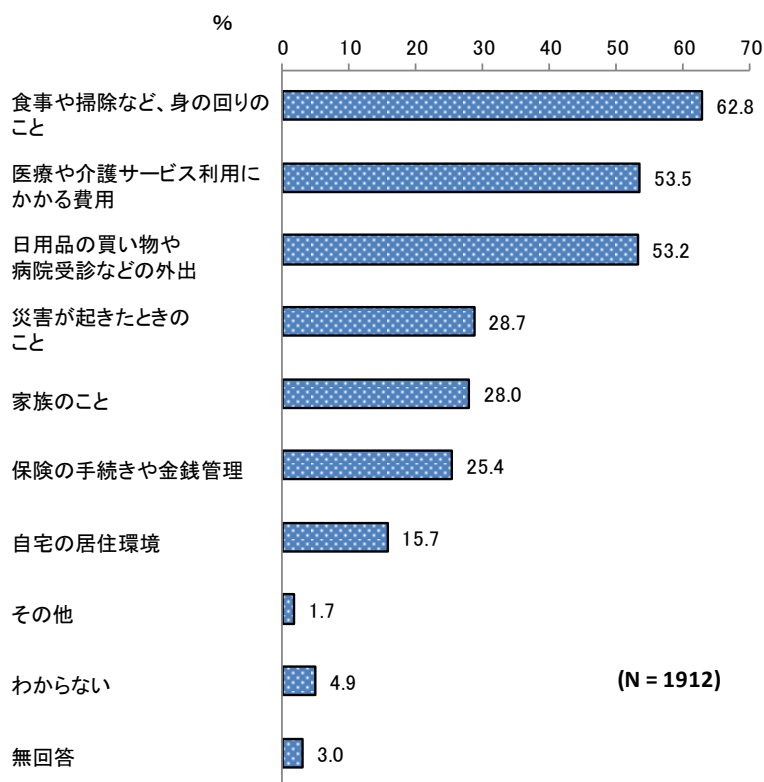
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯、その他の世帯では『在宅で介護を受けたい』が4割未満と低い。夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯では「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」(28.1%)が比較的高くなっている。

（３）医療や介護が必要になったとき不安なこと

問 37 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。

（○はいくつでも）

【図表 3-29-1 医療や介護が必要になったとき不安なこと】



医療や介護が必要になったとき不安なことは、「食事や掃除など、身の回りのこと」が 62.8%と最も高く、次いで「医療や介護サービス利用にかかる費用」が 53.5%、「日用品の買い物や病院受診などの外出」が 53.2%となっている。

【図表 3-29-2 医療や介護が必要になったとき不安なこと×健康状態別】

		回答数	食事や掃除など、身の回りのこと (%)	日用品の買い物や病院受診などの外出 (%)	災害が起きたときのこと (%)	自宅の居住環境 (%)	医療や介護サービス利用にかかる費用 (%)	保険の手続きや金銭管理 (%)	家族のこと (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全 体		1912	62.8	53.2	28.7	15.7	53.5	25.4	28.0	1.7	4.9	3.0
健康状態別	健康である	854	63.3	51.6	26.0	15.5	51.5	25.5	28.0	1.8	6.0	2.2
	外出はひとりでできる	841	64.0	57.0	30.2	16.1	58.4	26.0	30.1	1.2	3.0	3.0
	外出はひとりでできない	131	66.4	58.8	44.3	16.0	45.0	26.7	25.2	3.1	6.1	1.5
	ベッドでの生活が主体	28	39.3	25.0	14.3	14.3	50.0	17.9	10.7	3.6	10.7	7.1
一日中ベッドの上		12	33.3	25.0	16.7	0.0	41.7	8.3	0.0	16.7	25.0	0.0

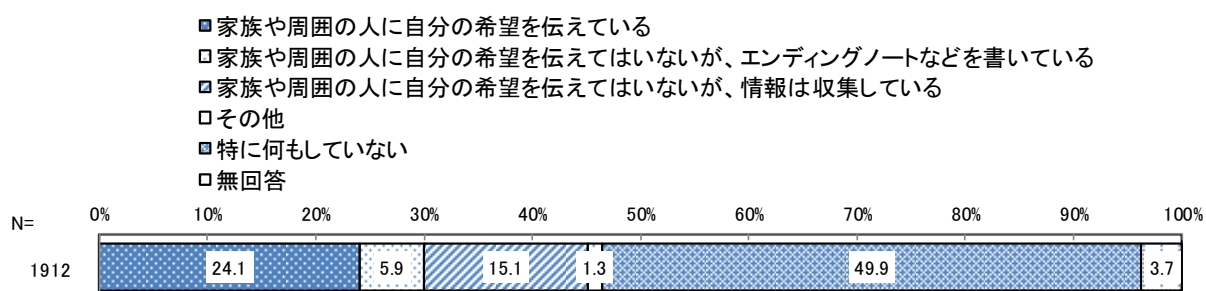
健康状態別にみると、健康である人、外出はひとりでできる人、外出はひとりでできない人では「食事や掃除など、身の回りのこと」が 6 割を超え最も高い。それ以外の人では「医療や介護サービス利用にかかる費用」が最も高い。

(4) 終活について

問 38 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

(一番近いもの1つに○)

【図表 3-30-1 終活について】



終活については、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」が 24.1%と最も高く、次いで「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している」が 15.1%、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノートなどを書いている」が 5.9%となっている。なお、「特に何もしていない」が 49.9%となっている。

【図表 3-30-2 終活について×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	家族や周囲の人に自分の希望を伝えている (%)	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノートなどを書いている (%)	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している (%)	その他 (%)	特に何もしていない (%)	無回答 (%)
全 体		1912	24.1	5.9	15.1	1.3	49.9	3.7
性別	男性	749	17.4	5.6	16.8	0.8	56.3	3.1
	女性	1119	28.3	6.2	14.2	1.5	45.8	3.9
年齢別	65～69歳	435	18.6	3.9	17.5	1.1	56.8	2.1
	70～74歳	470	20.0	3.8	18.1	0.9	54.7	2.6
	75～79歳	462	26.0	9.1	15.4	1.7	43.3	4.5
	80～84歳	272	22.4	7.7	11.4	1.8	51.1	5.5
	85～89歳	147	40.8	4.8	10.9	0.7	39.5	3.4
	90歳以上	86	38.4	7.0	7.0	0.0	41.9	5.8
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	26.3	9.3	13.1	2.3	43.6	5.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	24.4	5.3	15.6	0.4	51.7	2.6
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	19.1	1.1	23.6	2.2	52.8	1.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	28.4	3.0	16.4	1.5	46.3	4.5
	二世帯同居世帯	295	18.6	5.4	18.0	1.4	53.2	3.4
	三世帯同居世帯	44	27.3	2.3	20.5	0.0	50.0	0.0
	その他の世帯	76	27.6	3.9	3.9	1.3	59.2	3.9

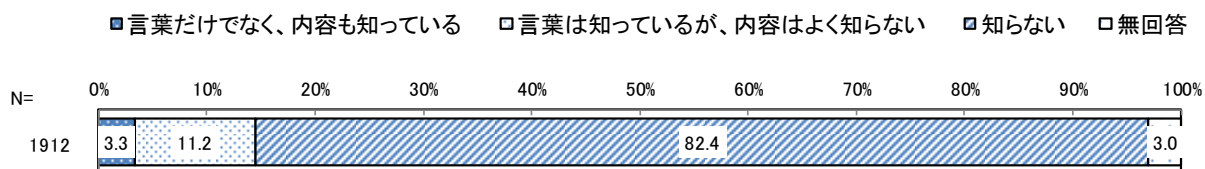
性別にみると、女性では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」(28.3%)が男性より高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している」(23.6%)が他と比べ高くなっている。

（５）「ACP」又は「人生会議」の認知

問 39 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-31-1 「ACP」又は「人生会議」の認知】

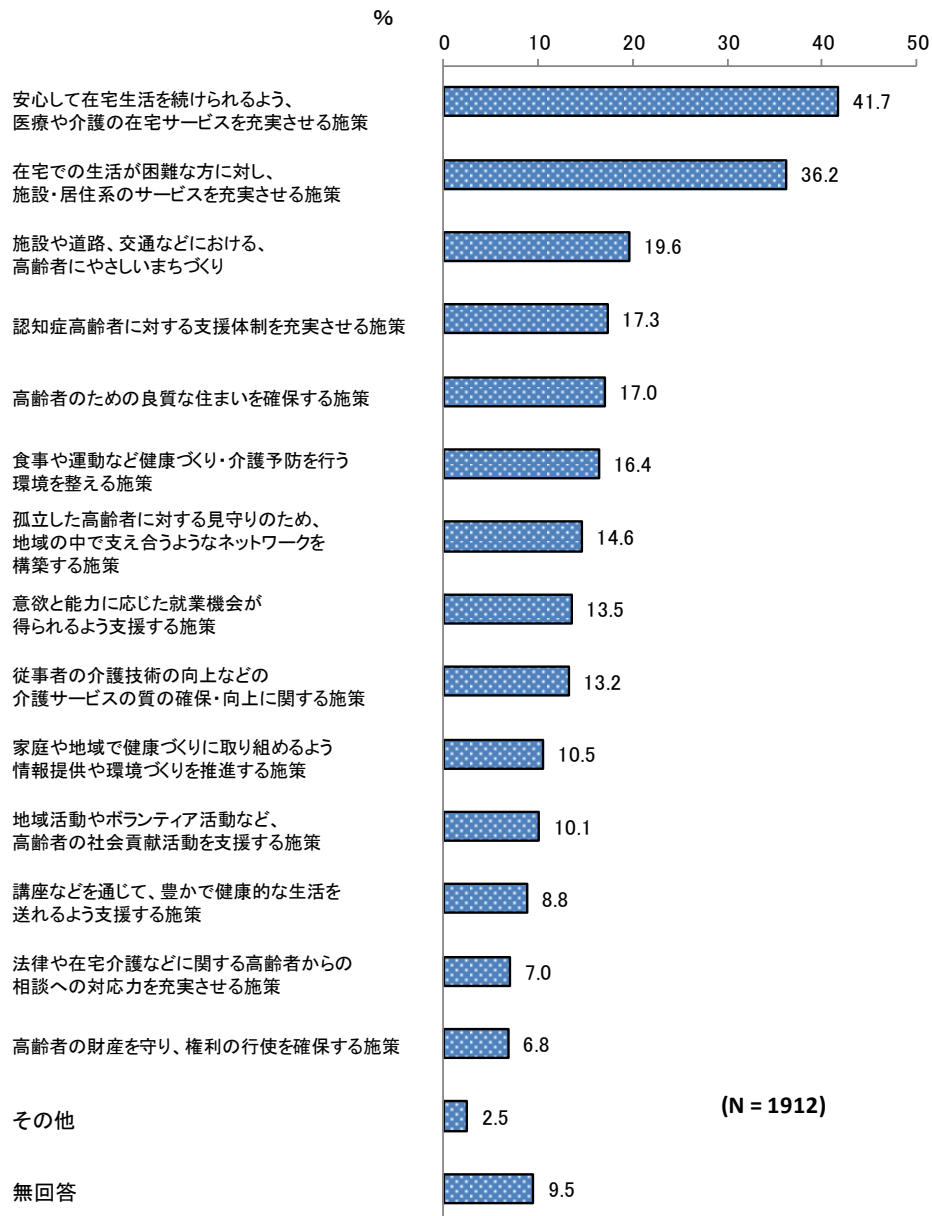


「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉の認知度については、「知らない」が 82.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が 11.2%、「言葉だけでなく、内容も知っている」が 3.3%となっている。

(6) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 40 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-32-1 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】



行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 41.7%と最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 36.2%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 19.6%となっている。

		回答数	施策	講座などを通じて、豊かで健康的な生活を送れるよう支援する	地域の活動やボランティア活動など、高齢者の社会貢献活動を支援する施策	就業機会が得られるよう支援する施策	意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策	くりに取り組めるよう情報提供や環境づくりを推進する施策	家庭や地域で健康づくり・介護予防を環境を整える施策	食事や運動など健康づくり・介護予防を環境を整える施策	安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策	在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策	在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策	従事者の介護技術の向上などの介護サービスへの質の確保・向上に関する施策	(%)
全 体		1912	8.8	10.1	13.5	10.5	16.4	41.7	36.2	13.2					
性別	男性	749	10.8	11.9	15.4	12.8	17.4	43.8	32.2	11.7					
	女性	1119	7.7	8.6	12.6	8.8	15.6	40.7	39.1	14.5					
年齢別	65～69歳	435	8.7	10.6	22.5	7.8	17.7	37.7	37.9	14.5					
	70～74歳	470	7.4	10.4	16.0	12.8	15.7	42.6	38.7	11.5					
	75～79歳	462	11.3	10.2	10.8	9.7	15.6	44.8	34.4	16.0					
	80～84歳	272	8.8	9.9	6.3	11.0	14.3	47.1	36.0	9.6					
	85～89歳	147	9.5	10.2	7.5	11.6	15.6	38.1	28.6	15.6					
	90歳以上	86	5.8	2.3	5.8	10.5	23.3	34.9	39.5	11.6					

		回答数	認知症高齢者に対する支援体制を充実させる施策	高齢者の財産を確保する権利の行使を確保する施策	法律や在宅介護などに関する高齢者からの相談への対応力を充実させる施策	孤立した高齢者に対する見守りのため、地域の中で支え合うようなネットワークを構築する施策	高齢者のための良質な住まいを確保する施策	施設や道路、交通などにやさしいまちづくり	その他	無回答
全 体		1912	17.3	6.8	7.0	14.6	17.0	19.6	2.5	9.5
性別	男性	749	16.8	7.9	6.0	13.4	18.6	18.6	3.5	8.3
	女性	1119	17.4	6.2	7.7	15.7	15.7	20.3	1.8	9.9
年齢別	65～69歳	435	16.6	9.0	4.8	15.2	20.5	18.9	2.1	9.2
	70～74歳	470	16.8	6.8	7.2	14.5	17.9	18.3	3.2	8.5
	75～79歳	462	16.2	6.1	7.1	17.1	16.0	21.0	1.7	6.9
	80～84歳	272	16.9	5.1	9.2	13.6	15.1	21.3	3.3	10.3
	85～89歳	147	22.4	5.4	10.2	9.5	10.9	17.7	2.7	15.6
	90歳以上	86	19.8	8.1	4.7	14.0	12.8	20.9	2.3	11.6

性別にみると、女性では「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」(39.1%)が男性より高くなっている。

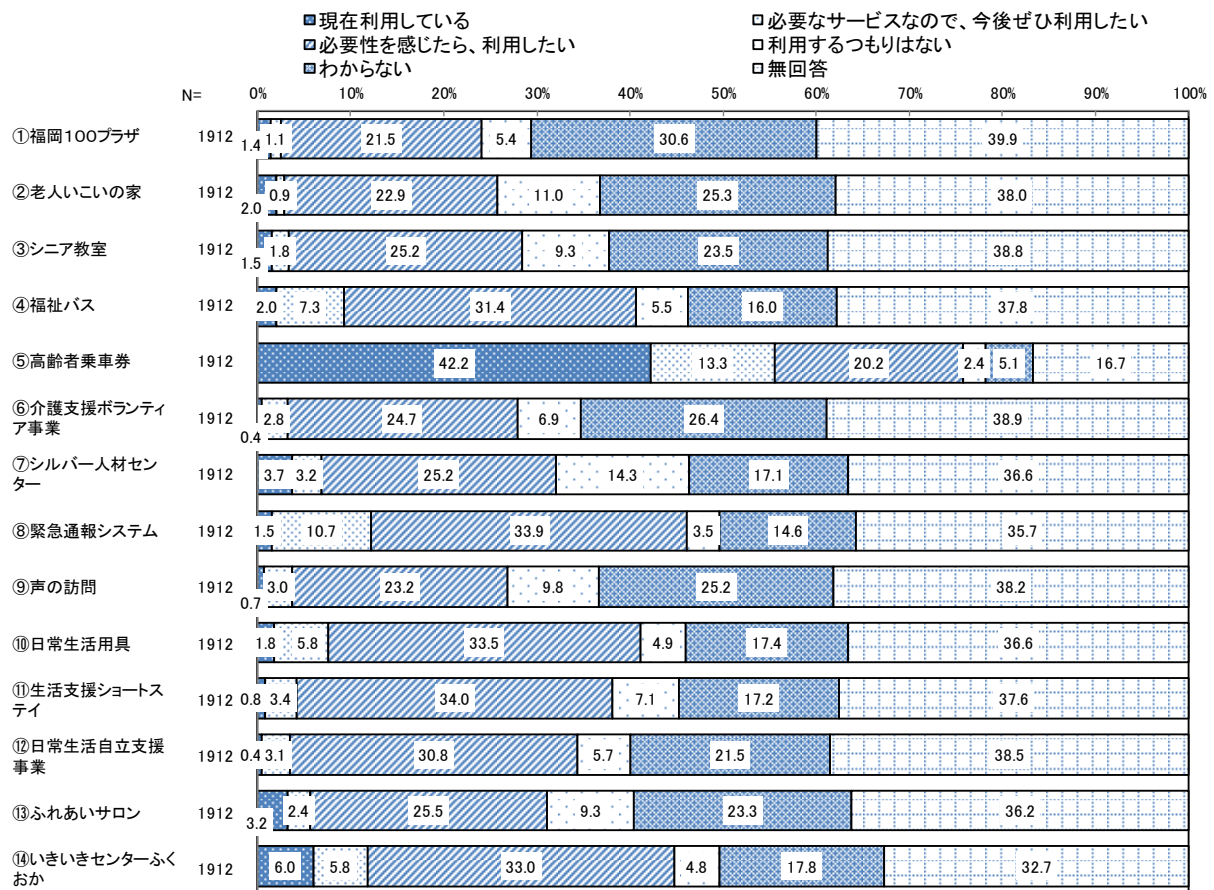
年齢別にみると、70 歳代、80～84 歳では「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 4 割を超え、最も高くなっている。65～69 歳では「意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策」(22.5%) が他に比べ高くなっている。

(7) 介護サービスの利用

①サービスの利用状況・利用意向

問 42 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-33-1 サービスの利用状況・利用意向】



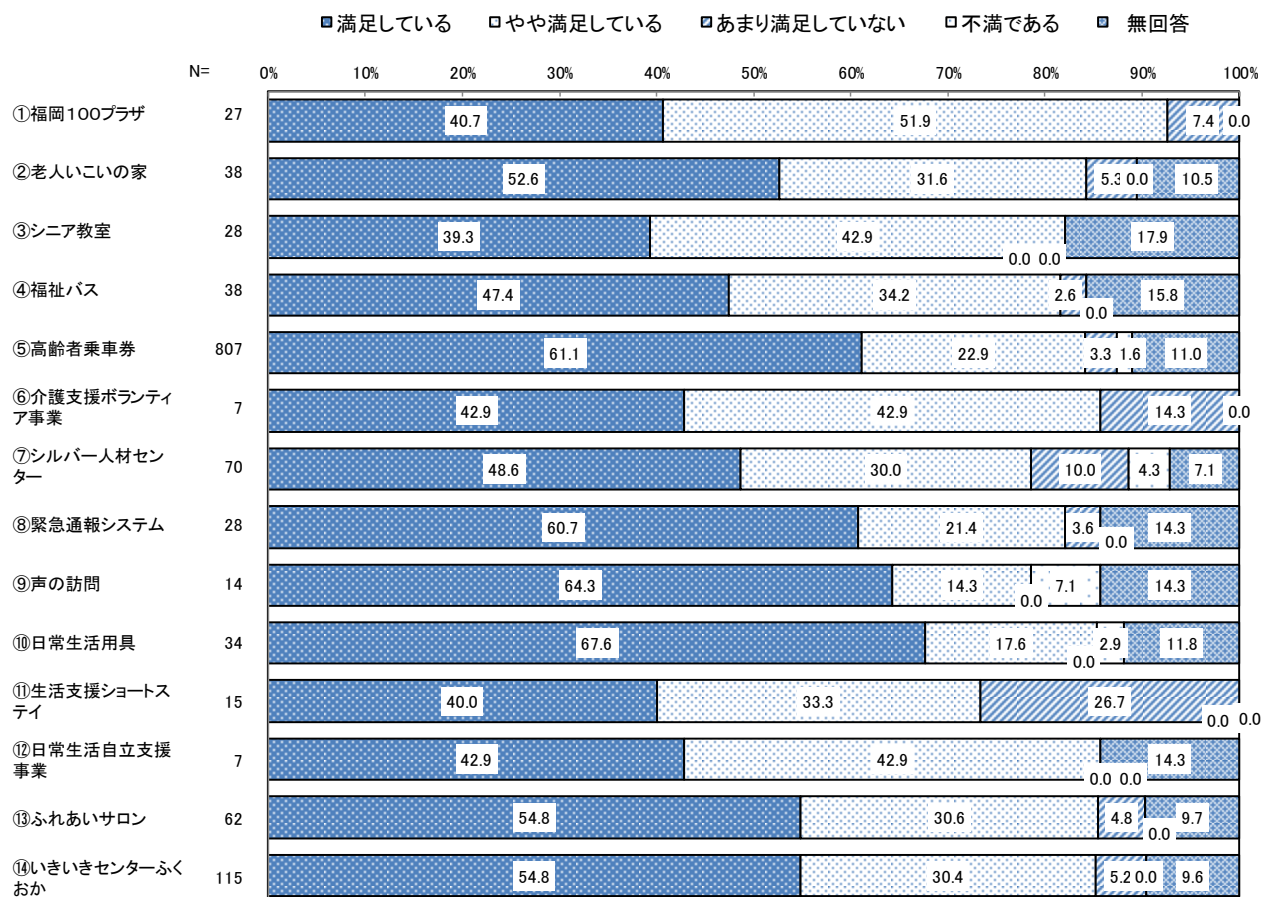
サービスの利用状況・利用意向をみると、「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が42.2%で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか」が6.0%、「シルバー人材センター」が3.7%、「ふれあいサロン」が3.2%となっており、それ以外のサービスは1%未満から2%となっている。

また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が44.6%で最も高く、次いで「日常生活用具」が39.3%、「いきいきセンターふくおか」が38.8%となっている。

②サービスの満足度

問 42 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。
(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-33-2 サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、「シルバー人材センター」「声の訪問」「生活支援ショートステイ」で、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が7割台、それ以外の項目では8割を超えた。一方、「あまり満足していない」「不満である」を合わせた『満足していない』の割合は、「生活支援ショートステイ」で26.7%、「介護支援ボランティア事業」「シルバー人材センター」でともに14.3%と、比較的高い割合となっている。

第4章 介護サービス調査共通設問

「在宅サービス利用者調査」「在宅サービス未利用者調査」「施設等サービス利用者調査」の3つの調査に共通する設問については、各調査別の傾向の比較ができるよう「共通設問」として掲載した。

1. 回答者の属性

(1) 調査の回答者

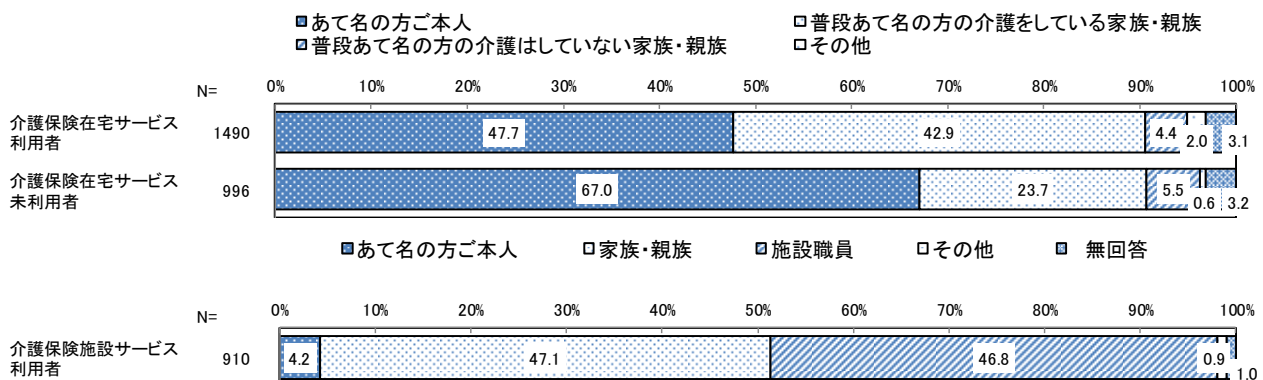
<在宅サービス利用者調査>問1

<在宅サービス未利用者調査>問1

<施設等サービス利用者調査>問1

現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。(○は1つ)

【図表 4-1-1 調査の回答者】



調査の回答者は、介護保険在宅サービス利用者では「あて名の方ご本人」が47.7%と最も高く、次いで「普段あて名の方の介護をしている家族・親族」が42.9%となっている。

未利用者では「あて名の方ご本人」が67.0%と最も高く、次いで「普段あて名の方の介護をしている家族・親族」が23.7%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「家族・親族」が47.1%と最も高く、次いで「施設職員」が46.8%となっている。

(2) 性別

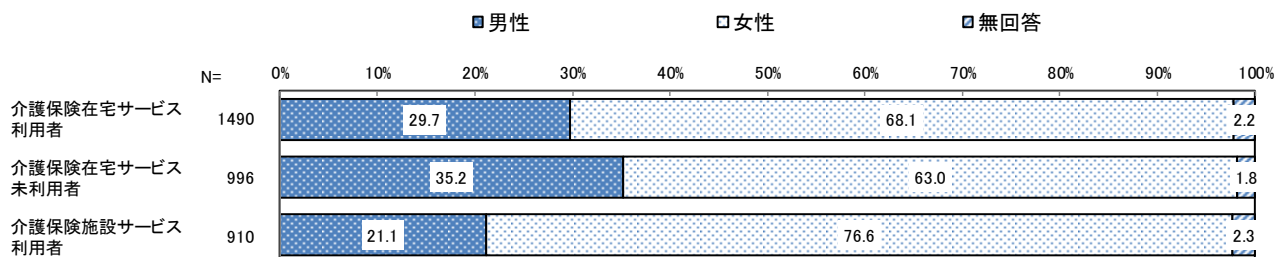
<在宅サービス利用者調査>問2

<在宅サービス未利用者調査>問2

<施設等サービス利用者調査>問2

あなたの性別は。(○は1つ)

【図表 4-2-1 性別】



対象者の性別は、介護保険在宅サービス利用者では「男性」が29.7%、「女性」が68.1%、未利用者では「男性」が35.2%、「女性」が63.0%、介護保険施設サービス利用者では「男性」が21.1%、「女性」が76.6%となっている。

(3) 年齢

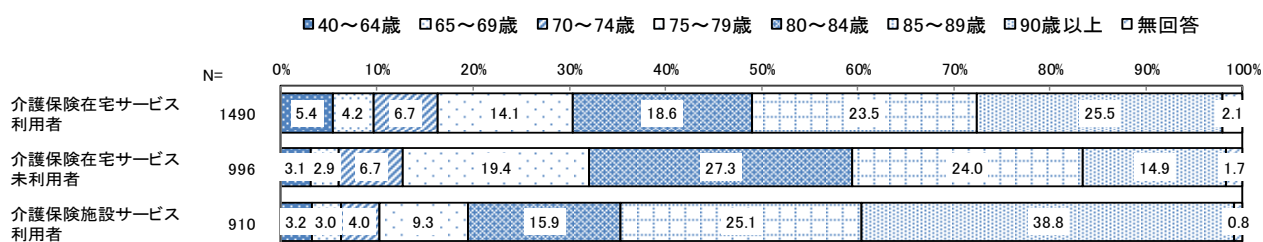
<在宅サービス利用者調査>問3

<在宅サービス未利用者調査>問3

<施設等サービス利用者調査>問3

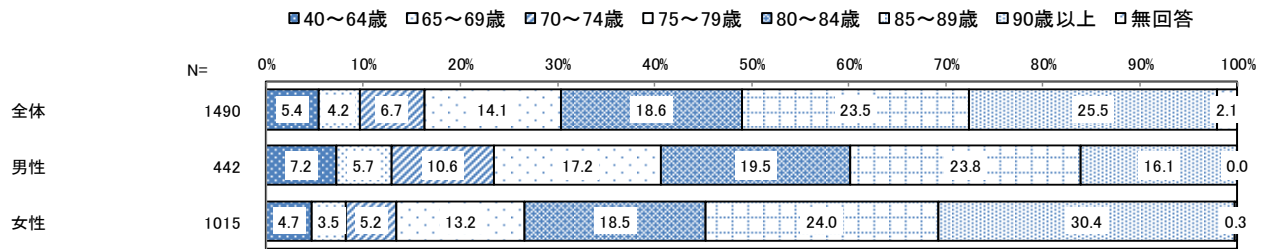
あなたの年齢は。(令和7年10月1日現在)(○は1つ)

【図表 4-3-1 年齢】

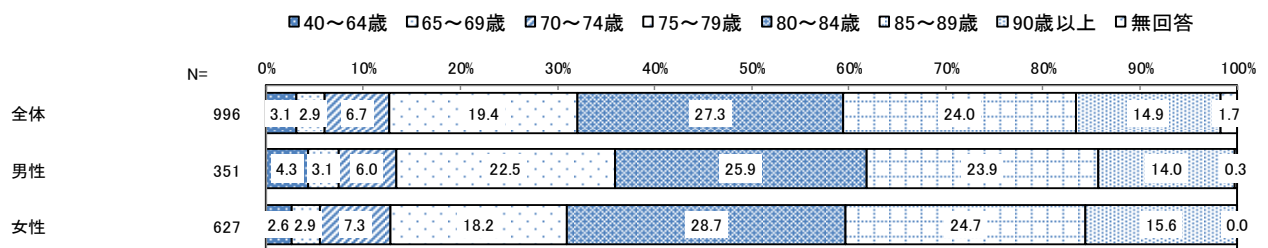


年齢は、75歳以上の後期高齢者の割合が、介護保険在宅サービス利用者では81.7%、未利用者では85.6%、介護保険施設サービス利用者では89.1%となっている。

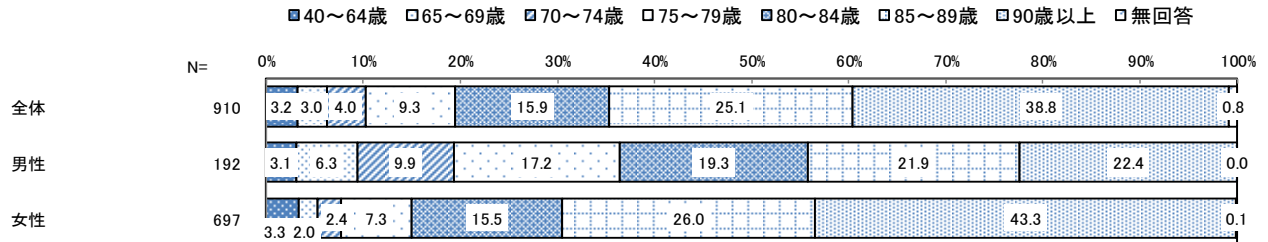
【図表 4-3-2 年齢×性別＜在宅サービス利用者調査＞】



【図表 4-3-3 年齢×性別＜在宅サービス未利用者調査＞】



【図表 4-3-4 年齢×性別＜施設等サービス利用者調査＞】



75歳以上の後期高齢者の占める割合を性別でみると、介護保険在宅サービス利用者、未利用者、介護保険施設サービス利用者いずれも、「男性」より「女性」の方が高くなっている。

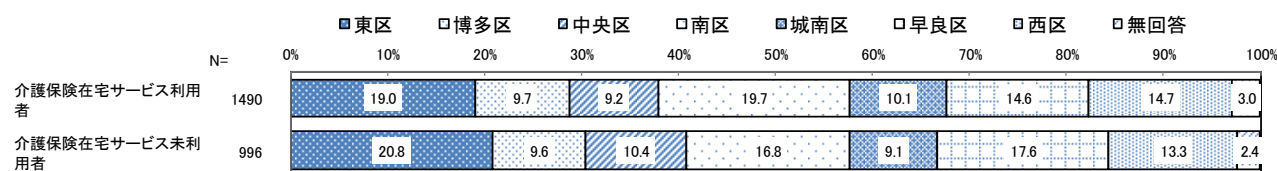
(4) 居住地区

<在宅サービス利用者調査>問4

<在宅サービス未利用者調査>問4

あなたのお住まいは。(区、町名、丁番号を記入して下さい)

【図表 4-4-1 居住地区】



(5) 家族の状況

①世帯構成

<在宅サービス利用者調査>問5

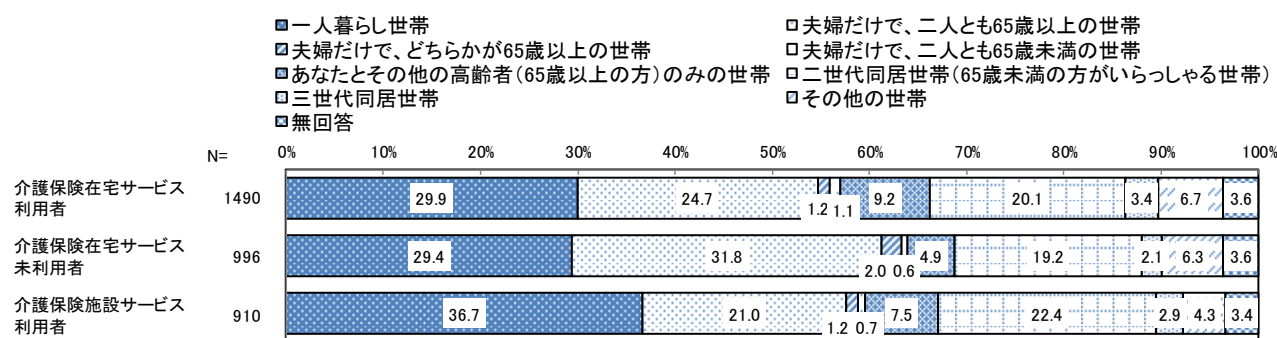
<在宅サービス未利用者調査>問5

あなたのご家族の状況は。(○は1つ)

<施設等サービス利用者調査>問5

施設などに入る前のご家族の状況は。(○は1つ)

【図表 4-5-1 世帯構成】



世帯構成は、介護保険在宅サービス利用者では「一人暮らし世帯」が29.9%と最も高く、次いで「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」が24.7%となっている。

在宅サービス未利用者では「夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯」が31.8%と最も高く、次いで「一人暮らし世帯」が29.4%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「一人暮らし世帯」が36.7%と最も高く、次いで「二世帯同居世帯(65歳未満の方がいらっしゃる世帯)」が22.4%となっている。

②行き来がある親族のいる場所

＜在宅サービス利用者調査＞問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5－1

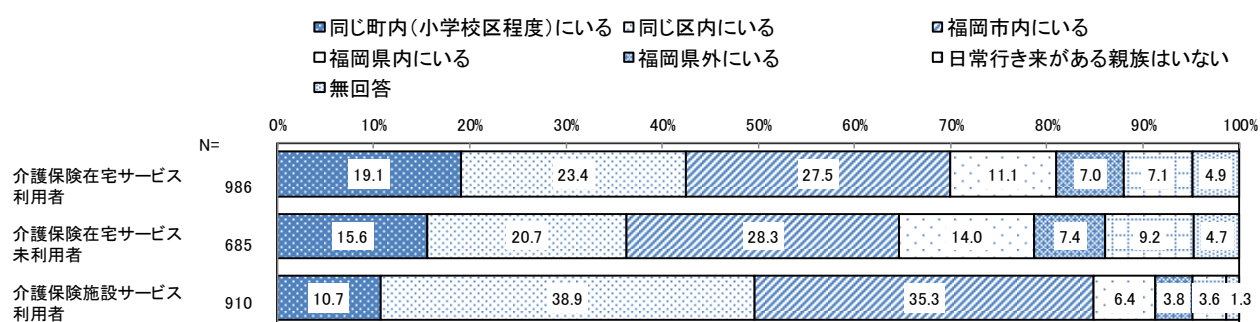
＜在宅サービス未利用者調査＞問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。問5－1

あなたは日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。2か所以上にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。(○は1つ)

＜施設等サービス利用者調査＞問8

日頃から面会や外泊などができる親族の方が施設の近くにいますか。(○は1つ)

【図表 4-5-2 行き来がある親族のいる場所】



日常行き来がある親族のいる場所が『福岡市内』であるのは、介護保険在宅サービス利用者では 70.0%、未利用者では 64.6%、介護保険施設サービス利用者では 84.9%となっている。

（６）世帯年間総収入額

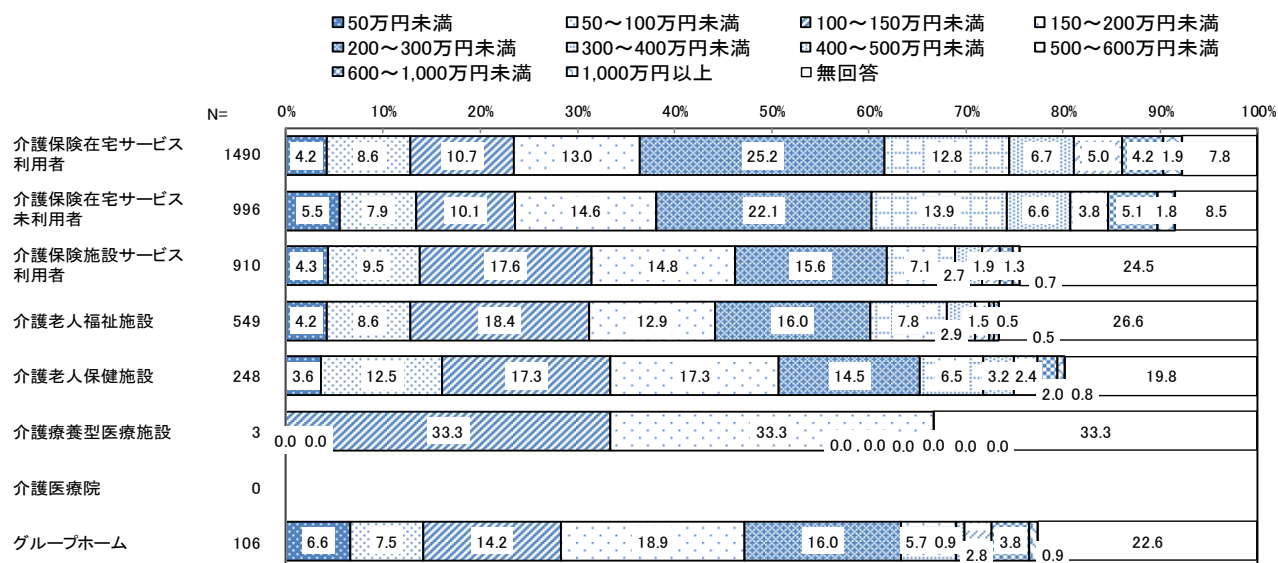
＜在宅サービス利用者調査＞問 6

＜在宅サービス未利用者調査＞問 6

＜施設等サービス利用者調査＞問 6

あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（○は１つ）

【図表 4-6-1 世帯年間総収入額×施設別】



世帯全員の年間総収入額は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者では大きな違いはみられず、ともに「200～300万円未満」が2割台で最も高く、次いで「150～200万円未満」が1割台となっている。

介護保険施設サービス利用者では「100～150万円未満」が17.6%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が15.6%となっている。

(7) 要介護度

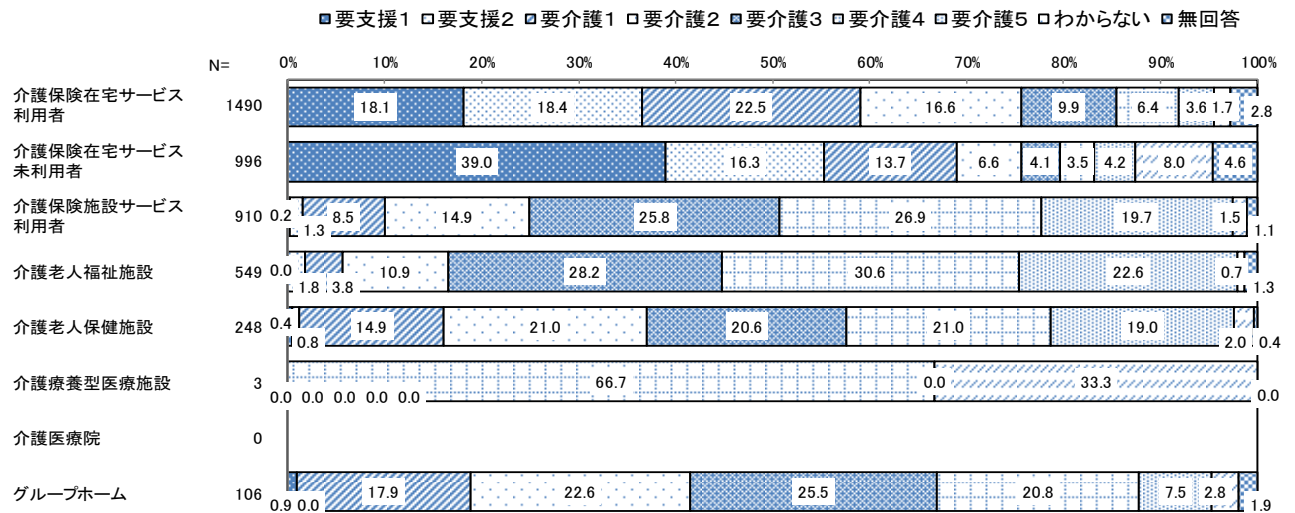
<在宅サービス利用者調査>問7

<在宅サービス未利用者調査>問7

<施設等サービス利用者調査>問4

現時点でのあなたの要介護度は次のどれですか。(○は1つ)

【図表 4-7-1 要介護度×施設別】



要介護度は、介護保険在宅サービス利用者と未利用者ともに要介護度が軽い人が半数を超えており、「要支援1」「要支援2」「要介護1」を合わせた『要介護1以下』は、介護保険在宅サービス利用者では59.0%、未利用者では69.0%となっている。

一方、介護保険施設サービス利用者では要介護度が重い人が多く、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた『要介護3以上』が72.4%となっている。

（８）現在の傷病

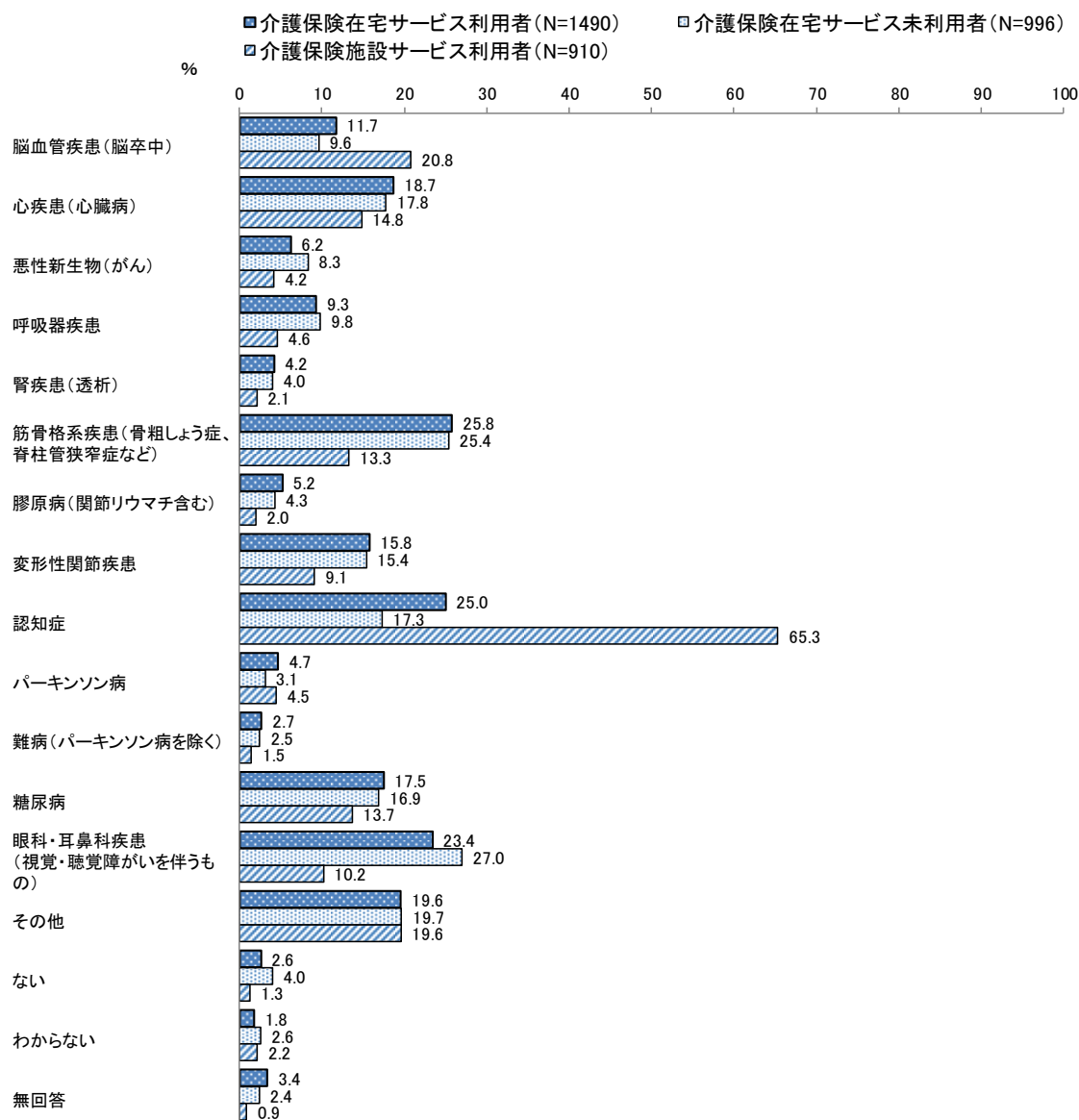
＜在宅サービス利用者調査＞問 8

＜在宅サービス未利用者調査＞問 8

＜施設等サービス利用者調査＞問 11

あなたが現在抱えている傷病は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 4-8-1 現在の傷病】



現在の傷病は、介護保険在宅サービス利用者では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」が 25.8%と最も高く、次いで「認知症」が 25.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 23.4%となっている。

未利用者では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 27.0%と最も高く、

次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」が 25.4%、「その他」が 19.7% となっている。

介護保険施設サービス利用者では「認知症」が 65.3%と最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が 20.8%、「その他」が 19.6%となっている。

（９）介護が必要になった原因

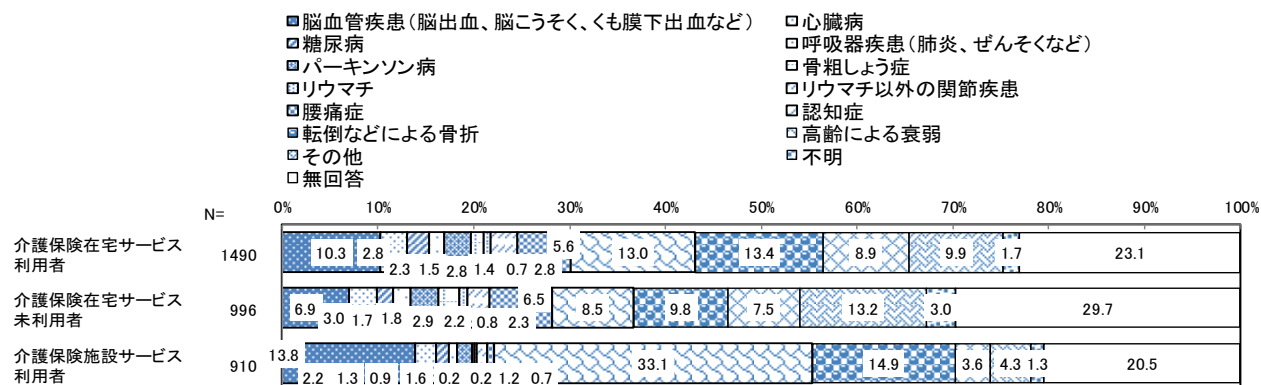
＜在宅サービス利用者調査＞問 9

＜在宅サービス未利用者調査＞問 9

＜施設等サービス利用者調査＞問 12

介護が必要な状態となった原因は何ですか。（○は1つ）

【図表 4-9-1 介護が必要になった原因】



介護が必要になった原因は、介護保険在宅サービス利用者では「転倒などによる骨折」が13.4%と最も高く、次いで「認知症」が13.0%、「脳血管疾患（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など）」が10.3%となっている。

未利用者では「その他」が13.2%と最も高く、次いで「転倒などによる骨折」が9.8%、「認知症」が8.5%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「認知症」が33.1%と最も高く、次いで「転倒などによる骨折」が14.9%、「脳血管疾患（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など）」が13.8%となっている。

(10) 家族・親族からの介護の状況

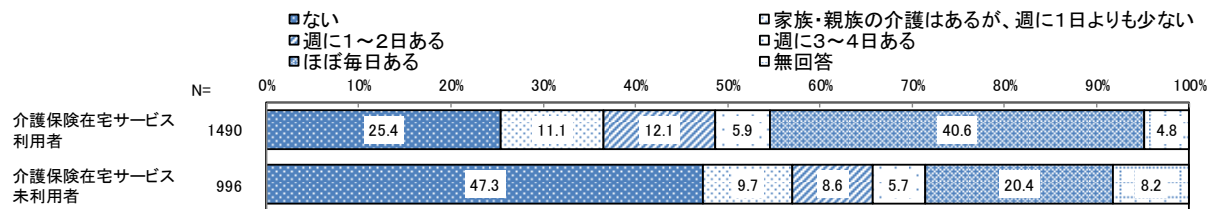
<在宅サービス利用者調査>問 10

<在宅サービス未利用者調査>問 10

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

【図表 4-10-1 家族・親族からの介護の状況】



家族・親族からの介護の状況は、介護保険在宅サービス利用者では「ほぼ毎日ある」が40.6%と最も高く、次いで「ない」が25.4%、「週に1～2日ある」が12.1%となっている。

未利用者では「ない」が47.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」が20.4%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が9.7%となっている。

2. 日常生活について

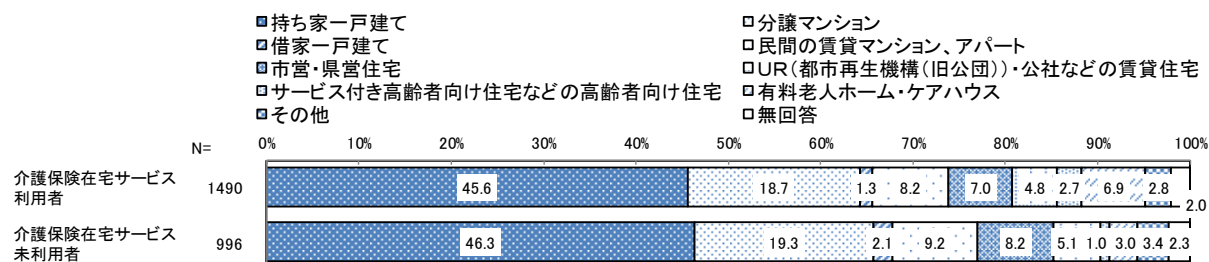
(1) 住居形態

＜在宅サービス利用者調査＞問 11

＜在宅サービス未利用者調査＞問 11

あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つ)

【図表 4-11-1 住居形態】



住居形態は、介護保険在宅サービス利用者では「持ち家一戸建て」が 45.6%と最も高く、次いで「分譲マンション」が 18.7%、「民間の賃貸マンション、アパート」が 8.2%となっている。

未利用者では「持ち家一戸建て」が 46.3%と最も高く、次いで「分譲マンション」が 19.3%、「民間の賃貸マンション、アパート」が 9.2%となっている。

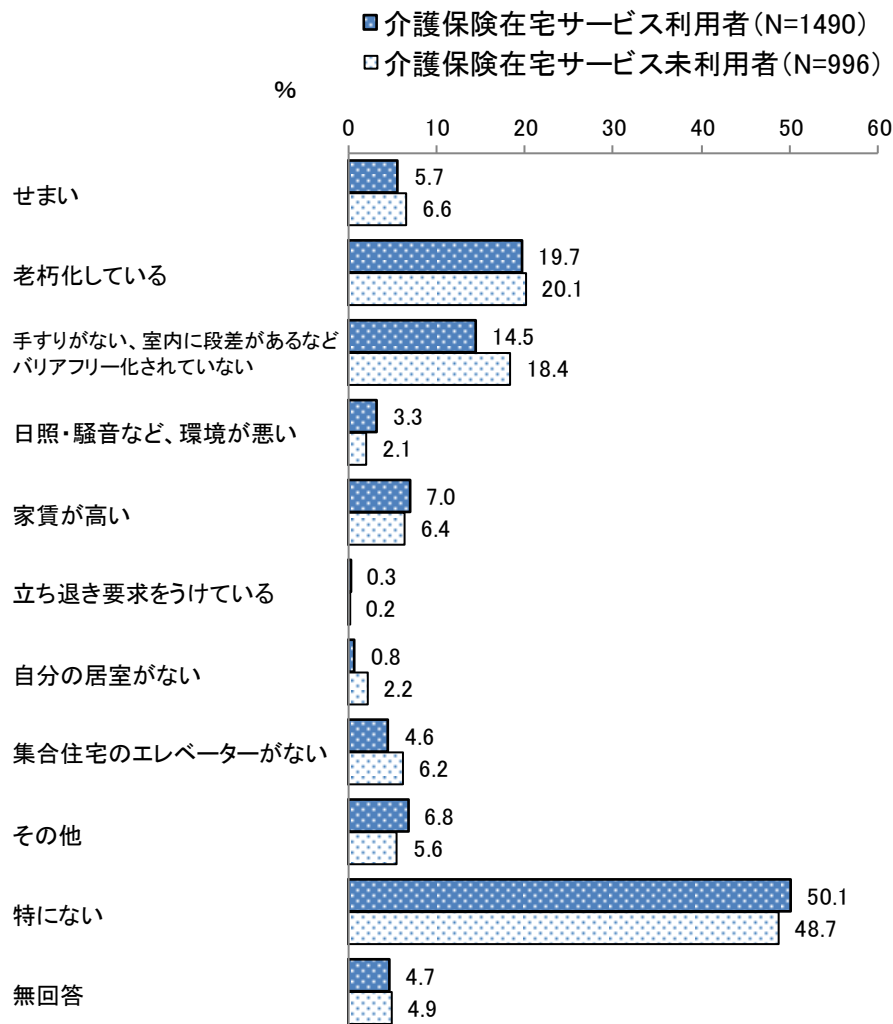
(2) 現在の住まいで困っていること

<在宅サービス利用者調査>問 12

<在宅サービス未利用者調査>問 12

現在の住まいで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表 4-12-1 現在の住まいで困っていること】



現在の住まいで困っていることは、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「特にない」が5割前後で最も高くなっている。困っていることは、「老朽化している」「手すりがない、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が他と比べて高い割合となっている。

（３）施設入所・入居の検討状況

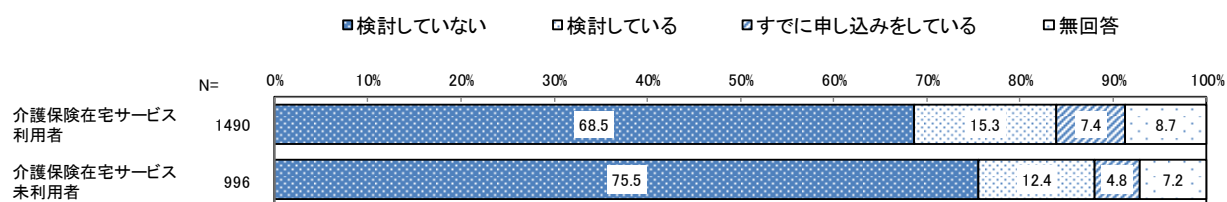
<在宅サービス利用者調査>問 13

<在宅サービス未利用者調査>問 13

現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。（○は1つ）

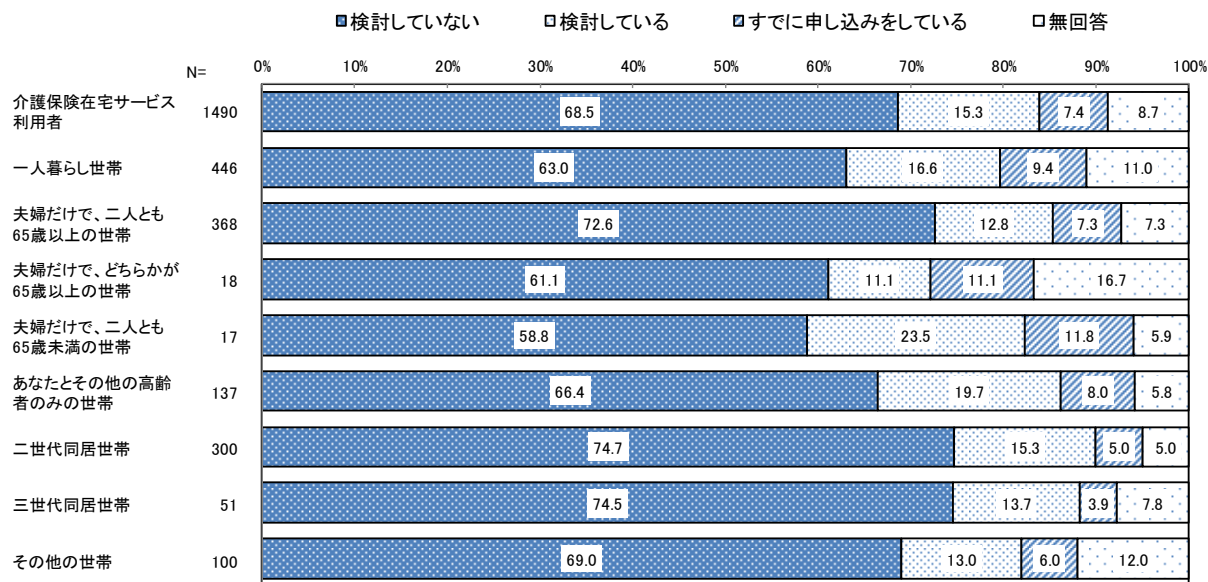
※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【図表 4-13-1 施設入所・入居の検討状況】



施設入所・入居の検討状況は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「入所・入居は検討していない」の割合が7割弱から7割半ばで最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が1割台となっている。

【図表 4-13-2 施設入所・入居の検討状況×世帯構成別<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者を世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「入所・入居は検討していない」が7割を超え、他と比べて高くなっている。また、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「入所・入居を検討している」が2割を超え、他と比べて高くなっている。

(4) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

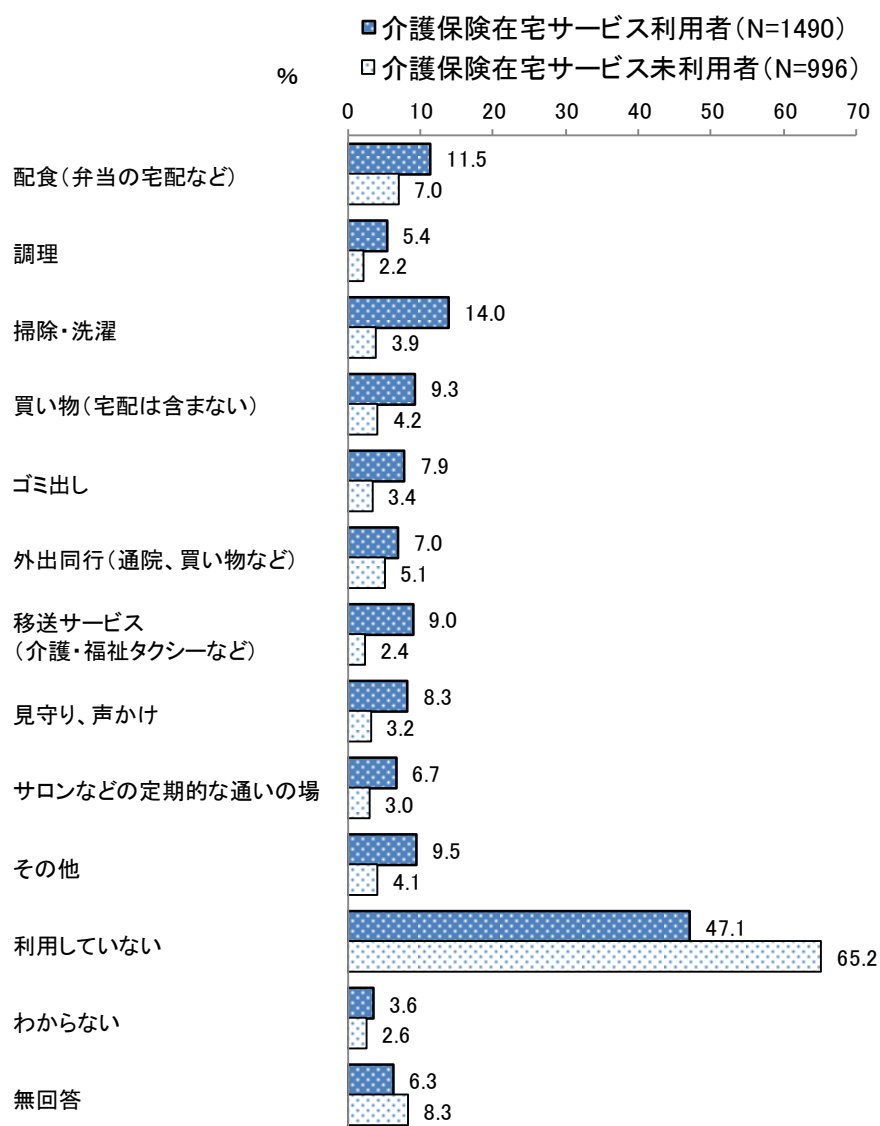
<在宅サービス利用者調査>問 14

<在宅サービス未利用者調査>問 14

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。(〇はいくつでも)

※総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

【図表 4-14-1 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス】



現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「利用していない」の割合が最も高くなっている。介護保険在宅サービス利用者が利用しているサービスの内訳は、「掃除・洗濯」が14.0%、「配食(弁当の宅配など)」が11.5%となっている。

【図表 4-14-2 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス
×世帯構成別＜在宅サービス利用者調査＞】

		回答数	ど配食 （弁当の宅配な い）	調理	掃除・洗濯	買い物 （宅配は含ま ない）	ゴミ出し	外出 （通院、買 物など）	移動・福祉 サービス（介 護タクシーな い）
全 体		1490	11.5	5.4	14.0	9.3	7.9	7.0	9.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	446	17.0	7.6	24.2	15.0	12.1	10.8	5.8
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	368	9.8	5.4	11.7	8.4	8.2	6.3	11.7
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	18	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	11.1
	夫婦だけで、二人とも 65歳未満の世帯	17	17.6	0.0	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	137	6.6	0.7	5.1	3.6	3.6	3.6	8.0
	二世帯同居世帯	300	9.7	5.3	8.0	6.3	4.7	5.7	10.3
	三世帯同居世帯	51	5.9	5.9	9.8	7.8	7.8	2.0	5.9
	その他の世帯	100	6.0	2.0	8.0	4.0	3.0	1.0	8.0

		回答数	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	わからない	無回答
全 体		1490	8.3	6.7	9.5	47.1	3.6	6.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	446	10.8	8.3	9.0	36.5	2.9	6.3
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	368	9.0	6.8	10.6	45.7	5.2	5.7
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	18	0.0	5.6	5.6	38.9	0.0	27.8
	夫婦だけで、二人とも 65歳未満の世帯	17	17.6	0.0	5.9	47.1	11.8	0.0
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	137	5.1	4.4	8.0	62.8	2.9	4.4
	二世帯同居世帯	300	6.3	6.3	7.7	59.0	2.7	4.0
	三世帯同居世帯	51	5.9	2.0	9.8	58.8	3.9	5.9
	その他の世帯	100	6.0	9.0	15.0	47.0	3.0	9.0

世帯構成別にみると、「利用していない」は、夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯で 38.9%、一人暮らし世帯で 36.5%と比較的低くなっている。一人暮らし世帯では、「掃除・洗濯」（24.2%）が他に比べ高くなっている。

(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

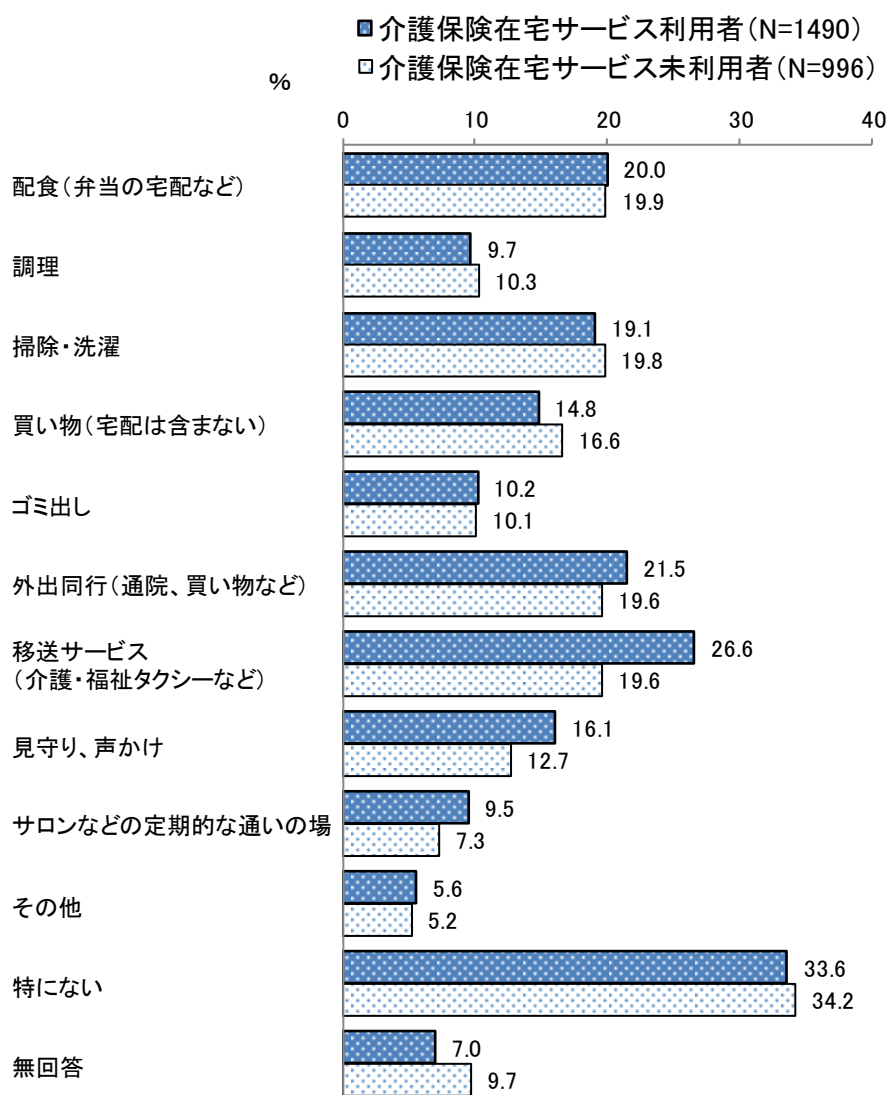
<在宅サービス利用者調査>問 15

<在宅サービス未利用者調査>問 15

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。（○はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

【図表 4-15-1 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、介護保険在宅サービス利用者では「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」（26.6%）、「外出同行（通院、買い物など）」（21.5%）の順となっている。なお、「特にない」が 33.6%となっている。

未利用者では「配食（弁当の宅配など）」（19.9%）、「掃除・洗濯」（19.8%）の順となっている。なお、「特にない」が 34.2%となっている。

【図表 4-15-2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
×世帯構成別＜在宅サービス利用者調査＞】

		回答数	ど配食（弁当の宅配など）	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	(%)
全 体		1490	20.0	9.7	19.1	14.8	10.2	21.5	
世帯構成別	一人暮らし世帯	446	23.5	11.9	26.5	20.9	17.5	24.7	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	368	18.8	8.7	18.2	17.1	8.2	21.2	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	18	33.3	5.6	11.1	11.1	11.1	16.7	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	17	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	13.1	5.1	13.9	6.6	7.3	13.9	
	二世帯同居世帯	300	23.0	10.0	14.7	9.7	5.3	21.3	
	三世帯同居世帯	51	9.8	7.8	13.7	9.8	7.8	21.6	
	その他の世帯	100	17.0	11.0	17.0	11.0	7.0	22.0	

		回答数	ど護移送（福祉サービス）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特にない	無回答
全 体		1490	26.6	16.1	9.5	5.6	33.6	7.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	446	26.0	20.0	9.2	5.8	28.5	6.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	368	28.8	14.7	9.0	3.8	34.2	7.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	18	22.2	16.7	5.6	5.6	27.8	16.7
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	17	5.9	5.9	0.0	11.8	52.9	5.9
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	137	16.8	13.9	12.4	5.1	47.4	3.6
	二世帯同居世帯	300	33.7	14.7	10.7	6.0	33.3	5.3
	三世帯同居世帯	51	23.5	17.6	7.8	7.8	37.3	5.9
	その他の世帯	100	24.0	13.0	8.0	10.0	34.0	7.0

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「掃除・洗濯」（26.5％）が、夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯では「配食（弁当の宅配など）」（33.3％）が、ともに他と比べて高くなっている。

3. 現在利用している医療について

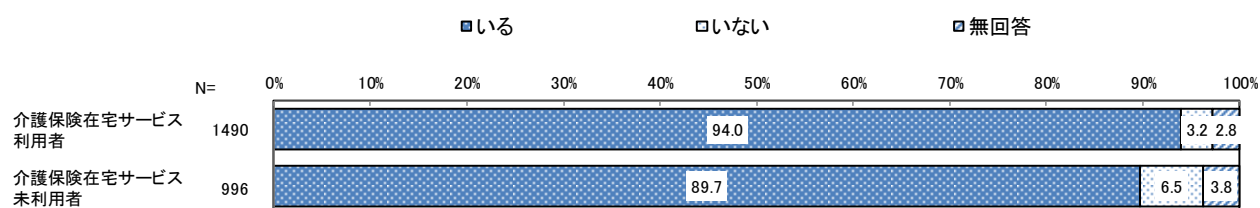
(1) かかりつけ医の有無

<在宅サービス利用者調査>問 19

<在宅サービス未利用者調査>問 24

あなたには、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 4-16-1 かかりつけ医の有無】



かかりつけ医の有無は、介護保険在宅サービス利用者では「いる」が94.0%、「いない」が3.2%、未利用者では「いる」が89.7%、「いない」が6.5%となっている。

(2) 在宅医療への関心

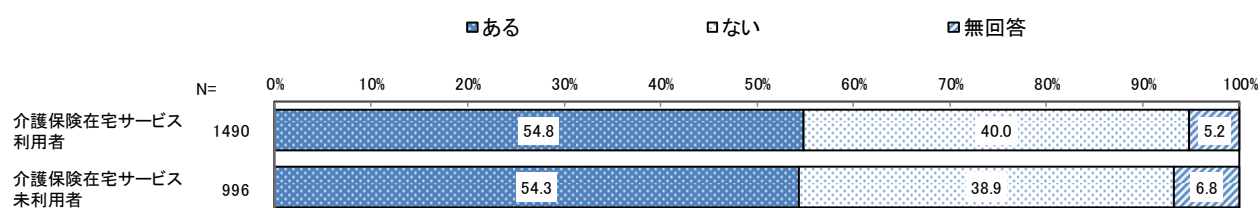
<在宅サービス利用者調査>問 20

<在宅サービス未利用者調査>問 25

あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

※在宅医療とは、さまざまな病気をお持ちの方が、入院せずに自宅などで医師や看護師などの訪問による医療サービスを受けることです。

【図表 4-17-1 在宅医療への関心】



在宅医療への関心は、介護保険在宅サービス利用者では「ある」が54.8%、「ない」が40.0%、未利用者では「ある」が54.3%、「ない」が38.9%となっている。

【図表 4-17-2 在宅医療への関心×要介護度別＜在宅サービス利用者調査＞】

		(%)			
		回答数	ある	ない	無回答
全 体		1490	54.8	40.0	5.2
要介護度別	要支援1	269	49.1	46.8	4.1
	要支援2	274	54.7	40.9	4.4
	要介護1	335	51.3	46.3	2.4
	要介護2	248	59.3	35.1	5.6
	要介護3	147	57.8	33.3	8.8
	要介護4	95	68.4	25.3	6.3
	要介護5	54	68.5	25.9	5.6
	わからない	26	38.5	46.2	15.4

【図表 4-17-3 在宅医療への関心×要介護度別＜在宅サービス未利用者調査＞】

		(%)			
		回答数	ある	ない	無回答
全 体		996	54.3	38.9	6.8
要介護度別	要支援1	388	53.4	42.8	3.9
	要支援2	162	56.8	36.4	6.8
	要介護1	136	59.6	38.2	2.2
	要介護2	66	65.2	28.8	6.1
	要介護3	41	53.7	34.1	12.2
	要介護4	35	40.0	40.0	20.0
	要介護5	42	54.8	21.4	23.8
	わからない	80	47.5	45.0	7.5

(3) 訪問診療の利用の有無

<在宅サービス利用者調査>問 21

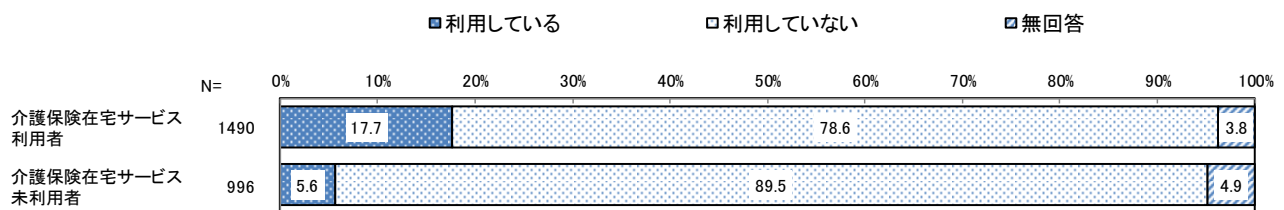
<在宅サービス未利用者調査>問 26

あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者宅を定期的に訪問し、医療を提供することです。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

【図表 4-18-1 訪問診療の利用の有無】



訪問診療の利用の有無は、介護保険在宅サービス利用者では「利用している」が17.7%、「利用していない」が78.6%、未利用者では「利用している」が5.6%、「利用していない」が89.5%となっている。

【図表 4-18-2 訪問診療の利用の有無×要介護度別<在宅サービス利用者調査>】

		(%)			
		回答数	利用している	利用していない	無回答
全 体		1490	17.7	78.6	3.8
要介護度別	要支援1	269	3.7	92.2	4.1
	要支援2	274	9.9	87.6	2.6
	要介護1	335	15.2	82.7	2.1
	要介護2	248	18.1	78.6	3.2
	要介護3	147	22.4	71.4	6.1
	要介護4	95	50.5	47.4	2.1
	要介護5	54	63.0	33.3	3.7
	わからない	26	19.2	69.2	11.5

介護保険在宅サービス利用者を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「利用している」の割合が高くなっている。

【図表 4-18-3 訪問診療の利用の有無×要介護度別＜在宅サービス未利用者調査＞】

		(%)			
		回答数	利用している	利用していない	無回答
全 体		996	5.6	89.5	4.9
要 介 護 度 別	要支援1	388	3.6	93.8	2.6
	要支援2	162	4.3	93.8	1.9
	要介護1	136	8.1	89.7	2.2
	要介護2	66	4.5	89.4	6.1
	要介護3	41	9.8	80.5	9.8
	要介護4	35	11.4	71.4	17.1
	要介護5	42	16.7	64.3	19.0
	わからない	80	2.5	91.3	6.3

介護保険在宅サービス未利用者を要介護度別にみると、要介護 4～5 では「利用している」の割合が比較的高くなっている。

(4) 在宅医療の希望

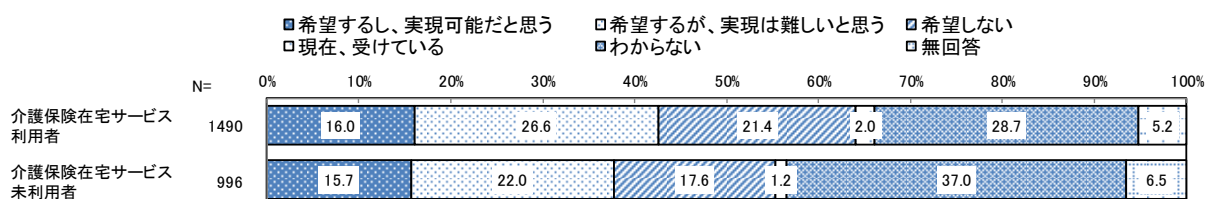
①在宅医療の希望・実現可能性

<在宅サービス利用者調査>問 22

<在宅サービス未利用者調査>問 27

あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【図表 4-19-1 在宅医療の希望・実現可能性】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」と「希望するが、実現は難しいと思う」を合わせた『希望する』が、介護保険在宅サービス利用者では 42.6%、未利用者では 37.7%となっている。また、「希望しない」の割合は、介護保険在宅サービス利用者では 21.4%、未利用者では 17.6%となっている。

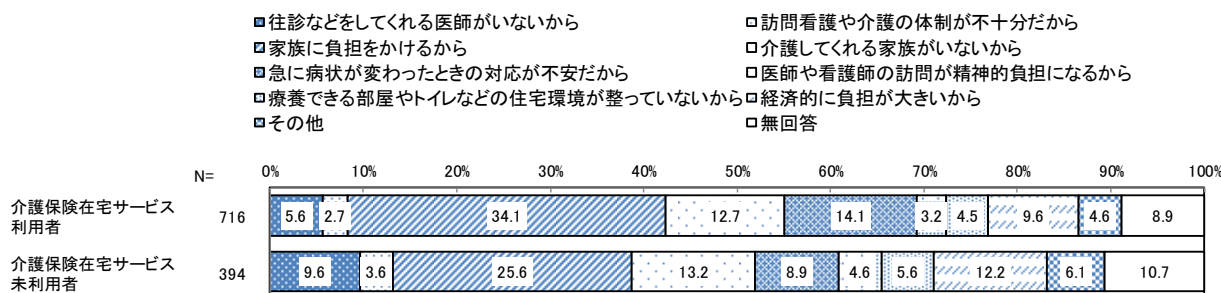
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

<在宅サービス利用者調査>問 22 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。問 22-1

<在宅サービス未利用者調査>問 27 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。問 27-1

在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。(○は1つ)

【図表 4-19-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】



在宅医療を希望しないまたは実現が難しいと思う理由は、介護保険在宅サービス利用者では「家族に負担をかけるから」が 34.1%と最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が 14.1%、「介護してくれる家族がいないから」が 12.7%となっている。

未利用者では「家族に負担をかけるから」が 25.6%と最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が 13.2%、「経済的に負担が大きいから」が 12.2%となっている。

4. 今後の介護・医療について

(1) 今後、どのような介護を受けたいか

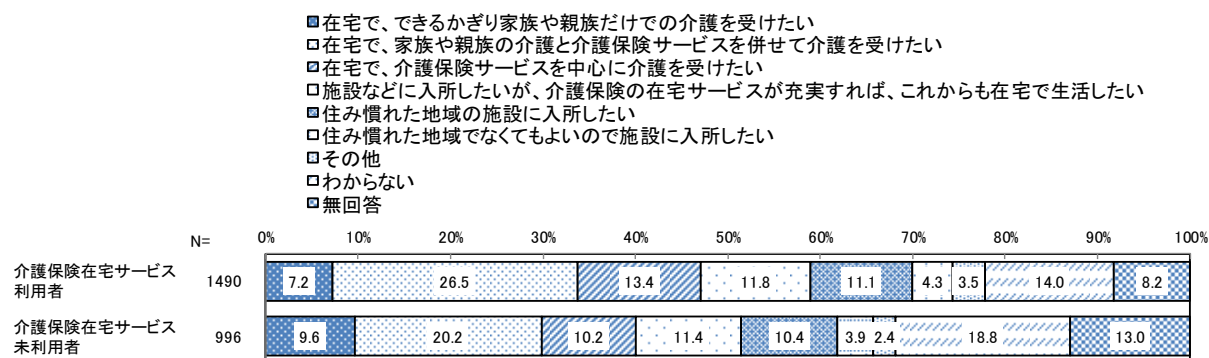
＜在宅サービス利用者調査＞問 23

＜在宅サービス未利用者調査＞問 35

今後、どのような介護を受けていきたいと思いますか。(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

【図表 4-20-1 今後、どのような介護を受けたいか】



今後、どのような介護を受けたいかは、介護保険在宅サービス利用者では「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が26.5%と最も高く、次いで「わからない」が14.0%、「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」が13.4%となっている。

未利用者では「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が20.2%と最も高く、次いで「わからない」が18.8%、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」が11.4%となっている。

(2) 最期を迎えたい場所

<在宅サービス利用者調査>問 24

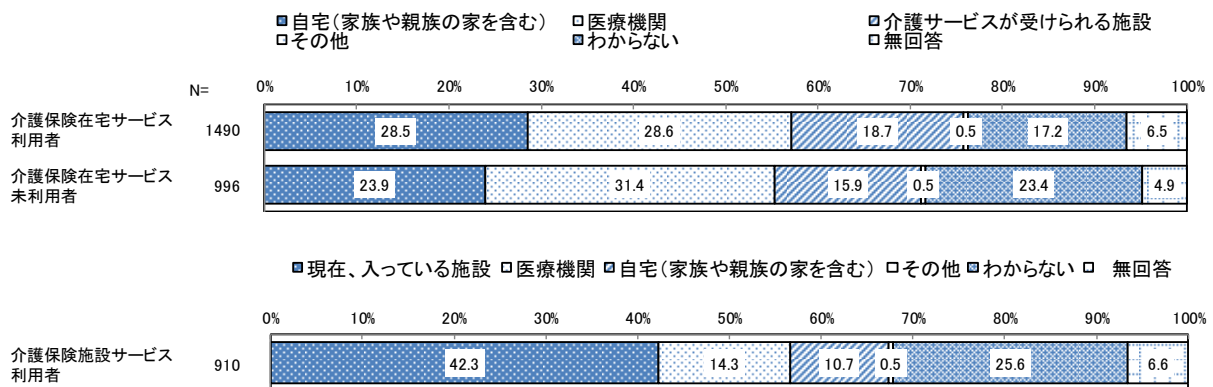
<在宅サービス未利用者調査>問 28

<介護保険施設サービス利用者調査>問 13

万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

(○は1つ)

【図表 4-21-1 最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、介護保険在宅サービス利用者では「医療機関」が28.6%と最も高く、次いで「自宅(家族や親族の家を含む)」が28.5%、「介護サービスが受けられる施設」が18.7%となっている。

未利用者では「医療機関」が31.4%と最も高く、次いで「自宅(家族や親族の家を含む)」が23.9%、「わからない」が23.4%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「現在、入っている施設」が42.3%と最も高く、次いで「わからない」が25.6%、「医療機関」が14.3%となっている。

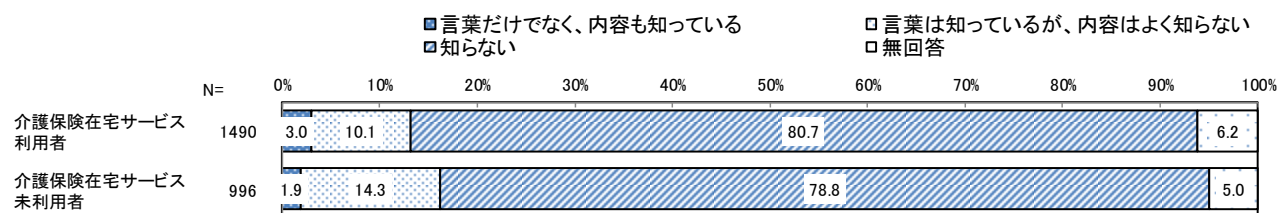
(3)「ACP」又は「人生会議」の認知

＜在宅サービス利用者調査＞問 25

＜在宅サービス未利用者調査＞問 29

「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

【図表 4-22-1 「ACP」又は「人生会議」の認知】



「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉の認知度については、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「知らない」が8割前後で最も高くなっている。

(4) 単身者となった場合に希望する「見守り」

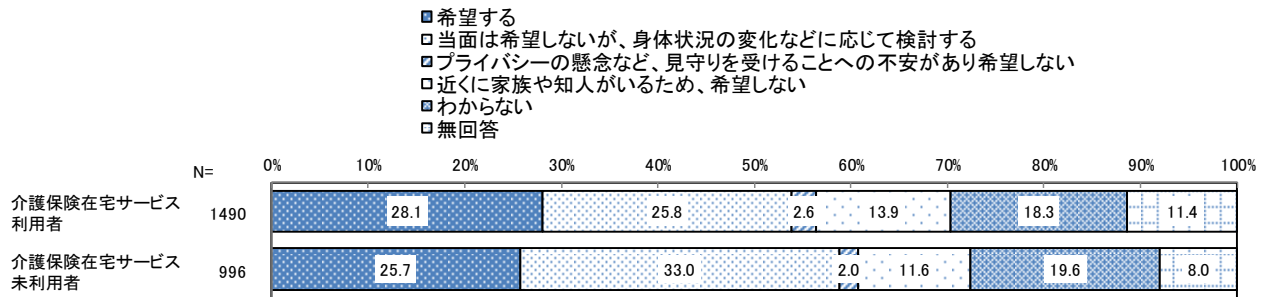
① 単身者となった場合の「見守り」への希望有無

<在宅サービス利用者調査>問 27

<在宅サービス未利用者調査>問 22

単身者となった場合、訪問やサービスによる「見守り」を希望しますか。(○は1つ)

【図表 4-23-1 単身者となった場合の「見守り」への希望有無】



単身者となった場合の「見守り」の希望は、介護保険在宅サービス利用者では「希望する」が28.1%と最も高く、次いで「当面は希望しないが、身体状況の変化などに応じて検討する」が25.8%、「わからない」が18.3%となっている。

未利用者では「当面は希望しないが、身体状況の変化などに応じて検討する」が33.0%と最も高く、次いで「希望する」が25.7%、「わからない」が19.6%となっている。

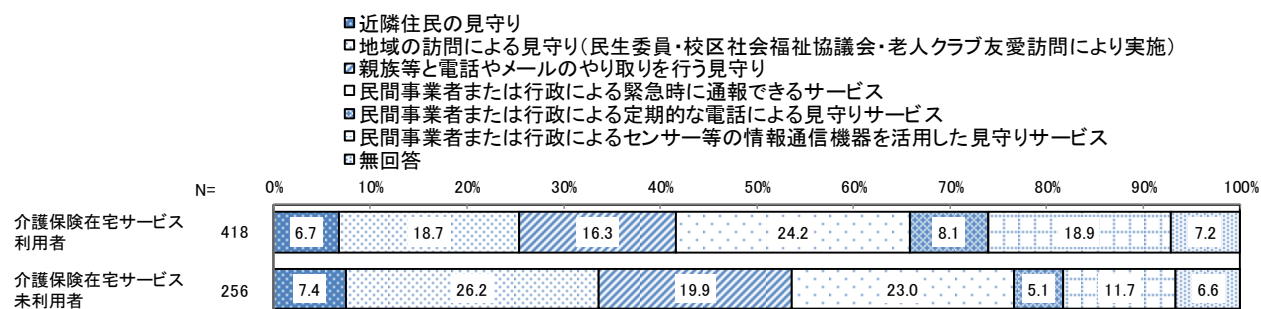
②単身者となった場合の「見守り」への希望の内容

<在宅サービス利用者調査>問 27 で「1」と答えた方にうかがいます。問 27-1

<在宅サービス未利用者調査>問 22 で「1」と答えた方にうかがいます。問 22-1

どのような「見守り」を希望しますか。(○は1つ)

【図表 4-23-2 単身者となった場合の「見守り」への希望の内容】



単身者となった場合に希望する「見守り」の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「民間事業者または行政による緊急時に通報できるサービス」が 24.2%と最も高く、次いで「民間事業者または行政によるセンサー等の情報通信機器を活用した見守りサービス」が 18.9%、「地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）」が 18.7%となっている。

未利用者では「地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）」が 26.2%と最も高く、次いで「民間事業者または行政による緊急時に通報できるサービス」が 23.0%、「親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り」が 19.9%となっている。

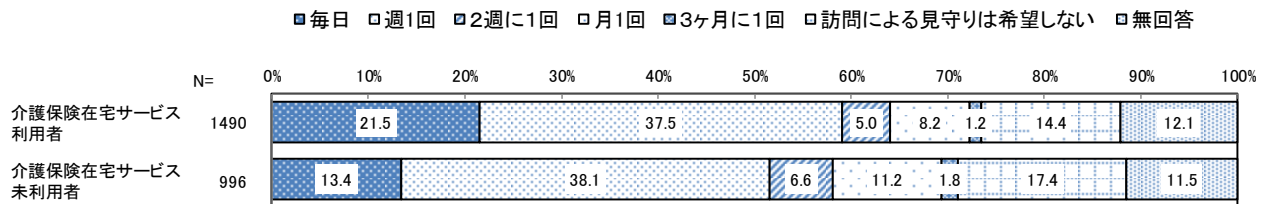
(5) 地域の訪問による「見守り」の希望回数

<在宅サービス利用者調査>問 28

<在宅サービス未利用者調査>問 23

単身者となった場合、地域の訪問による「見守り」を行うとしたら、どのくらいの回数を希望しますか。(○は1つ)

【図表 4-24-1 近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数】



近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数は、介護保険在宅サービス利用者では「週1回」が37.5%と最も高く、次いで「毎日」が21.5%、「訪問による見守りは希望しない」が14.4%となっている。

未利用者では「週1回」が38.1%と最も高く、次いで「訪問による見守りは希望しない」が17.4%、「毎日」が13.4%となっている。

5. 介護保険制度全般について

(1) 介護保険制度全体の満足度

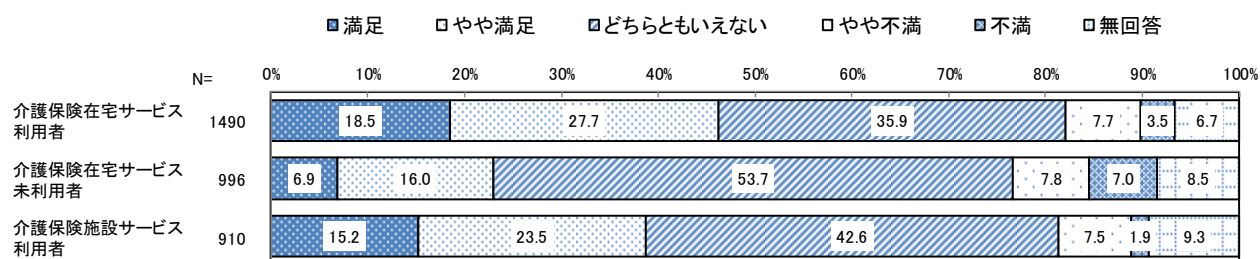
<在宅サービス利用者調査>問 29

<在宅サービス未利用者調査>問 30

<介護保険施設サービス利用者調査>問 21

あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。(○は1つ)

【図表 4-25-1 介護保険制度全体の満足度】



介護保険制度全体の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が介護保険在宅サービス利用者では 46.2%、未利用者が 22.9%、介護保険施設サービス利用者では 38.7%となっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は介護保険在宅サービス利用者では 11.2%、未利用者が 14.8%、介護保険施設サービス利用者では 9.4%となっている。

(2) 介護保険制度で不満に思うこと

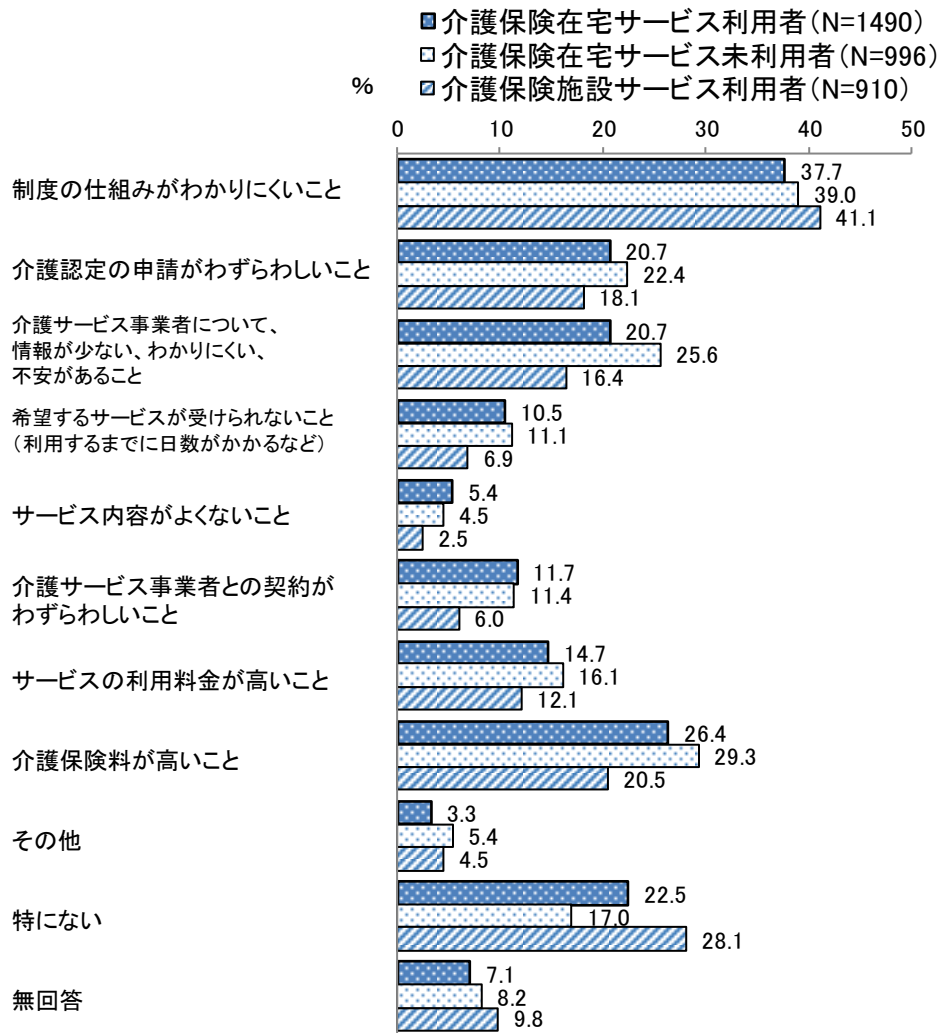
<在宅サービス利用者調査>問 30

<在宅サービス未利用者調査>問 31

<介護保険施設サービス利用者調査>問 22

介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 4-26-1 介護保険制度で不満に思うこと】



介護保険制度で不満に思うことは、介護保険在宅サービス利用者では「制度の仕組みがわかりにくいこと」が37.7%と最も高く、次いで「介護保険料が高いこと」が26.4%、「介護認定の申請がわずらわしいこと」「介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること」がともに20.7%となっている。なお、「特にない」が22.5%となっている。

未利用者では「制度の仕組みがわかりにくいこと」が39.0%と最も高く、次いで「介護保険料が高いこと」が29.3%、「介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい」が25.6%となっている。

くい、不安があること」が 25.6%となっている。

介護保険施設サービス利用者では「制度の仕組みがわかりにくいこと」が 41.1%と最も高く、次いで「介護保険料が高いこと」が 20.5%、「介護認定の申請がわずらわしいこと」が 18.1%となっている。なお、「特にない」が 28.1%となっている。

(3) 介護保険制度でわかりにくいこと

<在宅サービス利用者調査>問 31

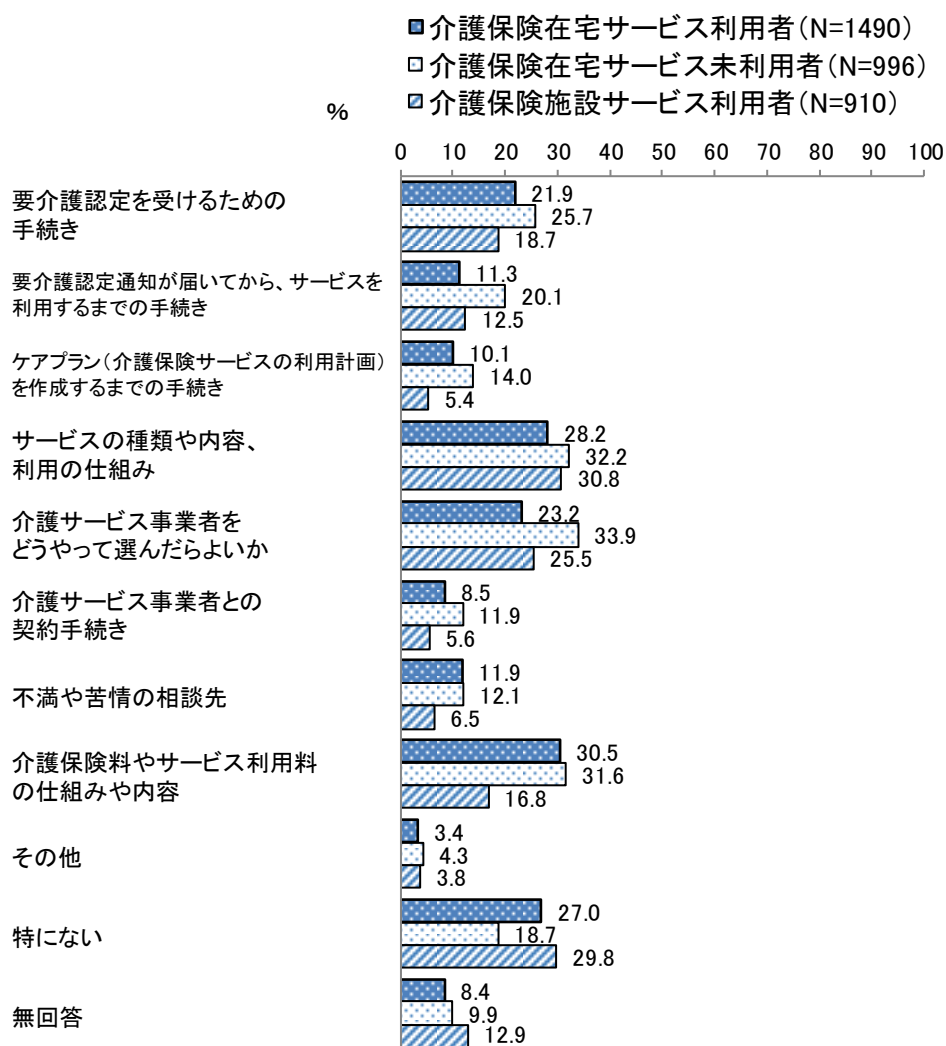
<在宅サービス未利用者調査>問 32

<介護保険施設サービス利用者調査>問 23

あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

【図表 4-27-1 介護保険制度でわかりにくいこと】



介護保険制度でわかりにくいことは、介護保険在宅サービス利用者では「介護保険料やサービス利用料の仕組みや内容」が30.5%、未利用者では「介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか」が33.9%、介護保険施設サービス利用者では「サービスの種類や内容、利用の仕組み」が30.8%で、それぞれ最も高くなっている。

介護保険在宅サービス利用者、未利用者、介護保険施設サービス利用者いずれも上記項目に加えて「要介護認定を受けるための手続き」が上位にあげられている。

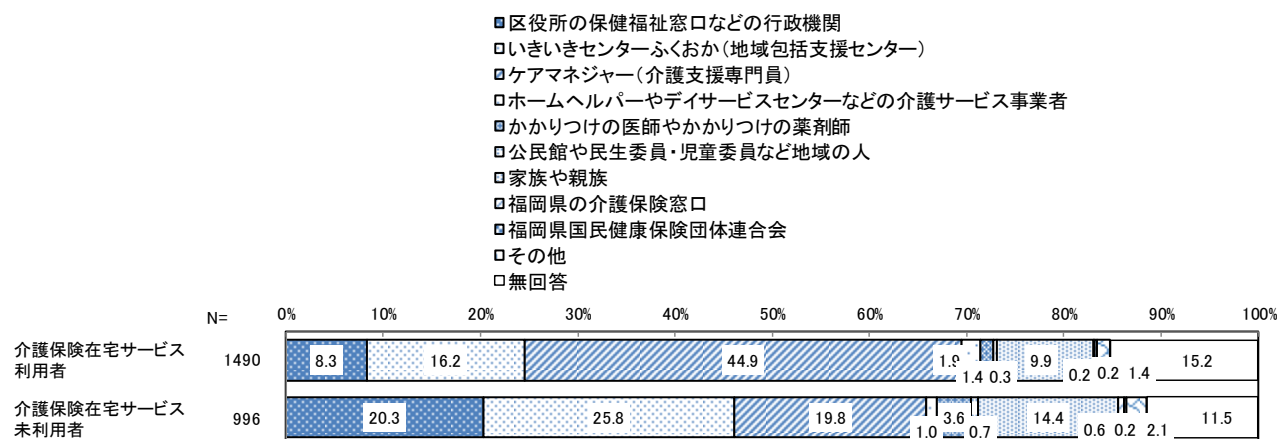
（４）介護や福祉サービスについての相談先

＜在宅サービス利用者調査＞問 33

＜在宅サービス未利用者調査＞問 33

介護のことや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に（どこに）相談しますか。（○は1つ）

【図表 4-28-1 介護や福祉サービスについての相談先】



介護や福祉サービスについての相談先は、介護保険在宅サービス利用者では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 44.9%と最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 16.2%、「家族や親族」が 9.9%となっている。

未利用者では「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 25.8%と最も高く、次いで「区役所の保健福祉窓口などの行政機関」が 20.3%、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 19.8%となっている。

6. 現在の介護サービスについて

(1) 高齢者サービス

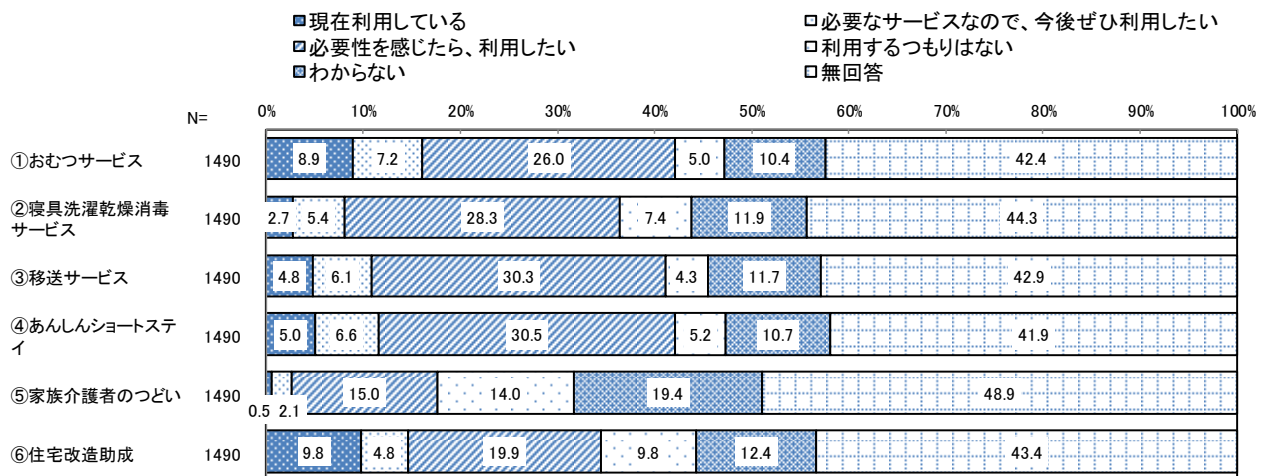
① サービスの利用状況・利用意向

<在宅サービス利用者調査>問 36

<在宅サービス未利用者調査>問 34

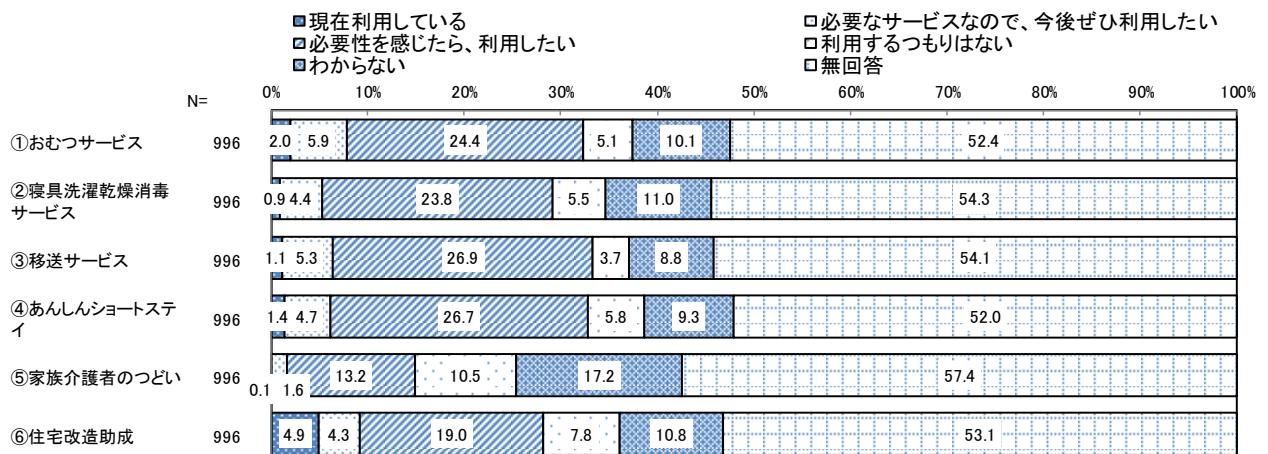
あなたは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 4-29-1 サービスの利用状況・利用意向<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者が現在利用しているサービスは、「おむつサービス」と「住宅改造助成」がともに1割弱と、他と比べて高くなっている。

【図表 4-29-2 サービスの利用状況・利用意向<在宅サービス未利用者調査>】



介護保険在宅サービス未利用者が現在利用しているサービスは、「住宅改造助成」が4.9%と、他と比べて高くなっている。

②サービスの満足度

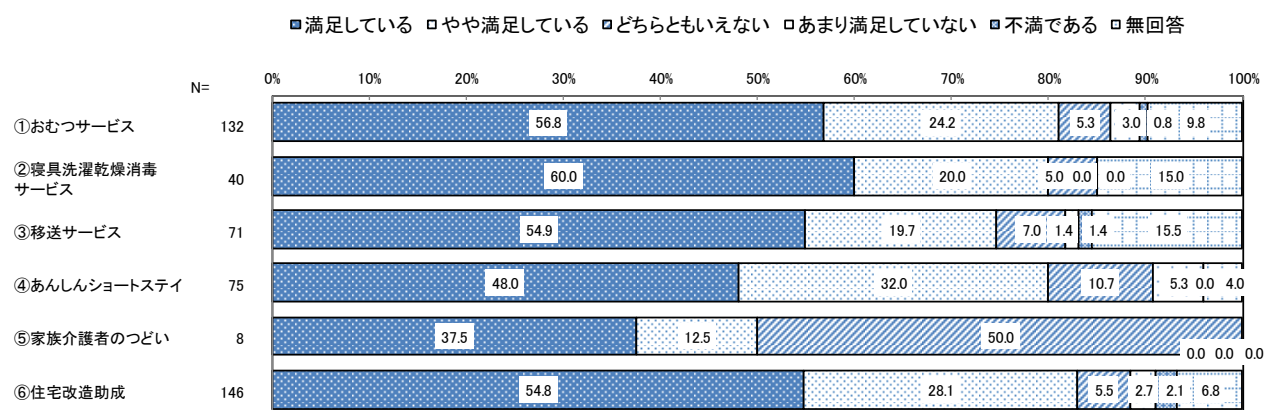
<在宅サービス利用者調査>問 36

<在宅サービス未利用者調査>問 34

さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。

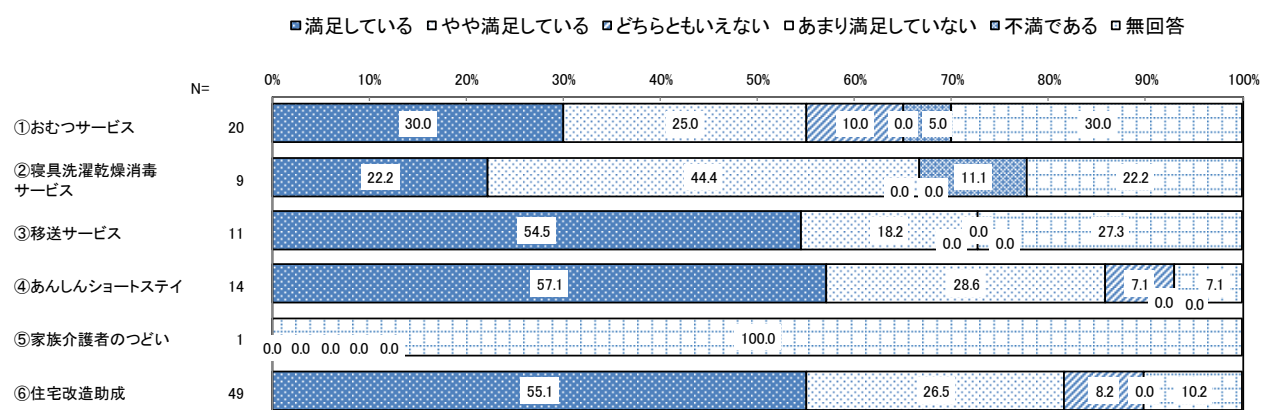
(項目ごとに○は1つ)

【図表 4-29-3 サービスの満足度<在宅サービス利用者調査>】



介護保険在宅サービス利用者のサービスの満足度は、「家族介護者のつどい」を除く項目で「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』がいずれも7割半ばから8割強となっている。

【図表 4-29-4 サービスの満足度<在宅サービス未利用者調査>】



介護保険在宅サービス未利用者のサービスの満足度は、「家族介護者のつどい」を除く項目で『満足している』が5割半ばから8割半ばとなっている。

7. 家族の回答

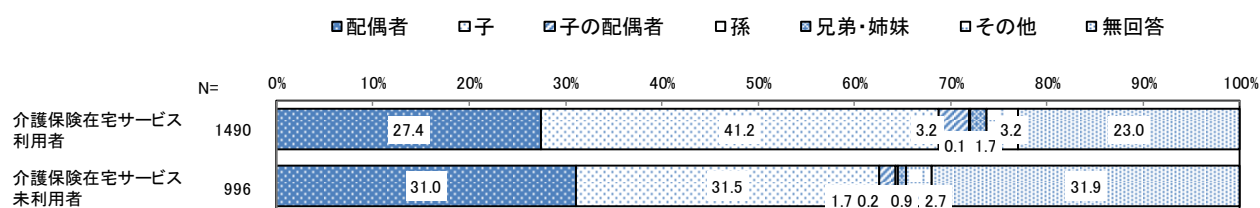
(1) 主な介護者

<在宅サービス利用者調査>問 37

<在宅サービス未利用者調査>問 36

主にあて名の方の介護にあたっている方（主な介護者）はどなたですか。あて名の方ご本人（介護が必要な方）からみた続柄をお答えください。（○は1つ）

【図表 4-30-1 主な介護者】



主な介護者は、介護保険在宅サービス利用者では「子」が41.2%と最も高く、次いで「配偶者」が27.4%、「子の配偶者」及び「その他」が3.2%となっている。

未利用者では、「子」が31.5%と最も高く、次いで「配偶者」が31.0%、「その他」が2.7%となっている。

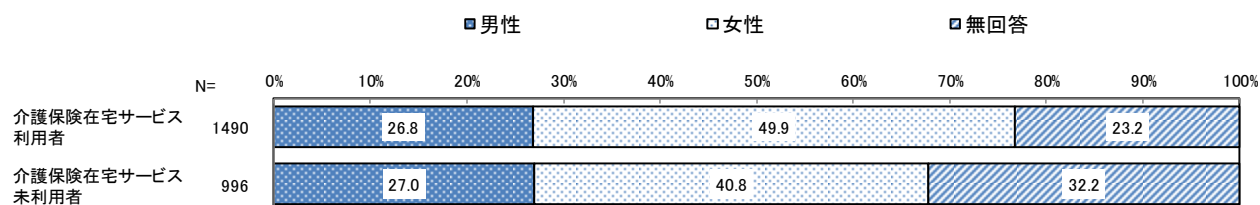
(2) 主な介護者の性別

<在宅サービス利用者調査>問 38

<在宅サービス未利用者調査>問 37

主な介護者の方の性別は。（○は1つ）

【図表 4-31-1 主な介護者の性別】



主な介護者の性別は、介護保険在宅サービス利用者では「男性」が26.8%、「女性」が49.9%で、未利用者では「男性」が27.0%、「女性」が40.8%となっている。

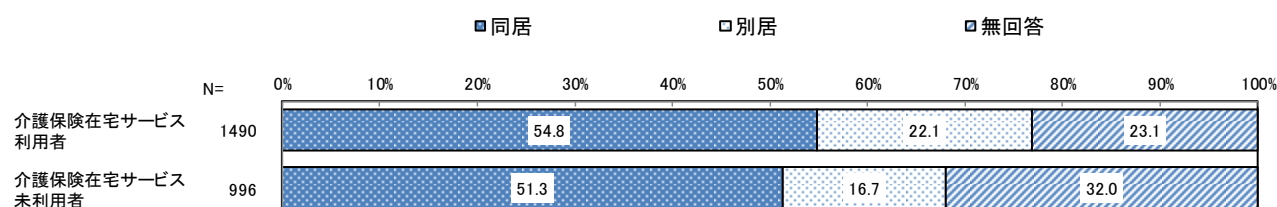
（３）主な介護者の同居状況

<在宅サービス利用者調査>問 39

<在宅サービス未利用者調査>問 38

主な介護者の方の状況は。(○は1つ)

【図表 4-32-1 主な介護者の同居状況】



主な介護者の同居状況は、介護保険在宅サービス利用者では「同居」が54.8%、「別居」が22.1%で、未利用者では「同居」が51.3%、「別居」が16.7%となっている。

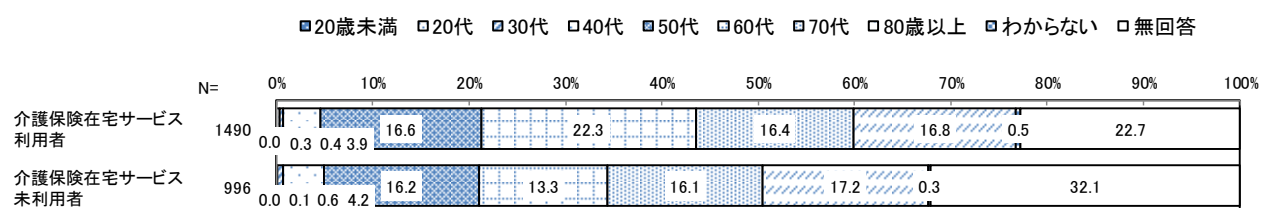
（４）主な介護者の年齢

<在宅サービス利用者調査>問 40

<在宅サービス未利用者調査>問 39

主な介護者の方の年齢は。(○は1つ)

【図表 4-33-1 主な介護者の年齢】



主な介護者の年齢は、『60代以上』が介護保険在宅サービス利用者では55.5%、未利用者では46.6%となっている。

(5) 介護離職の状況

<在宅サービス利用者調査>問 41

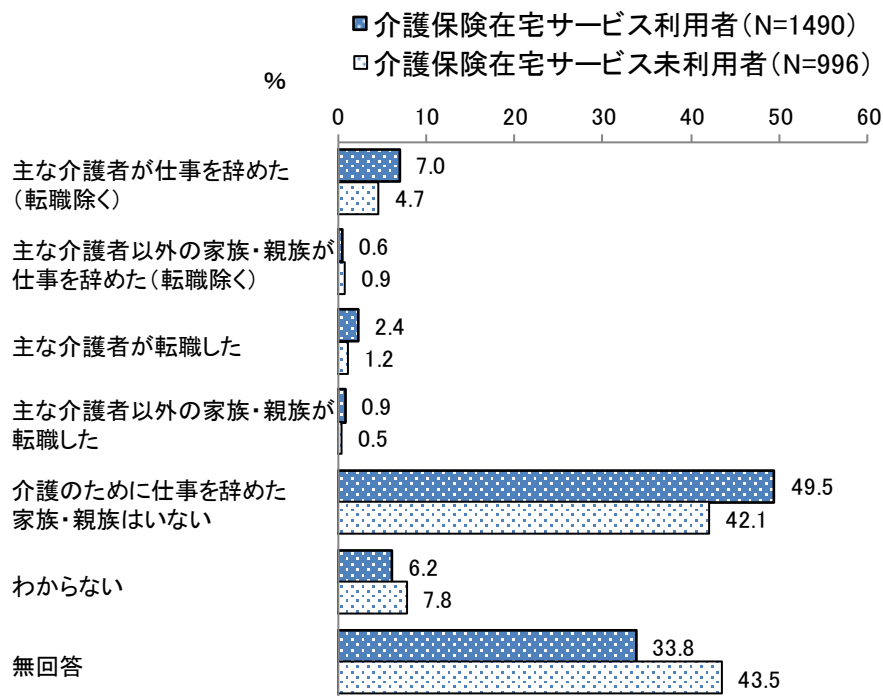
<在宅サービス未利用者調査>問 40

ご家族やご親族の中で、あて名の方ご本人（介護が必要な方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めたり転職をした方はいますか。（〇はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【図表 4-34-1 介護離職の状況】



介護離職の状況は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が4割強から5割弱で最も高くなっている。それ以外の項目はいずれも1割を下回っている。

（６）主な介護者の勤務状況

①主な介護者の勤務形態

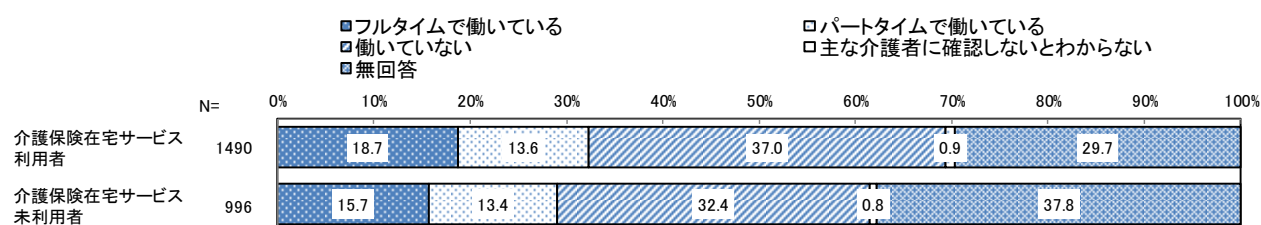
＜在宅サービス利用者調査＞問 42

＜在宅サービス未利用者調査＞問 41

主な介護者の方の現在の勤務形態は。（○は1つ）

※ここでいう「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【図表 4-35-1 主な介護者の勤務形態】

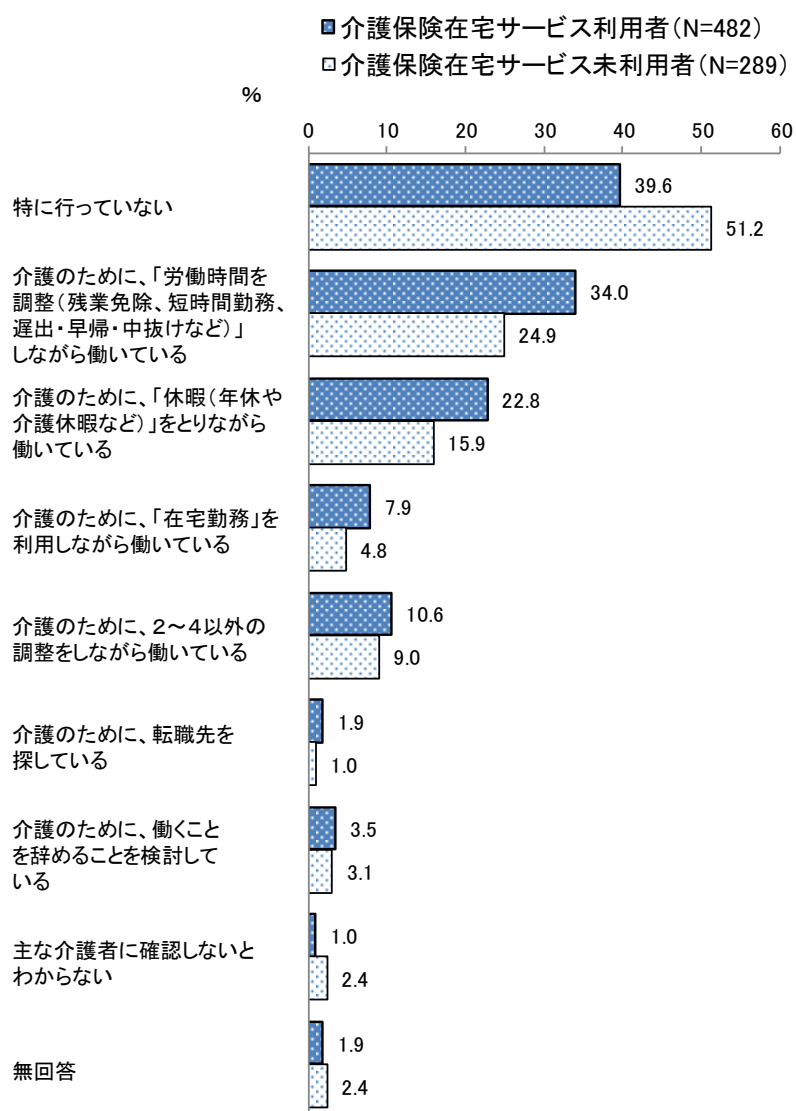


主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた『働いている』が、介護保険在宅サービス利用者では 32.3%、未利用者では 29.1%となっている。

②主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況

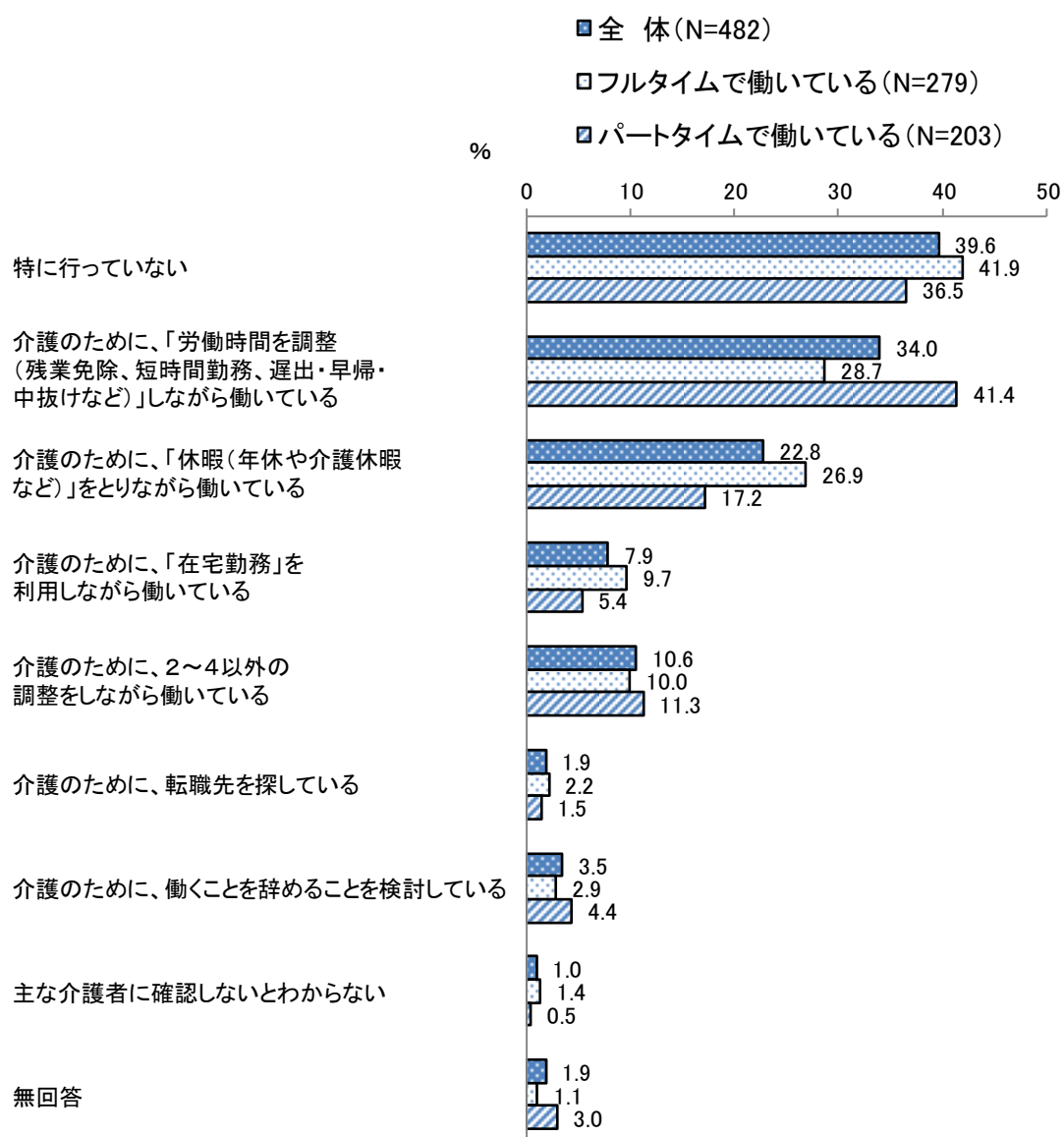
＜在宅サービス利用者調査＞問 42 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 42－1
 ＜在宅サービス未利用者調査＞問 41 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 41－1
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。（〇はいくつでも）

【図表 4-35-2 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況】



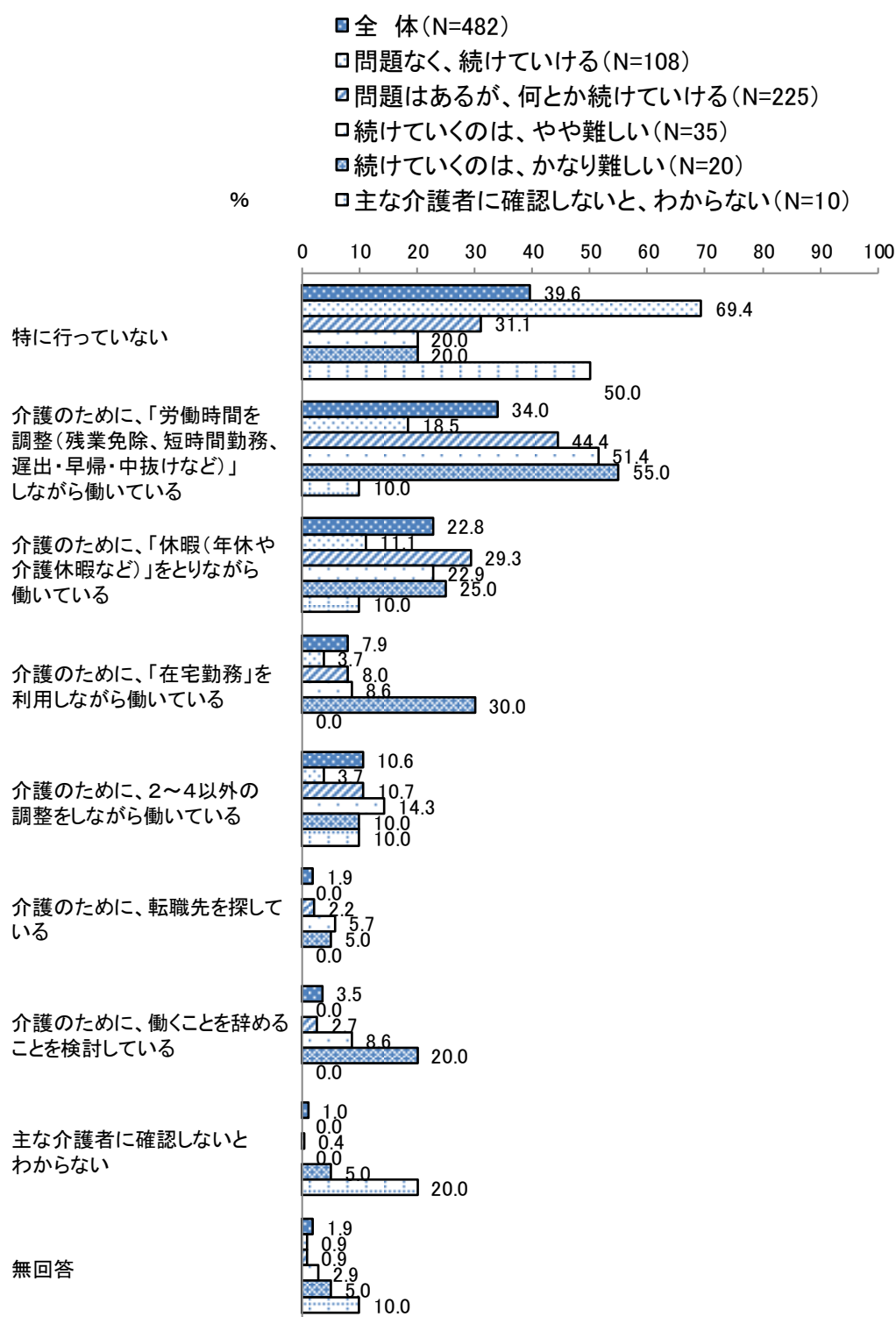
主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況は、「特に行っていない」が最も高く、介護保険在宅サービス利用者で 39.6%、未利用者で 51.2%となっている。次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら働いている」が、介護保険在宅サービス利用者で 34.0%、未利用者で 24.9%となっている。

【図表 4-35-3 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況
×主な介護者の勤務形態別＜在宅サービス利用者＞】



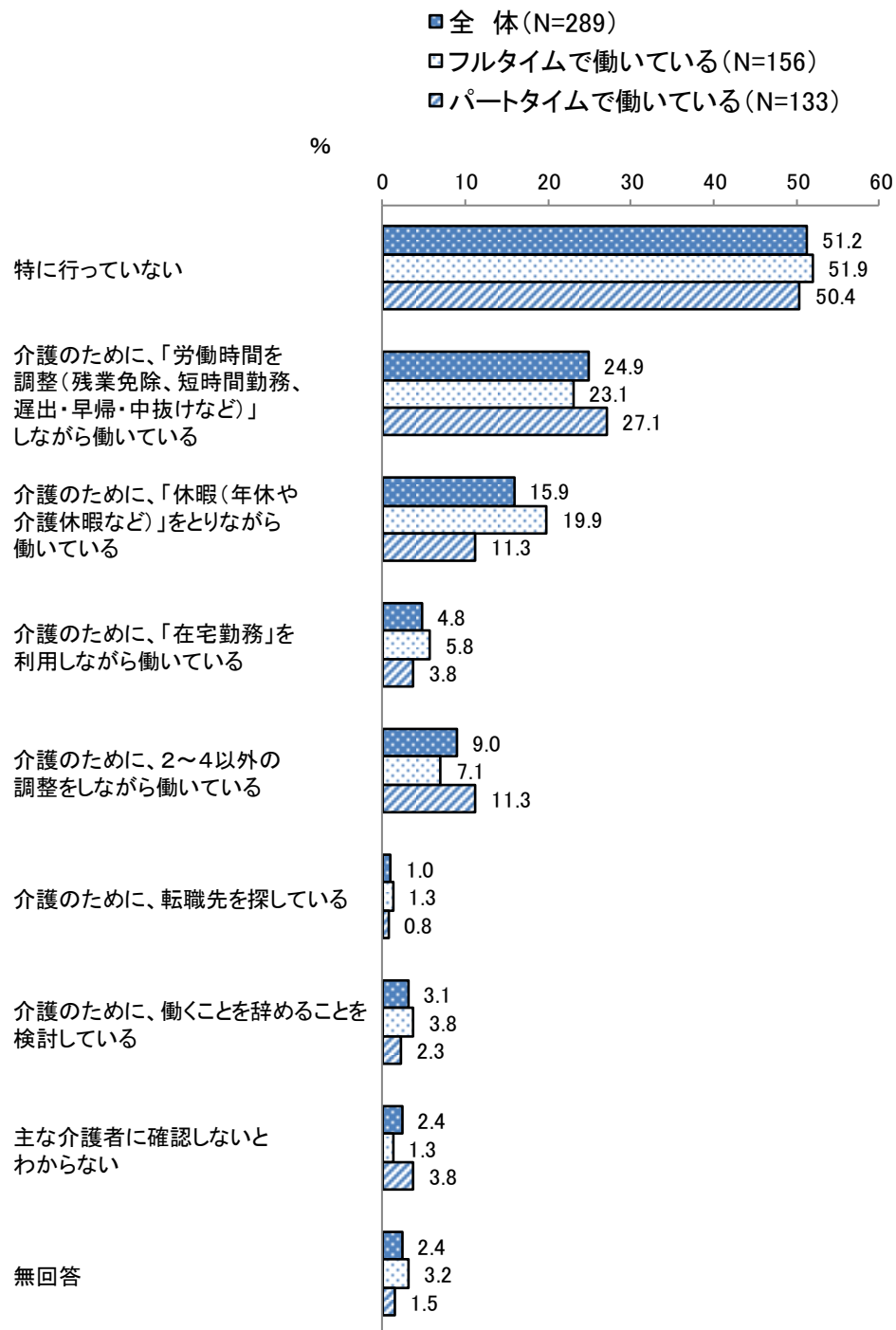
介護保険在宅サービス利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人では「特に行っていない」（41.9％）が、パートタイムで働いている人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」（41.4％）が、それぞれ最も高くなっている。また、フルタイムで働いている人では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」をとりながら働いている」（26.9％）がパートタイムで働いている人より高くなっている。

【図表 4-35-4 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況
×主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性別＜在宅サービス利用者＞】



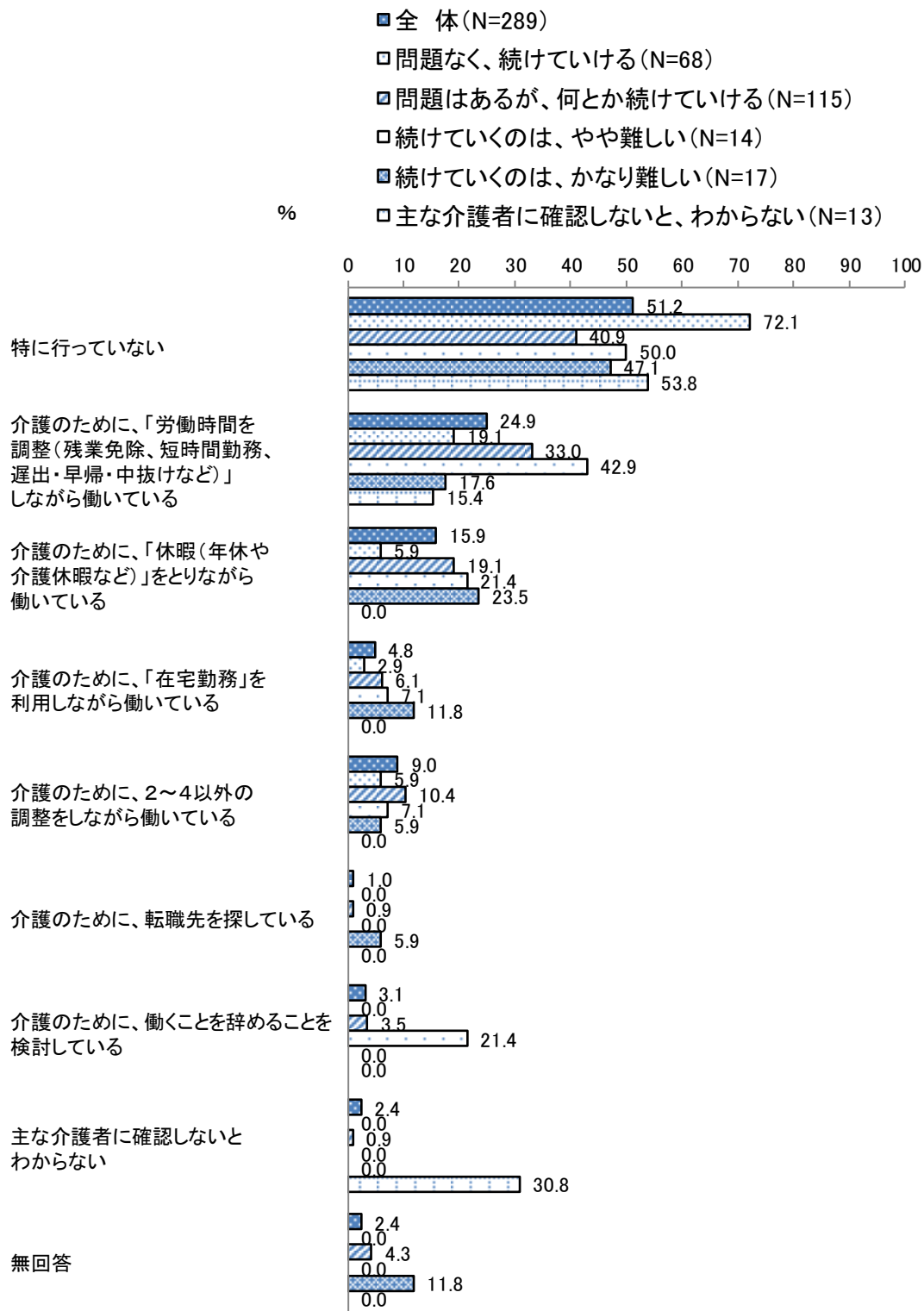
介護保険在宅サービス利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を仕事と介護の両立継続可能性別にみると、問題なく、続けていける人は「特に行っていない」（69.4％）が最も高く、問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは、やや難しい人、続けていくのは、かなり難しい人では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」が4割半ばから5割半ばで最も高くなっている。

【図表 4-35-5 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況
×主な介護者の勤務形態別＜在宅サービス未利用者＞】



介護保険在宅サービス未利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人、パートタイムで働いている人ともに「特に行っていない」が5割を超え、最も高くなっている。

【図表 4-35-6 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況
×主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性別＜在宅サービス未利用者＞】



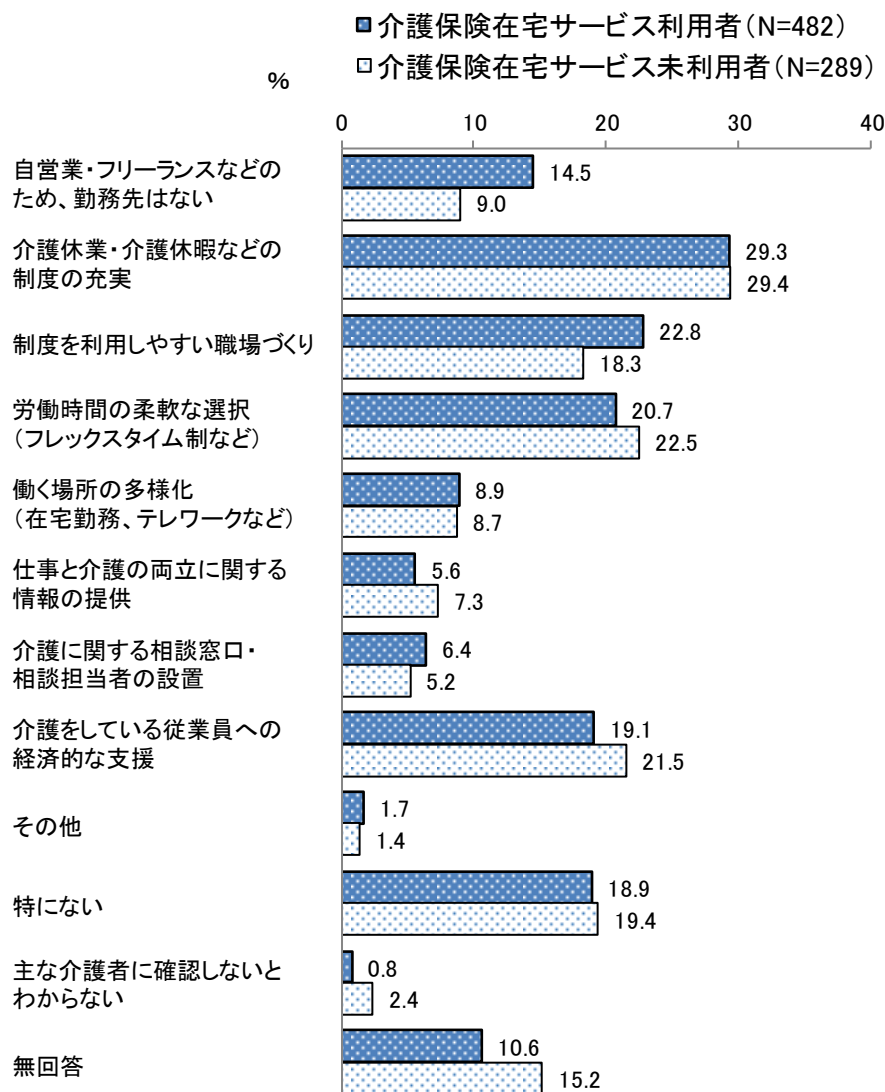
介護保険在宅サービス未利用者の介護者の、介護に伴う勤務調整の状況を仕事と介護の両立継続可能性別にみると、すべての属性で「特に行っていない」が最も高く、問題なく、続けていける人では72.1%と特に高くなっている。

両立を続けていくのは、やや難しい人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている」（42.9%）が他に比べ高くなっている。

③仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容

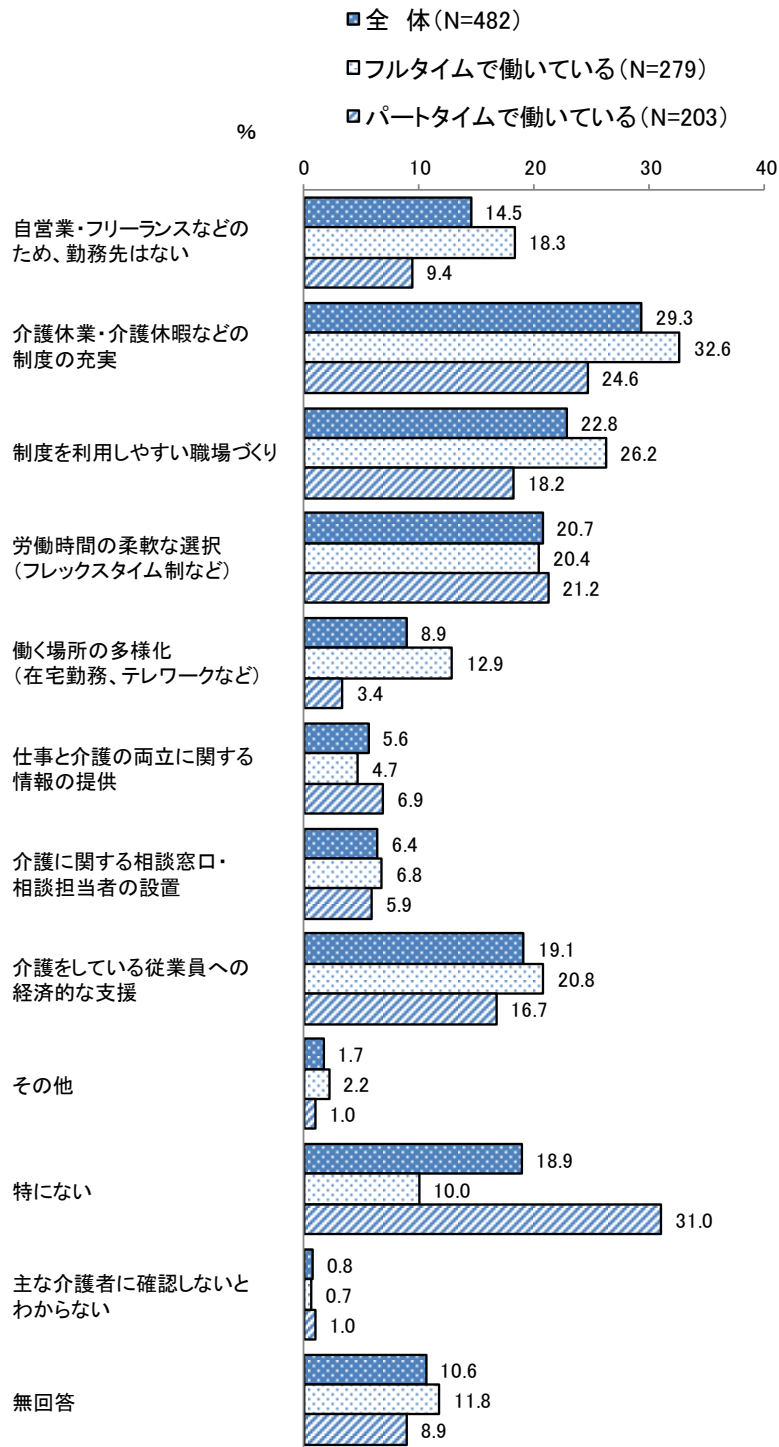
＜在宅サービス利用者調査＞問 42 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 42－2
 ＜在宅サービス未利用者調査＞問 41 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 41－2
 主な介護者の方は、勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある
 と思いますか。（○は3つまで）

【図表 4-35-7 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容】



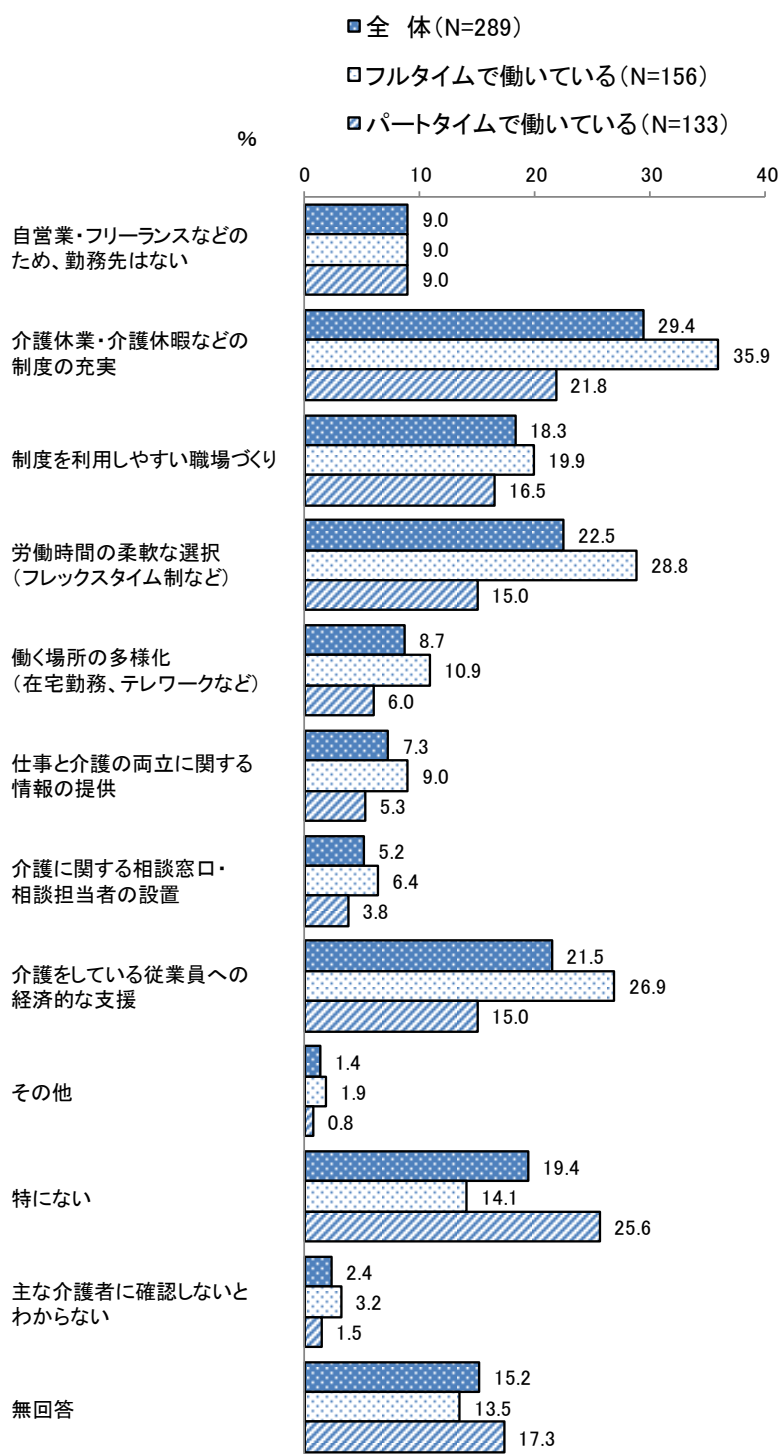
介護者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が3割弱で最も高く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が2割強で上位となっている。また、サービス利用者では「制度を利用しやすい職場づくり」、未利用者では「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに2割強で上位となっている。

【図表 4-35-8 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容
×主な介護者の勤務形態別＜在宅サービス利用者＞】



介護保険在宅サービス利用者の介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人では「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「働く場所の多様化（在宅勤務、テレワークなど）」などが、パートタイムで働いている人より高くなっている。

【図表 4-35-9 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容
×主な介護者の勤務形態別＜在宅サービス未利用者＞】

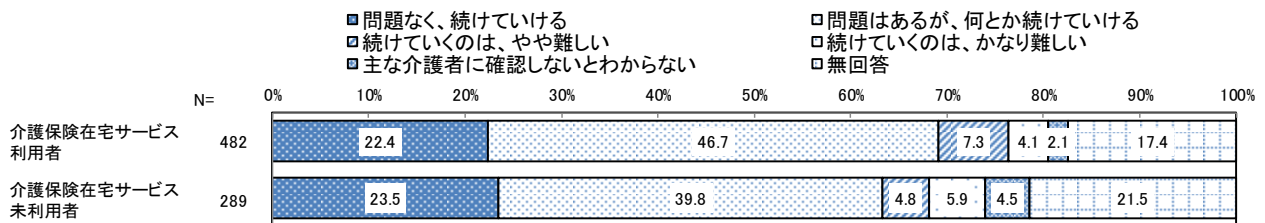


介護保険在宅サービス未利用者の介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先の支援の内容を勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人では「介護休業・介護休暇などの制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」などがパートタイムで働いている人より高くなっている。

④主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性

＜在宅サービス利用者調査＞問 42 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 42－3
 ＜在宅サービス未利用者調査＞問 41 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。問 41－3
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）

【図表 4-35-10 主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性】



主な介護者の仕事と介護の両立継続可能性は、介護保険在宅サービス利用者では「問題はあるが、何とか続けていける」が 46.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 22.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.3%となっている。

未利用者では「問題はあるが、何とか続けていける」が 39.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 23.5%、「続けていくのは、かなり難しい」が 5.9%となっている。

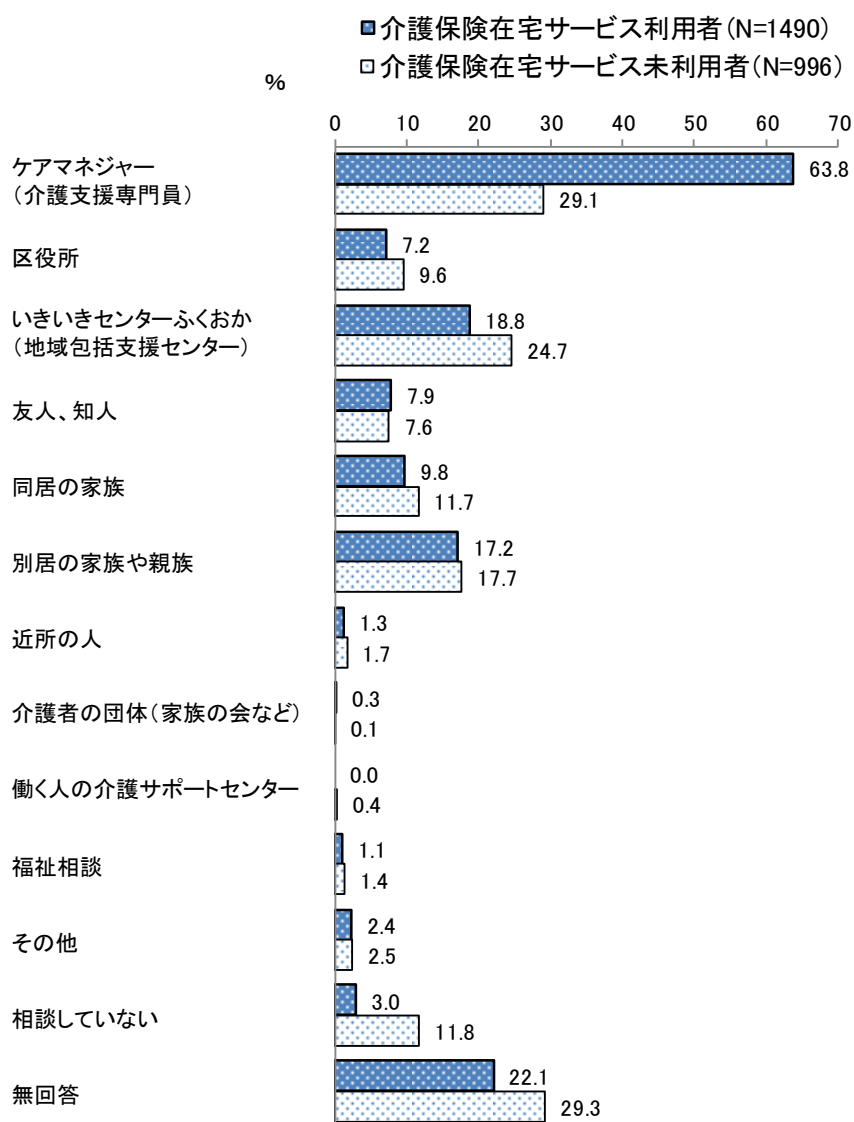
(7) 介護についての相談先

<在宅サービス利用者調査>問 43

<在宅サービス未利用者調査>問 42

介護に関することについて、誰（どこ）に相談していますか。（〇はいくつでも）

【図表 4-36-1 介護についての相談先】



介護についての相談先は、介護保険在宅サービス利用者では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 63.8%と最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 18.8%、「別居の家族や親族」が 17.2%となっている。

未利用者では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 29.1%と最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 24.7%、「別居の家族や親族」が 17.7%となっている。

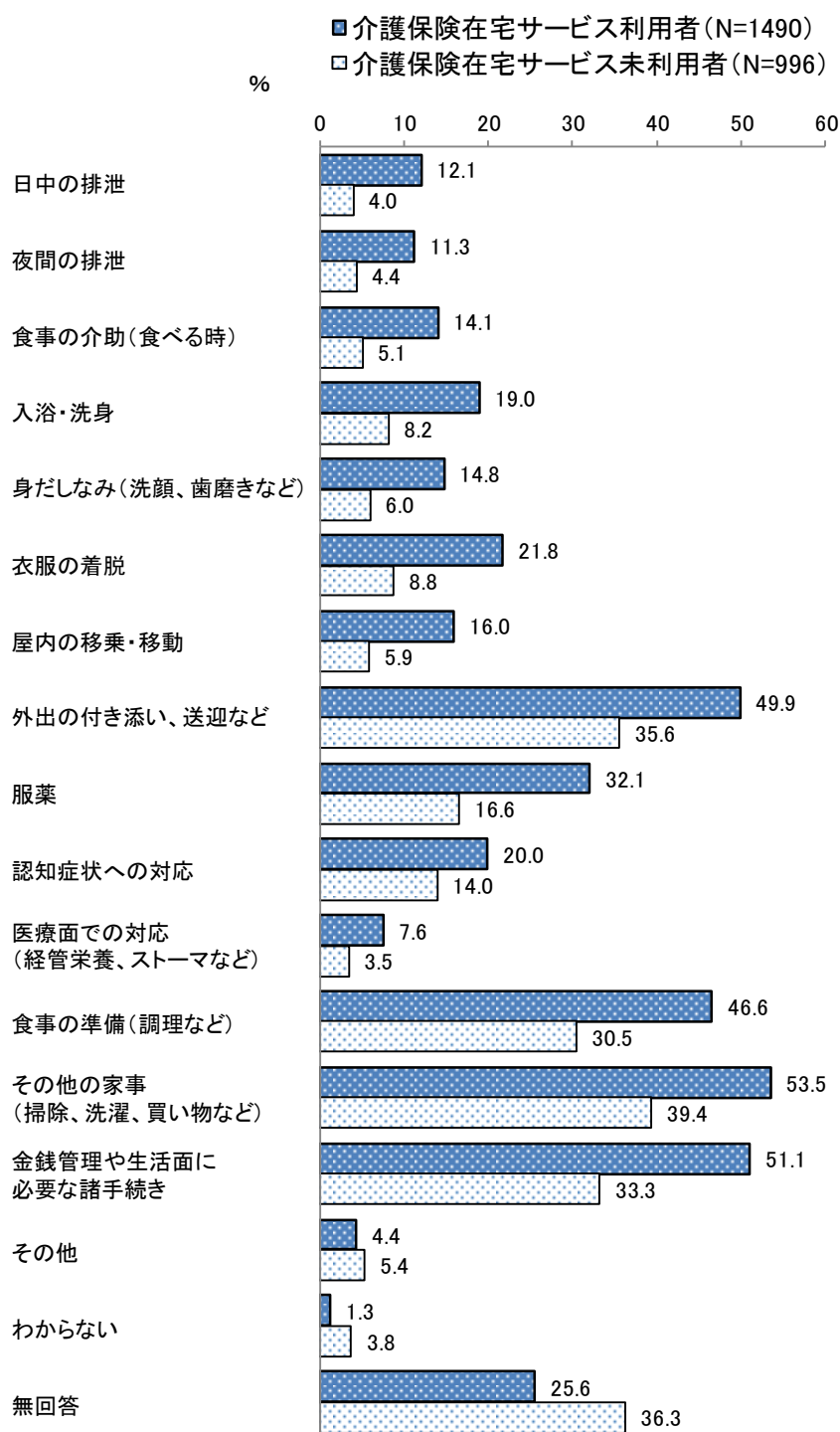
(8) 主な介護者が行っている介護の内容

<在宅サービス利用者調査>問 44

<在宅サービス未利用者調査>問 43

現在、主な介護者の方が行っている介護などは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 4-37-1 主な介護者が行っている介護の内容】



主な介護者が行っている介護の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が 53.5%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 51.1%、「外出の付き添い、送迎など」が 49.9%となっている。

未利用者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が 39.4%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 35.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 33.3%となっている。

【図表 4-37-2 主な介護者が行っている介護の内容
×要介護度別＜在宅サービス利用者＞】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など
全 体		1490	12.1	11.3	14.1	19.0	14.8	21.8	16.0	49.9
要介護度別	要支援1	269	1.1	1.1	3.0	4.8	1.5	4.8	4.1	26.0
	要支援2	274	2.6	2.9	6.2	10.6	3.3	9.9	7.3	44.9
	要介護1	335	5.7	5.4	11.3	17.3	12.5	16.7	11.6	60.9
	要介護2	248	12.5	10.9	14.5	33.1	19.0	30.6	19.0	70.2
	要介護3	147	29.9	29.9	27.9	34.0	29.9	46.9	34.7	55.8
	要介護4	95	50.5	42.1	44.2	32.6	47.4	53.7	49.5	61.1
	要介護5	54	48.1	46.3	40.7	16.7	46.3	48.1	31.5	29.6
	わからない	26	3.8	3.8	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	19.2

		回答数	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体		1490	32.1	20.0	7.6	46.6	53.5	51.1	4.4	1.3	25.6
要介護度別	要支援1	269	8.6	5.2	2.6	24.2	34.9	21.9	5.2	2.2	45.7
	要支援2	274	12.8	4.0	5.8	37.2	44.2	31.0	2.9	1.5	36.9
	要介護1	335	44.5	34.6	6.9	57.0	63.9	65.4	3.6	0.6	15.2
	要介護2	248	42.7	24.6	8.5	61.7	66.9	67.3	4.4	0.8	14.5
	要介護3	147	53.7	30.6	9.5	62.6	63.9	73.5	3.4	1.4	15.0
	要介護4	95	52.6	29.5	17.9	55.8	66.3	71.6	7.4	1.1	8.4
	要介護5	54	48.1	22.2	22.2	40.7	48.1	70.4	9.3	0.0	13.0
	わからない	26	19.2	11.5	3.8	15.4	15.4	11.5	3.8	7.7	57.7

介護保険在宅サービス利用者の介護者が行っている介護の内容を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど多くの項目で割合が高くなっている。要介護 1～5 では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 6 割を超え、高くなっている。

【図表 4-37-3 主な介護者が行っている介護の内容
×要介護度別＜在宅サービス未利用者＞】

		(%)								
		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など
全 体		996	4.0	4.4	5.1	8.2	6.0	8.8	5.9	35.6
要介護度別	要支援1	388	1.0	1.8	1.5	2.6	2.3	3.4	1.0	29.4
	要支援2	162	1.2	1.9	4.9	9.9	3.1	9.3	8.6	40.1
	要介護1	136	5.9	6.6	8.1	16.9	11.0	13.2	5.9	59.6
	要介護2	66	12.1	9.1	10.6	22.7	15.2	24.2	19.7	53.0
	要介護3	41	19.5	19.5	17.1	17.1	19.5	26.8	17.1	43.9
	要介護4	35	5.7	8.6	8.6	5.7	11.4	14.3	11.4	28.6
	要介護5	42	16.7	11.9	11.9	0.0	11.9	16.7	11.9	9.5
	わからない	80	0.0	0.0	1.3	3.8	2.5	0.0	0.0	18.8

		回答数	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体		996	16.6	14.0	3.5	30.5	39.4	33.3	5.4	3.8	36.3
要介護度別	要支援1	388	8.5	5.4	1.8	21.1	31.4	21.9	4.6	3.9	45.9
	要支援2	162	11.1	6.2	2.5	29.6	42.0	26.5	3.1	3.1	40.7
	要介護1	136	37.5	44.1	7.4	55.1	61.8	67.6	4.4	0.7	11.8
	要介護2	66	34.8	25.8	4.5	57.6	60.6	57.6	4.5	4.5	15.2
	要介護3	41	29.3	24.4	9.8	46.3	58.5	46.3	4.9	4.9	19.5
	要介護4	35	20.0	22.9	0.0	28.6	31.4	40.0	17.1	2.9	20.0
	要介護5	42	16.7	11.9	7.1	19.0	28.6	47.6	11.9	0.0	38.1
	わからない	80	10.0	5.0	1.3	18.8	22.5	16.3	7.5	10.0	46.3

未利用者の介護者が行っている介護の内容を要介護度別にみると、要介護1～3では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が上位2位となっており、要介護2～3では「食事の準備（調理など）」も同率で2位となっている。要介護1では「外出の付き添い、送迎など」（59.6%）、「認知症状への対応」（44.1%）が比較的高くなっている。

(9) 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容

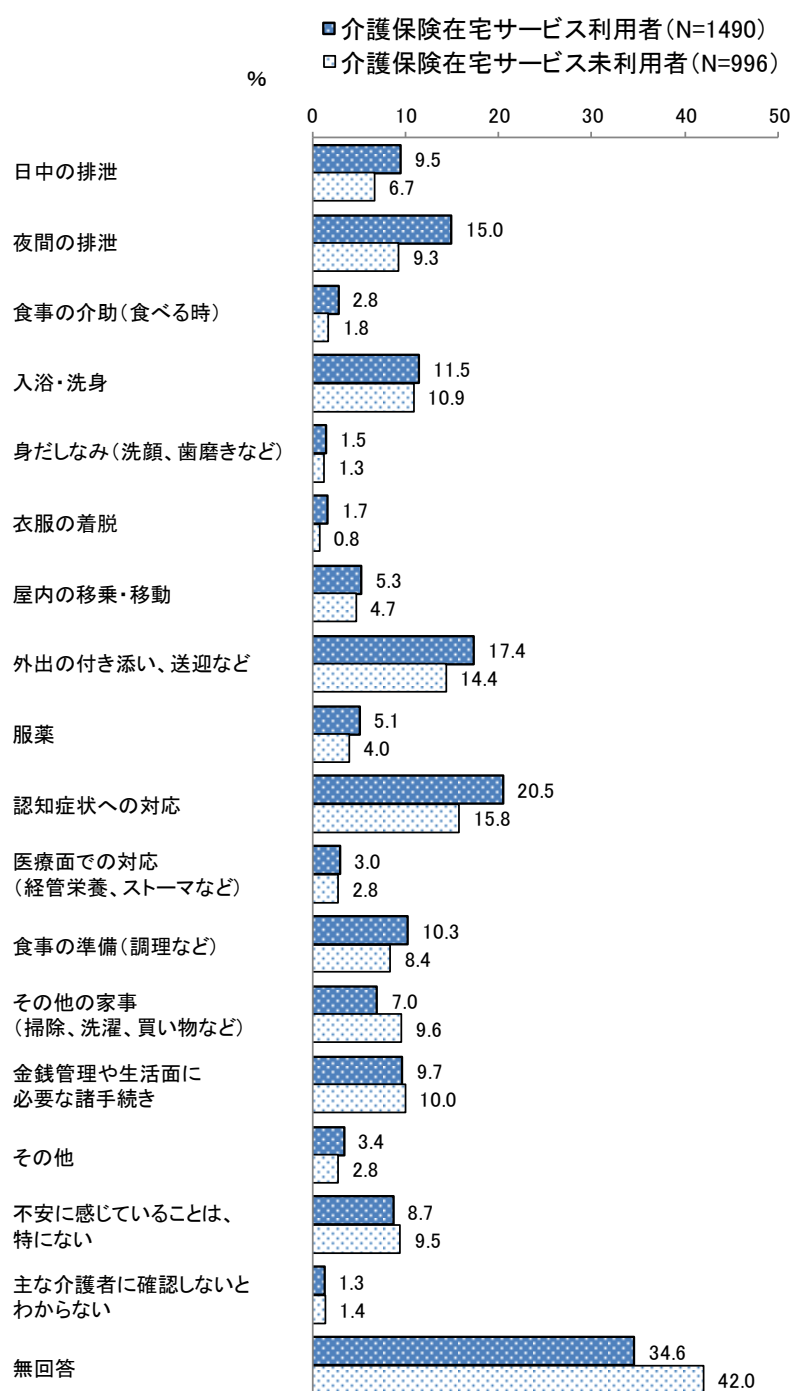
<在宅サービス利用者調査>問 45

<在宅サービス未利用者調査>問 44

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護の内容は何ですか。(〇は3つまで)

※現状で行っているか否かは問いません。

【図表 4-38-1 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容】



現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容は、介護保険在宅サービス利用者では「認知症状への対応」が 20.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 17.4%、「夜間の排泄」が 15.0%となっている。

未利用者では「認知症状への対応」が 15.8%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が 14.4%、「入浴・洗身」が 10.9%となっている。

【図表 4-38-2 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容
×要介護度別<在宅サービス利用者>】

		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全 体		1490	9.5	15.0	2.8	11.5	1.5	1.7	5.3	17.4	5.1
要介護度別	要支援1	269	4.8	7.4	0.7	11.5	1.5	1.1	3.7	11.9	4.1
	要支援2	274	6.9	12.4	2.6	10.2	1.1	1.5	4.4	16.4	2.2
	要介護1	335	10.7	17.9	2.4	12.5	0.9	0.9	5.4	20.9	7.8
	要介護2	248	12.9	21.0	4.0	14.5	2.4	4.0	6.5	22.6	7.7
	要介護3	147	14.3	23.1	5.4	11.6	2.7	2.0	6.8	16.3	4.1
	要介護4	95	12.6	11.6	5.3	11.6	0.0	0.0	8.4	21.1	4.2
	要介護5	54	9.3	14.8	3.7	1.9	1.9	1.9	7.4	7.4	1.9
	わからない	26	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	3.8	0.0	11.5	0.0

		回答数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活に必要な諸手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者に確認しないといけないこと	無回答
全 体		1490	20.5	3.0	10.3	7.0	9.7	3.4	8.7	1.3	34.6
要介護度別	要支援1	269	9.7	1.1	6.3	8.2	5.9	2.6	10.0	0.4	52.0
	要支援2	274	9.9	1.5	13.1	10.2	7.3	2.2	9.9	2.9	41.2
	要介護1	335	35.8	3.3	12.5	6.6	11.3	2.7	7.2	0.6	25.4
	要介護2	248	23.4	3.2	13.3	7.3	11.7	2.4	5.2	1.2	25.8
	要介護3	147	23.8	5.4	5.4	2.7	10.2	7.5	8.2	1.4	25.9
	要介護4	95	24.2	4.2	9.5	6.3	15.8	10.5	7.4	1.1	21.1
	要介護5	54	16.7	11.1	11.1	5.6	13.0	1.9	24.1	1.9	27.8
	わからない	26	7.7	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	69.2

介護保険在宅サービス利用者の介護者が、現在の生活を継続するために不安に感じる介護の内容を要介護度別にみると、要支援 1～2 では「外出の付き添い、送迎など」が最も高い。要介護 1～4 では「認知症状への対応」が最も高く、要介護 1 では 35.8%となっている。

【図表 4-38-3 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容
×要介護度別＜在宅サービス未利用者＞】

		(%)									
		回答数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔、歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全 体		996	6.7	9.3	1.8	10.9	1.3	0.8	4.7	14.4	4.0
要介護度別	要支援1	388	5.9	7.0	1.8	9.0	1.5	0.0	3.4	14.7	2.1
	要支援2	162	8.0	9.3	3.1	9.9	0.0	1.2	3.7	15.4	2.5
	要介護1	136	8.1	11.8	1.5	16.9	2.2	1.5	5.1	18.4	14.0
	要介護2	66	10.6	16.7	4.5	15.2	1.5	0.0	4.5	15.2	4.5
	要介護3	41	9.8	19.5	0.0	9.8	4.9	4.9	14.6	12.2	2.4
	要介護4	35	8.6	22.9	0.0	22.9	0.0	0.0	11.4	8.6	2.9
	要介護5	42	9.5	9.5	0.0	9.5	0.0	4.8	14.3	19.0	0.0
	わからない	80	1.3	3.8	0.0	6.3	1.3	0.0	0.0	7.5	3.8

		回答数	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者に確認しないといけない	無回答
全 体		996	15.8	2.8	8.4	9.6	10.0	2.8	9.5	1.4	42.0
要介護度別	要支援1	388	9.5	2.3	8.0	10.3	7.7	2.8	10.3	1.8	47.9
	要支援2	162	10.5	1.9	10.5	14.2	9.3	2.5	10.5	1.9	40.1
	要介護1	136	39.0	2.9	10.3	11.8	16.2	2.9	5.9	0.0	25.0
	要介護2	66	25.8	3.0	7.6	6.1	9.1	1.5	6.1	0.0	37.9
	要介護3	41	26.8	0.0	12.2	4.9	14.6	2.4	7.3	0.0	26.8
	要介護4	35	22.9	5.7	0.0	0.0	11.4	2.9	17.1	0.0	31.4
	要介護5	42	7.1	14.3	4.8	0.0	21.4	4.8	9.5	0.0	33.3
	わからない	80	6.3	1.3	7.5	8.8	8.8	2.5	13.8	3.8	55.0

未利用者の介護者が、現在の生活を継続するために不安に感じる介護の内容を要介護度別にみると、要支援 1～2 では「外出の付き添い、送迎など」がともに 1 割半ばで最も高い。要介護 1～4 では「認知症状への対応」が最も高く、要介護 1 では 39.0%となっている。要介護 4 では「夜間の排泄」「入浴・洗身」も同率で最も高い。要介護 5 では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（21.4%）が最も高い。

(10) 今後の介護の仕方

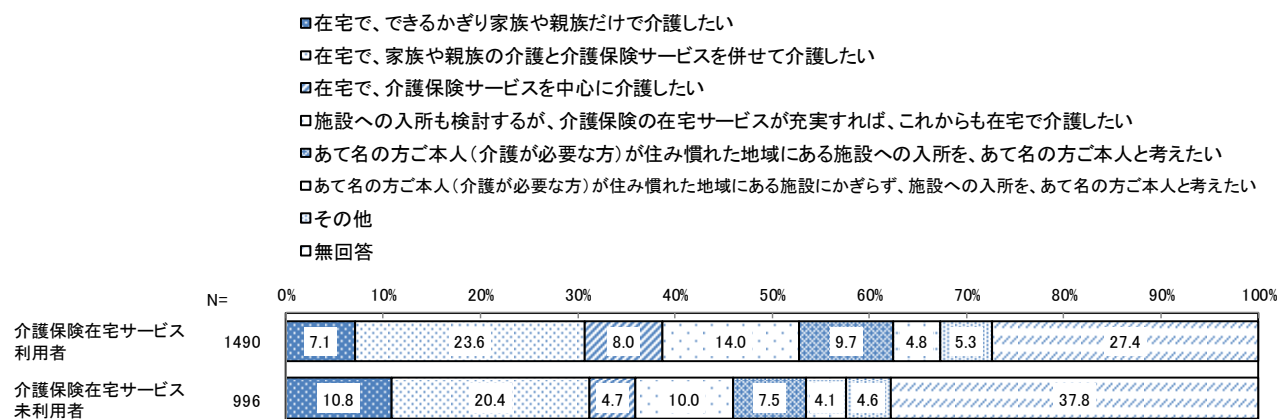
<在宅サービス利用者調査>問 47

<在宅サービス未利用者調査>問 45

今後、どのように介護していきたいと思いますか。(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

【図表 4-39-1 今後の介護の仕方】



今後の介護の仕方は、『在宅で介護したい』(「在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい」「在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい」「施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい」の合計)が、介護保険在宅サービス利用者では 52.7%、未利用者では 45.9%となっている。

(11) 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容

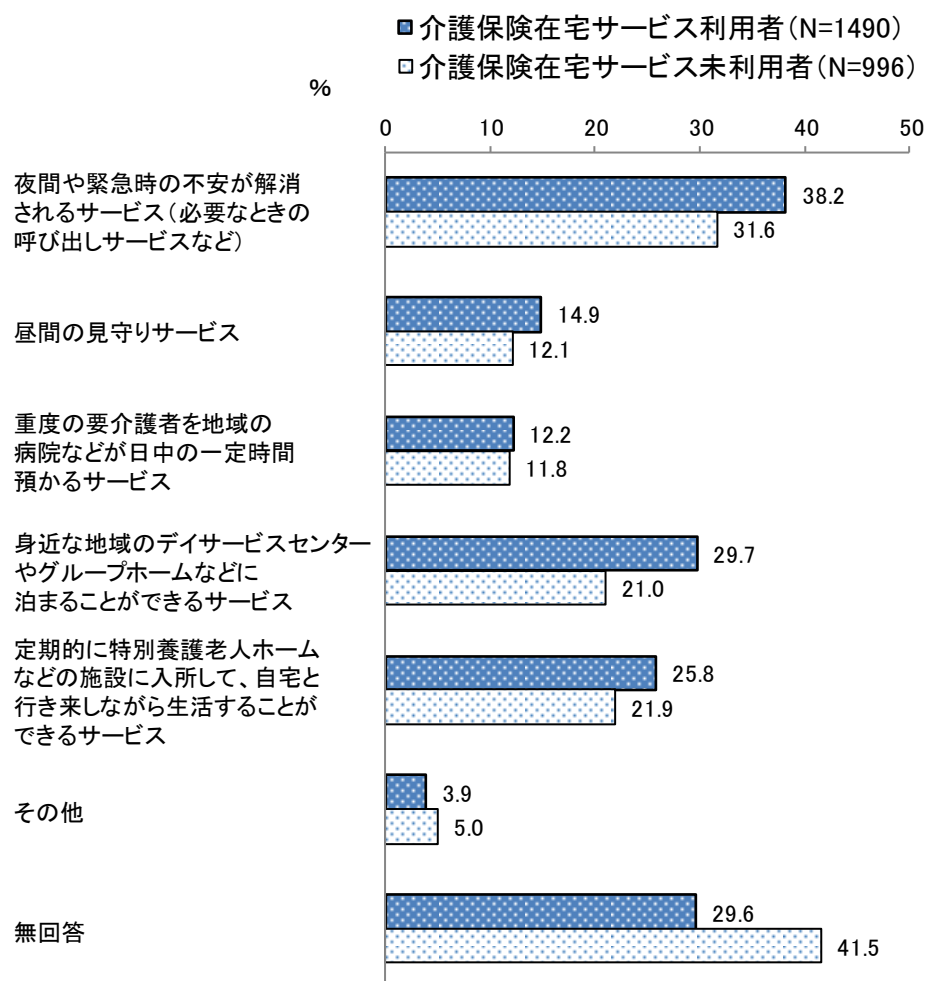
<在宅サービス利用者調査>問 48

<在宅サービス未利用者調査>問 46

在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。

（〇はいくつでも）

【図表 4-40-1 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容】



在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容は、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が介護保険在宅サービス利用者では 38.2%、未利用者では 31.6% でともに最も高くなっている。次いで「身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス」「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することのできるサービス」がいずれも 2 割台で上位となっている。

(12) 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容

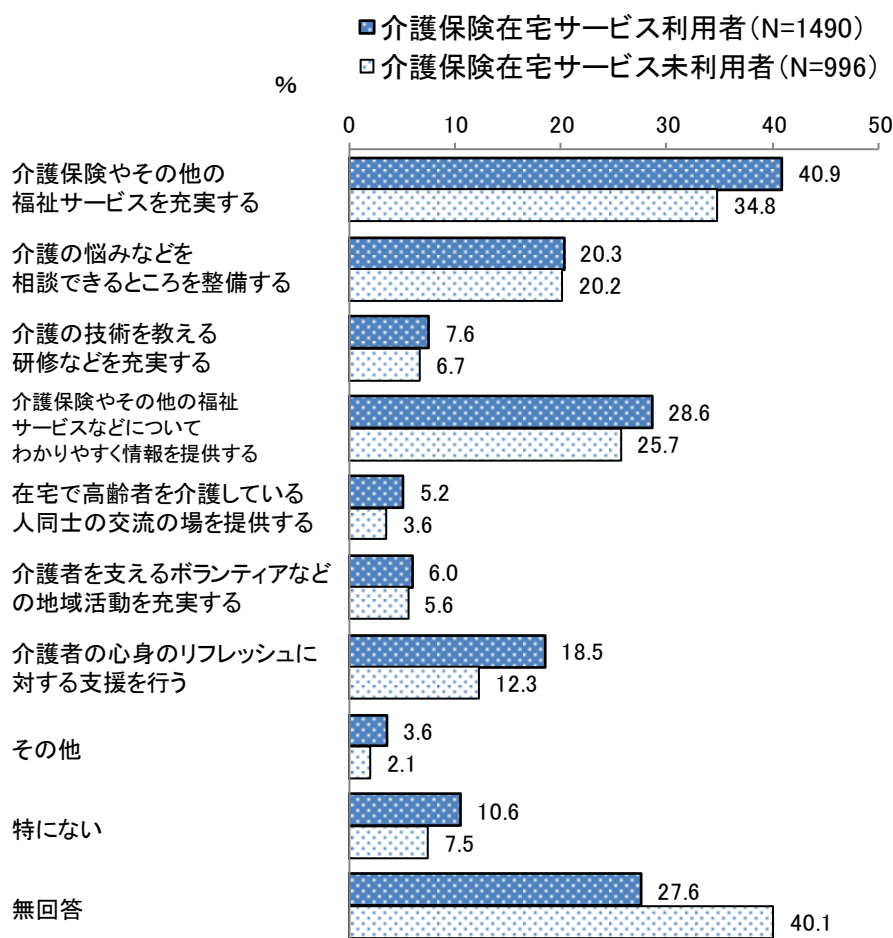
＜在宅サービス利用者調査＞問 49

＜在宅サービス未利用者調査＞問 47

今後も在宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 4-41-1 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容】



介護者が在宅で介護を続けるために必要な支援の内容は、介護保険在宅サービス利用者、未利用者ともに「介護保険やその他の福祉サービスを充実する」(40.9%、34.8%)が最も高く、次いで「介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する」(28.6%、25.7%)、「介護の悩みなどを相談できるところを整備する」(20.3%、20.2%)となっている。

(13) 高齢者虐待の通報義務の認知度

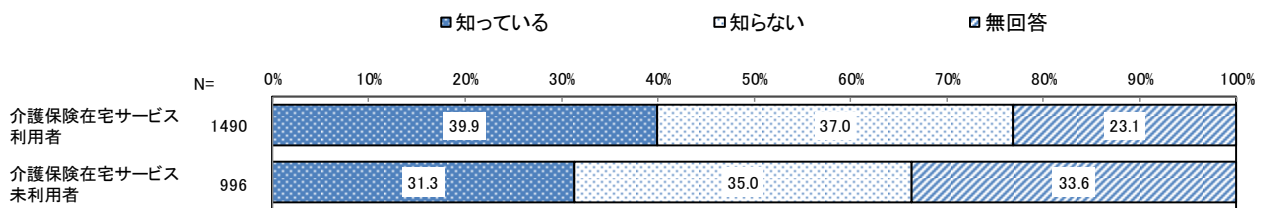
<在宅サービス利用者調査>問 50

<在宅サービス未利用者調査>問 48

高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）

【図表 4-42-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】



高齢者虐待の通報義務の認知度は、介護保険在宅サービス利用者の介護者では「知っている」が39.9%、「知らない」が37.0%で、未利用者の介護者では「知っている」が31.3%、「知らない」が35.0%となっている。

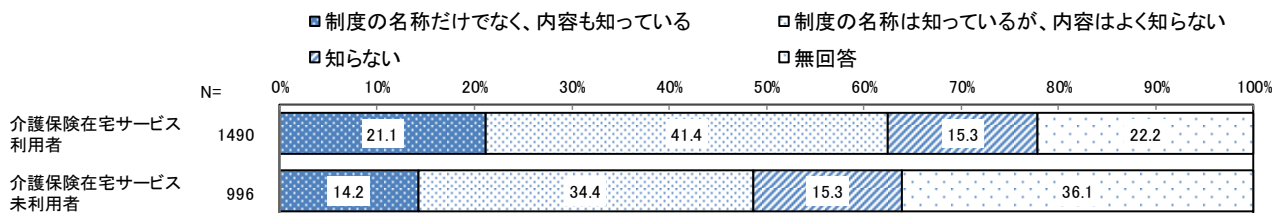
(14) 「成年後見制度」の認知度

<在宅サービス利用者調査>問 51

<在宅サービス未利用者調査>問 49

あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 4-43-1 「成年後見制度」の認知度】



「成年後見制度」の認知度は、介護保険在宅サービス利用者では「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が41.4%と最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が21.1%、「知らない」が15.3%となっている。

未利用者では「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が34.4%と最も高く、次いで「知らない」が15.3%、「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が14.2%となっている。

第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

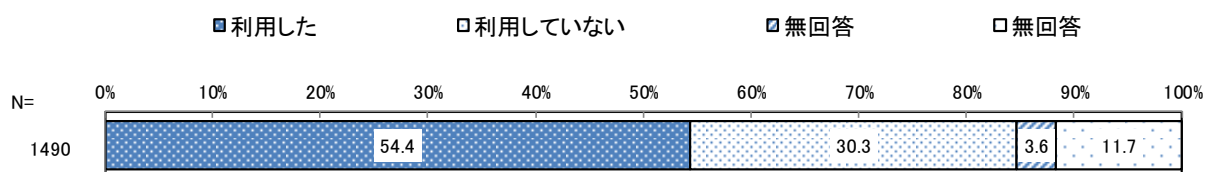
1. 現在利用している介護サービスについて

(1) 令和7年8月の介護保険サービス利用

①令和7年8月の介護保険サービス利用の有無

問 16 令和7年8月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-1-1 令和7年8月の介護保険サービス利用の有無】



令和7年8月の介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が54.4%と最も高く、次いで「利用していない」が30.3%、「わからない」が3.6%となっている。

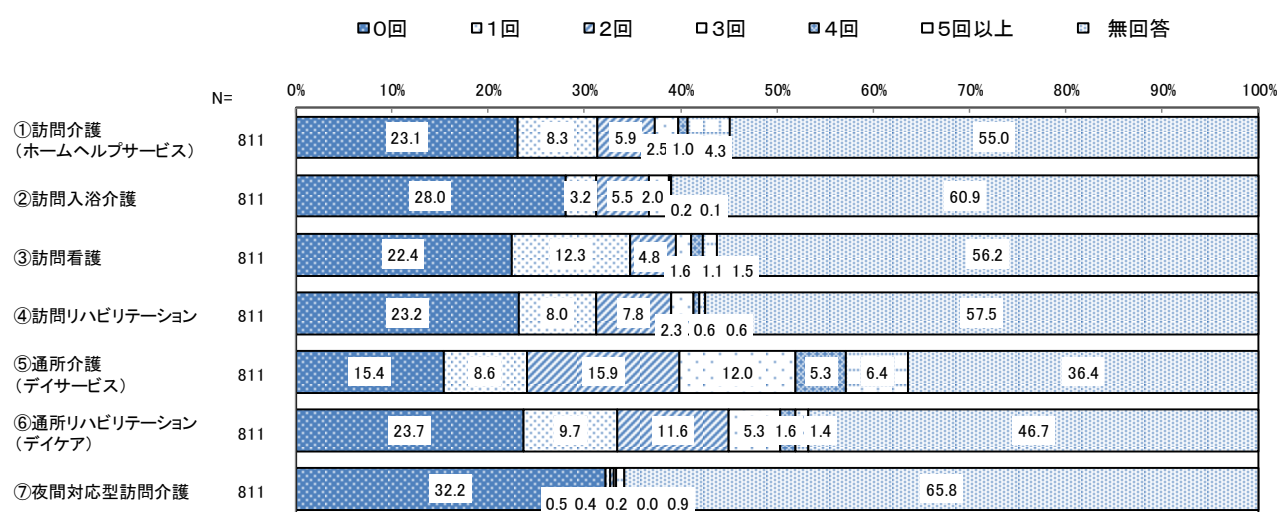
②令和7年8月の介護保険サービス利用状況

問16で「1」と答えた方にうかがいます。

問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください。

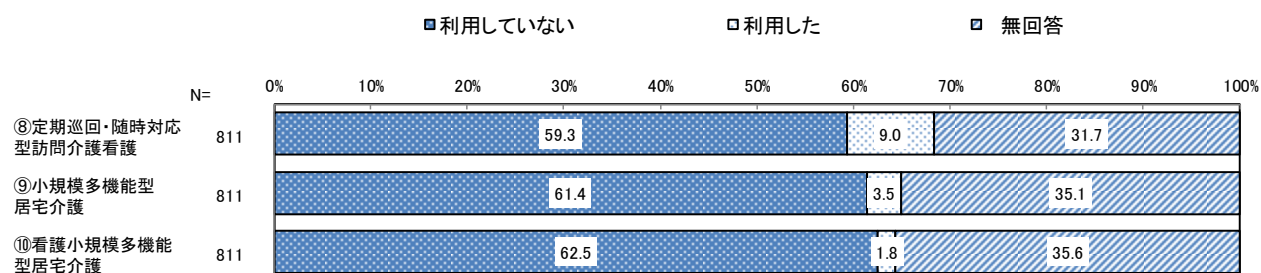
（1つのサービスにつき、○を1つ）

【図表 5-1-2 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）】



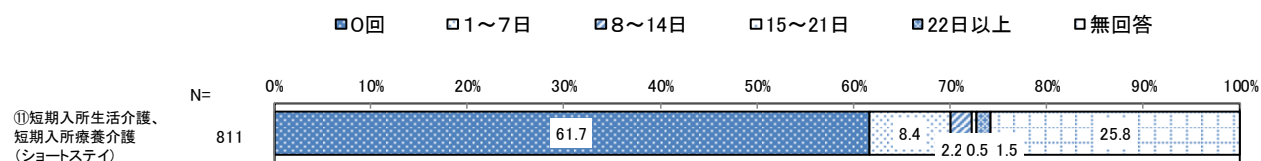
令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）をみると、『利用している』（「週1回程度」「週2回程度」「週3回程度」「週4回程度」「週5回以上」の合計）の割合は、「通所介護（デイサービス）」が48.2%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が29.6%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が22.0%となっている。

【図表 5-1-3 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）】



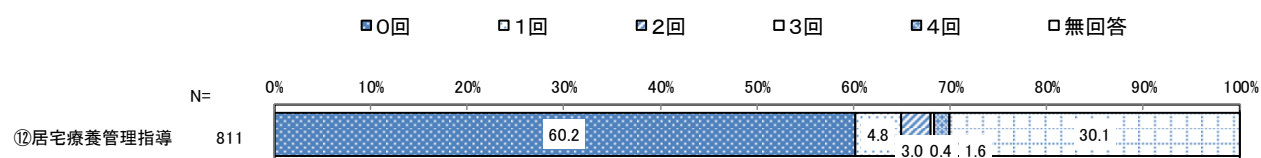
令和7年8月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）をみると、「利用した」の割合は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が9.0%、「小規模多機能型居宅介護」が3.5%、「看護小規模多機能型居宅介護」が1.8%となっている。

【図表 5-1-4 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）】



令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）をみると、「短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ）」は、「0回」が61.7%と最も高く、次いで「1～7日」が8.4%、「8～14日」が2.2%となっている。

【図表 5-1-5 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）】

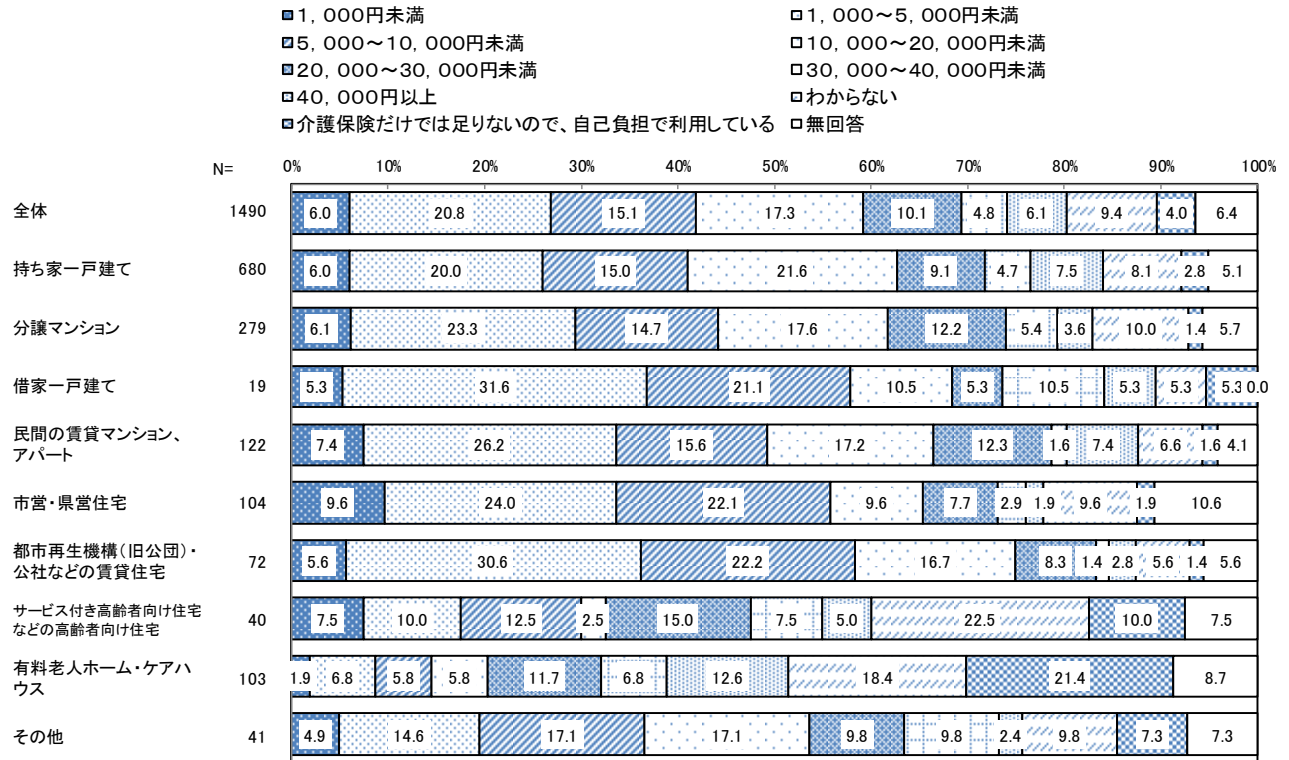


令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）をみると、「居宅療養管理指導」は、「0回」が60.2%と最も高く、次いで「1回」が4.8%、「2回」が3.0%となっている。

(2) 1 か月あたりの利用料金

問 17 1 か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金（1 割、2 割または 3 割負担）はおいくら程ですか。（○は 1 つ）

【図表 5-2-1 1 か月あたりの利用料金×居住形態別】



1 か月あたりの利用料金は、「1,000～5,000 円未満」が 20.8%と最も高く、次いで「10,000～20,000 円未満」が 17.3%、「5,000～10,000 円未満」が 15.1%となっている。

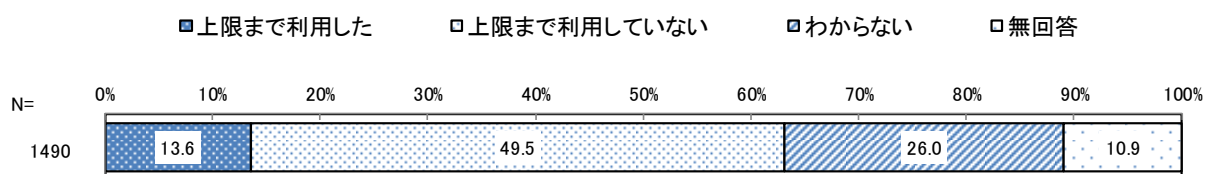
居住形態別にみると、有料老人ホーム・ケアハウスでは「介護保険だけでは足りないので、自己負担で利用している」（21.4%）が最も高くなっている。借家一戸建て、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅では「1,000～5,000 円未満」が 3 割強で比較的高くなっている。

(3) 利用額上限までの利用

①利用額上限までの利用の有無

問 18 令和7年8月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-3-1 利用額上限までの利用の有無】



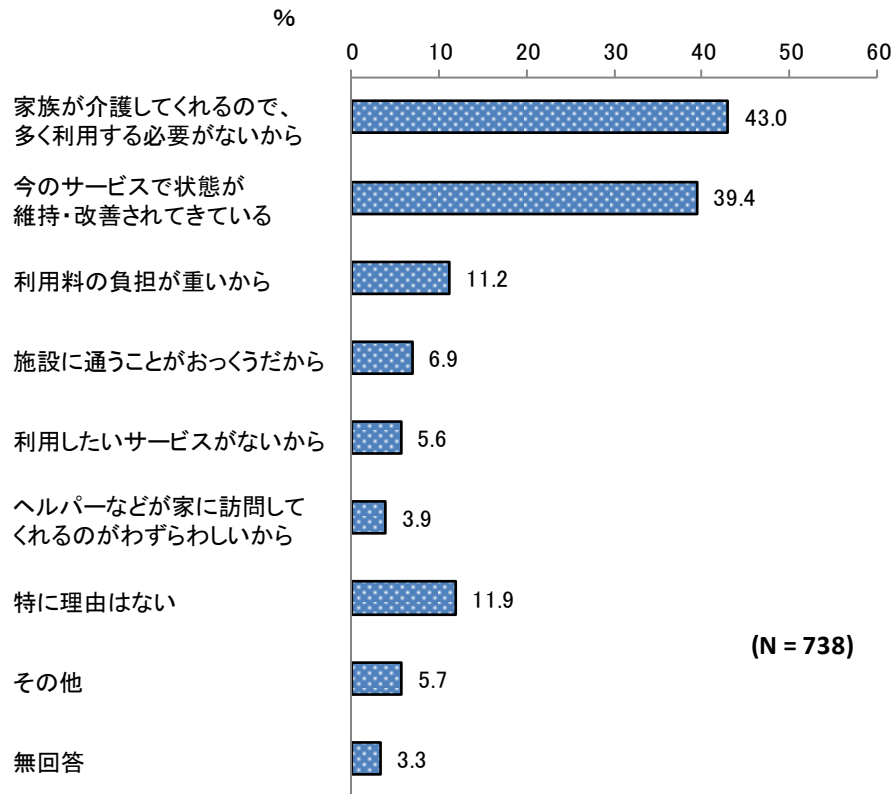
介護保険サービスの利用状況は、「上限まで利用していない」が 49.5%と最も高く、次いで「わからない」が 26.0%、「上限まで利用した」が 13.6%となっている。

②利用額上限まで利用していない理由

問 18 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 18－1 上限まで利用していない理由は何ですか。(○は2つまで)

【図表 5-3-2 利用額上限まで利用していない理由】



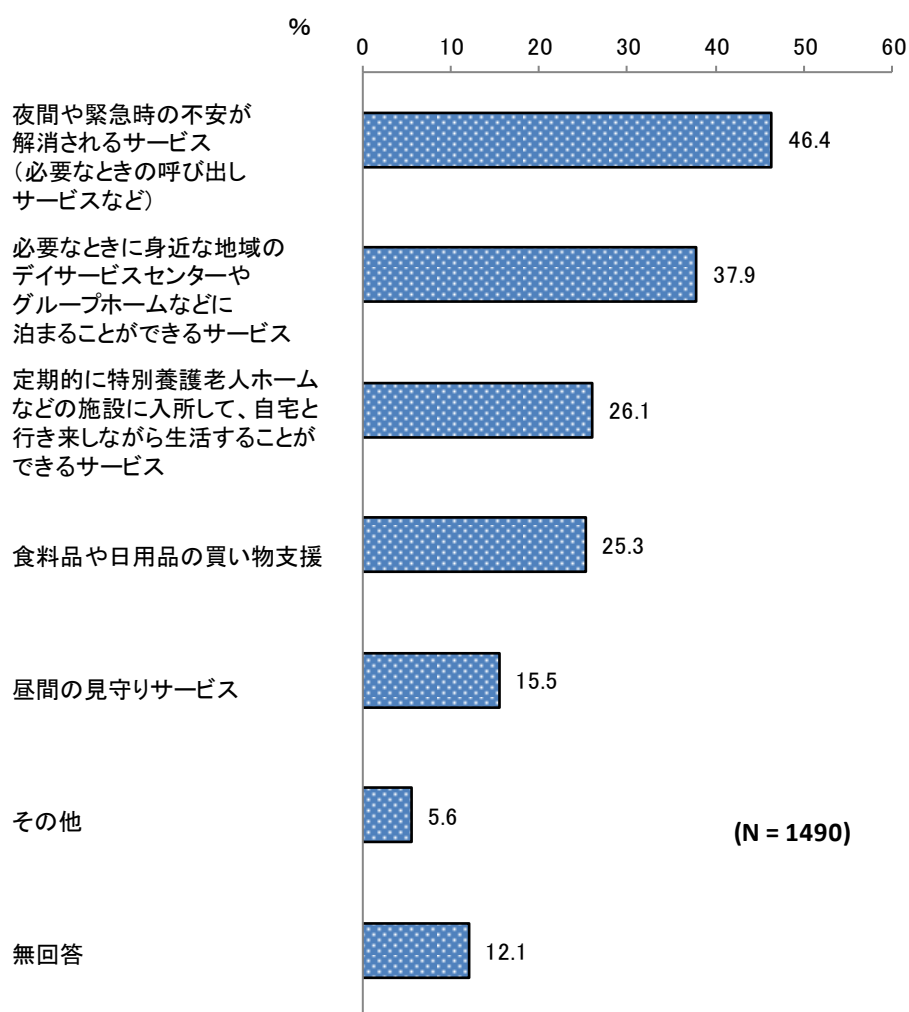
利用額上限まで利用していない理由は、「家族が介護してくれるので、多く利用する必要がないから」が 43.0%と最も高く、次いで「今のサービスで状態が維持・改善されてきている」が 39.4%、「利用料の負担が重いから」が 11.2%となっている。なお、「特に理由はない」が 11.9%となっている。

2. 今後の介護・医療について

(1) 在宅生活で必要性が高いサービス

問 26 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 5-4-1 在宅生活で必要性が高いサービス】



在宅で生活するために必要性が高いと思うサービスは、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が 46.4%と最も高く、次いで「必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス」が 37.9%、「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することのできるサービス」が 26.1%となっている。

【図表 5-4-2 在宅生活で必要性が高いサービス×要介護度別】

		回 答 数	ス 屋 間 の 見 守 り サ ー ビ ス な ど （ 消 さ れ る サ ー ビ ス へ 必 要 な と き の 呼 び 出 し サ ー ビ ス な ど ）	ス 屋 間 の 見 守 り サ ー ビ ス	必 要 な と き に 身 近 な 地 域 の デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー や グ ル ー プ ホ ー ム な ど に 泊 ま る こ と が で き る サ ー ビ ス	定 期 的 に 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 に 入 所 し て、 自 宅 と 行 き 来 し な が ら 生 活 す る こ と が で き る サ ー ビ ス	食 料 品 や 日 用 品 の 買 い 物 支 援	そ の 他	無 回 答
--	--	-------------	--	---	--	--	---	-------------	---

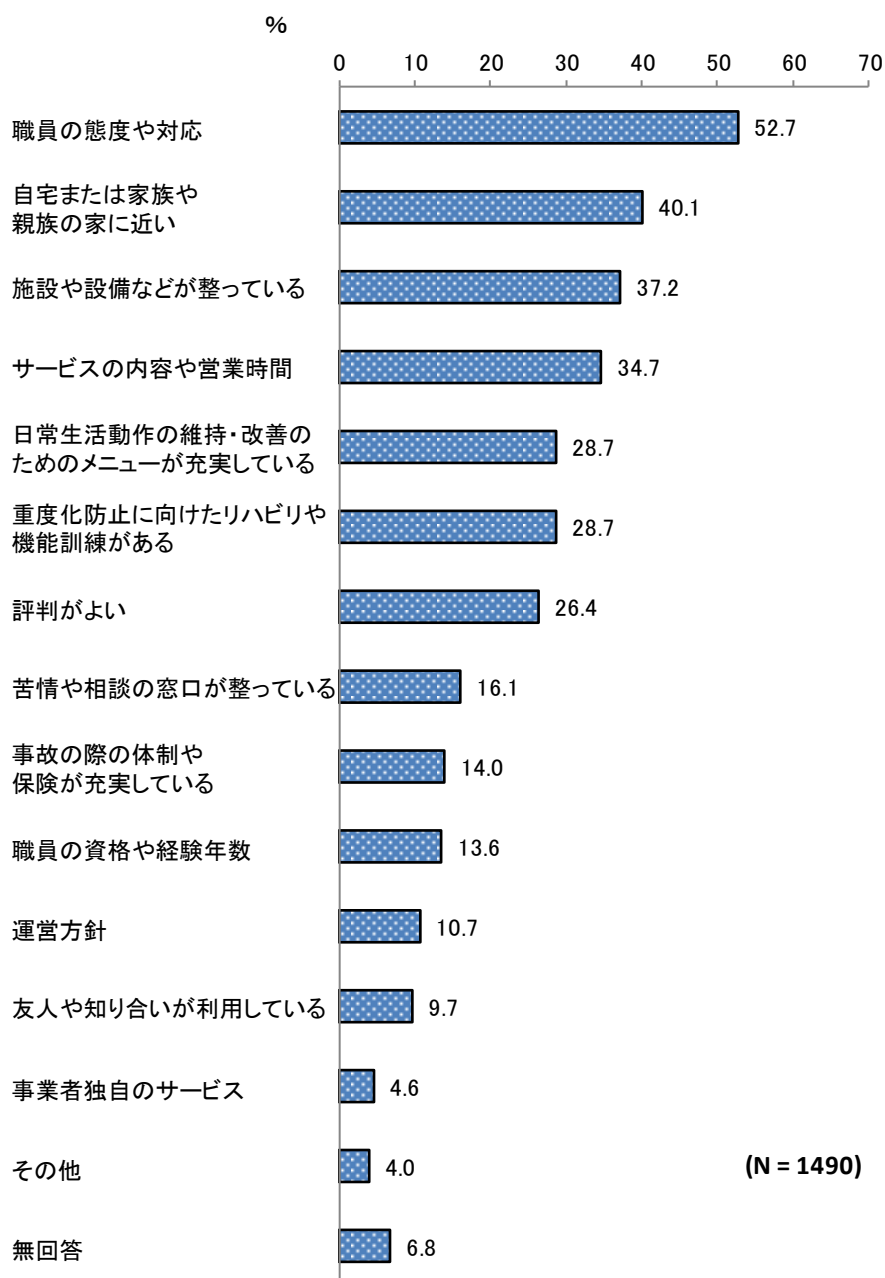
要介護度別にみると、要介護 4、5 では「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が 5 割を超え、他と比べて高くなっている。要介護 1 では「必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス」（46.0%）が比較的高くなっている。

3. 介護保険制度全般について

(1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること

問 32 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 5-5-1 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること】

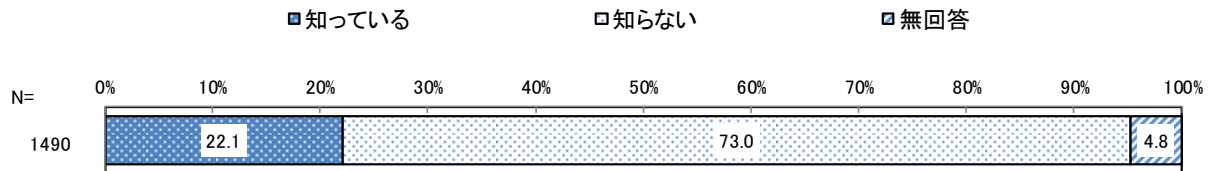


介護サービス事業者を選ぶ際に重視することは、「職員の態度や対応」が 52.7%と最も高く、次いで「自宅または家族や親族の家に近い」が 40.1%、「施設や設備などが整っている」が 37.2%となっている。

(2) 小規模多機能型居宅介護の認知度

問 34 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-6-1 小規模多機能型居宅介護の認知度】

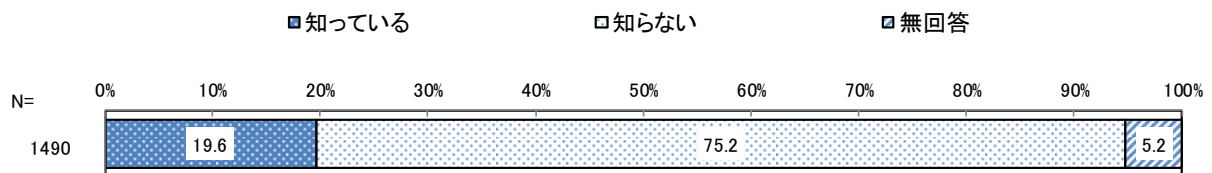


小規模多機能型居宅介護の認知度は、「知っている」が22.1%、「知らない」が73.0%となっている。

(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度

問 35 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-7-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度】



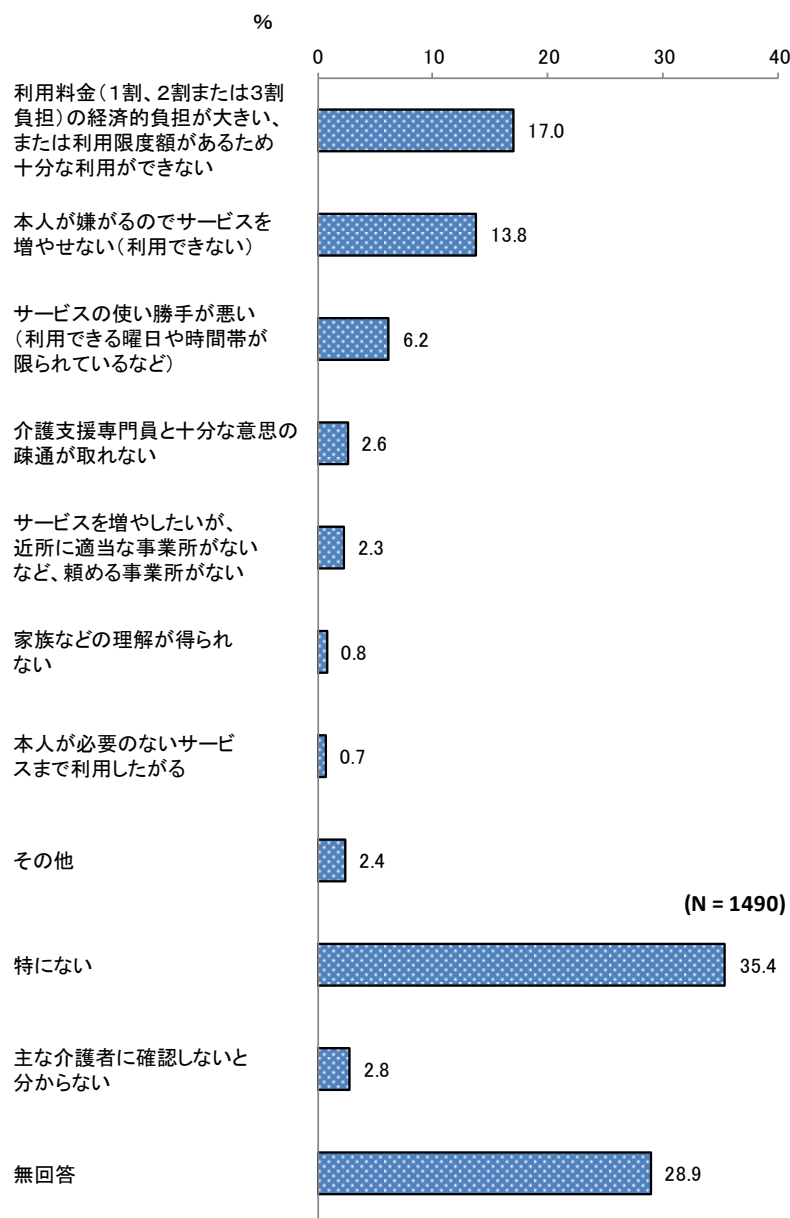
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度は、「知っている」が19.6%、「知らない」が75.2%となっている。

4. 家族の回答

(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

問 46 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

【図表 5-8-1 介護保険サービスを利用する上で困っていること】



介護保険サービスを利用する上で困っていることは、「利用料金（1割、2割または3割負担）の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない」が17.0%と最も高く、次いで「本人が嫌がるのでサービスを増やせない（利用できない）」が13.8%、「サービスの使い勝手が悪い（利用できる曜日や時間帯が限られているなど）」が6.2%となっている。なお「特にない」が35.4%となっている。

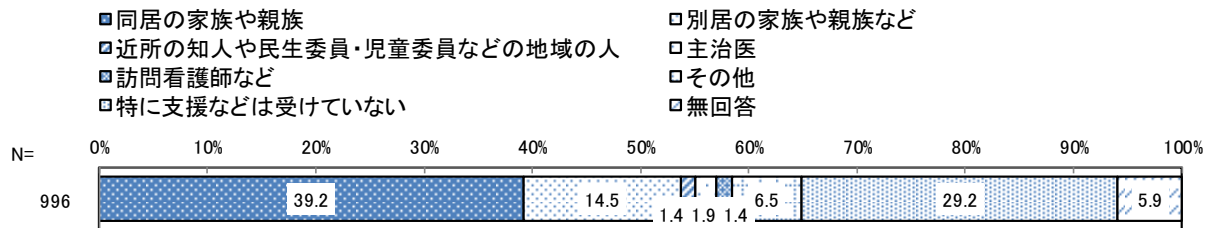
第6章 介護保険在宅サービス未利用者調査

1. 日常生活について

(1) 日常生活の支援者

問 16 あなたは日常生活の支援を、どなたから受けていますか。(○は1つ)

【図表 6-1-1 日常生活の支援者】



日常生活の支援者は、「同居の家族や親族」が 39.2%と最も高く、次いで「別居の家族や親族など」が 14.5%、「その他」が 6.5%となっている。なお、「特に支援などは受けていない」が 29.2%となっている。

【図表 6-1-2 日常生活の支援者×性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】

		回答数	同居の家族や親族	別居の家族や親族など	近所の知人や民生委員などの地域・児童の人	主治医	訪問看護師など	その他	特に支援などは受けていない	無回答	(%)
全 体		996	39.2	14.5	1.4	1.9	1.4	6.5	29.2	5.9	
性別	男性	351	44.2	11.1	1.4	2.8	2.3	5.1	26.8	6.3	
	女性	627	36.7	16.3	1.4	1.4	1.0	7.3	30.3	5.6	
年齢別	40～64歳	31	71.0	9.7	0.0	6.5	0.0	6.5	3.2	3.2	
	65～69歳	29	48.3	3.4	0.0	3.4	3.4	13.8	27.6	0.0	
	70～74歳	67	44.8	6.0	0.0	0.0	1.5	9.0	31.3	7.5	
	75～79歳	193	38.3	9.8	1.0	2.6	1.6	9.3	32.6	4.7	
	80～84歳	272	38.6	12.5	2.9	1.5	1.5	5.1	31.3	6.6	
	85～89歳	239	36.0	19.7	0.4	1.7	1.3	3.8	31.8	5.4	
	90歳以上	148	37.2	22.3	2.0	2.0	1.4	8.1	19.6	7.4	
世帯構成別	一人暮らし世帯	293	1.4	29.4	2.7	2.4	2.0	9.6	45.4	7.2	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	317	46.7	13.9	1.3	0.9	1.9	4.7	26.8	3.8	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	20	45.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	40.0	0.0	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	49	63.3	8.2	0.0	0.0	2.0	4.1	18.4	4.1	
	二世帯同居世帯	191	71.7	2.1	0.0	1.6	0.5	3.7	14.7	5.8	
	三世帯同居世帯	21	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	
	その他の世帯	63	39.7	4.8	1.6	6.3	0.0	15.9	22.2	9.5	
要介護度別	要支援1	388	30.2	17.5	1.3	1.8	1.3	3.1	41.0	3.9	
	要支援2	162	46.3	13.6	1.9	1.2	0.0	4.9	27.2	4.9	
	要介護1	136	54.4	21.3	0.0	0.0	3.7	4.4	11.8	4.4	
	要介護2	66	57.6	10.6	0.0	3.0	1.5	13.6	6.1	7.6	
	要介護3	41	46.3	12.2	0.0	2.4	0.0	17.1	7.3	14.6	
	要介護4	35	48.6	2.9	0.0	8.6	0.0	17.1	5.7	17.1	
	要介護5	42	33.3	2.4	0.0	9.5	0.0	26.2	14.3	14.3	
	わからない	80	28.8	7.5	6.3	0.0	2.5	6.3	45.0	3.8	

性別にみると、男性では「同居の家族や親族」（44.2％）が女性より高くなっている。

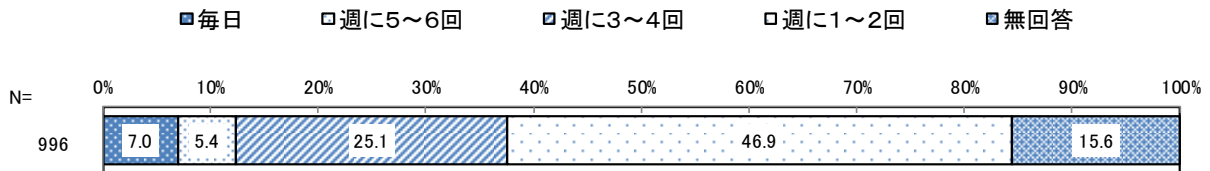
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「別居の家族や親族など」（29.4％）が他と比べて高くなっている。それ以外の世帯では「同居の家族や親族」が最も高く、三世帯同居世帯では9割強となっている。

要介護度別にみると、要支援2、要介護1～5では「同居の家族や親族」が3割強から6割近くで最も高くなっている

(2) 日常の買い物の頻度

問 17 食料や日用品の買い物には、どれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

【図表 6-2-1 日常の買い物の頻度】

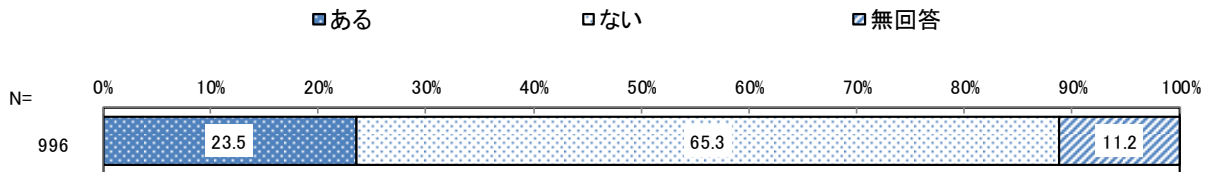


日常の買い物の頻度は、「週に1～2回」が46.9%と最も高く、次いで「週に3～4回」が25.1%、「毎日」が7.0%となっている。

(3) 日常の買い物で困っていることの有無

問 18 食料や日用品の買い物で、困っていることはありますか。(○は1つ)

【図表 6-3-1 日常の買い物で困っていることの有無】



日常の買い物で困っていることの有無は、「ある」が23.5%、「ない」が65.3%となっている。

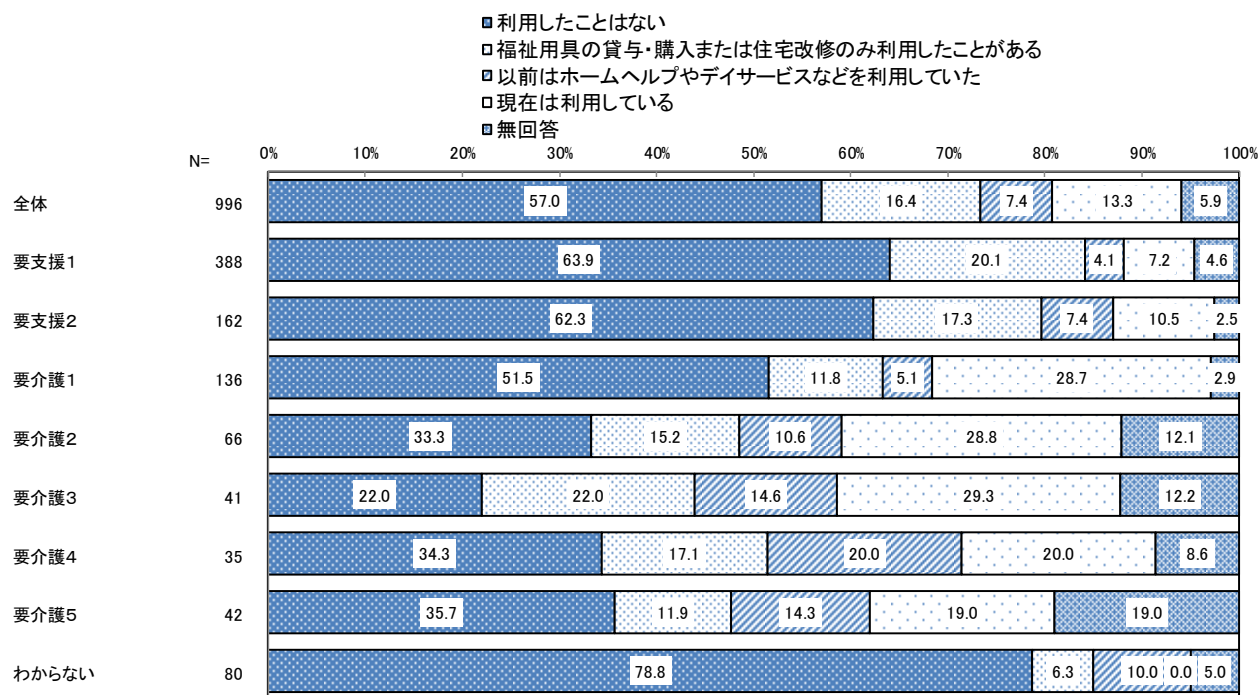
2. 介護保険サービスについて

(1) 介護保険の在宅サービスの利用状況

① 介護保険の在宅サービスの利用有無

問 19 あなたは、介護保険の在宅サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

【図表 6-4-1 介護保険の在宅サービスの利用有無×要介護度別】



介護保険の在宅サービスの利用有無は、「利用したことはない」が 57.0%と最も高く、次いで「福祉用具の貸与・購入または住宅改修のみ利用したことがある」が 16.4%、「現在は利用している」が 13.3%となっている。

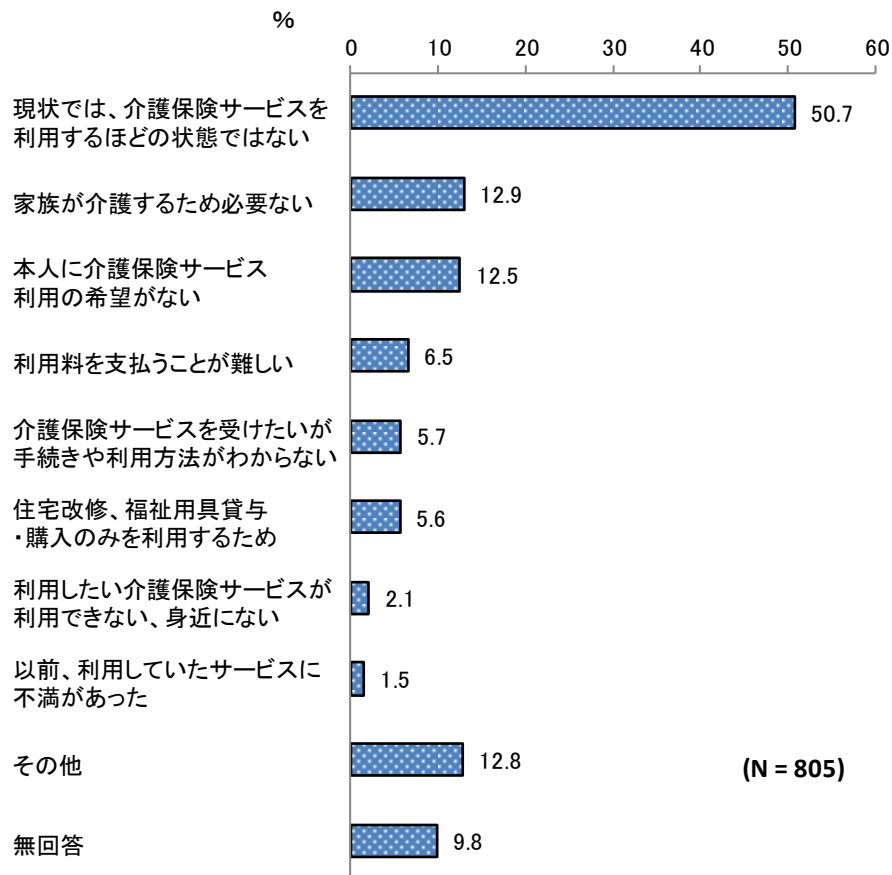
要介護度別にみると、要介護 2～5 では「利用したことはない」が 2 割強から 3 割半ばと低くなっている。要介護 1～3 では「現在は利用している」がいずれも 3 割弱となっている。

②介護保険の在宅サービスを利用していない理由

問 19 で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 19－1 現在、介護保険サービス（福祉用具の貸与・購入、住宅改修以外）を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 6-4-2 介護保険の在宅サービスを利用していない理由】

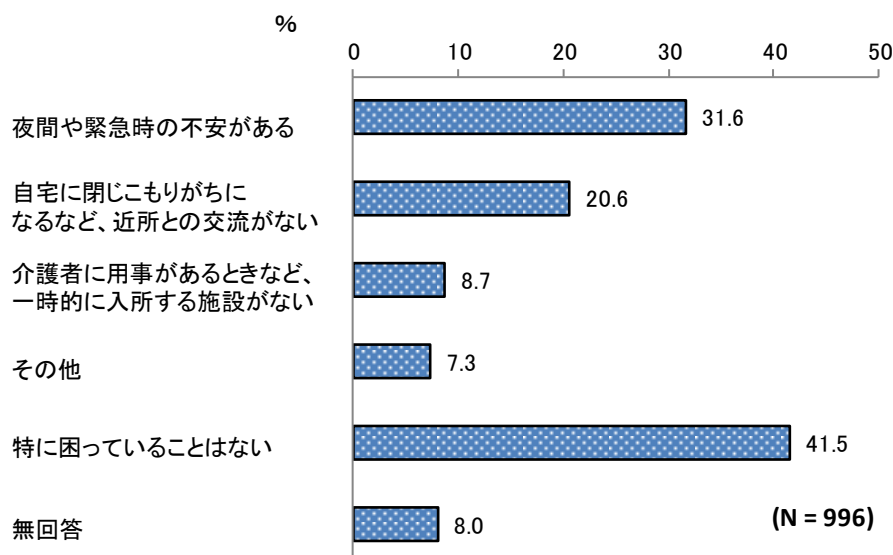


介護保険の在宅サービスを利用していない理由は、「現状では、介護保険サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.7%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 12.9%、「本人に介護保険サービス利用の希望がない」が 12.5%となっている。なお、「その他」が 12.8%となっている。

（２）在宅で生活する上で困っていること

問 20 現在、在宅で生活する上で、どのようなことに困っていますか。（○はいくつでも）

【図表 6-5-1 在宅で生活する上で困っていること】



在宅で生活する上で困っていることは、「特に困っていることはない」が 41.5%と最も高く、次いで「夜間や緊急時の不安がある」が 31.6%、「自宅に閉じこもりがちになるなど、近所との交流がない」が 20.6%となっている。

【図表 6-5-2 在宅で生活する上で困っていること×要介護度別】

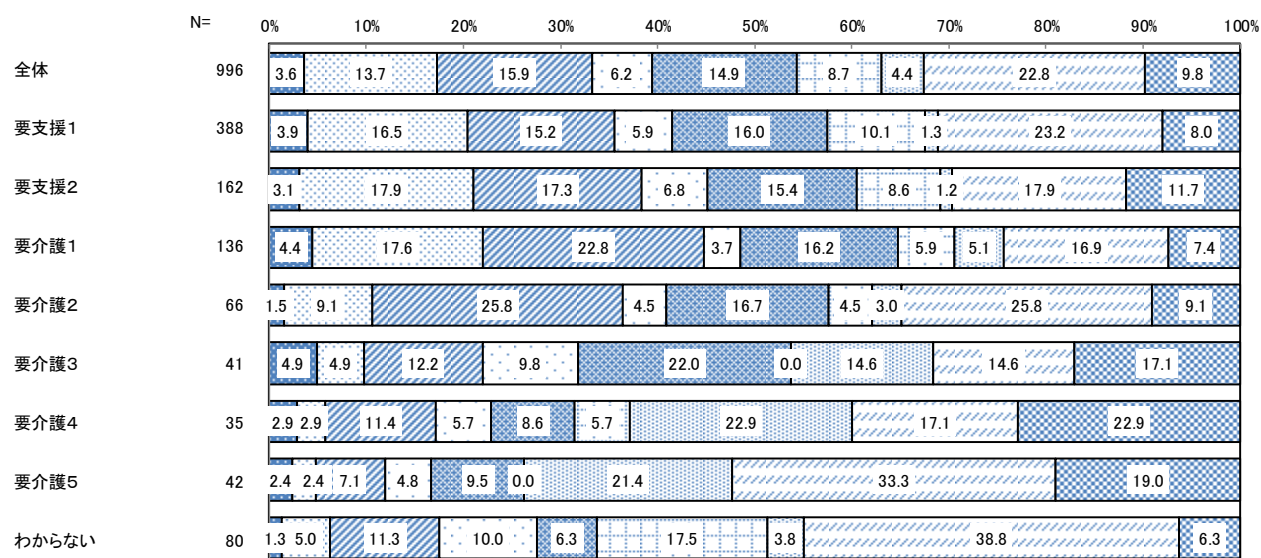
		回答数	が夜間や緊急時の不安	入所するときなどに施設がなくなる	介護者に用事があるときなど、一時的に入所する施設がない	自宅に閉じこもりがちになるなど、近所との交流がない	その他	は特に困っていること	無回答
									(%)
全 体		996	31.6	8.7	20.6	7.3	41.5	8.0	
要介護度別	要支援1	388	30.4	6.7	18.6	4.4	48.5	5.4	
	要支援2	162	32.7	13.0	24.1	6.8	36.4	7.4	
	要介護1	136	32.4	11.8	30.9	7.4	38.2	4.4	
	要介護2	66	36.4	13.6	25.8	13.6	34.8	7.6	
	要介護3	41	41.5	12.2	14.6	9.8	29.3	14.6	
	要介護4	35	22.9	5.7	14.3	20.0	28.6	20.0	
	要介護5	42	21.4	7.1	4.8	19.0	33.3	26.2	
	わからない	80	31.3	5.0	17.5	3.8	48.8	6.3	

(3) 今後の介護サービスの利用意向

問 21 今後の介護サービスの利用についてどのように考えていますか。(○は1つ)

【図表 6-6-1 今後の介護サービスの利用意向×要介護度別】

- ☐ 近いうちに在宅サービスを利用することを考えている ☐ 要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい
☐ 家族介護が困難になったら在宅サービスを利用したい ☐ 緊急時に在宅サービスを利用したい
☐ 今後利用するなら施設サービスを利用したい ☐ 将来的にもできるだけ利用したくない
☐ その他 ☐ わからない
☐ 無回答



今後の介護サービスの利用意向は、「家族介護が困難になったら在宅サービスを利用したい」が 15.9%と最も高く、次いで、「今後利用するなら施設サービスを利用したい」が 14.9%、「要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい」が 13.7%となっている。なお、「わからない」が 22.8%となっている。

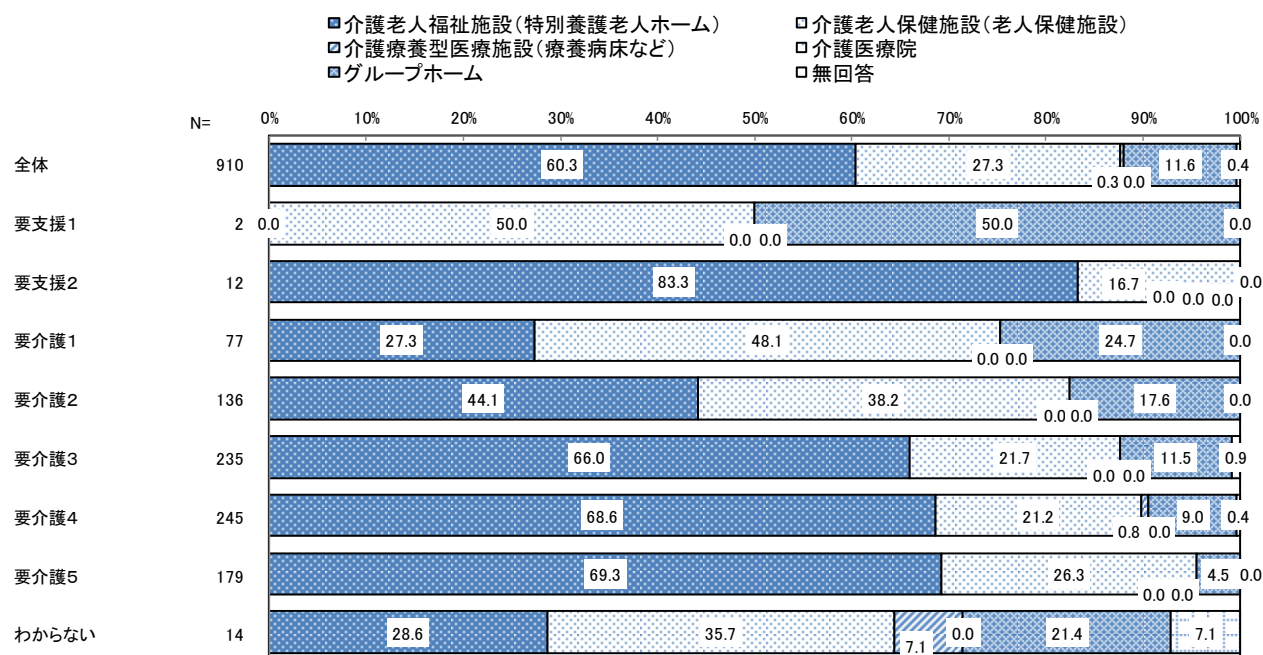
第7章 介護保険施設等サービス利用者調査

1. 回答者の属性

(1) 施設の種類の種類

問7 現在、あなたが入っている施設などの種類はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

【図表 7-1-1 施設の種類の種類×要介護度別】



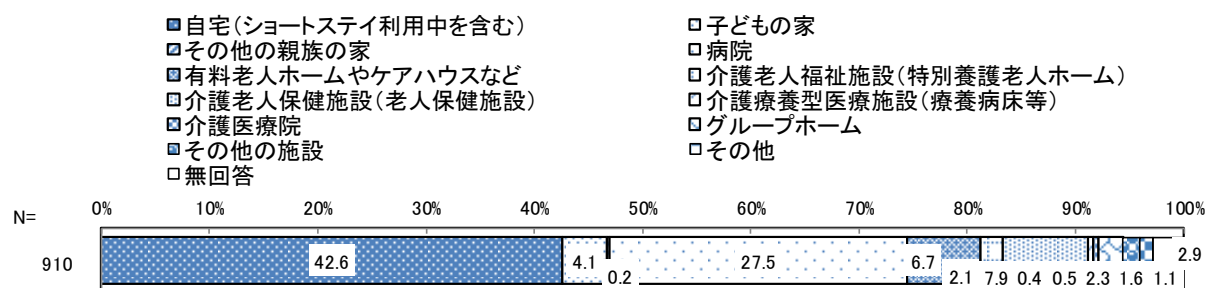
入所している施設の種類は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が60.3%と最も高く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」が27.3%、「グループホーム」が11.6%となっている。

要介護度別にみると、要支援2、要介護3～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が6割を超え、最も高くなっている。要介護1では「介護老人保健施設（老人保健施設）」（48.1%）が最も高く、「グループホーム」（24.7%）が比較的高くなっている。

(2) 施設入所前の居住状況

問9 現在の施設などに入る前は、どちらにいましたか。(○は1つ)

【図表 7-2-1 施設入所前の居住状況】



施設入所前の居住状況は、「自宅(ショートステイ利用中を含む)」が42.6%と最も高く、次いで「病院」が27.5%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」が7.9%となっている。

【図表 7-2-2 施設入所前の居住状況×性別・年齢別・施設別】

(%)

		回答数	自宅（ショートステイ利用中を含む）	子どもの家	その他の親族の家	病院	有料老人ホームやケアハウスなど	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設（老人保健施設）
全 体		910	42.6	4.1	0.2	27.5	6.7	2.1	7.9
性別	男性	192	38.5	1.0	0.5	33.9	8.3	2.1	6.3
	女性	697	43.6	5.0	0.1	25.5	6.3	2.2	8.5
年齢別	40～64歳	29	34.5	0.0	0.0	27.6	3.4	6.9	6.9
	65～69歳	27	37.0	0.0	0.0	33.3	14.8	3.7	0.0
	70～74歳	36	36.1	2.8	0.0	33.3	2.8	2.8	11.1
	75～79歳	85	37.6	2.4	1.2	31.8	7.1	3.5	10.6
	80～84歳	145	49.7	2.1	0.0	27.6	2.8	2.1	5.5
	85～89歳	228	41.7	5.7	0.0	25.4	7.5	2.2	7.9
	90歳以上	353	43.3	5.1	0.3	26.9	7.6	1.1	8.5
施設別	介護老人福祉施設	549	46.4	4.0	0.4	19.9	6.9	2.6	9.3
	介護老人保健施設	248	35.1	2.0	0.0	50.8	5.2	1.2	4.8
	介護療養型医療施設	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	106	41.5	9.4	0.0	12.3	9.4	1.9	8.5

		回答数	（介護療養型医療施設）療養病床等	介護医療院	グループホーム	その他の施設	その他	無回答
全 体		910	0.4	0.5	2.3	1.6	1.1	2.9
性別	男性	192	0.5	1.6	0.0	2.1	2.1	3.1
	女性	697	0.3	0.3	3.0	1.6	0.9	2.7
年齢別	40～64歳	29	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	10.3
	65～69歳	27	0.0	0.0	3.7	7.4	0.0	0.0
	70～74歳	36	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	75～79歳	85	0.0	2.4	0.0	2.4	1.2	0.0
	80～84歳	145	0.0	0.7	2.8	2.1	2.8	2.1
	85～89歳	228	0.4	0.4	3.5	0.9	1.3	3.1
	90歳以上	353	0.0	0.3	2.0	1.4	0.6	2.8
施設別	介護老人福祉施設	549	0.4	0.9	2.7	1.5	1.3	3.8
	介護老人保健施設	248	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4
	介護療養型医療施設	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	106	1.9	0.0	5.7	6.6	1.9	0.9

性別にみると、男性では「病院」（33.9％）が女性より高くなっている。

施設別にみると、介護老人保健施設に入っている人では、「病院」（50.8％）が最も高くなっている。介護老人福祉施設、介護療養型医療施設、グループホームに入っている人では、「自宅（ショートステイ利用中を含む）」が4割を超え、最も高くなっている。

(3) 施設への入所を希望した理由

問 10 なぜ施設などへの入所を希望したのですか。(○はいくつでも)

【図表 7-3-1 施設への入所を希望した理由×施設別】

											(%)
		回答数	たから	段差や手すりなど、住まいに問題があった	一人暮らしなど、介護する家族がいなかった	家族の介護では負担が重すぎた	日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかった	在宅サービスより施設の方が、経済的負担が少ないと思った	在宅での介護より施設の方が十分な介護が受けられるから	その他	無回答
全 体		910	13.7		27.3	56.7	23.6	2.5	28.2	7.0	4.4
施設別	介護老人福祉施設	549	15.3		25.7	56.8	22.0	3.1	29.5	6.9	6.2
	介護老人保健施設	248	12.1		28.2	61.3	24.2	2.0	25.0	6.0	0.4
	介護療養型医療施設	3	—		33.3	33.3	—	—	33.3	—	—
	介護医療院	—	—		—	—	—	—	—	—	—
	グループホーム	106	9.4		33.0	48.1	32.1	0.9	29.2	10.4	1.9

施設への入所を希望した理由は、「家族の介護では負担が重すぎたから」が 56.7%と最も高く、次いで「在宅での介護より施設などの方が十分な介護が受けられるから」が 28.2%、「一人暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が 27.3%となっている。

施設別にみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームでは「家族の介護では負担が重すぎたから」の割合が最も高くなっている。グループホームでは「日中や夜間に見守りしてくれる人がいなかったから」(32.1%)が比較的高くなっている。

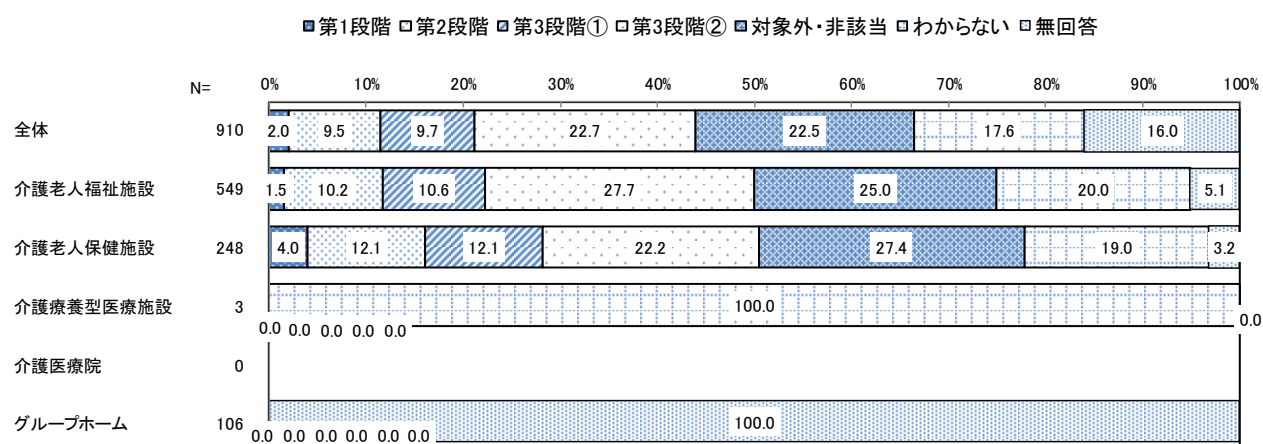
2. 利用している介護保険施設・グループホームについて

(1) 利用者負担段階

問7で「1」～「4」と答えた方にうかがいます。

問14 あなたの食費の負担限度額認定の段階はどれですか。(○は1つ)

【図表 7-4-1 利用者負担段階×施設別】



利用者負担段階は、「第3段階②（食費1日あたり1,360円）」が22.7%と最も高く、次いで「対象外・非該当」が22.5%、「わからない」が17.6%となっている。

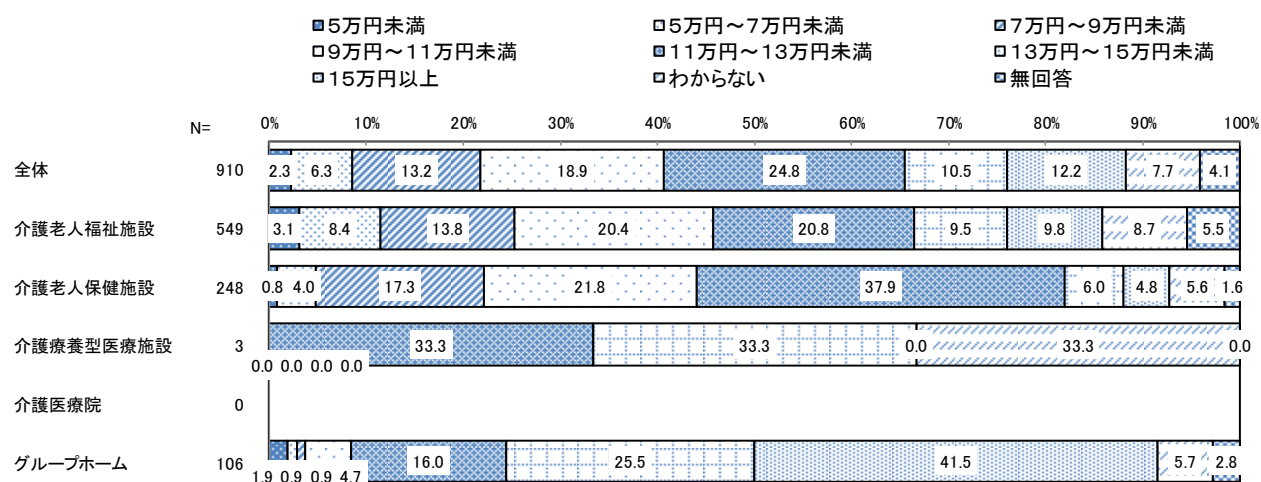
施設別では、特に大きな違いはみられない。

(2) 利用者負担額

問 15 あなたの負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）は月額いくらくらいですか。（○は1つ）

※高額介護サービス費等を受給している場合は、その額を差し引いた残りの金額

【図表 7-5-1 利用者負担額×施設別】



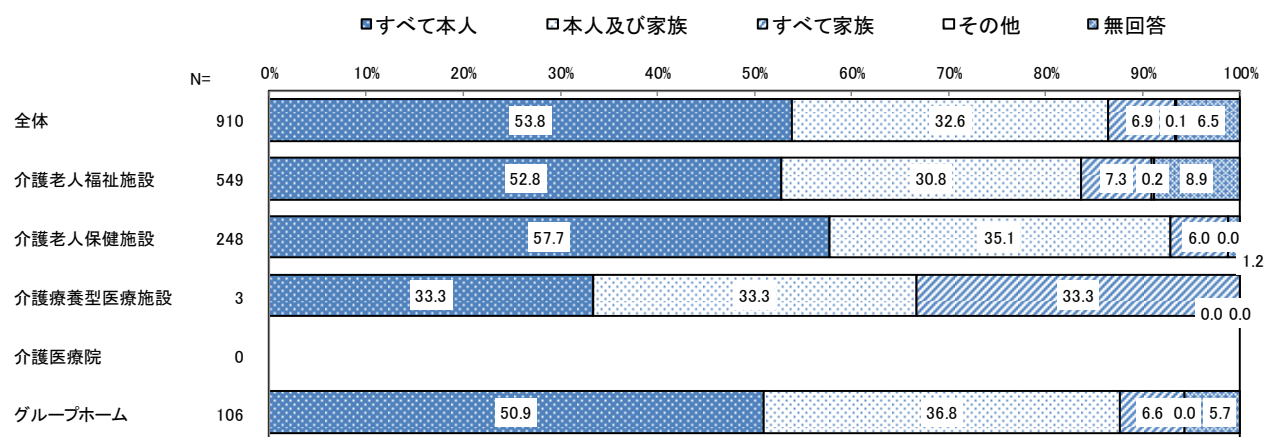
利用者負担額は、「11 万円～13 万円未満」が 24.8%と最も高く、次いで「9 万円～11 万円未満」が 18.9%、「7 万円～9 万円未満」が 13.2%となっている。

施設別にみると、介護老人保健施設では「11 万円～13 万円未満」（37.9%）、グループホームでは「15 万円以上」（41.5%）が最も高く、他と比べても高くなっている。

(3) 利用料金の負担者

問 16 現在、利用料金はどなたが負担していますか。(○は1つ)

【図表 7-6-1 利用料金の負担者×施設別】



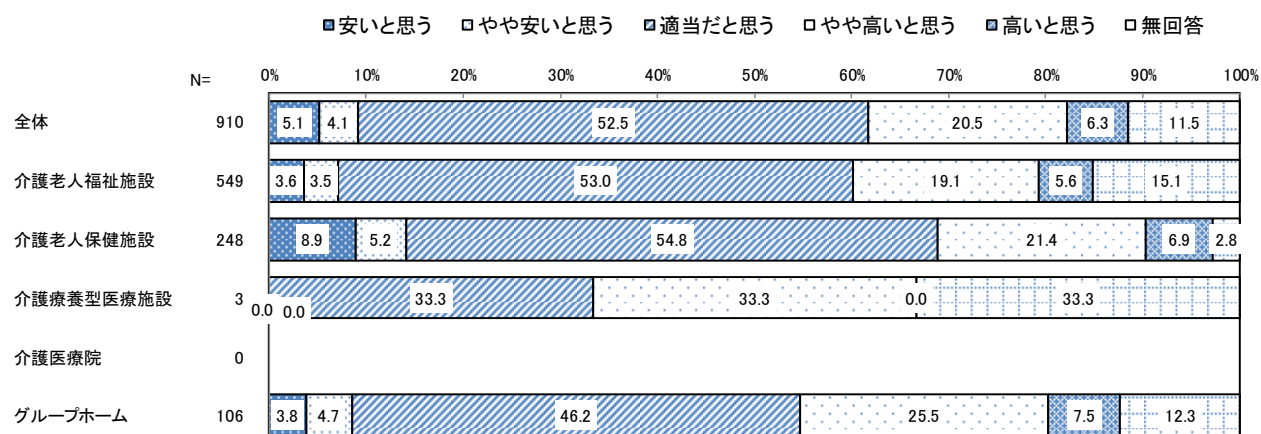
利用料金の負担者は、「すべて本人」が 53.8%と最も高く、次いで「本人及び家族」が 32.6%、「すべて家族」が 6.9%となっている。

施設別にみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームでは「すべて本人」が 5 割を超え、最も高くなっている。

(4) 現在の負担額をどう思うか

問 17 現在の負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）をどう思いますか。（○は1つ）

【図表 7-7-1 現在の負担額をどう思うか×施設別】



現在の負担額をどう思うかは、「適当だと思う」が 52.5%と最も高く、次いで「やや高いと思う」が 20.5%、「高いと思う」が 6.3%となっている。

施設別にみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームでは「適当だと思う」が 4 割半ばから 5 割半ばで最も高くなっている。

【図表 7-7-2 現在の負担額をどう思うか
×世帯年間総収入額別・利用者負担段階別・利用者負担額別】

(%)

		回答数	安いと思う	やや安いと思う	適当だと思う	やや高いと思う	高いと思う	無回答
全 体		910	5.1	4.1	52.5	20.5	6.3	11.5
世帯年間総収入額別	50万円未満	39	10.3	7.7	33.3	35.9	12.8	0.0
	50～100万円未満	86	12.8	5.8	48.8	23.3	5.8	3.5
	100～150万円未満	160	8.8	5.6	49.4	30.0	4.4	1.9
	150～200万円未満	135	3.7	5.2	63.7	19.3	5.9	2.2
	200～300万円未満	142	4.9	5.6	60.6	20.4	6.3	2.1
	300～400万円未満	65	0.0	3.1	56.9	27.7	12.3	0.0
	400～500万円未満	25	8.0	0.0	48.0	24.0	12.0	8.0
	500～600万円未満	17	0.0	5.9	52.9	23.5	11.8	5.9
	600～1,000万円未満	12	0.0	16.7	58.3	16.7	8.3	0.0
	1,000万円以上	6	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
利用者負担段階別	第1段階	18	11.1	5.6	27.8	44.4	5.6	5.6
	第2段階	86	12.8	2.3	50.0	16.3	5.8	12.8
	第3段階①	88	5.7	2.3	63.6	13.6	2.3	12.5
	第3段階②	207	5.3	3.9	50.7	25.1	3.9	11.1
	対象外・非該当	205	2.4	3.4	62.0	15.6	4.4	12.2
	わからない	160	4.4	6.3	48.8	23.8	13.1	3.8
利用者負担額別	5万円未満	21	23.8	4.8	47.6	19.0	0.0	4.8
	5万円～7万円未満	57	10.5	3.5	59.6	8.8	5.3	12.3
	7万円～9万円未満	120	10.0	5.8	57.5	16.7	0.8	9.2
	9万円～11万円未満	172	3.5	5.2	60.5	20.9	3.5	6.4
	11万円～13万円未満	226	4.4	5.8	55.8	20.8	7.5	5.8
	13万円～15万円未満	96	2.1	3.1	55.2	21.9	7.3	10.4
	15万円以上	111	1.8	0.9	44.1	29.7	13.5	9.9
	わからない	70	4.3	1.4	38.6	25.7	11.4	18.6

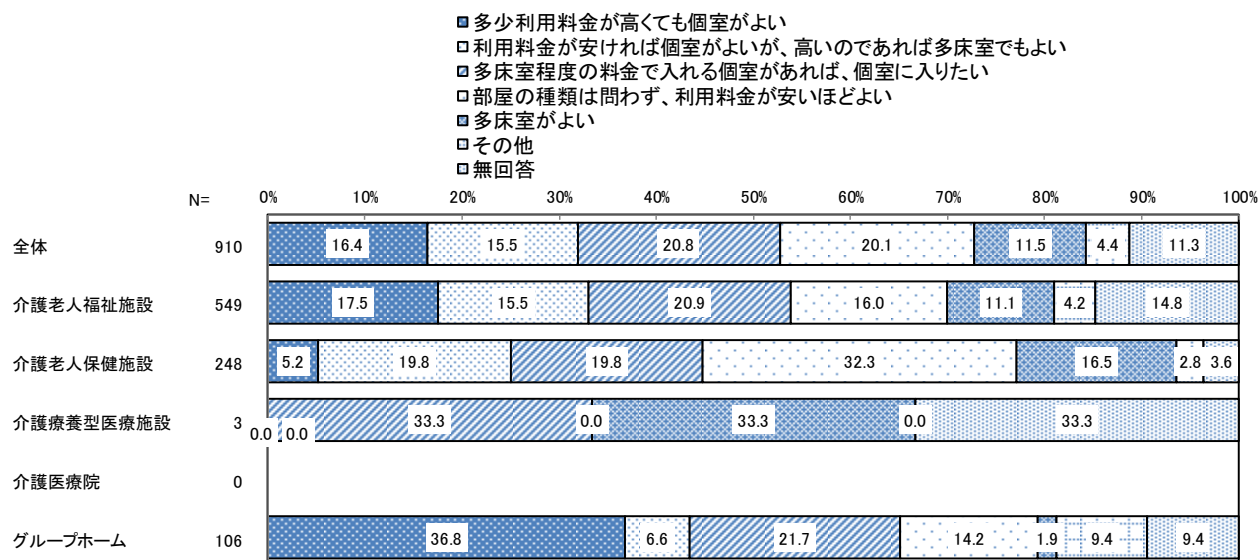
世帯年間総収入額別にみると、50 万円未満では『高いと思う』（「やや高いと思う」と「高いと思う」の合計）が 48.7%で、他と比べて高くなっている。

利用者負担額別にみると、15 万円以上では『高いと思う』（43.2%）が他と比べて高くなっている。5 万円未満では『安いと思う』（「安いと思う」「やや安いと思う」との合計）が 28.6%で、比較的高くなっている。

(5) 利用料金とサービスとの関係性

問 18 施設などに入るに当たり、利用料金とサービスの関係についてどのように考えますか。(○は1つ)

【図表 7-8-1 利用料金とサービスとの関係性×施設別】



利用料金とサービスとの関係性は、「多床室程度の料金で入れる個室があれば、個室に入りたい」が 20.8%と最も高く、次いで「部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい」が 20.1%、「多少利用料金が高くて個室がよい」が 16.4%となっている。

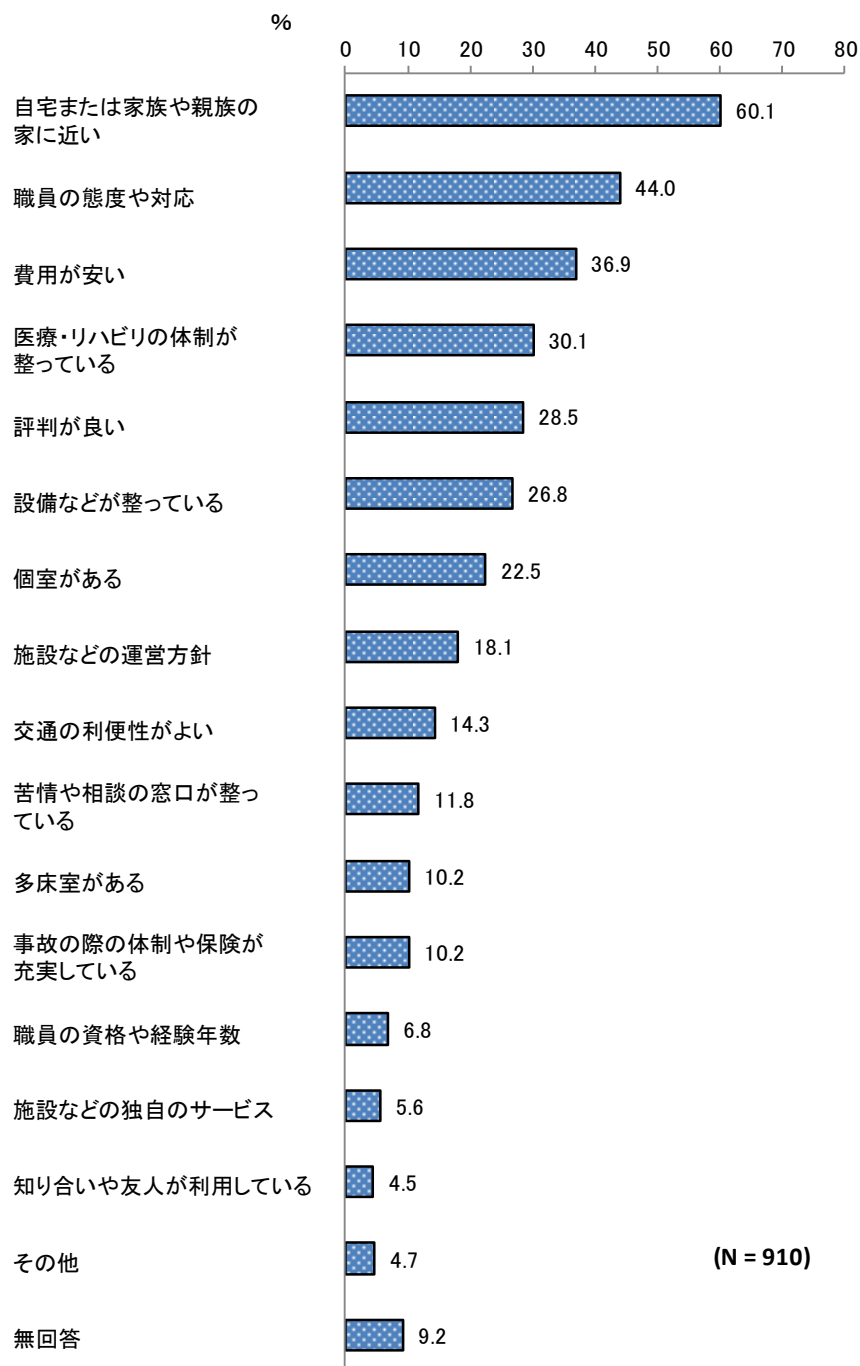
施設別にみると、グループホームでは「多少利用料金が高くて個室がよい」(36.8%)が、介護老人保健施設では「部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい」(32.3%)が、それぞれ最も高くなっている。

（6）施設などを選ぶときに重視する点

問 19 施設などを選ぶときに、特にどのようなことを重視して決めますか。

（○はいくつでも）

【図表 7-9-1 施設などを選ぶときに重視する点】



施設などを選ぶときに重視する点は、「自宅または家族や親族の家に近い」が 60.1%と最も高く、次いで「職員の態度や対応」が 44.0%、「費用が安い」が 36.9%となっている。

【図表 7-9-2 施設などを選ぶときに重視する点×施設別】

(%)

	回答数	自宅または家族や親族の家に近い	知り合いや友人が利用している	施設などの運営方針	職員の資格や経験年数	職員の態度や対応	施設などの独自のサービス	評判が良い	設備などが整っている	個室がある
全 体	910	60.1	4.5	18.1	6.8	44.0	5.6	28.5	26.8	22.5
施設別	介護老人福祉施設	549	58.5	5.3	17.1	7.1	45.9	5.8	28.6	25.9
	介護老人保健施設	248	62.1	4.0	13.7	5.2	35.9	4.0	25.4	8.5
	介護療養型医療施設	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	介護医療院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	106	65.1	1.9	32.1	9.4	51.9	6.6	34.9	36.8

	回答数	多床室がある	費用が安い	苦情や相談の窓口が整っている	事故が充実に体制や保険が整っている	医療・リハビリの体制が整っている	交通の利便性がよい	その他	無回答
全 体	910	10.2	36.9	11.8	10.2	30.1	14.3	4.7	9.2
施設別	介護老人福祉施設	549	11.1	35.2	13.3	9.1	23.9	14.6	12.6
	介護老人保健施設	248	12.1	46.8	8.1	10.5	46.0	11.7	2.0
	介護療養型医療施設	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	介護医療院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	106	1.9	23.6	11.3	14.2	24.5	17.0	8.5

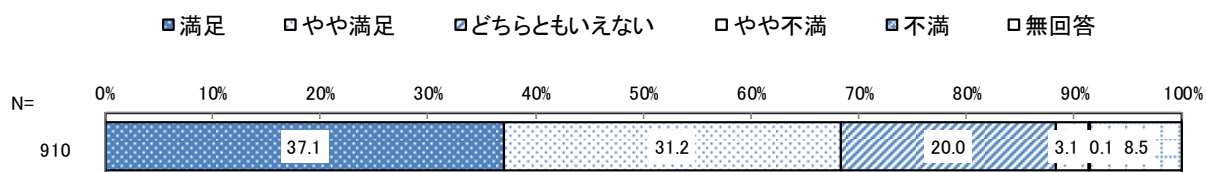
施設別にみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームいずれも「自宅または家族や親族の家に近い」が6割弱から6割半ばで、最も高くなっている。介護老人保健施設では「費用が安い」「医療・リハビリの体制が整っている」がともに4割半ば、グループホームでは「職員の態度や対応」が5割強、「個室がある」が3割半ばで、それぞれ比較的高くなっている。

(7) 現在の施設への満足度

①現在の施設への満足度

問 20 現在の施設に満足していますか。(○は1つ)

【図表 7-10-1 現在の施設への満足度】



現在の施設への満足度は、「満足」が37.1%と最も高く、次いで「やや満足」が31.2%、「どちらともいえない」が20.0%となっている。

【図表 7-10-2 現在の施設への満足度×施設別】

		(%)						
		回答数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
全 体		910	37.1	31.2	20.0	3.1	0.1	8.5
施設別	介護老人福祉施設	549	37.0	27.7	19.3	3.5	0.0	12.6
	介護老人保健施設	248	32.3	39.9	24.2	2.8	0.0	0.8
	介護療養型医療施設	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	グループホーム	106	49.1	29.2	15.1	0.9	0.9	4.7

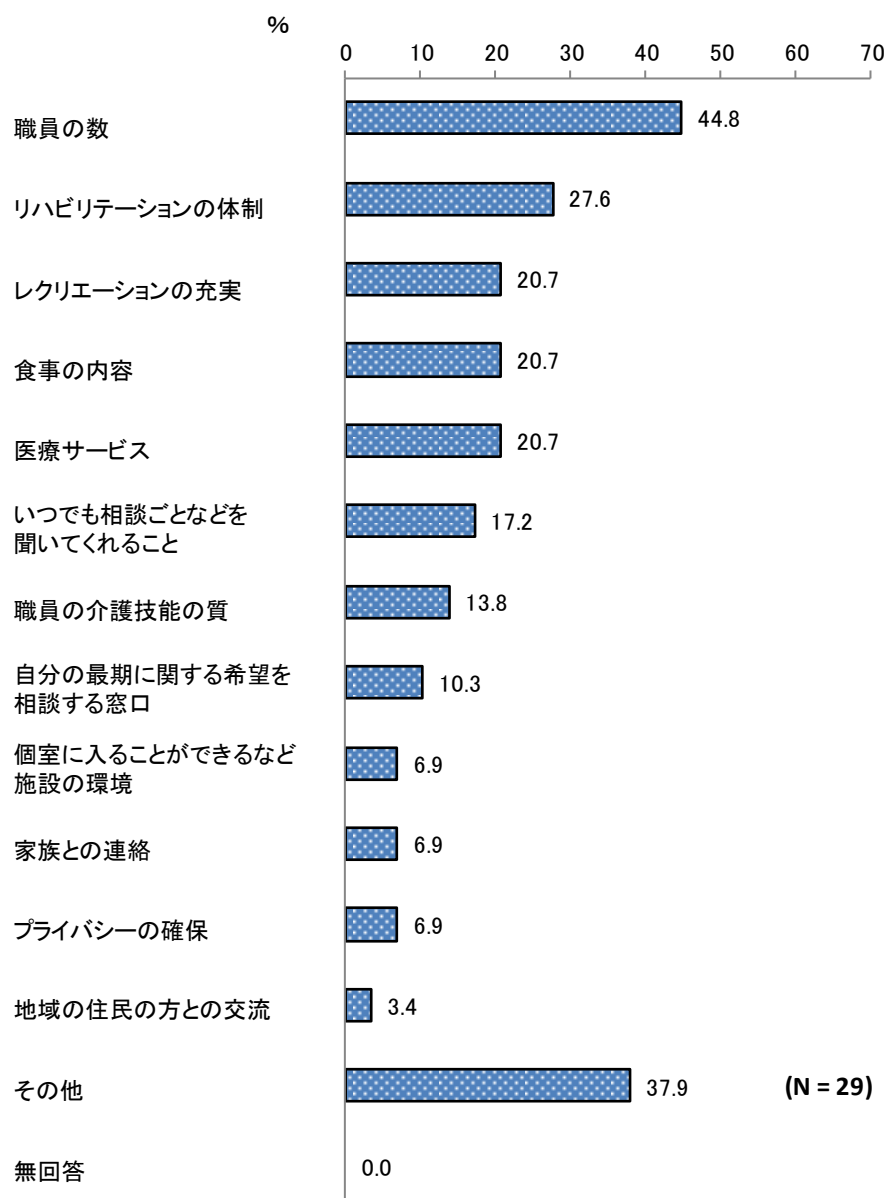
施設別にみると、グループホームでは「満足」(49.1%)が他に比べ高くなっている。一方、介護老人保健施設では「やや満足」(39.9%)、「どちらともいえない」(24.2%)が他に比べ高くなっている。

②現在の施設に充実させてほしいこと

問 20 で「4」か「5」と答えた方にうかがいます。

問 20-1 もっと充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 7-10-3 現在の施設に充実させてほしいこと】



現在の施設に充実させてほしいことは、「職員の数」が 44.8%と最も高く、次いで「リハビリテーションの体制」が 27.6%、「レクリエーションの充実」「食事の内容」「医療サービス」がいずれも 20.7%となっている。なお、「その他」が 37.9%となっている。

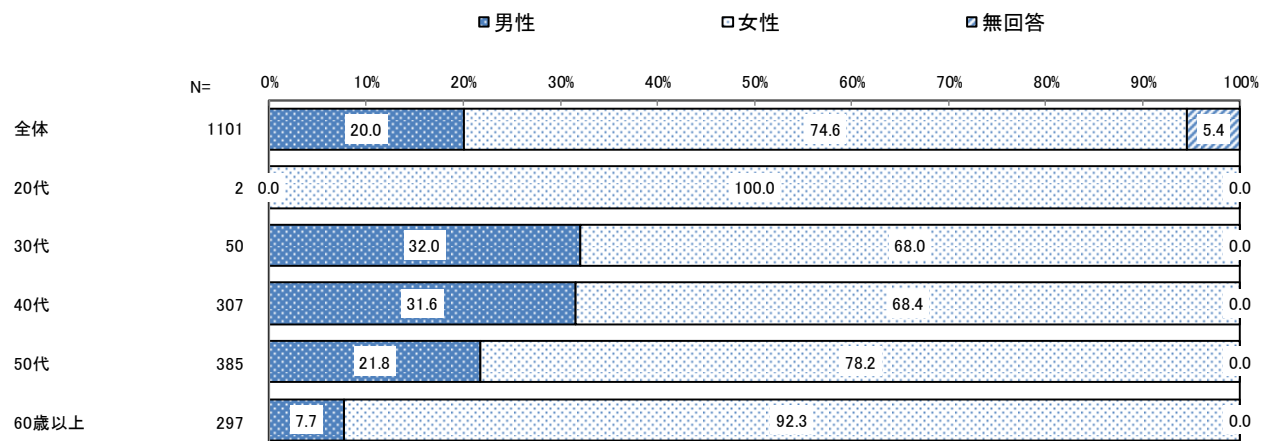
第8章 介護支援専門員調査

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

【図表 8-1-1 性別×年齢別】



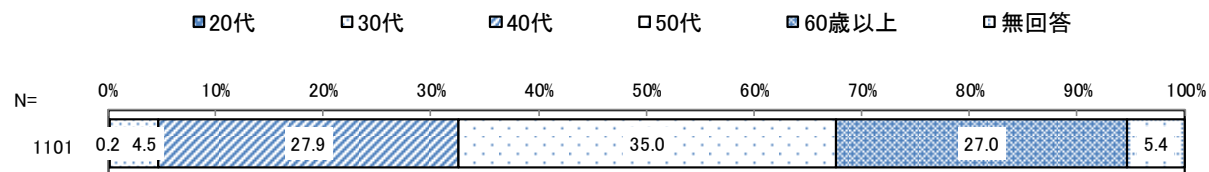
対象者の性別は、「男性」が20.0%、「女性」が74.6%となっている。

年齢別にみると、標本数が2であった20代を除けば、年齢が上がるにつれて女性の割合が高くなっており、60歳以上では9割強となっている。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢は。(令和7年10月1日現在)(○は1つ)

【図表 8-2-1 年齢】

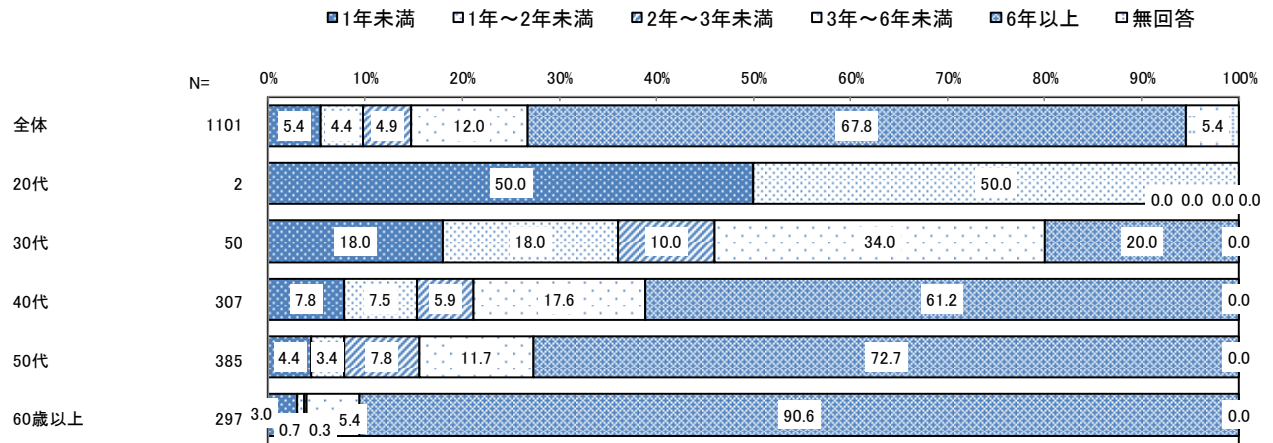


年齢は、「50代」が35.0%と最も高く、次いで「40代」が27.9%、「60歳以上」が27.0%となっている。

(3) 介護支援専門員としての経験年数

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

【図表 8-3-1 介護支援専門員としての経験年数×年齢別】



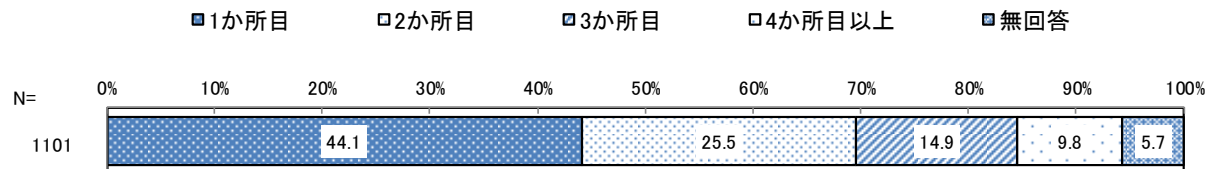
介護支援専門員歴は、「6年以上」が67.8%と最も高く、次いで「3年～6年未満」が12.0%、「1年未満」が5.4%となっている。

年齢別にみると、標本数が2であった20代を除けば、年齢が上がるにつれて経験年数が長くなっており、60歳以上では「6年以上」が9割強となっている。

(4) 介護支援専門員としての経験事業所数

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。（異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます）

【図表 8-4-1 介護支援専門員としての経験事業所数】



介護支援専門員としての経験事業所数は、「1か所目」が44.1%で最も高く、次いで「2か所目」が25.5%、「3か所目」が14.9%となっている。

(5) 介護支援専門員以外に取得している資格

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 8-5-1 介護支援専門員以外に取得している資格】



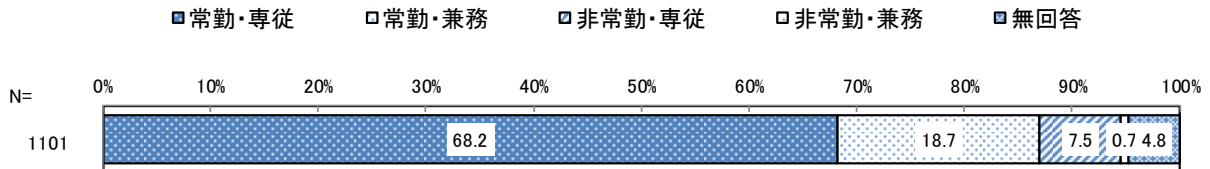
介護支援専門員以外に取得している資格は、「介護福祉士」が 64.1%と最も高く、次いで「社会福祉士」が 23.2%、「看護師」が 15.2%となっている。

(6) 勤務状況

①勤務形態

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

【図表 8-6-1 勤務形態】



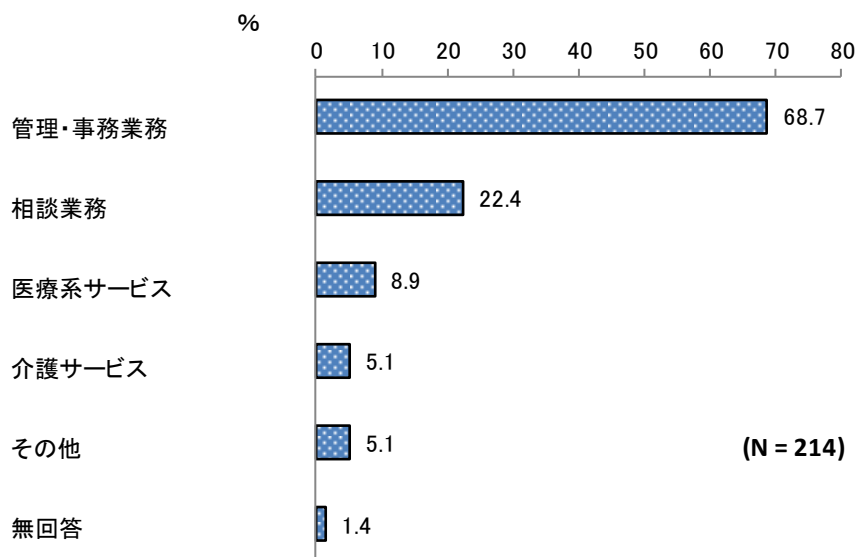
勤務形態は、「常勤・専従」が 68.2%と最も高く、次いで「常勤・兼務」が 18.7%、「非常勤・専従」が 7.5%となっている。

②兼務内容

問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます。

問6-1 どのような業務を兼務していますか。(○はいくつでも)

【図表 8-6-2 兼務内容】



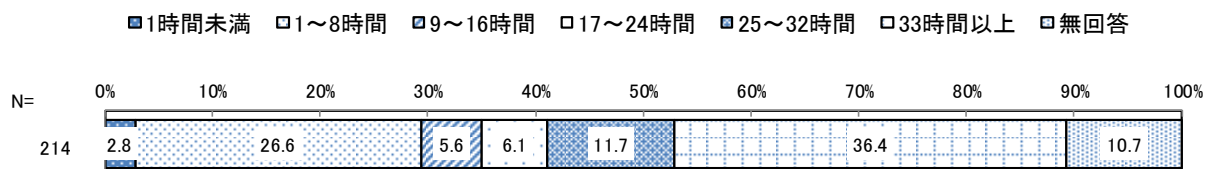
兼務内容は、「管理・事務業務」が 68.7%と最も高く、次いで「相談業務」が 22.4%、「医療系サービス」が 8.9%となっている。

③従事時間

問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます。

問6-2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

【図表 8-6-3 従事時間】

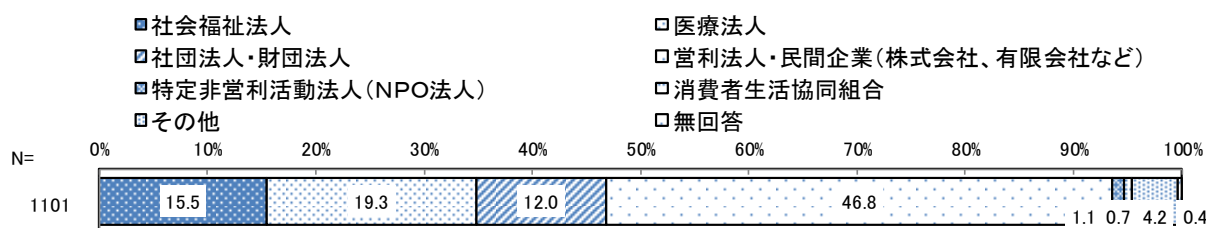


従事時間は、「33 時間以上」が 36.4%で最も高く、次いで「1～8 時間」が 26.6%、「25～32 時間」が 11.7%となっている。

(7) 事業所の法人種別

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の法人種別などは何ですか。（○は1つ）

【図表 8-7-1 事業所の法人種別】

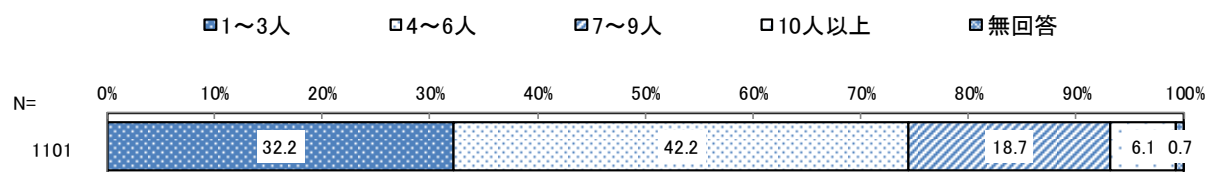


事業所の法人種別は、「営利法人・民間企業（株式会社、有限会社など）」が 46.8%と最も高く、次いで「医療法人」が 19.3%、「社会福祉法人」が 15.5%となっている。

(8) 事業所の介護支援専門員数

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

【図表 8-8-1 事業所の介護支援専門員数】



事業所の介護支援専門員数は、「4～6 人」が 42.2%で最も高く、次いで「1～3 人」が 32.2%、「7～9 人」が 18.7%となっている。

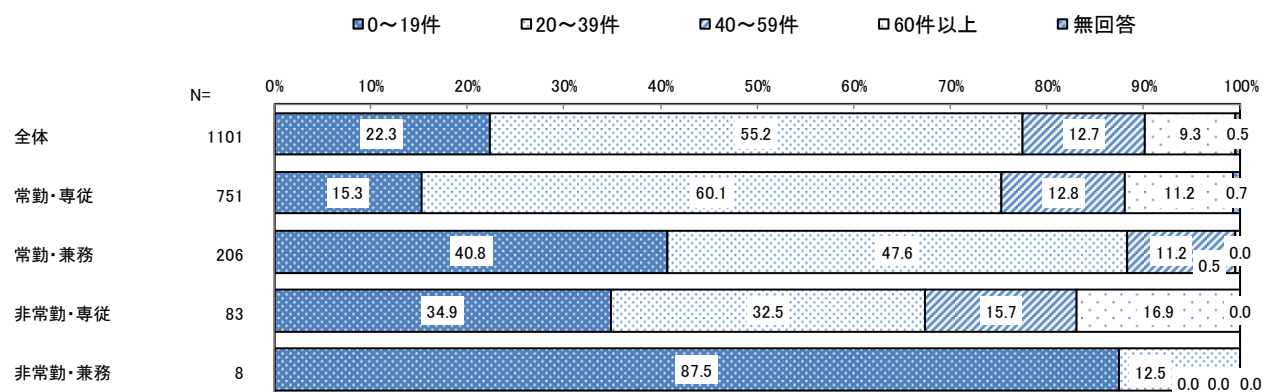
2. ケアマネジメントについて

(1) 給付管理件数

以下の設問【問9】～【問14-2】は、令和7年10月の状況についてお答えください。

問9 あなたが給付管理を行ったケース（利用者が令和7年10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）は何件ですか。

【図表 8-9-1 給付管理件数×勤務形態別】



給付管理件数は、「20～39件」が55.2%で最も高く、次いで「0～19件」が22.3%、「40～59件」が12.7%となっている。

令和7年10月の介護支援専門員一人あたりの給付管理件数は31.8件となっている。なお、令和4年10月の介護支援専門員一人あたりの給付管理件数は31.5件となっている。

勤務形態別にみると、常勤・専従では「20～39件」（60.1%）が最も高く、他と比べても高くなっている。常勤・兼務、非常勤・専従では「0～19件」（40.8%、34.9%）が常勤・専従に比べ高くなっている。

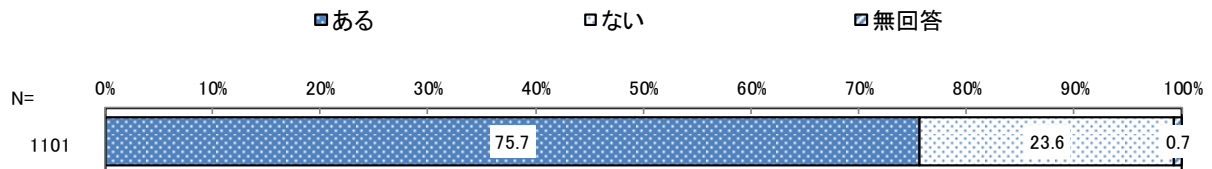
(2) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン

① 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無

問 10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。(○は1つ)

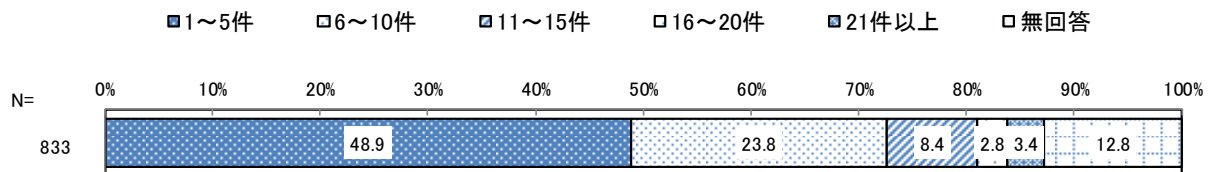
あればその件数も記入してください。

【図表 8-10-1 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無】



ケアマネジャー全体（1101 人）の 75.7%（833 人）が保険外サービスを組み合わせたケアプランを作成したと回答している。

【図表 8-10-2 保険外サービスを組み合わせたケアプランの件数】



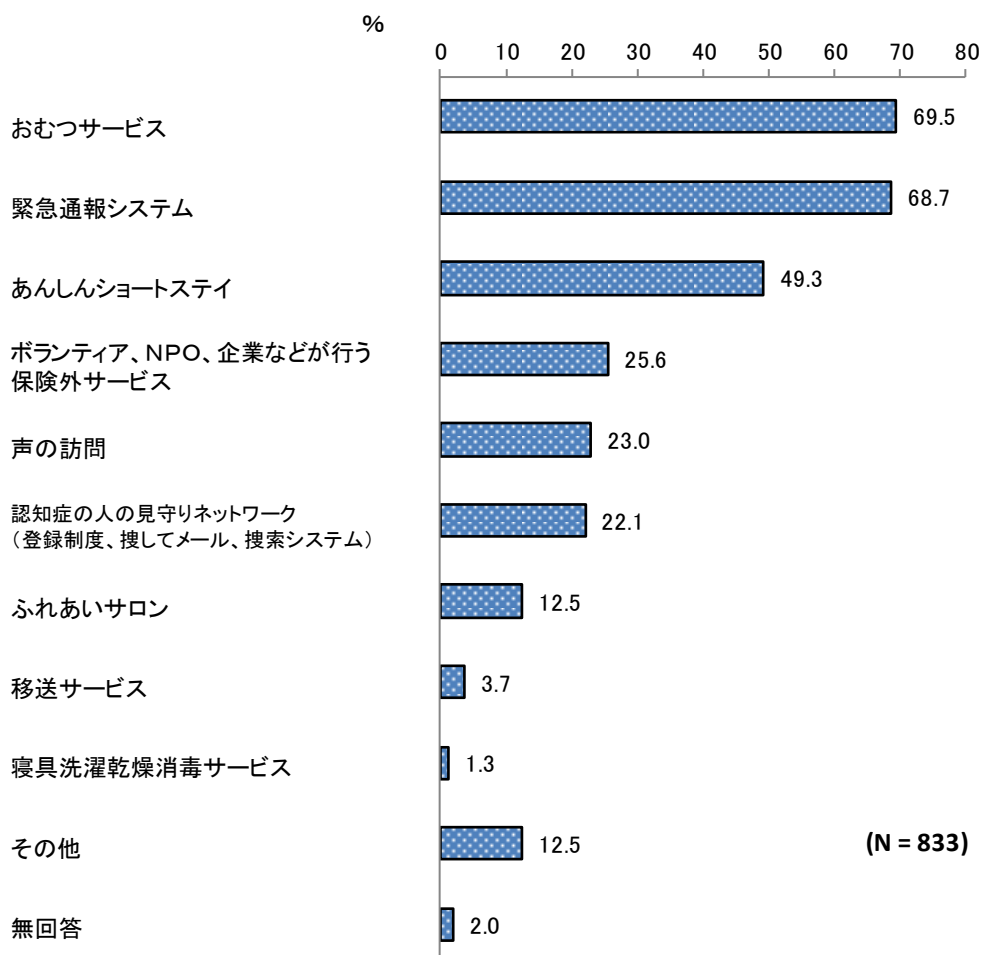
保険外サービスを組み合わせたケアプランの件数は、「1～5 件」が 48.9%で最も高く、次いで「6～10 件」が 23.8%、「11～15 件」が 8.4%となっている。

②ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類

問 10 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。
(○はいくつでも)

【図表 8-10-3 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類】



ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類は、「おむつサービス」が 69.5%と最も高く、次いで「緊急通報システム」が 68.7%、「あんしんショートステイ」が 49.3%となっている。

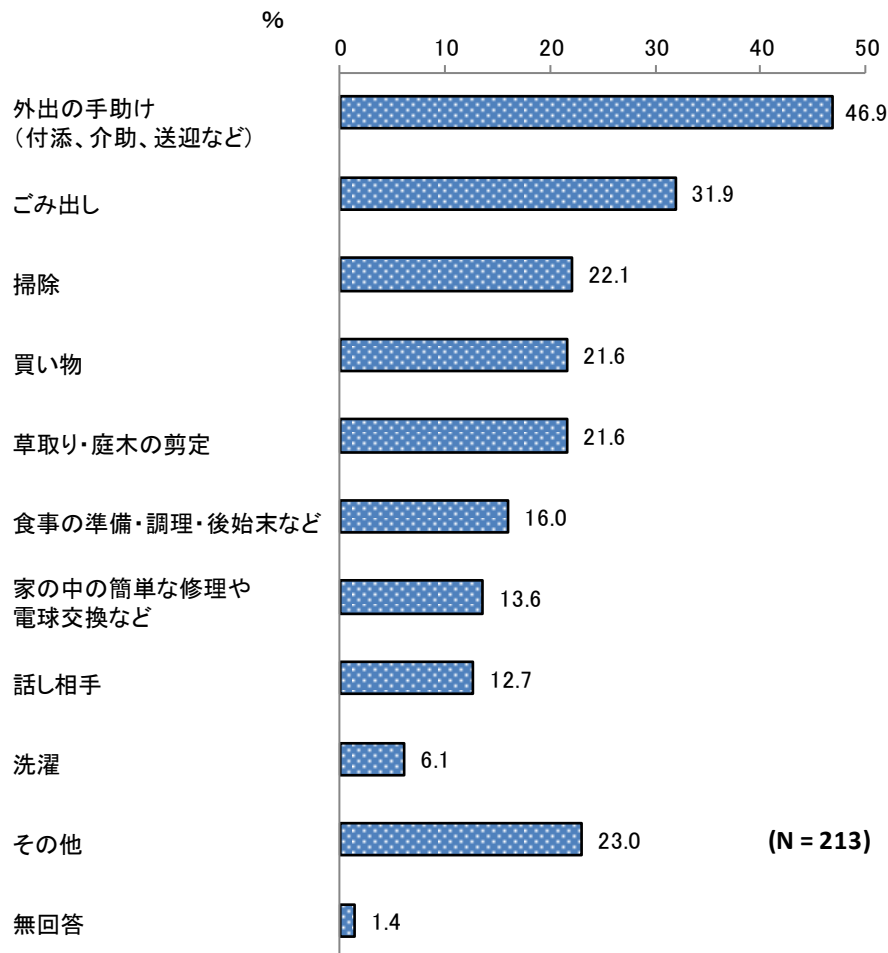
③ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容

問 10-1 で「9」と答えた方にうかがいます。

問 10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 8-10-4 ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容】



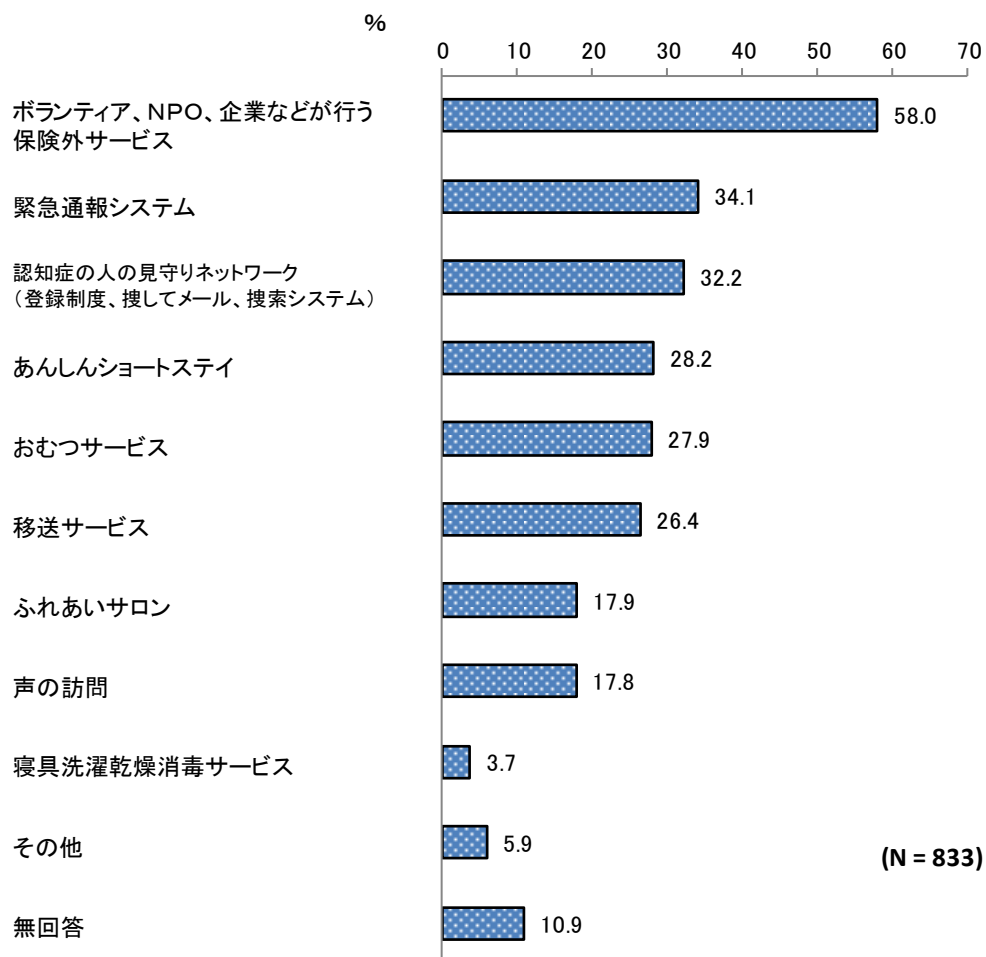
ケアプランで組み合わせたボランティアなどが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け（付添、介助、送迎など）」が 46.9%と最も高く、次いで「ごみ出し」が 31.9%、「掃除」が 22.1%となっている。なお、「その他」が 23.0%となっている。

④今後充実が必要な保険外サービスの種類

問10で「1」と答えた方にうかがいます。

問10-3 今後充実が必要と思うサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 8-10-5 今後充実が必要な保険外サービスの種類】



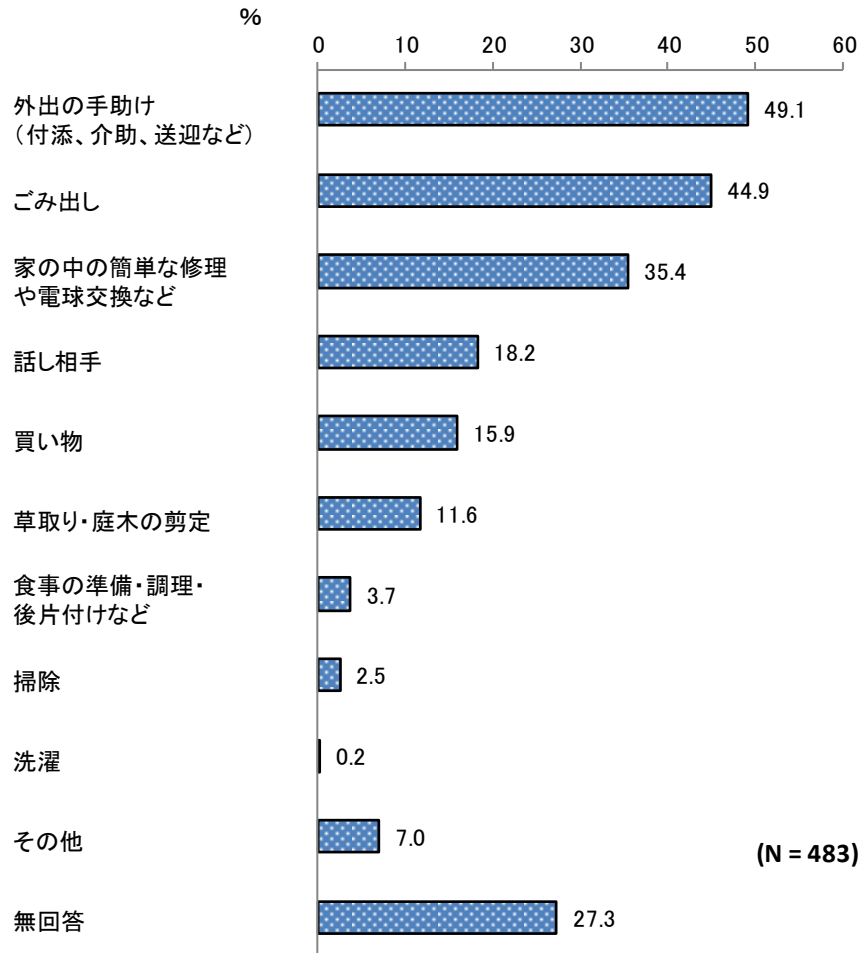
今後充実が必要な保険外サービスの種類は、「ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス」が58.0%と最も高く、次いで「緊急通報システム」が34.1%、「認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、検索システム）」が32.2%となっている。

⑤今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容

問 10－3 で「9」と答えた方にうかがいます。

問 10－4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。(○は3つまで)

【図表 8-10-6 今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容】

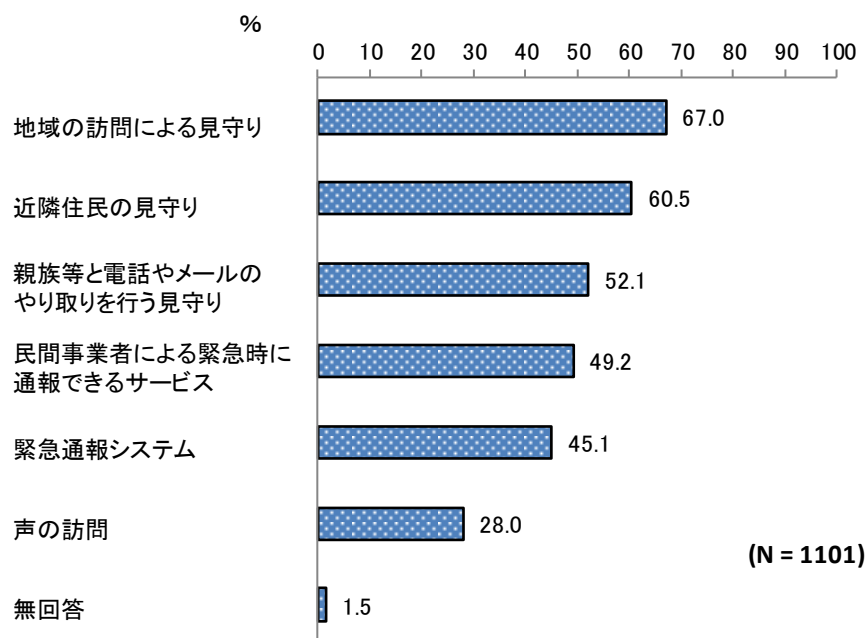


今後充実が必要なボランティアなどが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け（付添、介助、送迎など）」が 49.1%と最も高く、次いで「ごみ出し」が 44.9%、「家の中の簡単な修理や電球交換など」が 35.4%となっている。

（３）介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス

問 11 現在、介護サービス受給者の場合、こういった「見守り」サービスが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

【図表 8-11-1 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス】



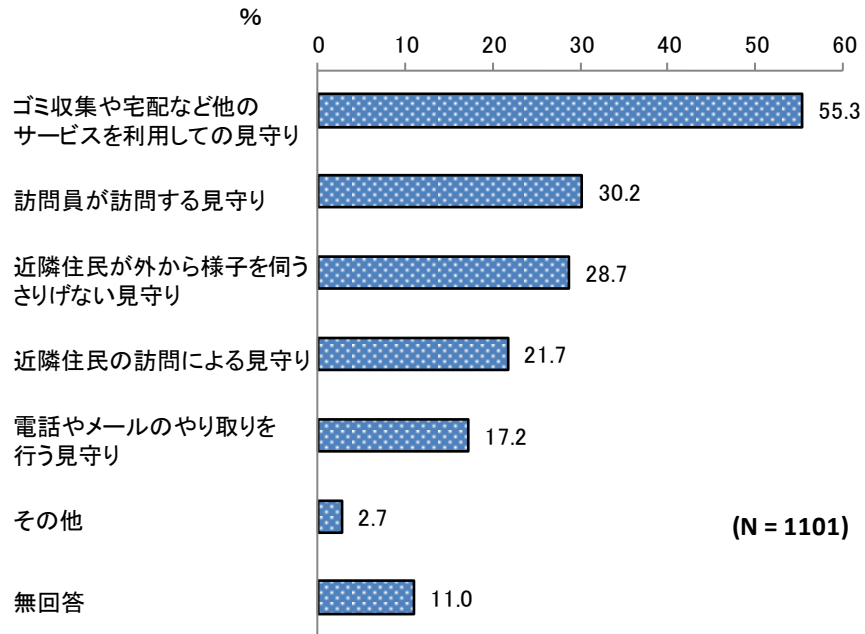
介護サービス受給者に必要な「見守り」サービスは、「地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）」が 67.0%と最も高く、次いで「近隣住民の見守り」が 60.5%、「親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り」が 52.1%となっている。

(4) 充実が必要な「見守り」サービス

問 12 今後、こういった「見守り」サービスを充実させるとよいと思いますか。

(○は2つまで)

【図表 8-12-1 充実が必要な「見守り」サービス】



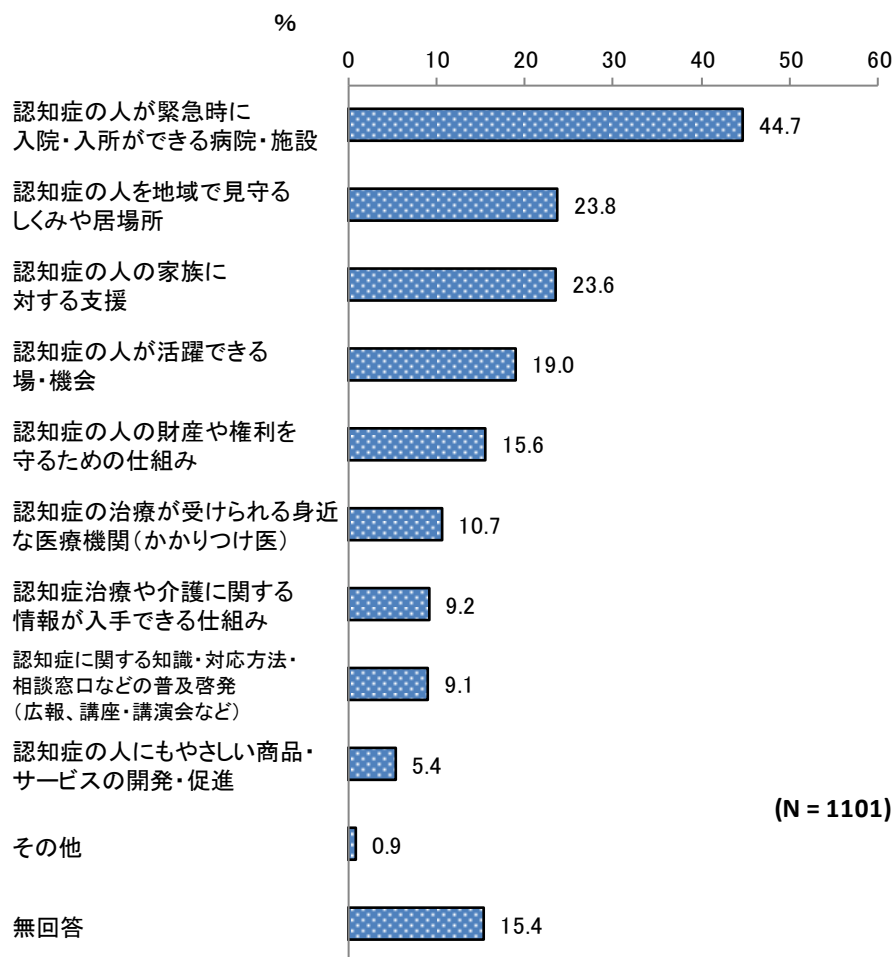
充実が必要な「見守り」サービスは、「ゴミ収集や宅配など他のサービスを利用した見守り」が 55.3%と最も高く、次いで「訪問員が訪問する見守り」が 30.2%、「近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り」が 28.7%となっている。

（５）不足している認知症患者の支援体制

問 13 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。

（○は2つまで）

【図表 8-13-1 不足している認知症患者の支援体制】



不足している認知症患者の支援体制は、「認知症の人が緊急時に入院・入所ができる病院・施設」が 44.7%と最も高く、次いで「認知症の人を地域で見守るしくみや居場所」が 23.8%、「認知症の人の家族に対する支援」が 23.6%となっている。

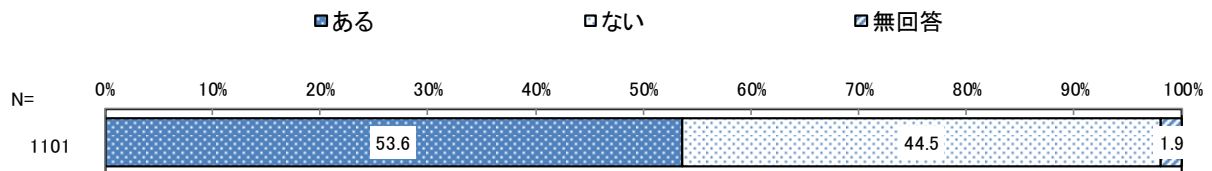
(6) 在宅での生活が困難なケース

①在宅での生活が困難なケースの有無

問 14 在宅での生活が困難なケースはありますか。(○は1つ)

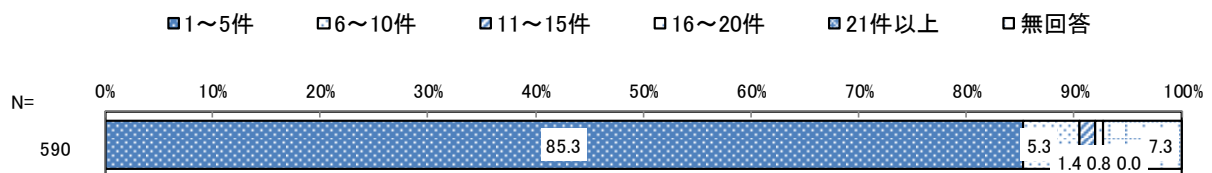
あればその件数も記入してください。

【図表 8-14-1 在宅での生活が困難なケースの有無】



ケアマネジャー全体（1101 人）の 53.6%（590 人）が在宅での生活が困難なケースが「ある」と回答している。

【図表 8-14-2 在宅での生活が困難なケースの件数】



在宅での生活が困難なケースの件数は、「1～5 件」が 85.3%で最も高く、次いで「6～10 件」が 5.3%、「11～15 件」が 1.4%となっている。

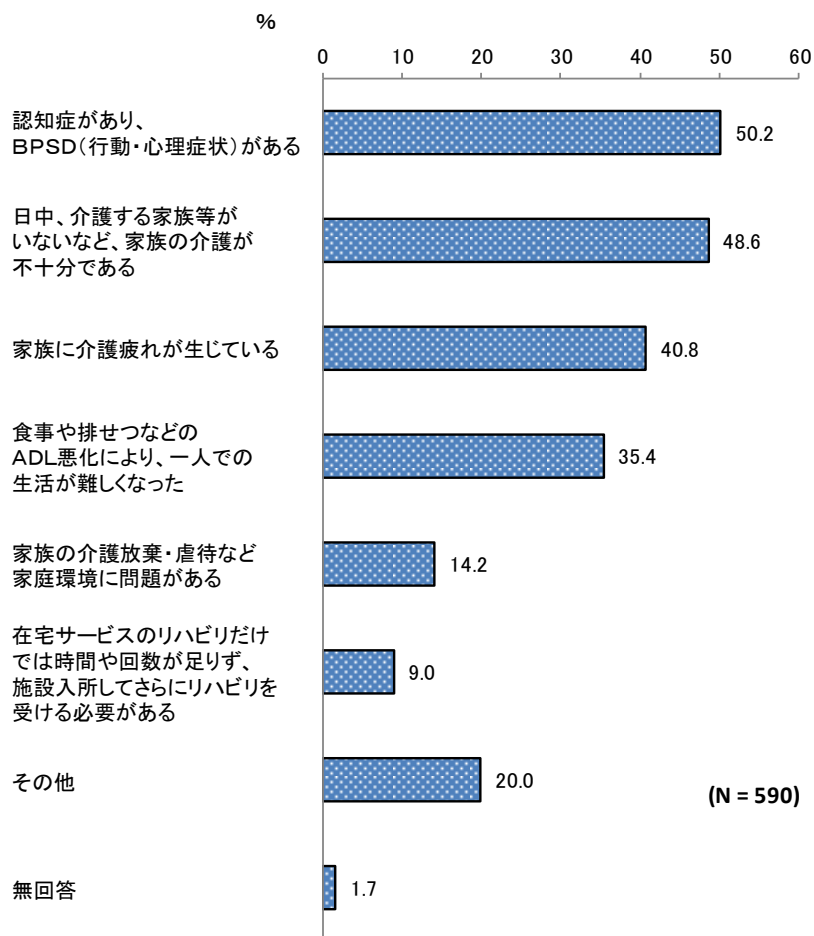
②在宅での生活が困難なケースの内容

問 14 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 14-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲んでください。（○はいくつでも）

また、そのケースの件数も記入してください。

【図表 8-14-3 在宅での生活が困難なケースの内容】



在宅での生活が困難なケースの内容は、「認知症があり、B P S D（行動・心理症状）がある」が 50.2%と最も高く、次いで「日中、介護する家族等がないなど、家族の介護が不十分である」が 48.6%、「家族に介護疲れが生じている」が 40.8%となっている。

在宅での生活が困難なケースの件数は、「日中、介護する家族等がないなど、家族の介護が不十分である」が 530 件で最も高く、次いで「認知症があり、B P S D（行動・心理症状）がある」が 457 件、「家族に介護疲れが生じている」が 421 件、「食事や排せつなどのADL悪化により、一人での生活が難しくなった」が 358 件、「家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある」が 105 件、「施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある」が 90 件となっている。

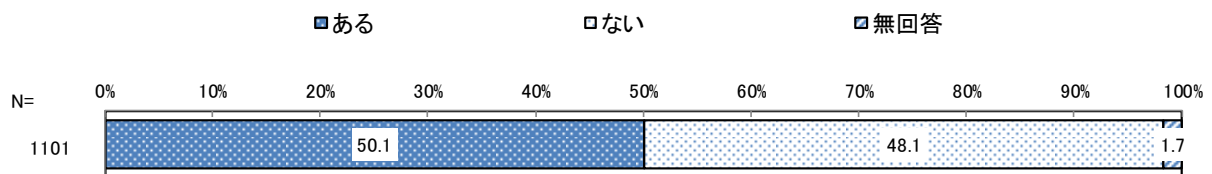
(7) 小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験

①小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無

問 15 これまでに小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。(○は1つ)

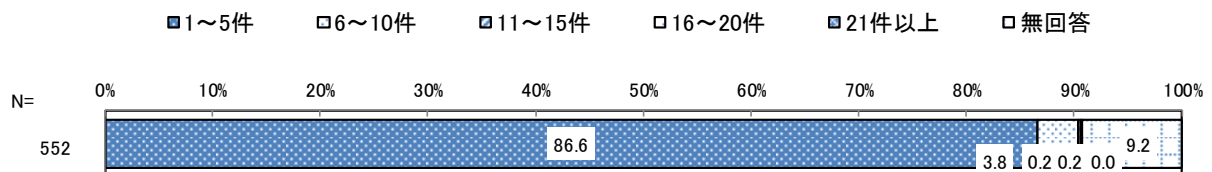
あればその件数もご記入ください。

【図表 8-15-1 小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無】



小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無は、「ある」が 50.1%、「ない」が 48.1%となっている。

【図表 8-15-2 小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した件数】



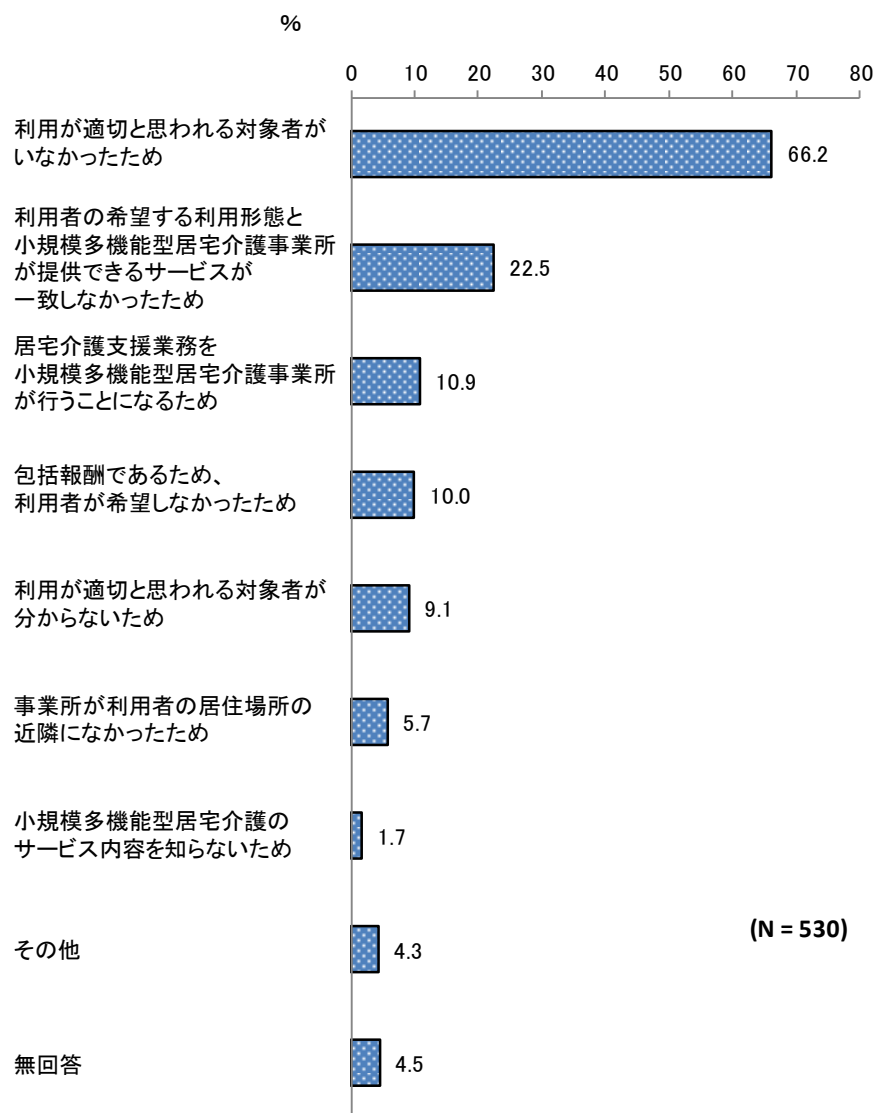
小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した件数は、「1~5 件」が 86.6%で最も高く、次いで「6~10 件」が 3.8%となっている。

②小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由

問 15 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 15－1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。（○はいくつでも）

【図表 8-15-3 小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由】



小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 66.2%と最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 22.5%、「居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため」が 10.9%となっている。

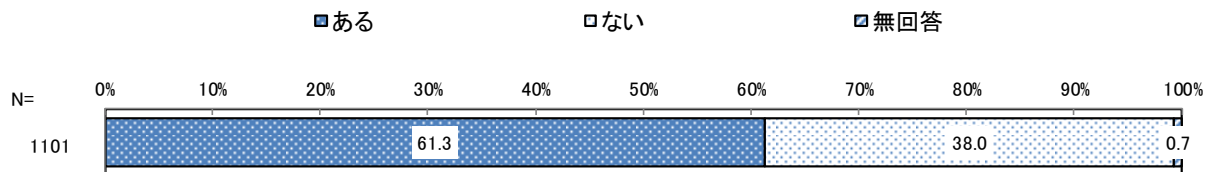
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無

問 16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。(○は1つ)

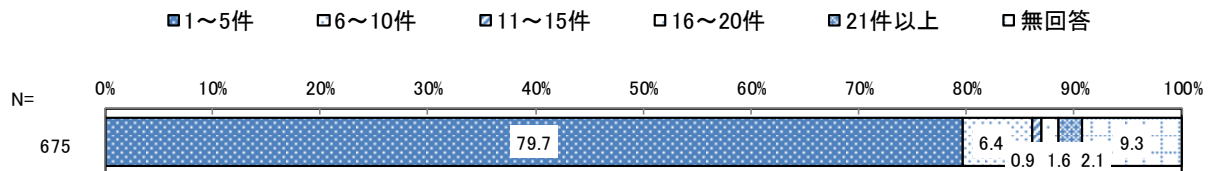
あればその件数もご記入ください。

【図表 8-16-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験の有無は、「ある」が 61.3%、「ない」が 38.0%となっている。

【図表 8-16-2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した件数】



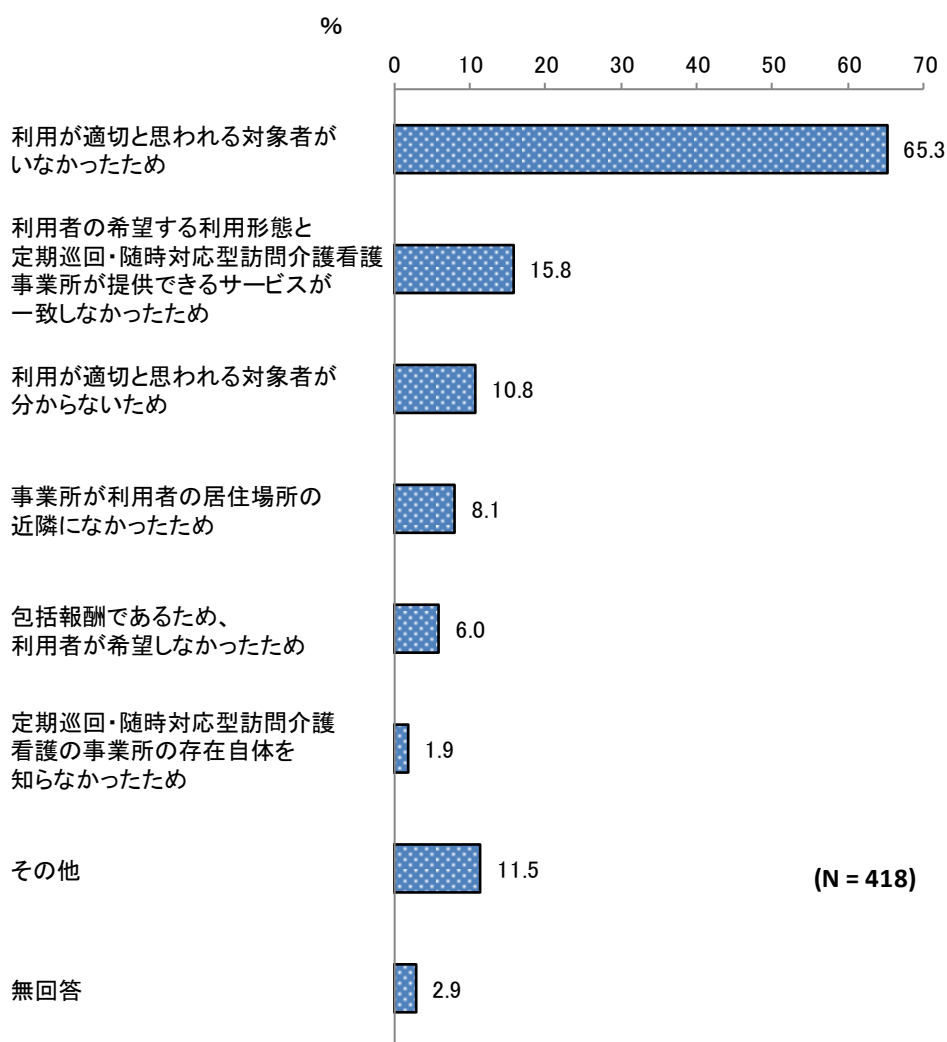
定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した件数は、「1~5件」が 79.7%で最も高く、次いで「6~10件」が 6.4%、「21件以上」が 2.1%となっている。

②定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由

問 16 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 16－1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図表 8-16-3 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討したことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 65.3%と最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 15.8%、「利用が適切と思われる対象者が分からないため」が 10.8%となっている。なお、「その他」が 11.5%となっている。

(9) ケアプラン作成で利用しにくいサービス

問 17 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

【図表 8-17-1 ケアプラン作成で利用しにくいサービス】

	回答数	事業所の質が悪い	高いサービスの利用料が	標準サービスの利用の基	サービスの希望とそぐわいな	その他
訪問介護	496	62	5	92	107	230
(介護予防)訪問入浴介護	274	5	148	15	52	54
(介護予防)訪問看護	194	16	118	13	23	24
(介護予防)訪問リハビリテーション	292	8	74	96	42	72
(地域密着型)通所介護	103	15	32	9	33	14
(介護予防)通所リハビリテーション	210	17	63	41	39	50
(介護予防)福祉用具貸与	76	12	5	28	11	20
(介護予防)居宅療養管理指導	136	24	38	7	26	41
(介護予防)短期入所生活介護	127	19	20	9	37	42
(介護予防)短期入所療養介護	159	9	26	37	36	51
(介護予防)特定福祉用具販売	37	5	3	10	9	10
住宅改修	53	4	6	18	10	15
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	244	12	42	16	114	60
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	427	26	117	36	121	127
夜間対応型訪問介護	275	6	43	27	77	122
(介護予防)認知症対応型通所介護	116	7	30	12	27	40
看護小規模多機能型居宅介護	192	8	44	24	65	51
介護予防型訪問サービス	154	15	2	29	25	83
介護予防型通所サービス	67	9	1	8	26	23
生活支援型訪問サービス	125	9	0	15	28	73
生活支援型通所サービス	111	7	0	11	32	61
その他の介護(予防)サービス	20	3	1	1	3	12

ケアプランを作成するに当たり利用しにくいサービスは、「訪問介護」が 496 件で最も多く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 427 件、「(介護予防)訪問リハビリテーション」が 292 件となっている。

	回答数	必ずしも必要ではないが利用者が必要ではないとした	家族がサービスを希望し、調整が難しかった	必ずしも必要ではないが関係事業所の意向で組み込んだ	必ずしも必要ではないがあなたの所属する事業所や関係事業所の意向で組み込んだ	必ずしも必要ではないが利用すると安心だとい考え、利用を勧めた	その他
訪問介護	186	56	51	30	28	21	
(介護予防)訪問入浴介護	30	4	9	2	5	10	
(介護予防)訪問看護	166	24	32	29	61	20	
(介護予防)訪問リハビリテーション	90	30	23	14	9	14	
(地域密着型)通所介護	98	14	30	25	20	9	
(介護予防)通所リハビリテーション	73	30	22	9	4	8	
(介護予防)福祉用具貸与	159	52	37	16	44	10	
(介護予防)居宅療養管理指導	173	26	24	55	25	43	
(介護予防)短期入所生活介護	76	7	29	1	31	8	
(介護予防)短期入所療養介護	30	4	11	0	10	5	
(介護予防)特定福祉用具販売	33	10	10	1	6	6	
住宅改修	54	15	15	2	15	7	
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	21	3	7	2	2	7	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	55	5	12	20	6	12	
夜間対応型訪問介護	24	4	8	1	3	8	
(介護予防)認知症対応型通所介護	19	2	5	2	3	7	
看護小規模多機能型居宅介護	19	2	5	1	3	8	
介護予防型訪問サービス	80	36	26	1	8	9	
介護予防型通所サービス	29	10	10	0	4	5	
生活支援型訪問サービス	24	8	5	2	2	7	
生活支援型通所サービス	16	3	4	0	1	8	
その他の介護(予防)サービス	13	2	4	1	1	5	

(11) ケアプラン作成で不足しているサービス

問 19 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に不足していると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

【図表 8-19-1 ケアプラン作成で不足しているサービス】

	回答数	者の必要なく事業所が利用を	な希望時間にあつたが、	希望者がなかったサービスを	望家族がサービス希望	た料以上のサービスを利用できないが利用	その他
訪問介護	660	134	322	46	38	68	52
(介護予防)訪問入浴介護	112	18	29	22	14	20	9
(介護予防)訪問看護	206	1	12	48	41	85	19
(介護予防)訪問リハビリテーション	127	14	19	31	20	30	13
(地域密着型)通所介護	190	17	27	71	10	55	10
(介護予防)通所リハビリテーション	152	23	31	40	9	31	18
(介護予防)福祉用具貸与	73	0	0	29	21	14	9
(介護予防)居宅療養管理指導	135	4	2	36	23	41	29
(介護予防)短期入所生活介護	147	6	23	41	21	43	13
(介護予防)短期入所療養介護	79	8	9	23	12	19	8
(介護予防)特定福祉用具販売	35	1	0	9	8	12	5
住宅改修	50	0	0	10	20	12	8
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	98	18	12	15	19	18	16
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	195	69	33	18	11	30	34
夜間対応型訪問介護	115	58	7	15	14	13	8
(介護予防)認知症対応型通所介護	56	18	1	16	9	8	4
看護小規模多機能型居宅介護	85	25	8	19	13	10	10
介護予防型訪問サービス	129	35	47	15	9	6	17
介護予防型通所サービス	58	4	13	18	7	7	9
生活支援型訪問サービス	76	29	10	12	7	2	16
生活支援型通所サービス	58	23	2	13	6	1	13
その他の介護(予防)サービス	12	2	1	4	1	1	3

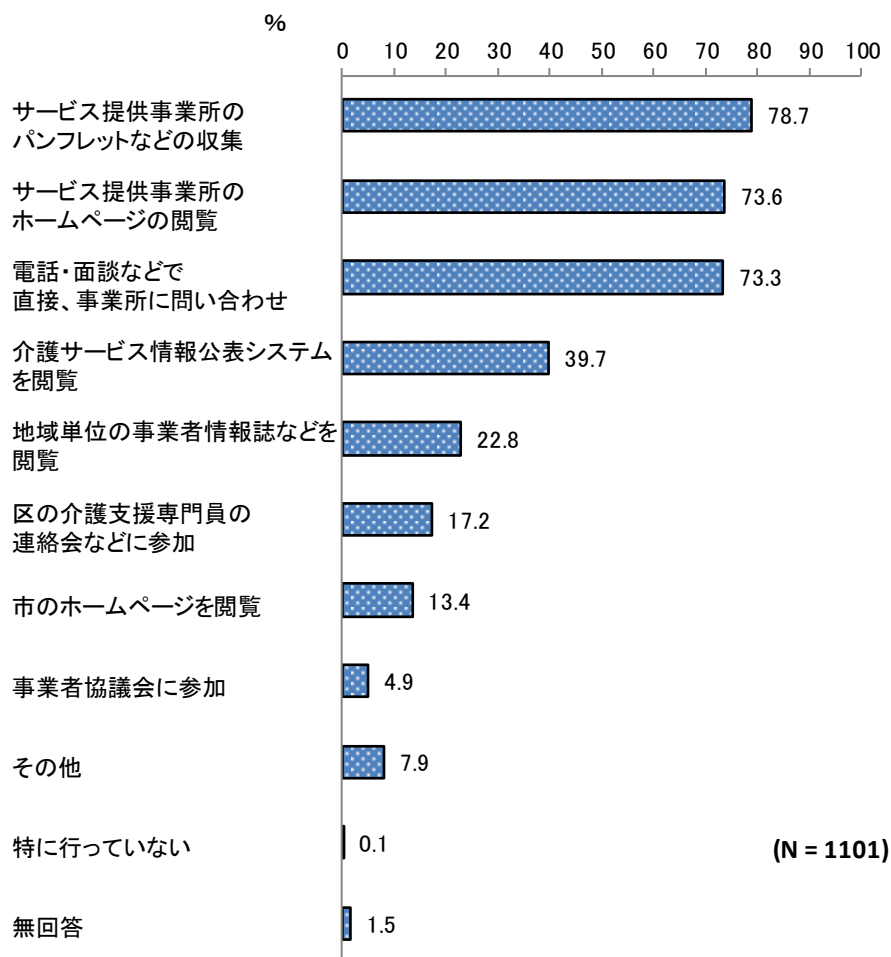
ケアプランを作成するに当たり不足していると思うサービスは、「訪問介護」が 660 件で最も多く、次いで「(介護予防)訪問看護」が 206 件、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 195 件となっている。

(12) 情報収集や連絡・調整の方法

問 20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

(○はいくつでも)

【図表 8-20-1 情報収集や連絡・調整の方法】

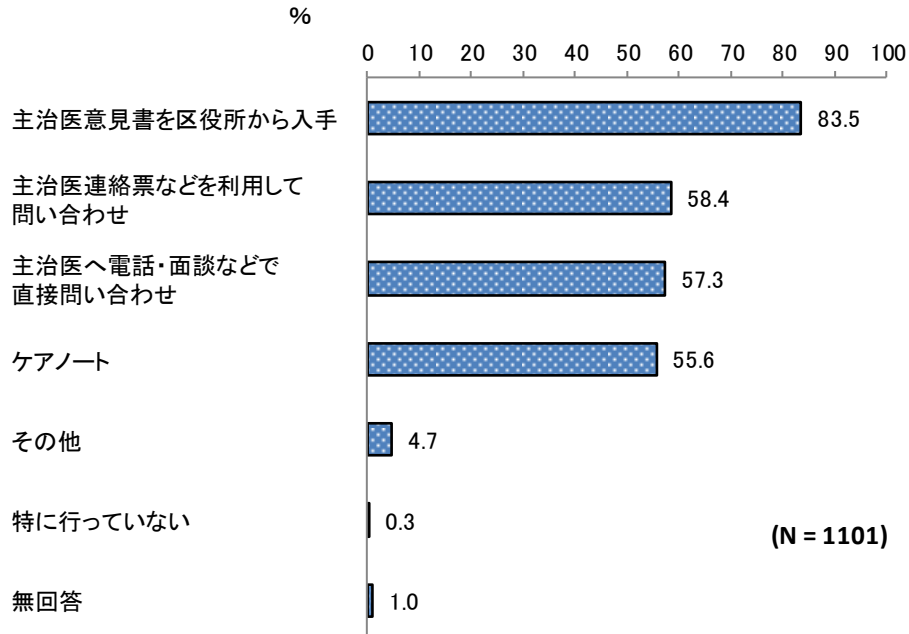


情報収集や連絡・調整の方法は、「サービス提供事業所のパンフレットなどの収集」が 78.7%と最も高く、次いで「サービス提供事業所のホームページの閲覧」が 73.6%、「電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ」が 73.3%となっている。

(13) 医療機関からの情報収集の方法

問 21 ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などは、どのようにしていますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-21-1 医療機関からの情報収集の方法】



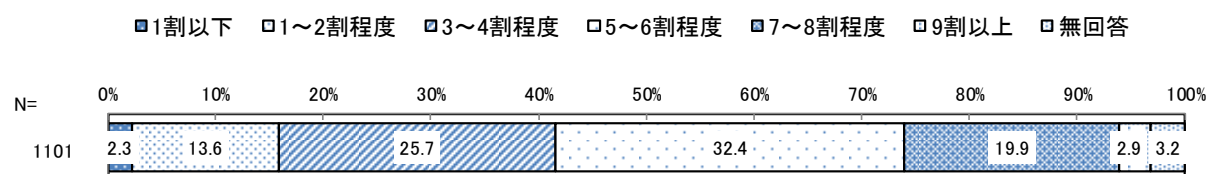
医療機関からの情報収集の方法は、「主治医意見書を区役所から入手」が 83.5%と最も高く、次いで「主治医連絡票などを利用して問い合わせ」が 58.4%、「主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ」が 57.3%となっている。

(14) 自立につながる支援ができたケアプラン

①自立につながる支援ができたケアプランの割合

問 22 本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでどの程度作成できたと考えますか。(〇は1つ)

【図表 8-22-1 自立につながる支援ができたケアプランの割合】



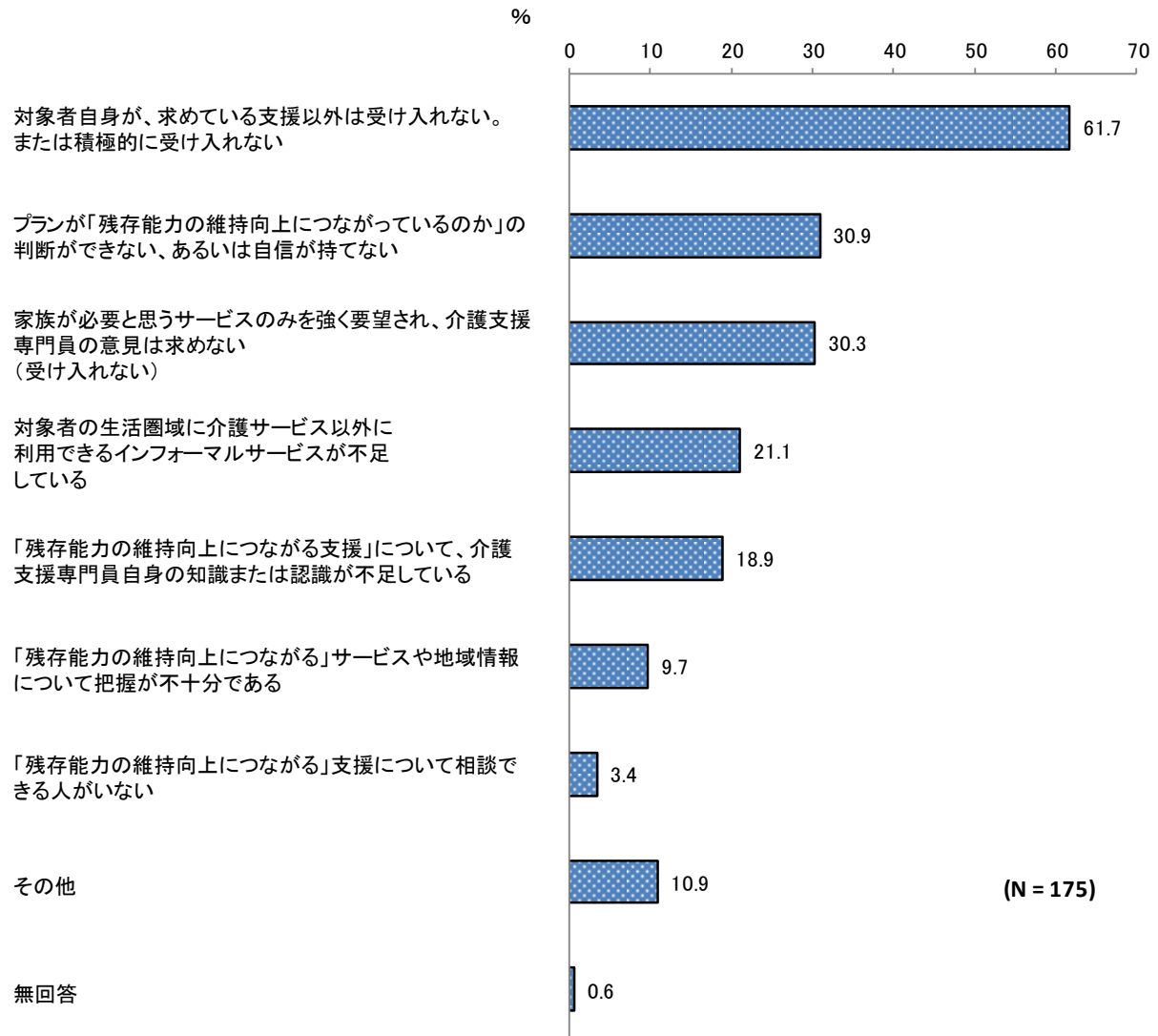
自立につながる支援ができたケアプランの割合は、「5～6割程度」が32.4%と最も高く、次いで「3～4割程度」が25.7%、「7～8割程度」が19.9%となっている。

②自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由

問 22 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 22-1 そのように考える理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-22-2 自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由】

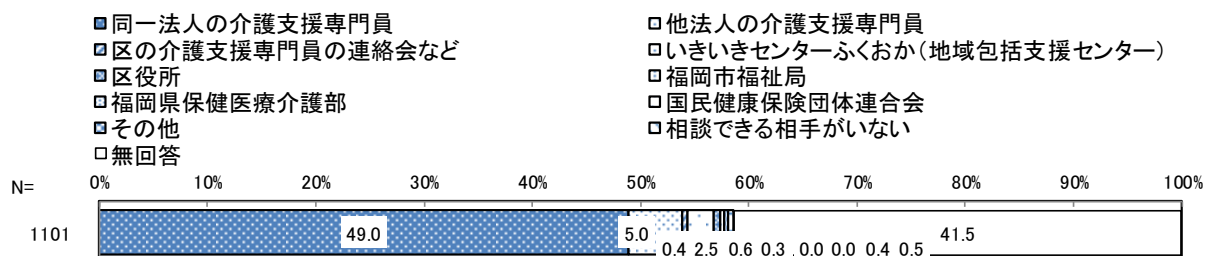


自立につながる支援ができたケアプランが少ないと考える理由は、「対象者自身が、求めている支援以外は受け入れない。または積極的に受け入れない」が 61.7%と最も高く、次いで「プランが「残存能力の維持向上につながっているか」の判断ができない、あるいは自信が持てない」が 30.9%、「家族が必要と思うサービスのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない（受け入れない）」が 30.3%となっている。

(15) 計画作成での相談相手

問 23 ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。(○は1つ)

【図表 8-23-1 計画作成での相談相手】

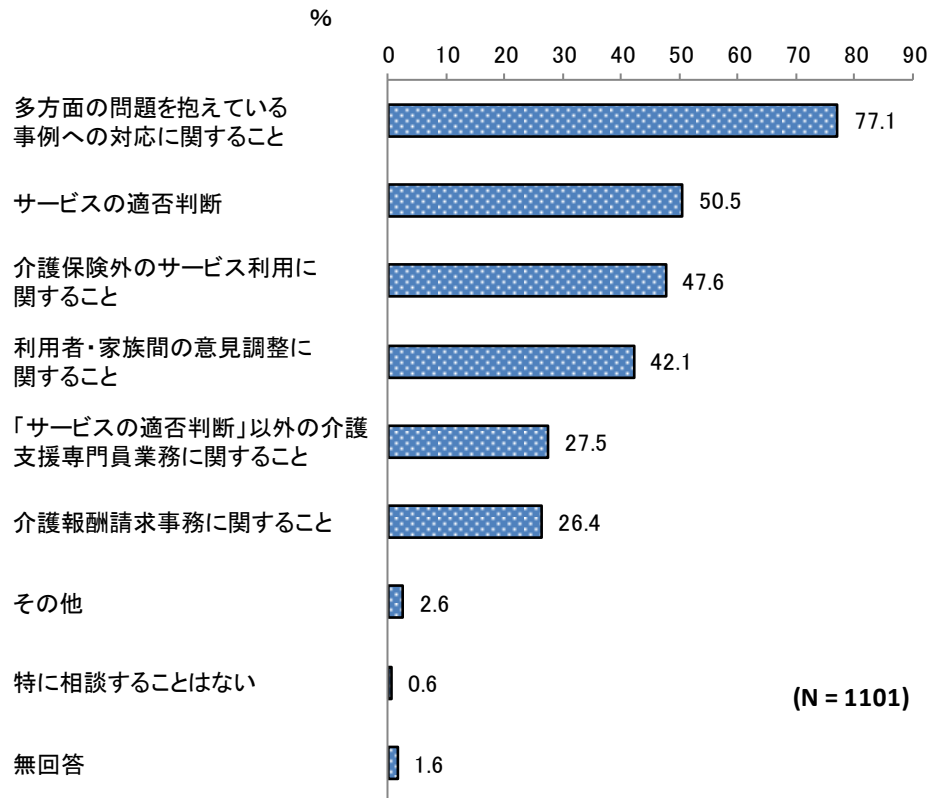


計画作成での相談相手は、「同一法人の介護支援専門員」が 49.0%と最も高く、次いで「他法人の介護支援専門員」が 5.0%、「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 2.5%となっている。

(16) 計画作成での相談内容

問 24 どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-24-1 計画作成での相談内容】

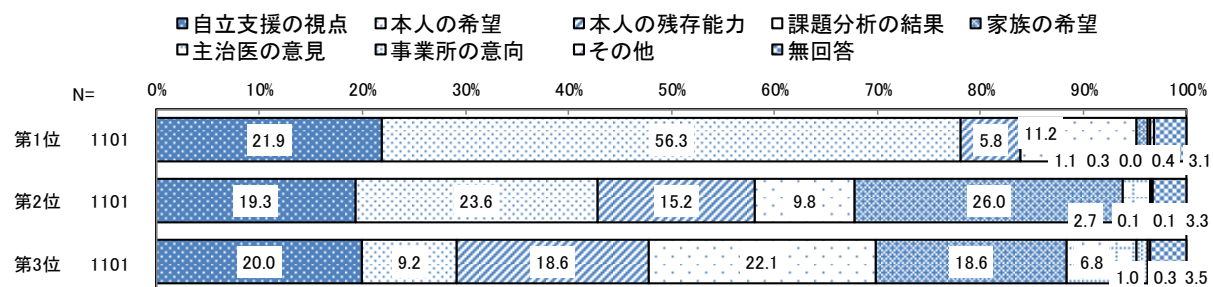


計画作成での相談内容は、「多方面の問題を抱えている事例への対応に関すること」が 77.1%と最も高く、次いで「サービスの適否判断」が 50.5%、「介護保険外のサービス利用に関すること」が 47.6%となっている。

(17) 計画作成の際に重視していること

問 25 ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、その番号を記入してください。

【図表 8-25-1 計画作成の際に重視していること】



計画作成の際に重視していることの第1位は、「本人の希望」が56.3%と最も高く、次いで「自立支援の視点」が21.9%、「課題分析の結果」が11.2%となっている。

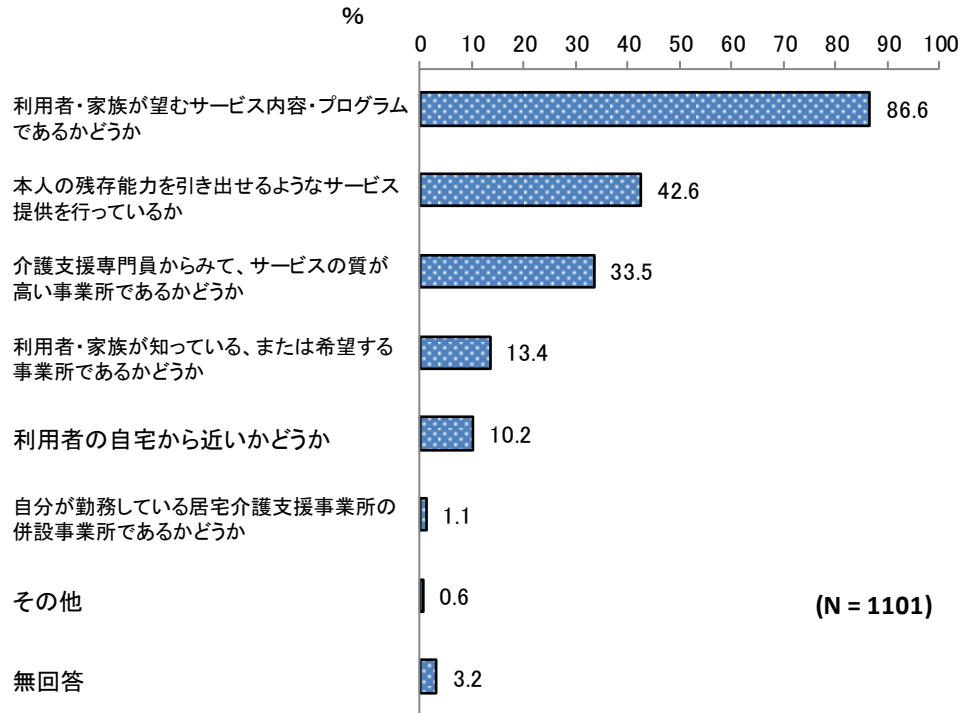
第2位は、「家族の希望」が26.0%と最も高く、次いで「本人の希望」が23.6%、「自立支援の視点」が19.3%となっている。

第3位は、「課題分析の結果」が22.1%と最も高く、次いで「自立支援の視点」が20.0%、「本人の残存能力」及び「家族の希望」が18.6%となっている。

(18) 事業所紹介の際に重視していること

問 26 あなたは利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(○は2つまで)

【図表 8-26-1 事業所紹介の際に重視していること】



事業所紹介の際に重視していることは、「利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか」が 86.6%と最も高く、次いで「本人の残存能力を引き出せるようなサービス提供を行っているか」が 42.6%、「介護支援専門員の目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか」が 33.5%となっている。

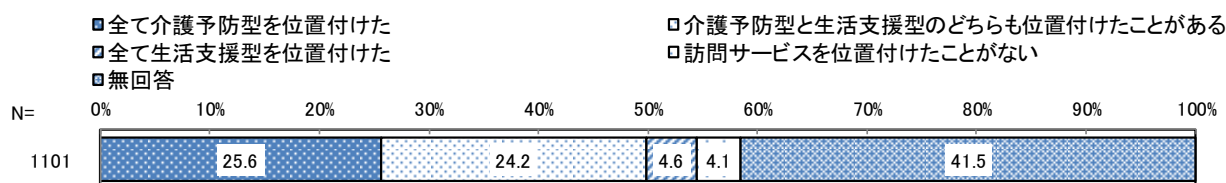
3. 介護予防・生活支援サービス事業について

(1) 訪問サービスについて

①訪問サービスの種類の位置付け状況

問 27 訪問サービスについて、種類の位置付けの状況を教えてください。(○は1つ)

【図表 8-27-1 訪問サービスの種類の位置付け状況】



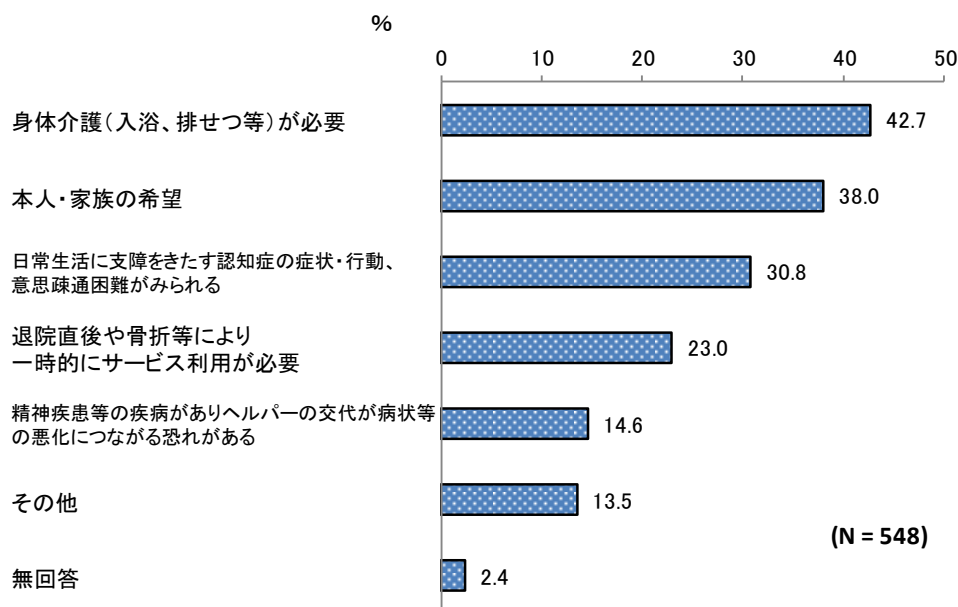
訪問サービスの種類の位置付け状況は、「全て介護予防型を位置付けた」が 25.6%と最も高く、次いで「介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある」が 24.2%、「全て生活支援型を位置付けた」が 4.6%となっている。

②介護予防型を位置付けた理由

問 27 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 27-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-27-2 訪問サービスで介護予防型を位置付けた理由】



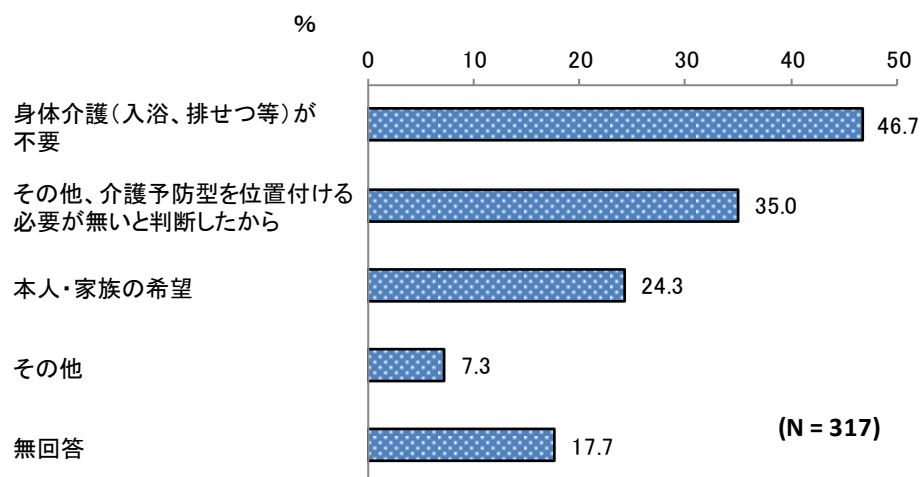
訪問サービスで介護予防型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が必要」が 42.7%と最も高く、次いで「本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）」が 38.0%、「日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる」が 30.8%となっている。

③生活支援型を位置付けた理由

問 27 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 27-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-27-3 訪問サービスで生活支援型を位置付けた理由】

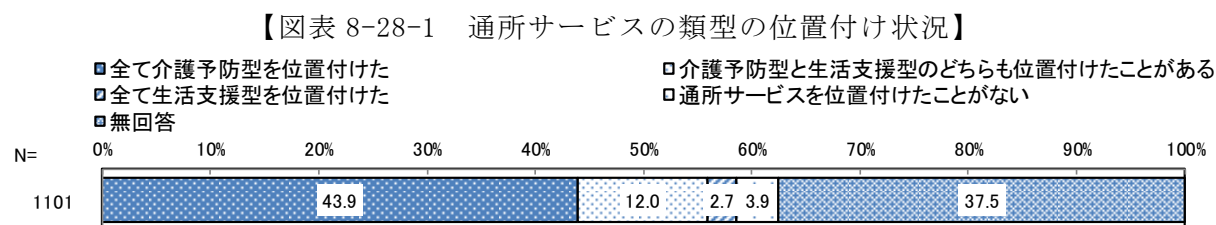


訪問サービスで生活支援型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が不要」が 46.7%と最も高く、次いで「その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから」が 35.0%、「本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）」が 24.3%となっている。

(2) 通所サービスについて

①通所サービスの種類の位置付け状況

問 28 通所サービスについて、種類の位置付けの状況を教えてください。(○は1つ)

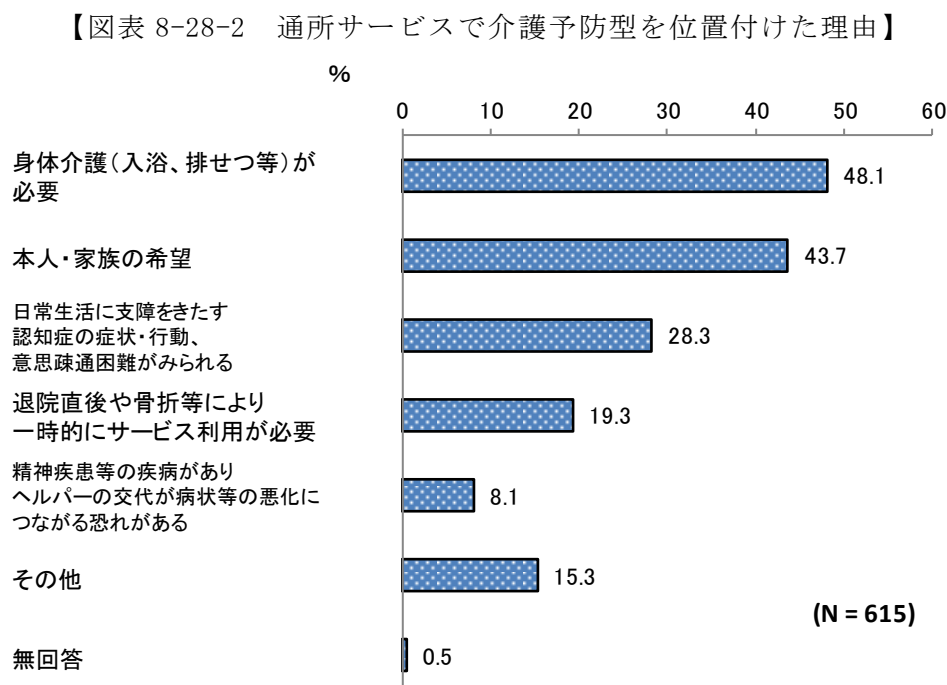


通所サービスの種類の位置付け状況は、「全て介護予防型を位置付けた」が 43.9%と最も高く、次いで「介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある」が 12.0%、「通所サービスを位置付けたことがない」が 3.9%となっている。

②介護予防型を位置付けた理由

問 28 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 28-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)



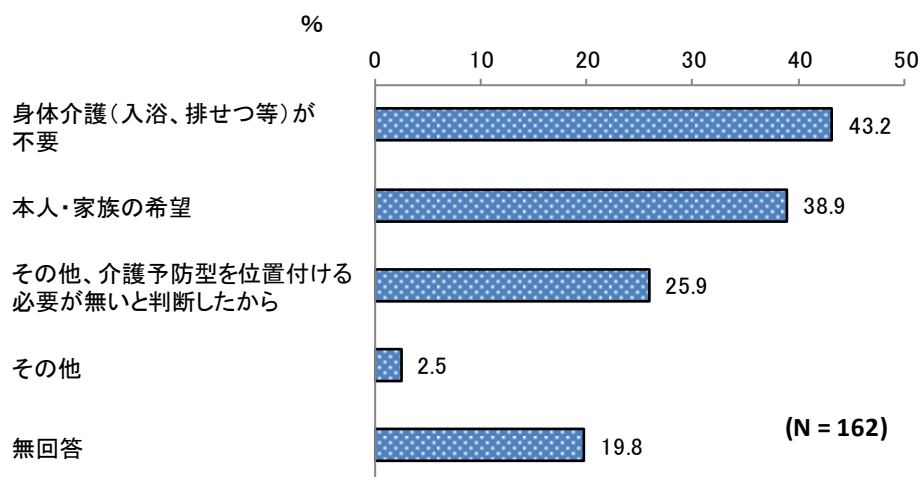
通所サービスで介護予防型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が必要」が 48.1%と最も高く、次いで「本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）」が 43.7%、「日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる」が 28.3%となっている。

③生活支援型を位置付けた理由

問 28 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 28－2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図表 8-28-3 通所サービスで生活支援型を位置付けた理由】



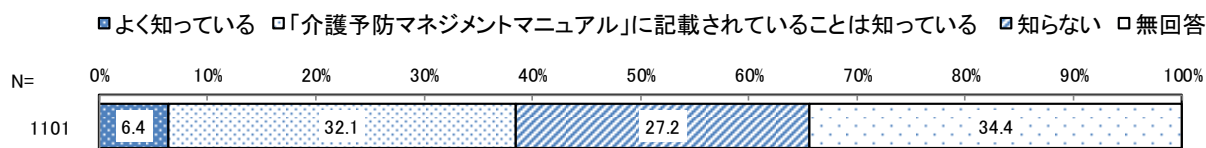
通所サービスで生活支援型を位置付けた理由は、「身体介護（入浴、排せつ等）が不要」が 43.2%と最も高く、次いで「本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）」が 38.9%、「その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから」が 25.9%となっている。

(3) サービス選択のフローチャートについて

① サービス選択のフローチャートの認知度

問 29 サービス選択のフローチャートを知っていますか。(○は1つ)

【図表 8-29-1 サービス選択のフローチャートの認知度】



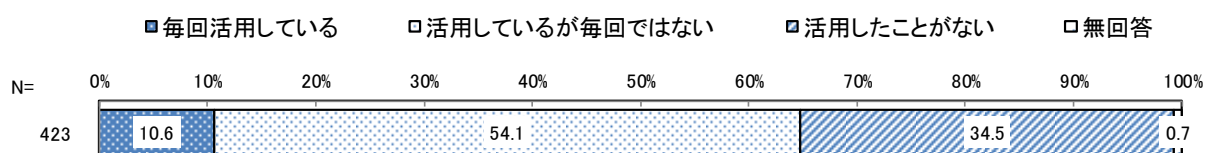
サービス選択のフローチャートの認知度は、『介護予防マネジメントマニュアル』に記載されていることは知っている」が 32.1%と最も高く、次いで「知らない」が 27.2%、「よく知っている」が 6.4%となっている。

② サービス選択のフローチャートの活用状況

問 29 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。

問 29-1 サービス選択のフローチャートを活用していますか。(○は1つ)

【図表 8-29-2 サービス選択のフローチャートの活用状況】



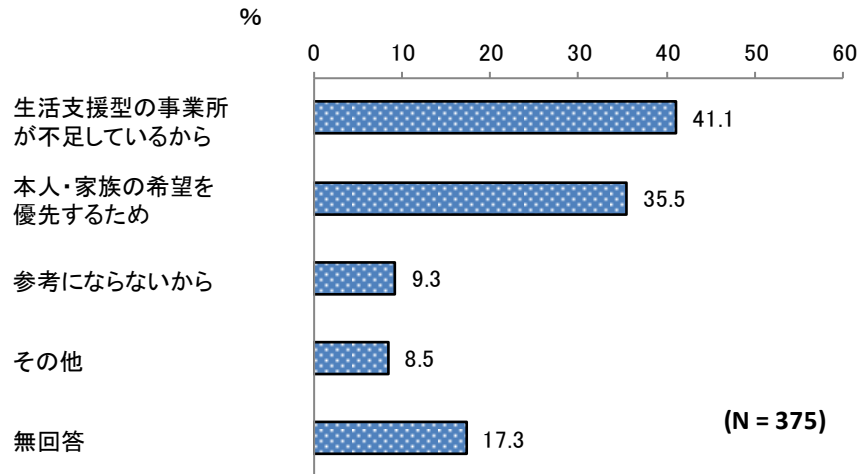
サービス選択のフローチャートの活用状況は、「活用しているが毎回ではない」が 54.1%と最も高く、次いで「活用したことがない」が 34.5%、「毎回活用している」が 10.6%となっている。

③サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由

問 29－1 で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 29－2 活用しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 8-29-3 サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由】

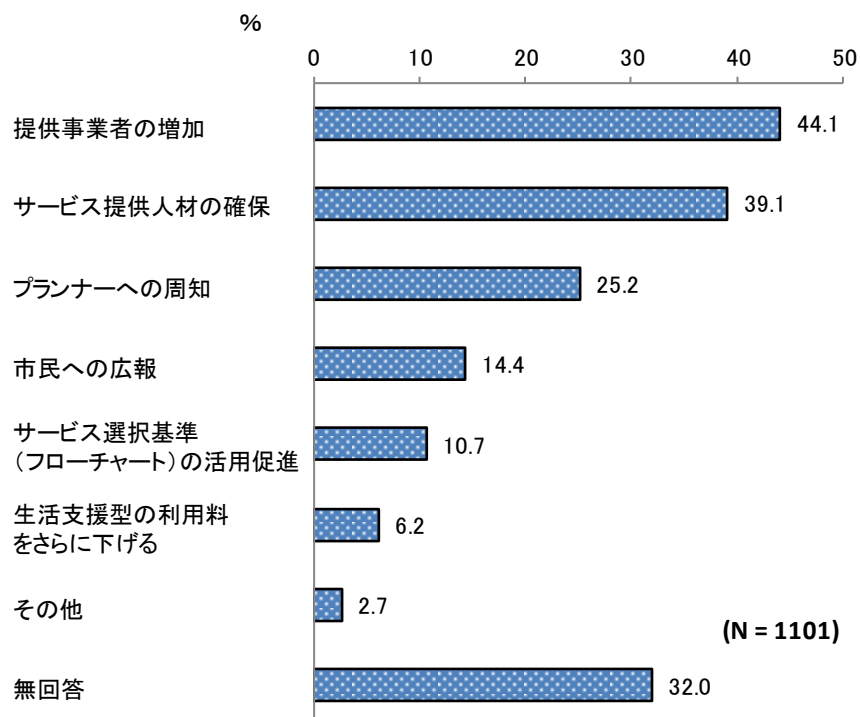


サービス選択のフローチャートを活用しなかった理由は、「生活支援型の事業所が不足しているから」が 41.1%と最も高く、次いで「本人・家族の希望を優先するため」が 35.5%、「参考にならないから」が 9.3%となっている。

（４）生活支援型サービスの普及に有効な方法

問 30 生活支援型サービスの普及に有効な方法について、あなたの考えを教えてください。（○はいくつでも）

【図表 8-30-1 生活支援型サービスの普及に有効な方法】



生活支援型サービスの普及に有効な方法は、「提供事業者の増加」が 44.1%と最も高く、次いで「サービス提供人材の確保」が 39.1%、「プランナーへの周知」が 25.2%となっている。

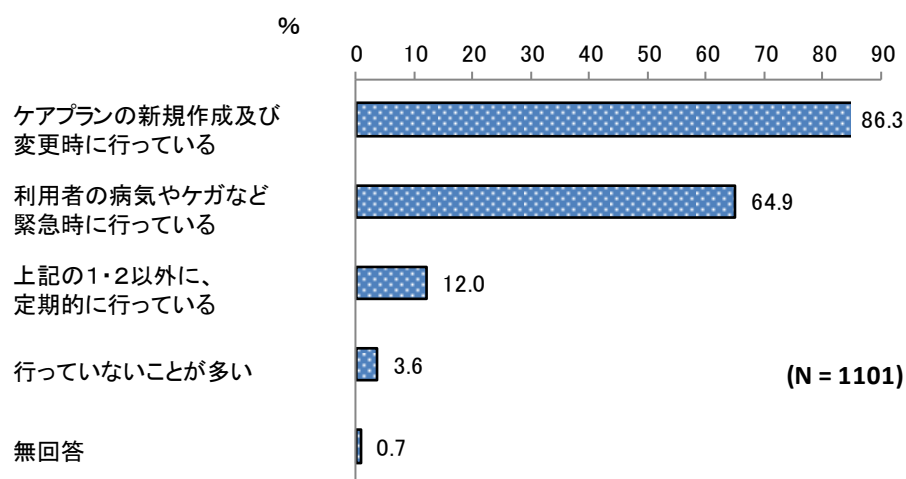
4. 他機関との連携について

(1) 主治医との連携

①主治医との連絡・報告の状況

問 31 主治医との連絡・報告を行っていますか。(○はいくつでも)

【図表 8-31-1 主治医との連絡・報告の状況】



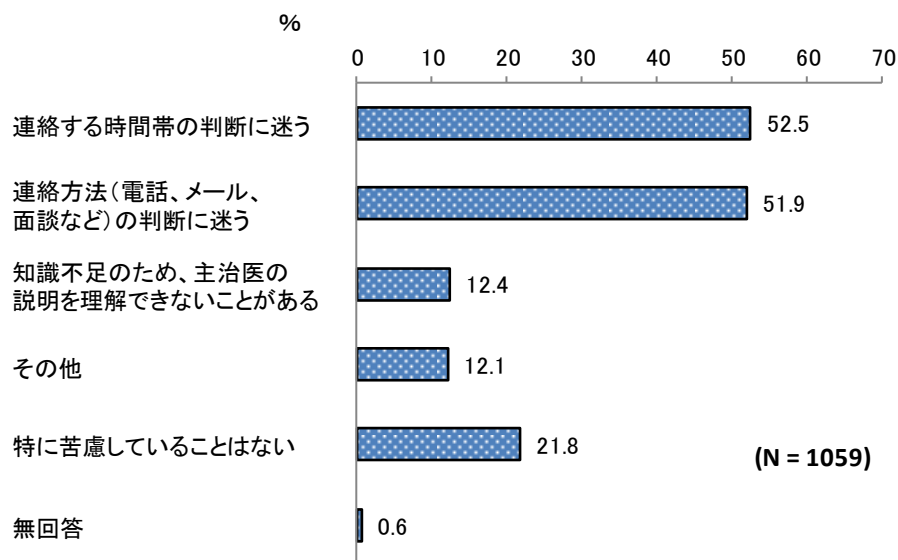
主治医との連絡・報告の状況は、「ケアプランの新規作成及び変更時に行っている」が86.3%と最も高く、次いで「利用者の病気やケガなど緊急時に行っている」が64.9%、「上記の1・2以外に定期的に行っている」が12.0%となっている。

②主治医との連携で苦慮していること

問31で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問31-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表 8-31-2 主治医との連携で苦慮していること】



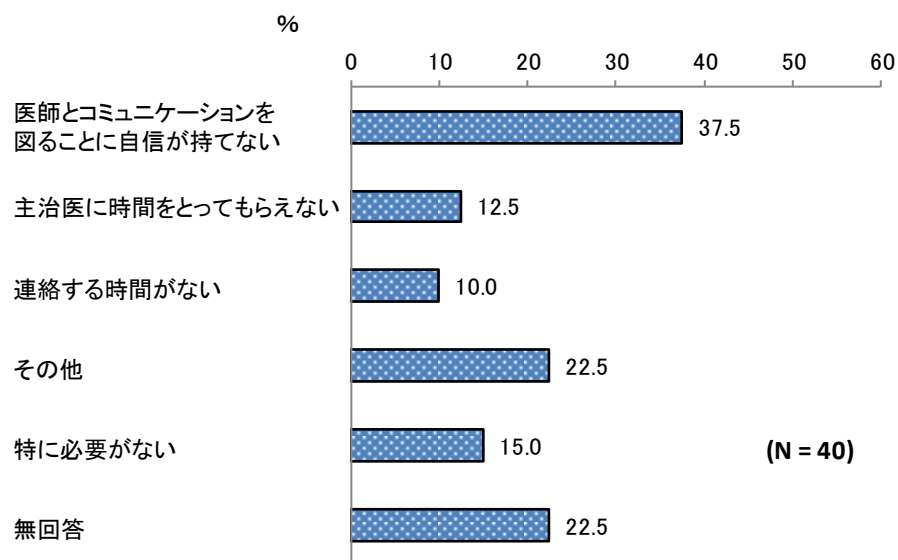
主治医との連携で苦慮していることは、「連絡する時間帯の判断に迷う」が 52.5%と最も高く、次いで「連絡方法（電話、メール、面談など）の判断に迷う」が 51.9%、「知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある」が 12.4%となっている。なお、「特に苦慮していることはない」が 21.8%となっている。

③主治医に連絡・報告を行っていない理由

問 31 で「4」と答えた方にうかがいます。

問 31－2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 8-31-3 主治医に連絡・報告を行っていない理由】



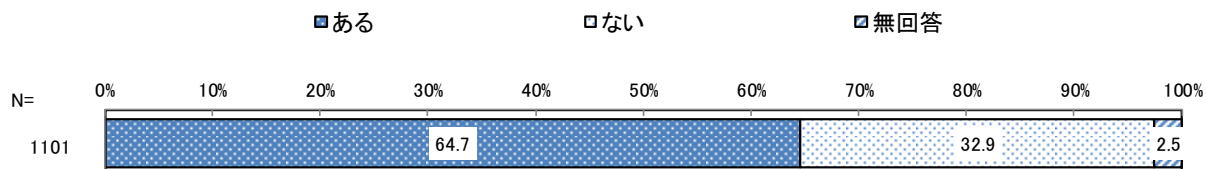
主治医に連絡・報告を行っていない理由は、「医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない」が 37.5%と最も高く、次いで「主治医に時間をとってもらえない」が 12.5%、「連絡する時間がない」が 10.0%となっている。なお、「その他」が 22.5%、「特に必要がない」が 15.0%となっている。

(2) 地域ケア会議

①地域ケア会議への参加有無

問 32 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(○は1つ)

【図表 8-32-1 地域ケア会議への参加有無】



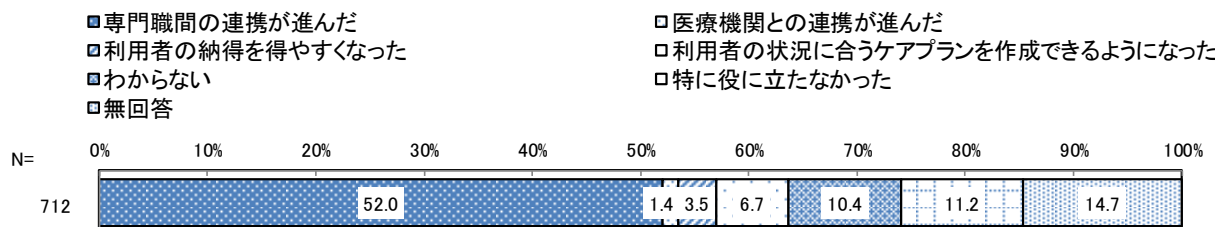
地域ケア会議への参加有無は、「ある」が 64.7%、「ない」が 32.9%となっている。

②地域ケア会議の効果

問 32 で「1」と答えた方にうかがいます。

問 32-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(○は1つ)

【図表 8-32-2 地域ケア会議の効果】

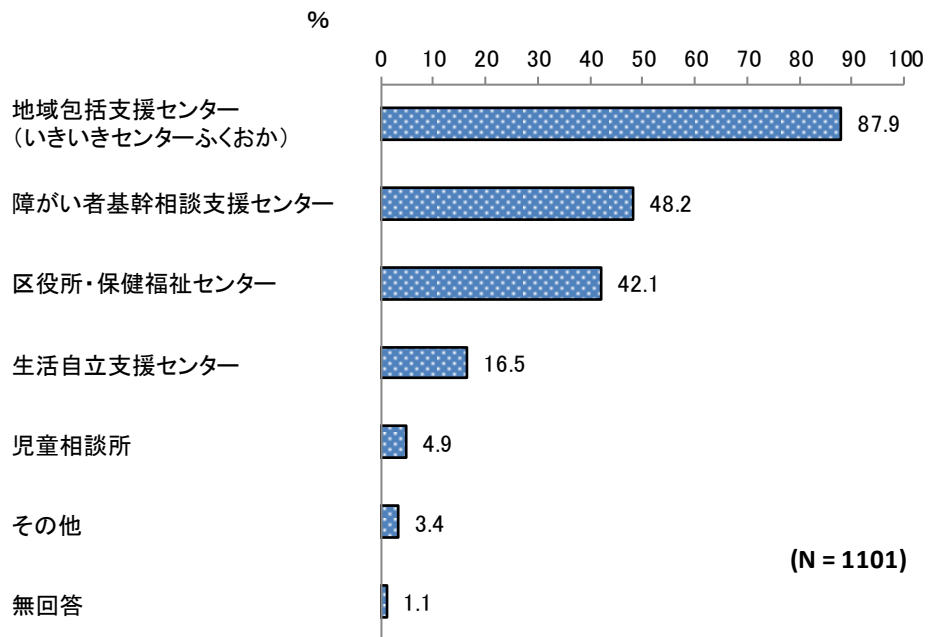


地域ケア会議に参加した効果としては、「専門職間の連携が進んだ」が 52.0%と最も高く、次いで「特に役に立たなかった」が 11.2%、「わからない」が 10.4%となっている。

(3) 複雑化した課題の相談先

問 33 あなたは、8050問題など、対応の難しい複雑化した課題に関わることになった際、どのような機関に相談したり、連携を図ったりしたいですか。
(〇はいくつでも)

【図表 8-33-1 複雑化した課題の相談先】



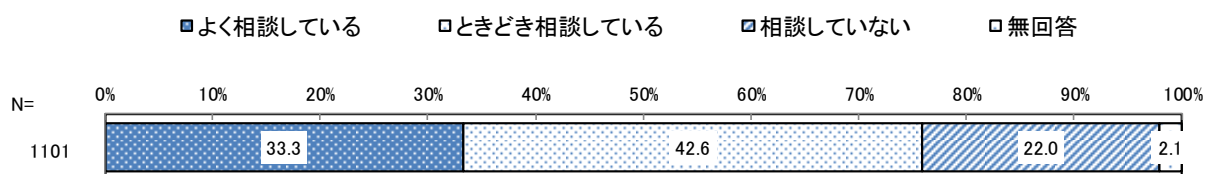
複雑化した課題の相談先は、「地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）」が 87.9%と最も高く、次いで「障がい者基幹相談支援センター」が 48.2%、「区役所・保健福祉センター」が 42.1%となっている。

5. 処遇困難事例などへの対応について

(1) 区役所や地域包括支援センターへの相談の有無

問 34 処遇困難事例に対応する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談していますか。（○は1つ）

【図表 8-34-1 区役所や地域包括支援センターへの相談の有無】

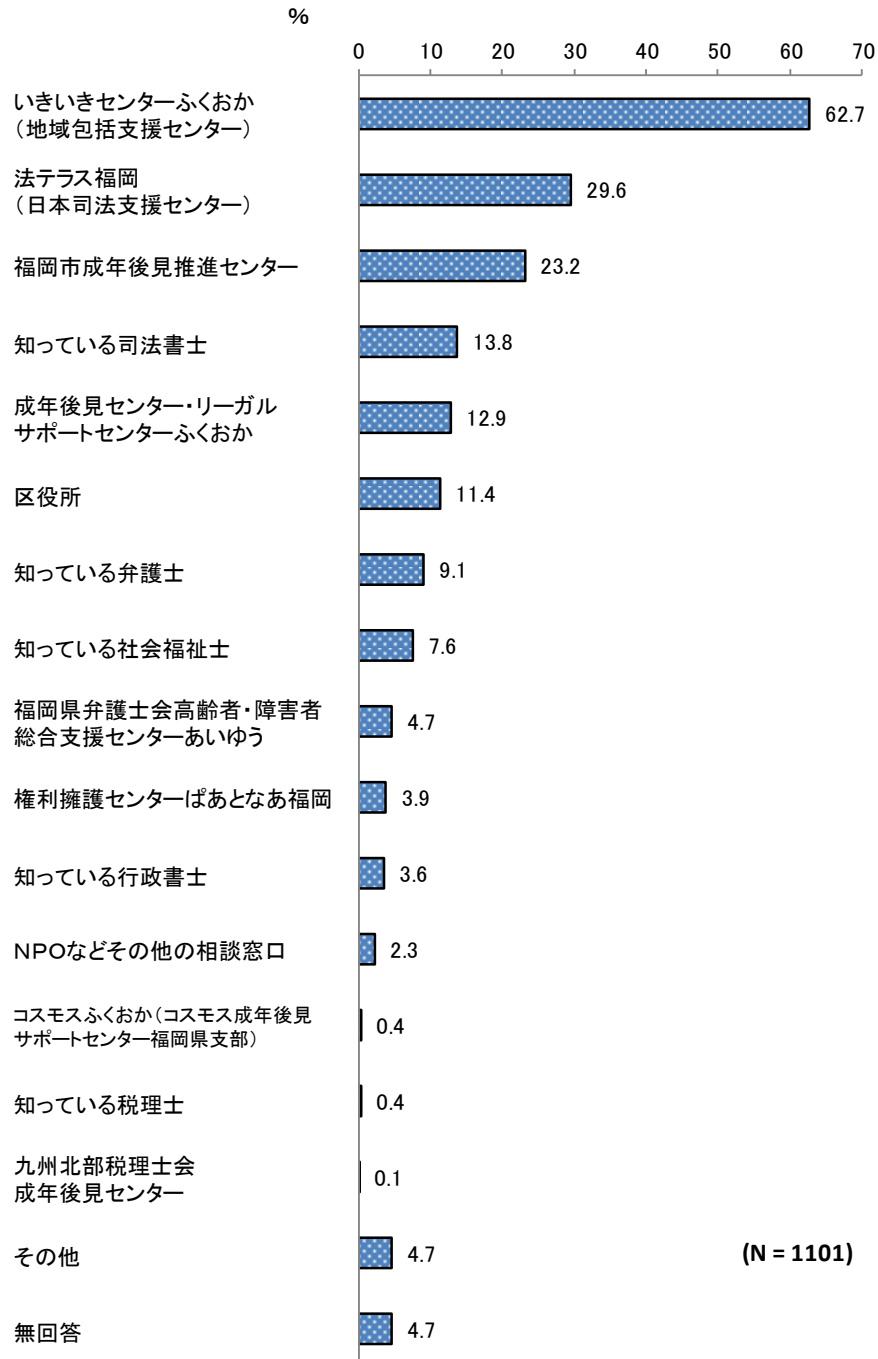


区役所や地域包括支援センターへの相談の有無は、「ときどき相談している」が 42.6%と最も高く、次いで「よく相談している」が 33.3%、「相談していない」が 22.0%となっている。

(2) 成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先

問 35 給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要だと思われる場合、どの相談窓口（誰）に相談していますか。（〇はいくつでも）

【図表 8-35-1 成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先】



成年後見制度の利用が必要と思われる場合の相談先は、「いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 62.7%と最も高く、次いで「法テラス福岡（日本司法支援センター）」が 29.6%、「福岡市成年後見推進センター」が 23.2%となっている。

（３）成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数

問 36 次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態像の例です。

現在（回答時点）給付管理を行っている方のうち、次の表の状態像の例に該当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になると思われる時期別に記入してください。

※１：対象者１人につき２つ以上の状態像に該当する場合は、最もあてはまると考える状態像にカウントしてください。

※２：現在、成年後見制度を申し立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。

※３：それぞれの状態像に該当する方で、把握している現状において、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下段に内数として記入してください。

【図表 8-36-1 成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数（合計）】

成年後見制度の利用が必要と考えられる状態像		制度利用が必要と思われる時期		
		1年以内	1～3年以内	わからない
1	本人の判断能力が不十分であるため、治療や介護・福祉サービスの必要性や契約を理解できない、拒否があるなど支援が進まない	343人	323人	308人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	146人	132人	83人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のような金銭や財産の管理に関する状況が発生している	257人	228人	144人
	・商品やサービスを次々購入するなど、収入に見合った適切な支出ができない			
	・預貯金等の管理・解約ができない			
	・保険金の受け取りができない			
	・税や保険料、利用料などを現に滞納、または負債があるが、適切に返済等の対応ができていない			
	・土地や建物、有価証券等の資産の管理が適切でない			
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	127人	96人	41人
3	本人の判断能力が不十分であるため、預金や年金を取り上げられるなど経済的虐待や金銭搾取、その他の虐待（身体的、性的、心理的、ネグレクト等）を受けている、またはその疑いがある	58人	42人	106人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	36人	39人	32人
4	本人の判断能力が不十分であるため、不動産の処分や遺産分割協議、相続、訴訟手続きなどの法律行為を行えない。消費者被害や悪徳業者に付きまとわれている、またはその疑いがある	66人	40人	138人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	26人	18人	33人
5	本人の判断能力が不十分であるために、その他困難な事情があるが、適切に対応できていない	115人	93人	137人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	72人	49人	44人

成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数について合計値をみると、「わからない」を含むすべての時期で状態像1が最も高くなっている。

また、各状態像のうち、多くの場合で本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方が4割以上を占めている。

6. 行政の役割について

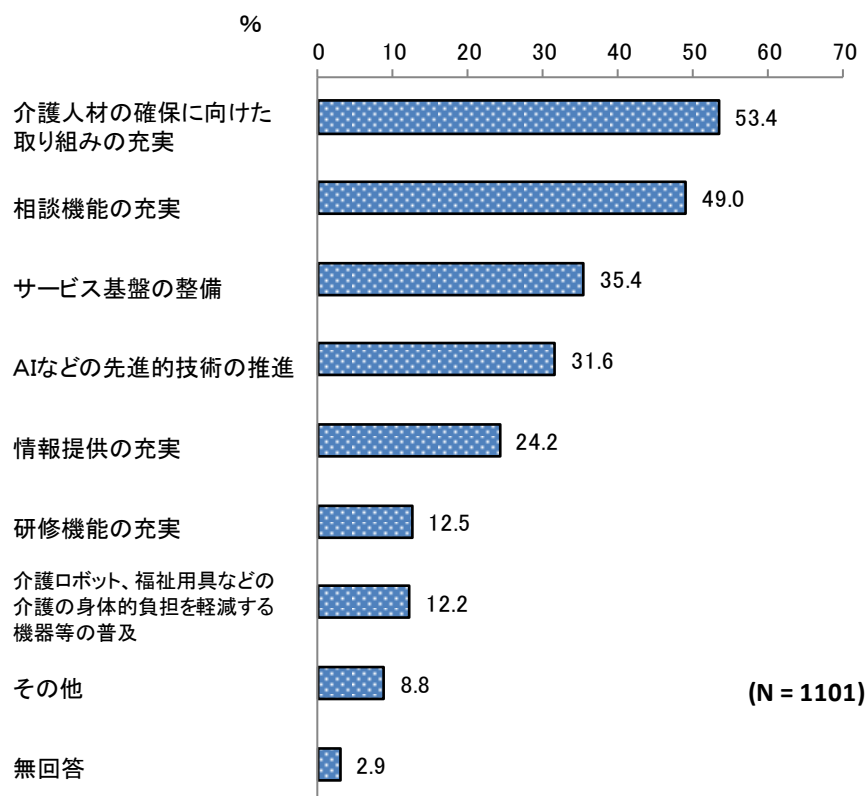
(1) 行政の役割

①行政に期待する役割

問 37 介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。

(○はいくつでも)

【図表 8-37-1 行政に期待する役割】



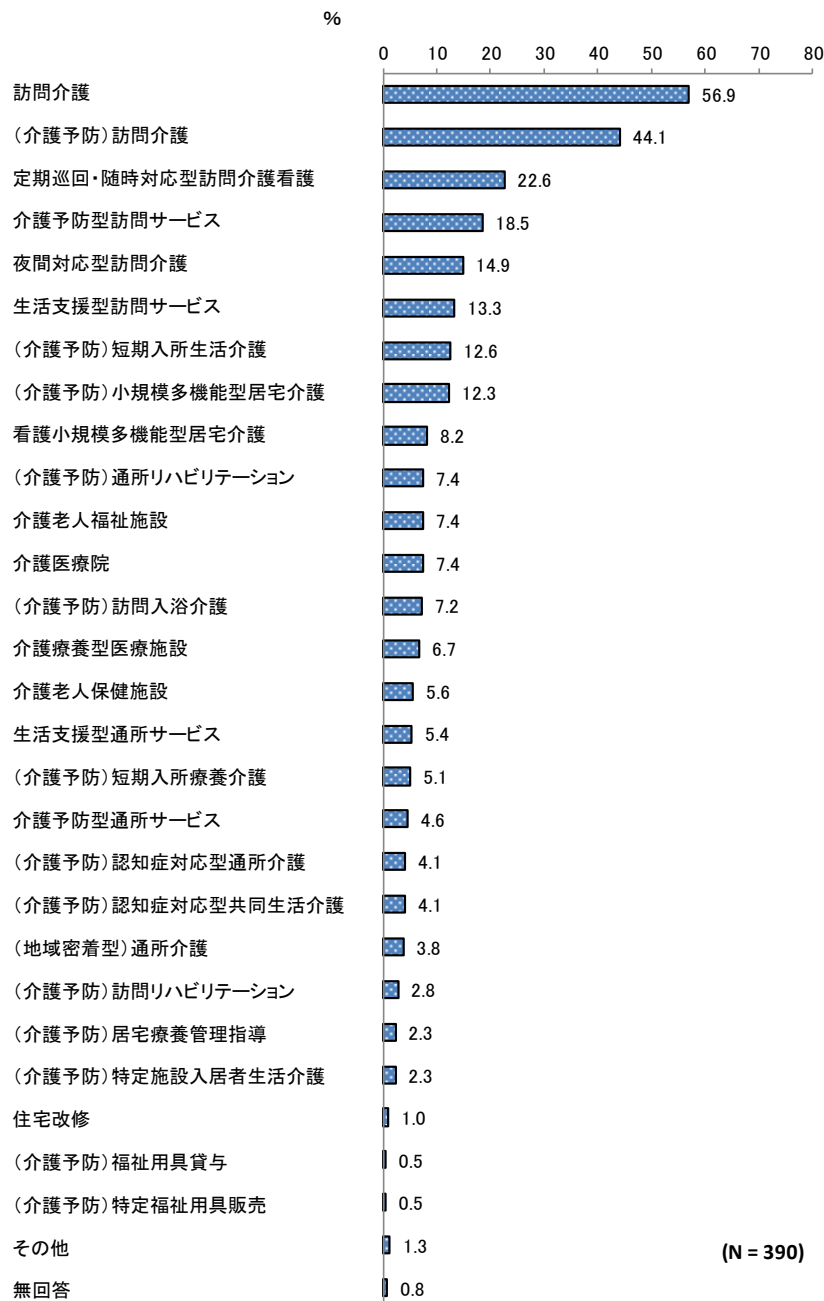
今後、行政に期待する役割は、「介護人材の確保に向けた取り組みの充実」が 53.4%と最も高く、次いで「相談機能の充実」が 49.0%、「サービス基盤の整備」が 35.4%となっている。

②整備が必要なサービス基盤

問 37 で「6」と答えた方にうかがいます。

問 37-1 特にどのサービス基盤を整備する必要がある（需要に対して不足している）と思いますか。（○はいくつでも）

【図表 8-37-2 整備が必要なサービス基盤】



整備が必要なサービス基盤は、「訪問介護」が 56.9%と最も高く、次いで「(介護予防)訪問介護」が 44.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 22.6%となっている。

Ⅲ. 調 査 票



1. 高齢者一般調査A

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

【問5で「1」～「4」と答えた方にうかがいます】
問5-1 あなたは、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。
2か所以上にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。（○は1つ）

- 1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
- 2. 同じ区内にいる
- 3. 福岡市内にいる
- 4. 福岡県内にいる
- 5. 福岡県外にいる
- 6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（総込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～300万円未満
- 6. 300～400万円未満
- 7. 400～500万円未満
- 8. 500～600万円未満
- 9. 600～1,000万円未満
- 10. 1,000万円以上

問7 あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。（○は1つ）

- 1. 要介護認定の申請していない
- 2. 要介護認定を申請したが、非該当（自立）だった
- 3. 要支援1
- 4. 要支援2
- 5. 要介護1
- 6. 要介護2
- 7. 要介護3
- 8. 要介護4
- 9. 要介護5
- 10. わからない

2 情報通信機器の活用についておたずねします

問8 あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。（○はいくつでも）

- 1. 固定電話
- 2. ファックス
- 3. 携帯電話（スマートフォンを除く）
- 4. スマートフォン
- 5. タブレット
- 6. パソコン
- 7. いずれも使わない⇒問8-2へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

（注）本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。（○は1つ）

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 世帯あて名の方の介護をしている家族・親族
- 3. 単独あて名の方の介護はしていない家族・親族
- 4. その他〔 〕

問2 あなたの性別は。（○は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（○は1つ）

- 1. 65歳～69歳
- 2. 70歳～74歳
- 3. 75歳～79歳
- 4. 80歳～84歳
- 5. 85歳～89歳
- 6. 90歳以上

問4 あなたのお住まいの区は。（区、町名、丁番号を記入してください。）

〔 〕区〔 〕〔 〕丁
記入例：〔中央〕区〔天神〕〔1〕丁目

問5 あなたのご家族の状況は。（○は1つ）

- 1. 一人暮らし世帯
- 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
- 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
- 4. あなたとその他の高齢者（65歳以上）のみの世帯
- 5. 二世代同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
- 6. 三世代同居世帯
- 7. その他の世帯〔 〕

【問8で「1」～「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます】
問8-1 あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。（〇はいくつでも）

1. 通話

2. ファックスでのやりとり

3. メールでのやりとり

4. ライン、フェイスメッセージ、ボックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS

5. インターネットで情報を集める

6. インターネットショッピング

7. インターネットバンキング

8. パーコード決済、スマホ決済

9. 動画の視聴

10. Web会議（ウェブ会議）

11. オンライン学習

12. その他 []
- ※問8で

4. スマートフォン

5. タブレット

6. パソコン

※その他の方は、問8-2へ

のいずれかを
選択した方は 問9へ

【問8で「4」「5」「6」のいずれかでも選択していない方（「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方）にうかがいます】

問8-2 あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 必要性を感じないから
2. 使い方が分からないので、面倒だから
3. 興味はあるが購入場所、購入方法などが分からないから
4. 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから
5. お金がかかるから
6. 文字が見にくいから
7. その他 []

3 日常生活についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問9 あなたは、週にどれくらいの頻度で外出していますか。（〇は1つ）

1. ほとんど毎日
2. 週4～5日
3. 週2～3日
4. 週1日
5. ほとんど外出しない ⇒ 問9-3へ
- ⇒ 問9-1 問9-2へ

【問9で「1」～「4」と答えた方にうかがいます】

問9-1 あなたの外出の目的は何ですか。（主なもの3つまで）

1. 買い物
2. 食事
3. 趣味や運動・散歩
4. 友人と会う
5. 家族や親せきなどと会う
6. 通院
7. 介護施設を利用する
8. 仕事
9. ボランティア活動
10. その他 []

【問9で「1」～「4」と答えた方にうかがいます】

問9-2 あなたが外出する際の交通手段は何ですか。（主ものを3つまで）

1. 徒歩
2. 自転車
3. バス（路線バス）
4. 地下鉄
5. 西鉄電車
6. JR
7. タクシー（一般）
8. 介護タクシー
9. 自家用車（自ら運転）
10. 自家用車（家族や知人・友人の運転）
11. シニアカー（高齢者用電動車いす等）
12. 医療施設や介護施設などの「送迎サービス」
13. その他 [] ⇒ 問10へ

【問9で「5」と答えた方にうかがいます】

問9-3 あなたが、外出しない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 体の具合が悪い
2. 付き添い、介助者がいない
3. 自宅にエレベーターや階段の手すりが無い
4. バス停や駅までが遠く、体力的に利用できない
5. バス停や駅の段差が大きく、利用できない
6. 目的地までの公共交通手段が無いいため、利用できない
7. 自宅周辺に階段や坂がある
8. 交通費の負担が大きい
9. 目的地の様子（スロープやトイレの状況）がわからない
10. 特に外出する用事がない
11. その他 []

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

ここから再びすべての方にうかがいます

問10 あなたは今現在、自動車運転免許を保有し、活用されていますか。(○は1つ)

1. 免許を保有し、普段から運転している → 問10-1へ
2. 免許は保有しているが、普段はあまり運転していない
3. 免許は保有しているが、これまでほとんど運転したことがない
4. 免許を保有していたが、返納した（更新していない場合を含みます） ⇒ 問11へ
5. 免許を保有していない

【問10で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問10-1 あなたは、自動車運転免許の自主返納についてどのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

1. いつでも返納してもよいと考えている
2. 近い将来返納してもよいと考えている
3. いつか返納してもよいが、いつするかはわからない
4. 返納することは考えていない
5. わからない

ここから再びすべての方にうかがいます

問11 あなたが、徒歩や公共交通機関による外出の際に困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. バス停や駅が自宅近くにない
2. バス停や駅構内の表示・案内がわかりにくい
3. 切符の自動販売機などの表示や操作がむずかしい
4. 自宅近くの駅などにエレベーターなどの設備がない
5. 道路に歩道がないため危険を感じる
6. 道路や歩道に段差があるため歩きづらい
7. バス乗降時、段差があるため、乗降しづらい
8. バス停に屋根やベンチなどの付合い施設が少ない
9. 歩道にベンチなどの休息施設が少ない
10. 移動の途中に利用できるトイレが少ない
11. 自転車や車などの交通マナーが悪い
12. 電車やバスで席を譲ってくれない
13. 雨のとき、まわりの人が助けてくれない
14. 外出に付き添ってくれる人がいない
15. その他（
16. 特になし

5

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

問12 あなたは、困ったことや心配事や悩み事について、誰に相談していますか。(○はいくつでも)

1. 家族や親族
2. 友人
3. 近所の人
4. 民生委員、自治会役員など
5. 区役所などの窓口
6. いさいきセンターふくおか（地域包括支援センター）※
7. ケアマネジャー（介護支援専門員）※
8. 介護サービス事業者
9. 病院、医院などの医師
10. その他（
11. 相談するほどの心配事はない
12. 相談相手がいらない

※ケアマネジャー（介護支援専門員）とは、介護サービスを利用するときの相談や、サービス事業者との連絡調整を行う専門員のことです。

問13 あなたのご近所との付き合いで最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1. ほとんど付き合っていない
2. 道で会えばあいさつする程度
3. 軽く話をする程度
4. 話や訪問しあう人がいる
5. 悩みがあるときや困ったときに頼みあえる人がいる
6. 近所付き合いをしない

問14 あなたは同居していない家族や友人と、どの程度直接会って話をしていますか。(○は1つ)

1. 週4～5回以上
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 2週間に1回程度
5. 月1回程度
6. 月1回未満
7. まったくない

問15 あなたはどの程度、孤独であると感じていますか。(○は1つ)

1. まったくない
2. ほとんどない
3. たまにある
4. 時々ある
5. しばしばある
6. 常に

6

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

問16 あなたは、ご自身が孤立死する可能性があると思いますか。（○は1つ）

1. ほとんど可能性はない ⇒ 問17へ

2. 多少の可能性はある } ⇒ 問16-1へ

3. 1分可能性はある

4. わからない ⇒ 問17へ

【問16で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問16-1 主な理由は、次のどれに当たりますか。（○はいくつでも）

- 1. 一人暮らしだから
- 2. 親族とのつきあいが少ないから
- 3. 近所とのつきあいが少ないから
- 4. 定期的に連絡をとりあう人がいないから
- 5. いざという時に頼れる人がいないから
- 6. あまり外出しないから
- 7. 病気を抱えているから
- 8. その他〔 〕
- 9. わからない
- 10. 特に理由はない

ここから再びすべての方にうかがいます

問17 あなたが、孤立死防止策として必要と思うものはどれですか。（○はいくつでも）

- 1. 行政が提供する福祉サービス
- 2. 行政による啓発活動
- 3. 通院
- 4. ご近所の見守り
- 5. 誰もが集える場所や居場所
- 6. 地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）
- 7. 健康づくりや趣味活動への参加
- 8. 定期的な宅配サービス
- 9. 企業の見守りサービス
- 10. その他〔 〕
- 11. わからない

問18 あなたは、地域福祉活動（町内会などが実施する福祉のボランティア活動など）に参加していますか。（○は1つ）

- 1. 参加している
- 2. 参加していない
- 3. 参加していないが、今後、参加したい

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

問19 あなたは、災害時に、一人で避難することができますか。（○は1つ）

- 1. 避難できる
- 2. 一人で判断できるが、避難はできない
- 3. 一人で判断できないし、避難もできない
- 4. わからない

問20 あなたには、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいいますか。（○は1つ）

- 1. 常時いる
- 2. 時間帯によってはいる
- 3. いない
- 4. わからない

問21 あなたには、災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。（○はいくつでも）

- 1. 情報をうまく入手できない
- 2. 避難所に行くことが難しい
- 3. 避難所での生活が不安
- 4. 避難所がどこなのか知らない
- 5. 家が片崩れや浸水の心配がある
- 6. その他〔 〕
- 7. 特にない

問22 あなたは「個別避難計画」を知っていますか。（○は1つ）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

【個別避難計画とは】

高齢者や障がい者など、災害時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する避難支援のための計画。

問23 あなたは、介護保険をはじめ、保健・医療・福祉などについての情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

1. 市政だより
2. テレビやラジオ
3. 新聞、雑誌
4. パンフレットやチラシ、ポスター
5. ホームページ
6. ライン、フェイスブック、エックス(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS
7. 区役所の保健福祉の窓口
8. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
9. ケアマネジャー（介護支援専門員）
10. 介護サービス事業者（ホームヘルパーやデイサービスセンター、訪問看護師など）
11. 病院や診療所、薬局
12. 民生委員・児童委員
13. 社会福祉協議会
14. 講演会や介護講習会
15. 友人や知人、近所の人
16. 家族
17. その他 []

問24 あなたの現在の健康状態はいかがですか。（〇は1つ）

1. 健康で、普通に生活している
2. 何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
3. 家の中の生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
4. 病気や障がいがあって、家の中の生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド（ふとん）の上での生活が主体である
5. 病気や障がいがあって、家の中の生活全般に手助けが必要で、日中ベッド（ふとん）の上にいる

問25 あなたは、経済的に不安を感じていますか。（〇は1つ）

1. 感じている ⇒ 問25-1へ
2. 感じていない ⇒ 問26へ

【問25で「1」と答えた方にうかがいます】

問25-1 経済的に不安に感じている主な理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 病気や高齢のため仕事ができない
2. 仕事をしたいが見つからない
3. 収入が限られている
4. 預貯金がなくなってきた
5. 借金がある
6. 同居の家族に収入がない
7. その他 []

4 生きがいや社会参加についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問26 あなたは、現在生きがいを感じることがありますか。（〇は1つ）

1. 常にある
 2. よくある
 3. たまにある
 4. あまりない
 5. ほとんどない
 6. まったくない
 7. わからない
- ⇒ 問26-1へ
- ⇒ 問27へ

【問26で「1」～「3」のいずれかと答えた方にうかがいます】

問26-1 あなたが、現在生きがいを感じるのとはどんなことですか。（〇はいくつでも）

1. 学習や教養を高めるための活動
2. スポーツ・健康づくり
3. 趣味の活動
4. 老人クラブ活動
5. 地域活動（自治協議会・町内会などの活動）
6. ボランティア活動
7. 働くこと（仕事）
8. 家族との仲間
9. 友人や近所とのつきあい
10. 旅行
11. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問27 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。(○は1つ)

1. 現在活動している ⇒ 問27-1へ
2. 活動していない ⇒ 問28へ

【問27で「1」と答えた方にうかがいます】

問27-1 あなたのボランティア活動の内容はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 高齢者を支援する活動
2. 障がい児・者を支援する活動
3. 子ども・若少年を支援する活動
4. 探検に関する活動
5. 国際交流・国際協力活動
6. 文化・伝承活動
7. 地域の自治活動
8. スポーツ・レクリエーション指導
9. 地域の活動(自治会・町内会など地域で行われている活動)
10. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問28 あなたは、老人クラブに参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している ⇒ 問29へ
2. 以前は参加していたが、現在は参加していない ⇒ 問28-1へ
3. 参加していない
4. 老人クラブを知らない ⇒ 問29へ

【問28で「2」「3」と答えた方にうかがいます】

問28-1 あなたは、老人クラブの活動に参加していない主な理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 健康・体力に自信がない
2. 介護などの家族の事情
3. 仕事をしていて活動する時間がない
4. 趣味などをしている活動する時間がない
5. 一緒に活動する仲間がいない
6. 近くに老人クラブがない
7. 活動の内容がわからない
8. 活動内容に魅力を感じない
9. お年寄りの印象が強い
10. 人間関係などがわずらわしい
11. 金銭の負担をしたくない 歳くらい
12. もう少し年齢を待ってから参加したい
13. 他の活動に参加している
14. 仕事や家庭の事情が落ち着いたら参加したい
15. その他 []
16. 理由はない

ここから再びすべての方にうかがいます

問29 あなたは、この1年間に、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしましたか。(○はいくつでも)

1. 趣味の活動
2. スポーツ・健康づくり
3. 学習や教養を高めるための活動
4. 地域活動(地域の催しものなど)
5. 高齢者の支援
6. 子ども・子育てでの支援
7. 探検に関する活動(探検文化、緑化推進など)
8. 交通安全、防犯・防災に関する活動
9. その他 []
10. 活動または参加したものはない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

問30 あなたは、今後（今後）、友人とまたはグループや団体で次のような活動を行ったり、参加したりしたいと思いますか。（○はいくつでも）

1. 趣味の活動

2. スポーツ・健康づくり

3. 学習や教養を高めるための活動

4. 地域活動（地域の催しものなど）

5. 高齢者の支援

6. 子ども・子育ての支援

7. 環境に関する活動（環境美化、緑化推進など）

8. 交通安全、防犯・防災に関する活動

9. その他〔

10. 活動・参加したいとは思わない
- ⇒ 問30-1 問30-2へ
- ⇒ 問31へ

【問30で「10」と答えた方にうかがいます】

問30-1 友人とまたはグループや団体で活動を行ったり、参加したりしたいと思わない理由は何か。（○はいくつでも）

1. どのような活動が行われているか知らないから

2. 経費や手間がかかるから

3. 気軽に参加できる活動が少ないから

4. 一緒に参加する友人・仲間がいないから

5. 活動に必要な技術、経験がないから

6. 家庭の事情（病院、家事、仕事）があるから

7. 近くで行われている活動がないから

8. 健康・体力に自信がないから

9. 過去に参加したが期待はすれ違ったから

10. 人と付き合うのがおっくうだから

11. その他〔

12. 特に理由はない
- ⇒ 問31へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

【問30で「10」と答えた方にうかがいます】

問30-2 あなたは、どのようなきっかけや動きかけがあれば、友人とまたはグループや団体で活動を行ったり、参加したりすると思いますか。（○はいくつでも）

1. 友人、仲間からの誘い

2. 家族のすすめ

3. 活動団体からの呼びかけ

4. 一緒に参加する人がいる

5. 活動の内容が広く知らされている

6. 活動場所が近くにある

7. 自由に（好きな時に）参加できる

8. その他〔

9. 特になし
- ⇒ 問31へ

【問30で「10」と答えた方にうかがいます】

問31 あなたは、ふだん何か収入になる仕事をしていますか。（○は1つ）

1. 正社員

2. 嘱託・契約社員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. 会社・団体役員（会社経営者を除く）

6. 会社経営者

7. 個人事業主

8. その他〔

9. 仕事をしていない
- ⇒ 問31-1へ
- ⇒ 問31-2へ

【問31で「1」～「8」と答えた方にうかがいます】

問31-1 あなたは、今後も仕事をしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 今後も仕事をしたい

2. 今後は仕事をするつもりはない
- ⇒ 問31-4 問31-5 問31-6へ
- ⇒ 問32へ

【問31で「9」と答えた方にうかがいます】

問31-2 あなたは、今後、仕事をしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 今後は仕事をしたい

2. 今後は仕事をしたいが、今はできない

3. 今後も仕事をするつもりはない
- ⇒ 問31-3 問31-4 問31-5 問31-6へ
- ⇒ 問32へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査入）

【問31-2で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問31-3 仕事をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 自身の健康上の理由
- 2. 体力に自信がない
- 3. 家庭の事情（介護・子育て・家事等）
- 4. 知識・能力が足りない
- 5. 仕事が見つからない
- 6. 仕事は見つかるが希望する内容でない
- 7. 年金が減額される
- 8. 趣味、社会活動など、ほかにやりたいことがある
- 9. 仕事することに興味がない
- 10. その他 []

【問31-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問31-2で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問31-4 今後、どのような内容の仕事を希望しますか。（○はいくつでも）

- 1. 管理的職業
- 2. 研究・技術の職業
- 3. 法務・経営・文化芸術等の専門的職業
- 4. 医療・看護・保健の職業
- 5. 保育・教育の職業
- 6. 事務的職業
- 7. 販売・営業の職業
- 8. 福祉・介護の職業
- 9. サービスの職業
- 10. 警備・保安の職業
- 11. 農林漁業の職業
- 12. 製造・修理・塗装・製図等の職業
- 13. 配送・輸送・機械運転の職業
- 14. 建設・土木・電気工事の職業
- 15. 運搬・清掃・包装・選別等の職業
- 16. その他 []
- 17. 特に希望なし

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査A）

【問31-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問31-2で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問31-5 今後、どのような就労形態で仕事をしたいと思えますか。（○は1つ）

- 1. 正社員
- 2. 嘱託・契約社員
- 3. パート・アルバイト
- 4. 派遣社員
- 5. 会社・団体役員（会社経営者を除く）
- 6. 会社経営者
- 7. 個人事業主（フリーランスを含む）
- 8. その他 []

【問31-1で「1」と答えた方にうかがいます】

【問31-2で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問31-6 今後、どれくらいの頻度で仕事をしたいと思えますか。

①・②それぞれ○は1つ

- ① 1週間に
 - 1. 「1～2日」
 - 2. 「3日」
 - 3. 「4日」
 - 4. 「5日以上」
- ② 1日に
 - 1. 「1～3時間」
 - 2. 「4～6時間」
 - 3. 「7時間以上」

ここから再びすべての方にうかがいます

問32 あなたは「シルバー人材センター」を知っていますか。（○は1つ）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

【シルバー人材センターとは】

高齢者の会員が自主的に運営する公益社団法人です。
会員に随時的・短期的な仕事を紹介し、働く喜びが高齢者の生きがいとなり、
地域の活性化に役立つことを願って活動しています。

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

問33 さまざまな活動についてお尋ねしてきましたが、今後(今後も)、あなたが社会参加を行うとすれば、どのような活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の活動(自治会・町内会など地域で行われている活動)
2. 社会や人の役に立つ活動(無償ボランティア)
3. 社会や人の役に立つことを、手当をもらって行う活動(有償ボランティア)
4. 会社などに雇用されて働く
5. 個人で仕事を請け負ったり、起業したりして、収入を得る活動(フリーランス・自営業など)
6. 自分の趣味の活動
7. 健康づくりの活動
8. 生涯学習活動(学芸、交流中心)
9. 友人・近所づきあい
10. その他 []

問34 今後(今後も)、あなたが社会参加を行うとするとする場合、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 生活に充実感がでること
2. 自分の技術、経験を生かすこと
3. 新しい友人を得ること
4. 新しい知識や経験を得ること
5. 健康づくり、体力をつけること
6. 社会に貢献すること
7. 社会とのつながりを保つこと
8. 生活のリズムや刺激を得ること
9. 報酬を得ること
10. その他 []

問35 高齢者乗車券を利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことがある ⇒ 問35-1 問35-2へ
2. 利用したことがない ⇒ 問35-3へ
3. 交付対象となる要件(年齢や所得等)を満たしていない } ⇒ 問36へ
4. 福祉乗車券の交付を受けている
5. 高齢者乗車券の制度を知らない

【高齢者乗車券とは】
高齢者の社会参加を促進するために、満70歳以上で、福岡市介護保険料所得段階1～7の人に、交通費の一部を助成する高齢者乗車券を交付しています。
(福祉乗車券・福祉乗車証の交付対象の人は、高齢者乗車券の交付対象にはなりません。)

福岡市 高齢社会に関する調査 (高齢者一般調査A)

【問35で「1」と答えた方にうかがいます】

問35-1 高齢者乗車券を利用するようになって、外出する機会は増えましたか。

(〇は1つ)

1. 増えた
2. 特に変わらない
3. 減った
4. わからない

【問35で「1」と答えた方にうかがいます】

問35-2 高齢者乗車券を利用した、外出の目的はなんですか。(主なもの3つまで)

1. 買い物
2. 食事
3. 趣味や運動・散歩
4. 友人と会う
5. 家族や親せきと会う
6. 通院
7. 介護施設に通う
8. 仕事
9. ボランティア活動
10. その他 []

【問35で「2」と答えた方にうかがいます】

問35-3 高齢者乗車券を利用したことがない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

1. 申請手続きがわずらわしい
2. 交通機関を利用する機会がない
3. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問36 あなたは「福岡100プラザ」を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

【福岡100プラザとは】

高齢者が健康で明るい生活を営むために、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、栄養の向上及びレクリエーションの便宜を総合的に提供するための施設です。

市は令和7年度から各区に1か所ずつ設置している老人福祉センターを福岡100プラザとし、社会参加の拠点として、原則60歳以上の人を対象に音楽や手芸などの文化系講座や健康体操などの運動講座、健康や法律等の相談会、高齢者の就業に関する講座や活動へのきっかけづくりなどを行っており、交流の場としても、無料で利用できます。

また、令和6年度より高齢者の社会参加をサポートするコーディネーターを配置しております。

問37 市は、各区に1か所福岡 100 プラザを設置しています。この福岡 100 プラザが皆様にとってよりよい施設であるために、どのような場として活用できるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1. 趣味・教養の教室・講座を受講する
- 2. スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ
- 3. ライフプランや今後の過ごし方を考えるきっかけづくりをする
- 4. 今後に生かせる知識やスキルを身につける
- 5. 身体を動かすなど健康づくりに取り組む
- 6. 生活や法律、健康等について相談する
- 7. 仕事を探したり、相談したりする
- 8. 社会参加（趣味、ボランティア、地域活動など）の相談をしたり、きっかけづくりをする。
- 9. サークル活動を行う
- 10. 友人・知人と談話する
- 11. 一人でくつろぐ
- 12. 新しい活動の体験をする（e スポーツ、DIY、料理など）
- 13. 特定の目的（音楽など）に利用できる（具体的に： 〕
- 14. 利用者から生活の中での様々な提案を受け付ける
- 15. その他〔 〕

問38 あなたは老人いこいの家が各校区に設置されていることを知っていますか。

(〇は1つ)

- 1. 知っており、利用している（したことがある） ⇒ 問39へ
- 2. 知っているが、利用したことはない ⇒ 問38-1へ
- 3. 知らない ⇒ 問39へ

【老人いこいの家とは】
高齢者（概ね 60 歳以上）の教養向上、レクリエーション及び相互親睦のための場を提供し、高齢者福祉の増進を図るため、各校区に設置しています。
(校区によっては、公民館と合築されている館もあります。)

【問38で「2」と答えた方にうかがいます】

問38-1 利用したことがない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

- 1. 利用方法や講座等の内容、参加方法がわからない
- 2. 参加してみたい講座やサークルがない
- 3. 仕事や家事、介護などで利用する時間がない
- 4. 自宅から通いづらい
- 5. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問39 老人いこいの家が皆様にとってより良い施設であるために、どのような場として活用できるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

- 1. 趣味・教養の教室・講座を受講する
- 2. スマートフォンやタブレットなど新しい技術について学ぶ
- 3. 身体を動かすなど健康づくりに取り組む
- 4. 生活や法律、健康等について相談する
- 5. サークル活動を行う
- 6. その他〔 〕

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

2. 高齢者一般調査B

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

【問5で「1」～「4」と答えた方にうかがいます】
問5-1 あなたは、日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。
2か所以上にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。（○は1つ）

- 1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
- 2. 同じ区内にいる
- 3. 福岡市内にいる
- 4. 福岡県内にいる
- 5. 福岡県外にいる
- 6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（総込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～300万円未満
- 6. 300～400万円未満
- 7. 400～500万円未満
- 8. 500～600万円未満
- 9. 600～1,000万円未満
- 10. 1,000万円以上

問7 あなたの介護保険の要介護度は次のどれですか。（○は1つ）

- 1. 要介護認定の申請していない
- 2. 要介護認定を申請したが、非該当（自立）だった
- 3. 要支援1
- 4. 要支援2
- 5. 要介護1
- 6. 要介護2
- 7. 要介護3
- 8. 要介護4
- 9. 要介護5
- 10. わからない

2 情報通信機器の活用についておたずねします

問8 あなたが、ふだん利用している情報通信機器はどれですか。（○はいくつでも）

- 1. 固定電話
- 2. ファックス
- 3. 携帯電話（スマートフォンを除く）
- 4. スマートフォン
- 5. タブレット
- 6. パソコン
- 7. いずれも使わない

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

（注）本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなたご自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。（○は1つ）

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 世帯あて名の方の介護をしている家族・親族
- 3. 世帯あて名の方の介護はしていない家族・親族
- 4. その他（ ）

問2 あなたの性別は。（○は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（○は1つ）

- 1. 65歳～69歳
- 2. 70歳～74歳
- 3. 75歳～79歳
- 4. 80歳～84歳
- 5. 85歳～89歳
- 6. 90歳以上

問4 あなたの住まいの区は。（区、町名、丁番号を記入してください。）

〔 〕区〔 〕町〔 〕丁
記入例：〔中央〕区〔天神〕〔1〕丁

問5 あなたのご家族の状況は。（○は1つ）

- 1. 一人暮らし世帯
- 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
- 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
- 4. あなたとその他の高齢者（65歳以上）のみの世帯
- 5. 二世帯同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
- 6. 三世帯同居世帯
- 7. その他の世帯（ ）

【問8で「1」「5」「6」のいずれかを利用していると答えた方にうかがいます】
問8-1 あなたは、問8で利用していると回答された情報通信機器を、どのようなことに利用していますか。（〇はいくつでも）

1. 通話

2. ファックスでのやりとり

3. メールのやりとり

4. ライン、フェイスブック、エックス(旧ツイッター)

インスタグラムなどのSNS

5. インターネットで情報を集める

6. インターネットショッピング

7. インターネットバンキング

8. バーコード決済、スマホ決済

9. 動画の視聴

10. Web会議（ウェブ会議）

11. オンライン学習

12. その他〔 〕

※問8で

4. スマートフォン

5. タブレット

6. パソコン

のいずれかを
選択した方は

問9へ

※その他の方は、問8-2へ

〕

【問8で「4」「5」「6」のいずれかを選択していない方（「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」を利用していない方）にうかがいます】

問8-2 あなたが、スマートフォン、タブレット、パソコンを利用していない理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

1. 必要性を感じないから

2. 使い方が分からないので、面倒だから

3. 興味はあるが購入場所、購入方法などが分からないから

4. 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから

5. お金がかかるから

6. 文字が見にくいから

7. その他〔 〕

3 現在のお住まいについておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます
問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。（〇は1つ）

1. 持ち家一戸建て

2. 分譲マンション

3. 借家一戸建て

4. 民間の賃貸マンション、アパート

5. 市営・県営住宅

6. UR（都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅

7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅

8. 有料老人ホーム・ケアハウス

9. その他〔 〕

⇒ 問10へ

⇒ 問9-1へ

⇒ 問10へ

【問9で「3」～「7」と答えた方にうかがいます】

問9-1 あなたが現在の居住の1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。（〇は1つ）

1. 1万円未満

2. 1～2万円未満

3. 2～3万円未満

4. 3～4万円未満

5. 4～5万円未満

6. 5～6万円未満

7. 6～7万円未満

8. 7～8万円未満

9. 8万円以上

ここから再びすべての方にうかがいます

問10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

1. せまい

2. 老朽化している

3. 手すりがないったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない

4. 日照・騒音など、環境が悪い

5. 家賃が高い

6. 立ち退き要求を受けている

7. 自分の居室がない

8. 集合住宅のエレベーターがない

9. その他〔 〕

10. 特になし

【これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方】にうかがいます。※住宅を住み替えたことがなく、現在も住み替えを考えていない方は、問12へ

問11 あなまたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。(〇はいくつでも)

1. 住宅をどうやって探せばよいかかわからない
2. 家賃などの費用面で希望する住宅がない
3. 広さや立地面で希望する住宅がない
4. 駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない
5. 不動産会社や管理会社などの事業者の対応が悪い
6. 高齢者であることを理由に断られた
7. 保証人や保証連絡先がないことを理由に断られた
8. その他〔
9. 特に困ったことはない

4 健康・福祉などについておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(Oは1つ)

1. 健康で、普通に生活している
2. 何らかの病気や障がいがあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出はひとりでできる
3. 家の中で生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
4. 病気や障がいがあるが、家の中で生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド（ふとん）の上での生活が主体である
5. 病気や障がいがあるが、家の中で生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド（ふとん）の上にいる

【問12で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問12-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 散歩などできるだけ歩くようにしている
2. 自宅で軽い運動や体操などをしている
3. 公民館などで軽い運動や体操などをしている
4. 公園などに設置してある器具などを使って運動している
5. スポーツクラブに通っている
6. その他 []
7. 特に何もしていない ⇒ 間 12-5
- 間 12-2
= 間 12-3
間 12-4

【問12-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問12-2 それほどのくらの頻度でしていますか。(〇は1つ)

1. 毎日・ほとんど毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月1～2回程度

【問12-1で「1」～「6」と答えた方にうかがいます】

問12-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは

何ですか。(〇はいくつでも)

1. 医師などの専門家からの指導や助言
2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
4. 近所の人からの誘い
5. 検査の結果（数字など）が気になったため
6. 気になる症状があるため
7. 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で健康づくりの必要性を感じたため
8. 以前から運動を続けている
9. その他【

【問12-1で「1」～「6」と答えただ方にうかがいます】

問12-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果

があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 病氣にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした
 2. 疲れにくくなった
 3. つまづいたり転んだりすることが少なくなった
 4. 立ったり座ったり、階段の昇降が楽になった
 5. 全体的に体力が向上した
 6. 毎日の生活が充実していると感じるようになった
 7. よく眠れるようになった
 8. 集中力が向上した
 9. 自己肯定感が高まった
 10. その他 []

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

【問12-1で「7」と答えた方にうかがいます】

問12-5 何もしていない理由は何か。○はいくつでも

- 1. 健康などで必要性を感じていない
- 2. 運動などをとする場所が近くにない
- 3. 一緒にする人がいない
- 4. やって見たが続かなかった
- 5. 何をすればよいかわからない
- 6. 何もしたくない
- 7. 費用負担が大きい
- 8. 時間がない
- 9. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問13 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。

○はいくつでも

- 1. かかりつけの医師に定期的に診てもらっている
- 2. 定期的に健診やがん検診を受けている
- 3. 日常生活で、自分でできることではできるだけ自分でするようにしている
- 4. 口の中を清潔にしている
- 5. 休養や睡眠を十分にとっている
- 6. 規則的な生活を心掛けています
- 7. 栄養バランスなどに気を付けて食事をしている
- 8. バズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる
- 9. 趣味や遊びなど楽しいことをする
- 10. なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている
- 11. 職場、地域などでの役割を続ける
- 12. その他 []
- 13. 将にない ⇒ 問14へ

⇒ 問13-1へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

【問13で「1」～「12」と答えた方にうかがいます】

問13-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。○はいくつでも

- 1. 医師などの専門家からの指導や助言
- 2. テレビや新聞などの情報から自分で判断して
- 3. 家族や知人、友人からのアドバイスや一言
- 4. 近所の人からの誘い
- 5. 検査の結果（数値など）が気になったため
- 6. 気になる症状があるため
- 7. 新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛で、健康づくりの必要性を感じたため
- 8. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問14 「フレイル」という言葉を知っていますか。○は1つ

- 1. 言葉だけでなく、内容も知っている
- 2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 知らない

※「フレイル」とは、年をとって体や心の働き、社会的なつながりが弱くなった状態を指し、そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。
フレイルに早めに気づいて、適切な取組みを行うことで、フレイルの進行を防ぎ、健康な状態に戻ることが出来ます。

問15 あなたは、この1年間の間に、歯科の定期健診を受けましたか。○は1つ

- 1. 受けた
- 2. 受けていない

問16 あなた自身の歯は何本ありますか。知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。○は1つ

- 1. 28本（全部ある）
- 2. 24～27本
- 3. 20～23本
- 4. 10～19本
- 5. 5～9本
- 6. 1～4本
- 7. 0本

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問17 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。（○は1つ）

1. 何でもかんで食べられる
2. 一部かめない食べ物がある
3. かめない食べ物が多い
4. かんで食べることはできない

問18 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。（○は1つ）

1. 上下両方のアゴで使用
2. 上のアゴだけ使用
3. 下のアゴだけ使用
4. 使っていない

問19 あなたのお口（歯や歯ぐき、入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問20 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。（○は1つ）

1. 1日3回以上
2. 1日2回
3. 1日1回
4. 時々みがく
5. みがかない

問21 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。（○は1つ）

1. 毎日利用する
2. ときどき利用する
3. 利用していない

問22 認知症についての正確な知識を得るために、講座に参加したりするなどの正しい理解を得る行動をとっていますか。（○は1つ）

1. 知っている
2. どちらかといえば、知っている
3. どちらかといえば、とっていない
4. とっていない

9

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問23 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。（○はいくつでも）

1. 認知症の原因や症状
2. 認知症の予防方法
3. 認知症の人への接し方
4. 認知症の人の気持ち
5. 認知症に関する相談窓口
6. 認知症の治療や診療に関すること
7. 認知症の専門医と受診方法について
8. 認知症の在宅サービスに関する情報
9. グループホームなどの施設の情報
10. 本人に代わり、金銭や財産の管理、契約などの手続きを行う制度に関すること
11. 認知症の人や家族を支えるボランティアや地域での活動に関すること
12. 現在、認知症当事者が行っている活動
13. その他（ ）

問24 認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動（認知症の理解、本人の意思を尊重する心がけや接し方、声かけや見守り、相談助言や情報提供など）した経験がありますか。（○は1つ）

1. いつもある
2. よくある
3. 時々ある
4. まれにある
5. 一度もない

問25 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広報、講座・講演会など）
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設
5. 認知症の人を地域で見守るしくみや居場所
6. 認知症の人の家族に対する支援
7. 認知症の人が活躍できる場・機会
8. 認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
9. 認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
10. その他（ ）

10

問26 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. おおむねそう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. まったくそう思わない

問27 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 体力や筋力の維持・向上のための取組み
2. 栄養バランスのとれた食生活のための取組み
3. お口の健康のための取組み
4. フレイル予防についての取組み
5. こころの健康についての取組み
6. 生きがいづくりのための取組み
7. 介護予防の普及啓発
8. 介護予防のための活動の場所の確保
9. いずれも多世代との交流
10. ボランティア人材の育成
11. その他〔

5 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）についておたずねします

問28 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことが
ありますか。（○は1つ）

1. 聞いたことがある
2. 聞いたことがない

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）】

高齢者のみなさんから介護、福祉、健康づくりなどの相談を受け、アドバイスをを行う相談窓口として、市内の５７箇所に設置しています。

6 権利擁護についておたずねします

問29 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【高齡者虐待の例】

「ただ」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為

- 介・世間の放棄、放任・介・世間の生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替など世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為
- 心理的虐待……「怒める」「のしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- 経済的虐待……高齢者の財産やお金を勝手に使ったり削減したりする行為

問30 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

1. 制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている
2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人（成年後見人等）を選ぶことで、法律的に本人を支える制度です。

福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

福岡市成年後見推進センターへ

所在地：福岡市中央区荒戸 3-3-39 福岡市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時（祝日・年末年始を除く）

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

7 医療についておたずねします

問31 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(Oは1つ)

1. いる
2. いない

問32 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(Oは1つ)

1. ある
2. ない

問33 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(Oは1つ)

1. 希望するし、実現可能だと思う ⇒ 問34へ
2. 希望するが、実現は難しいと思う } ⇒ 問33-1へ
3. 希望しない
4. 現在、受けている } ⇒ 問34へ
5. わからない

【問33で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問33-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(Oは1つ)

1. 往診などをしてくれる医師がいないから
2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
3. 家族に負担をかけるから
4. 介護してくれる家族がいないから
5. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
6. 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
7. 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
8. 経済的に負担が大きいため
9. その他 []

13

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

ここから再びすべての方にうかがいます

問34 万一、あなたが治る見込みがない病気になる場合、最期はどこで迎えたいですか。(Oは1つ)

1. 自宅（親族の家を含む）
2. 医療機関
3. 介護サービスが受けられる施設
4. その他 []
5. わからない

8 これからについておたずねします

問35 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思えますか。(Oは1つ)

1. できると思う
2. どちらかといえばできると思う
3. どちらかといえどできると思わない
4. できると思わない
5. わからない

問36 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。(Oは1つ)

※ここで在宅とは、自宅や家族の家のことを指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族だけの介護を受けたい
2. 在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくともよいので施設に入所したい
7. その他 []
8. わからない

14

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問37 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。

(Oはいくつでも)

- 1. 食事や掃除など、身の回りのこと
- 2. 日用品の買い物や病院受診などの外出
- 3. 災害が起きたときのこと
- 4. 自宅の居住環境
- 5. 医療や介護サービス利用にかかる費用
- 6. 保険の手続きや金銭管理
- 7. 家族のこと
- 8. その他〔 〕
- 9. わからない

問38 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

(一番近いもの1つにO)

- 1. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えている
- 2. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノート(※)などを書いている
- 3. 家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している
- 4. その他〔 〕
- 5. 特に何もしていない

※「エンディングノート」とは、自分がもしもの時や何らかの理由で意思疎通ができなくなったときに備えて、家族や周りの人に伝えたいことを書きとめておくノートのことです。

問39 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。(Oは1つ)

- 1. 言葉だけでなく、内容も知っている
- 2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 知らない

※「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。「人生会議」という愛称で呼ばれています。

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問40 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(Oは3つまで)

- 1. 講座などを通じて、豊かで健康的な生活を送れるよう支援する施策
- 2. 地域活動やボランティア活動など、高齢者の社会貢献活動を支援する施策
- 3. 意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策
- 4. 家庭や地域で健康づくりに取り組めるよう情報提供や環境づくりを推進する施策
- 5. 食事や運動など健康づくり・介護予防を行う環境を整える施策
- 6. 安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策
- 7. 在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策
- 8. 従事者の介護技術の向上などの介護サービスの質の確保・向上に関する施策
- 9. 認知症高齢者に対する支援体制を充実させる施策
- 10. 高齢者の財産を守り、権利の行使を確保する施策
- 11. 法律や在宅介護などに関する高齢者からの相談への対応力を充実させる施策
- 12. 孤立した高齢者に対する見守りのため、地域の中で支え合うようなネットワークを構築する施策
- 13. 高齢者のための良質な住まいを確保する施策
- 14. 施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり
- 15. その他〔 〕

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

問4-1 あなただは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。（項目ごとに○は1つ）
さらに、サービスを利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。（項目ごとに○は1つ）

「現在利用している」に○をした方は、その満足度をお答えください。

記入例	利用状況・利用意向					満足度		
	現在利用している	今後必要サービスなので、利用したい	利用したい	利用するつもりはない	わからない	満足している	やや満足している	あまり満足していない
1 福岡100プラザ	1	2	3	4	5	1	2	3
2 老人いきいの家	1	2	3	4	5	1	2	3
3 シニア教室	1	2	3	4	5	1	2	3
4 福祉バス	1	2	3	4	5	1	2	3
5 高齢者乗車券	1	2	3	4	5	1	2	3
6 介護支援ボランティア事業	1	2	3	4	5	1	2	3
7 シルバー人材センター	1	2	3	4	5	1	2	3
8 緊急通報システム	1	2	3	4	5	1	2	3
9 声の訪問	1	2	3	4	5	1	2	3
10 日常生活用具	1	2	3	4	5	1	2	3
11 生活支援ショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3
12 日常生活自立支援事業	1	2	3	4	5	1	2	3
13 ふれあいサロン	1	2	3	4	5	1	2	3
14 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	1	2	3	4	5	1	2	3

17

※「不満である」と答えた方は問4-1へ

福岡市 高齢社会に関する調査（高齢者一般調査B）

（サービス内容の説明）

1 福岡100プラザ	高齢者の各種相談、健康増進、教養の向上、レクリエーションなどの便宜を総合的に提供。
2 老人いきいの家	高齢者の教養の向上や相互親睦などの場を提供。
3 シニア教室	福岡100プラザや老人いきいの家の家などで、文化や教養、創作に関する講座や教室を実施。
4 福祉バス	老人クラブなどの自主的活動を支援するためバスを運行する。
5 高齢者乗車券	高齢者の社会参加を促進するため、交通費の一部を助成。
6 介護支援ボランティア事業	介護保険施設などにおいてボランティア活動を行う場合、ポイントを付与し、換金できる制度。
7 シルバー人材センター	地域の日常生活に密着した臨時的就業機会を提供する。
8 緊急通報システム	家庭内で緊急時にペダントのボタンを押すだけで、自動的に通報され助けが求められるシステム。
9 声の訪問	定期的に電話があり、安否などを確認するサービス。
10 日常生活用具	火災警報器・自動消火器などの給付サービス。
11 生活支援ショートステイ	家族が留守のときに、虚弱な方が施設に宿泊できるサービス。
12 日常生活自立支援事業	判断能力が低下した高齢者などへの福祉サービスの利用援助。
13 ふれあいサロン	公民館や集会所などで、地域のボランティアとともにレクリエーション活動などへの参加。
14 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	介護、福祉、健康づくりなどの相談を受け、アドバイスを行う相談窓口。

【問4-1で「不満である」と答えた方にうかがいます】
問4-1-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。
（自由記載）

質問は以上です。
～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました

18

3. 介護保険在宅サービス利用者調査

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

【問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたは日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。2か所以上
にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。（〇は1つ）

- 1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
- 2. 同じ区内にいる
- 3. 福岡市内にいる
- 4. 福岡県内にいる
- 5. 福岡県外にいる
- 6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（〇は1つ）

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～300万円未満
- 6. 300～400万円未満
- 7. 400～500万円未満
- 8. 500～600万円未満
- 9. 600～1000万円未満
- 10. 1000万円以上

問7 現時点でのあなたの要介護度は次のどれですか。（〇は1つ）

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

（注）本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。（〇は1つ）

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 単独あて名の方の介護をしている家族・親族
- 3. 単独あて名の方の介護はしていない家族・親族
- 4. その他〔 〕

問2 あなたの性別は。（〇は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（〇は1つ）

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたのお住まいは。（区、町名、丁目番号まで記入してください）

〔 〕区〔 〕〔 〕丁目
記入例：〔中央〕区〔天神〕〔1〕丁目

問5 あなたのご家族の状況は。（〇は1つ）

- 1. 一人暮らし世帯
 - 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
 - 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
 - 4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
 - 5. あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯
 - 6. 二世代同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
 - 7. 三世代同居世帯
 - 8. その他の世帯〔 〕
- 問5-1へ
- 問6へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問8 あなたが現在抱えている傷病は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (伸縮しうづ病、脊柱管狭窄症など)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他 []
15. ない
16. わからない

問9 介護が必要な状態となった原因は何ですか。(〇は1つ)

1. 脳血管疾患 (脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など)
2. 心臓病
3. 糖尿病
4. 呼吸器疾患 (肺炎、ぜんそくなど)
5. パーキンソン病
6. 骨粗しょう症
7. リウマチ
8. リウマチ以外の関節疾患
9. 腰痛症
10. 認知症
11. 転倒などによる骨折
12. 高齢による衰弱
13. その他 []
14. 不明

3

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(〇は1つ)

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

2 日常生活についておたずねします

問11 あなたのお住まいは次のどれですか。(〇は1つ)

1. 持ち家一戸建て
2. 分譲マンション
3. 借家一戸建て
4. 民間の賃貸マンション、アパート
5. 市営・県営住宅
6. UR (都市再生機構 (旧公団))・公社などの賃貸住宅
7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム・ケアハウス
9. その他 []

問12 現在の住まいで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. せまい
2. 老朽化している
3. 手すりが無い、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない
4. 日照・騒音など、環境が悪い
5. 家賃が高い
6. 立ち退き要求をうけている
7. 自分の居室がない
8. 集合住宅のエレベーターがない
9. その他 []
10. 特になし

4

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問13 現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。(○は1つ)
※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。
1. 検討していない
2. 検討している
3. すでに申し込みをしている

問14 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。(○はいくつでも)
※ 総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- 1. 配食（弁当の宅配など）
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他〔 〕
- 11. 利用していない
- 12. わからない

問15 今後の在り生活の継続に必要と感ずる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感ずる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。(○はいくつでも)
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- 1. 配食（弁当の宅配など）
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他〔 〕
- 11. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

3 現在利用している介護保険サービスについておたずねします

問16 令和7年8月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか(○は1つ)

- 1. 利用した ⇒ 問16-1へ
- 2. 利用していない ⇒ 問17へ
- 3. わからない ⇒ 問17へ

【問16で「1」と答えた方にうかがいます】
問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(○回、利用していない)」を選択してください。
(1つのサービスにつき、○を1つ)

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）									
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上				
記入例	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
2. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
3. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
4. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
5. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
6. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				
7. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上				

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

		利用の有無（それぞれ1つに○）			
		利用していない	利用している	利用した	利用した
8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護					
9. 小規模多機能型居宅介護					
10. 看護小規模多機能型居宅介護					
11. 短期入所生活介護 短期入所療養介護 （ショートステイ）					
12. 居宅療養管理指導					

ここから再びすべての方にうかがいます

問17 1か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金（1割、2割または3割負担）はおいくら程ですか。（○は1つ）

1. 1,000円未満

2. 1,000～5,000円未満

3. 5,000～10,000円未満

4. 10,000～20,000円未満

5. 20,000～30,000円未満

6. 30,000～40,000円未満

7. 40,000円以上

8. わからない

9. 介護保険だけでは足りないで、自己負担で利用している
（自己負担分も合わせて月おいくら程ですか）

問18 令和7年8月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。（○は1つ）

1. 上限まで利用していない

2. 上限まで利用している

3. わからない

問19 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。（○は1つ）

1. いる

2. いない

問20 あなたは、在宅医療に関心がありますか。（○は1つ）

1. ある

2. ない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問18 令和7年8月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。（○は1つ）

1. 上限まで利用していない

2. 上限まで利用している

3. わからない

問19 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。（○は1つ）

1. いる

2. いない

問20 あなたは、在宅医療に関心がありますか。（○は1つ）

1. ある

2. ない

4. 現在利用している医療についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問19 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。（○は1つ）

1. いる

2. いない

問20 あなたは、在宅医療に関心がありますか。（○は1つ）

1. ある

2. ない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問21 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者を定期的に訪問し、医療を提供することです。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

1. 利用している
2. 利用していない

問22 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか。(○は1つ)

1. 希望するし、実現可能だと思う } ⇒ 問23へ
2. 希望するが、実現は難しいと思う } ⇒ 問22-1へ
3. 希望しない }
4. 現在、受けている } ⇒ 問23へ
5. わからない }

【問22で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問22-1 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。

(○は1つ)

1. 往診などをしてくれる医師がいないから
2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
3. 家族に負担をかけるから
4. 介護してくれる家族がいないから
5. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
6. 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから
7. 療養できる部屋やトイレなどの住環境が整っていないから
8. 経済的に負担が大きいかから
9. その他 []

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

5 今後の介護・医療についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 今後、どのように介護を受けていきたいとお考えですか。(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけの介護を受けたい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これから在宅で生活したい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
7. その他 []
8. わからない

問24 万一、あなたが治る見込みがない病気になる場合、最期はどこで迎えたいですか。(○は1つ)

1. 自宅（家族や親族の家を含む）
2. 医療機関
3. 介護サービスが受けられる施設
4. その他 []
5. わからない

問25 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1. 言葉だけでなく、内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

※「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしものために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有することです。「人生会議」という愛称で呼ばれています。

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

問26 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い(利用したい)と思うサービスは
何ですか。(〇はいくつでも)

1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス (必要なときの呼び出しサービスなど)
2. 昼間の見守りサービス
3. 必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まる
ことができるサービス
4. 定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活
することができるサービス
5. 食料品や日用品の買い物支援
6. その他 []

問27 単身者となった場合、訪問やサービスによる「見守り」を希望しますか。

(〇は1つ)

1. 希望する ⇒ 問27-1へ
2. 当面は希望しないが、身体状況の変化などに応じて検討する
3. プライバシーの懸念など、見守りを受けることへの不安があり
希望しない } ⇒ 問28へ
4. 近くに家族や知人がいるため、希望しない
5. わからない

【問27で「1」と答えた方にうかがいます】

問27-1 どのような「見守り」を希望しますか。(〇は1つ)

1. 近隣住民の見守り
2. 地域の訪問による見守り (民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問
により実施)
3. 親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り
4. 民間事業者または行政による緊急時に通報できるサービス
5. 民間事業者または行政による定期的な電話による見守りサービス
6. 民間事業者または行政によるセンサー等の情報通信機器を活用した見守りサービス

ここから再びすべての方にうかがいます

問28 単身者となった場合、地域の訪問による「見守り」を行うとしたら、どのくらい
の回数を希望しますか。(〇は1つ)

1. 毎日
2. 週1回
3. 2週に1回
4. 月1回
5. 3ヶ月に1回
6. 訪問による見守りは希望しない

11

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

6 介護保険制度全般についておたずねします

問29 あなたは、介護保険制度全体について満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問30 介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 制度の仕組みがわかりにくいこと
2. 介護認定の申請がわずらわしいこと
3. 介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること
4. 希望するサービスが受けられないこと(利用するまでに日数がかかるなど)
5. サービス内容がよくないこと
6. 介護サービス事業者との契約がわずらわしいこと
7. サービスの利用料金が高いこと
8. 介護保険料が高いこと
9. その他 []
10. 特にない

問31 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

1. 要介護認定を受けるための手続き
2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
3. ケアプラン(介護保険サービスの利用計画)を作成するまでの手続き
4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
6. 介護サービス事業者との契約手続き
7. 不満や苦情の相談先
8. 介護保険料やサービス利用料の仕組みや内容
9. その他 []
10. 特にない

12

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問32 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1. 自宅または家族や親族の家に近い
- 2. 友人や知り合いが利用している
- 3. サービスの内容や営業時間
- 4. 運営方針
- 5. 職員の資格や経験年数
- 6. 職員の態度や対応
- 7. 日常生活動作の維持・改善のためのメニューが充実している
- 8. 虫咬化防止に向けたリハビリや機能訓練がある
- 9. 事業者独自のサービス
- 10. 評判がよい
- 11. 施設や設備などが整っている
- 12. 苦情や相談の窓口が整っている
- 13. 事故の際の体制や保険が充実している
- 14. その他〔 〕

問33 介護のことや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に（どこに）相談しますか。(〇は1つ)

- 1. 区役所の保健福祉窓口などの行政機関
- 2. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 3. ケアマネジャー（介護支援専門員）
- 4. ホームヘルパーやデイサービスセンターなどの介護サービス事業者
- 5. かかりつけの医師やかかりつけの薬剤師
- 6. 公民館や民生委員・児童委員など地域の人
- 7. 家族や親族
- 8. 福岡県の介護保険窓口
- 9. 福岡県国民健康保険団休連合会
- 10. その他〔 〕

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問34 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(〇は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

※「小規模多機能型居宅介護」とは住み慣れた自宅や地域での生活を続けられるように、同一の事業所で本人の様態や希望に応じて、訪問・通い・宿泊を組み合わせて利用できるサービスです。遠い離れた事業所で頼なしみの職員が継続的に関わることができるため、環境の変化に敏感な高齢者の不安を和らげることができます。

問35 定期巡回・随時対応型訪問介護看護というサービスを知っていますか。(〇は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

※「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」とは、重度者を含め、要介護高齢者の在宅生活を支えるため、24時間365日、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的にまたはそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスです。

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

（サービス内容の説明）

	介護用品（紙おむつ・尿取りパッド）費用の一部が助成される。
1 おむつサービス	※要介護3～5と認定されたおむつが必要な人が対象 ふとんの洗濯や消毒をしてもらう。
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス	※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象
3 移送サービス	寝台付きタクシーの費用の一部が助成される。 ※要介護4・5と認定された65歳以上の人で座位が保てない人が対象
4 あんしんショートステイ	家族の入院などで、介護保険のショートステイとは別に、施設に宿泊できる。 ※要支援1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人で、介護保険所得段階第1～5段階までの人が対象
5 家族介護者のつどい	高齢者を介護している家族を、一時的に介護から解放し、相互交流・意見交換を行う交流会などを実施。 ※要支援1・2、要介護1～5と認定された人を在宅で介護している家族が対象
6 住宅改修助成	住宅を改修する場合、費用の一部が助成される。 ※要支援1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人

あて名ご本人に対する質問は、ここまでです。

次ページからは、ご家族の方にご回答をお願いします。
なお、お一人暮らしの場合（ご家族の介護を受けていらっしゃらない場合）は、ここで調査は終了となります。

長時間にわたり調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

7 現在の高齢者サービスについておたずねします

問36 あなたは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。（項目ごとに○は1つ）
さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。（項目ごとに○は1つ）

「現在利用している」に○をした方は、その満足度をお書きください。

	利用状況・利用意向					満足度				
	現在利用している	今後必要サービスなので、ぜひ利用したい	必要を感じたら、利用するつもりはない	利用しない	わからない	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	不満である
記入例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 おむつサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 移送サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 あんしんショートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 家族介護者のつどい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 住宅改修助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【問36で「不満である」と答えた方にうかがいます】

問36-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。
（自由記載）

このページからは、ご家族の方がご回答ください

問37 主にあて名の方の介護にあたっている方（主な介護者）はどなたですか。あて名の方ご本人（介護が必要な方）からみた編制をお答えください。（○は1つ）

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他（

問38 主な介護者の方の性別は。（○は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問39 主な介護者の方の居住状況は。（○は1つ）

- 1. 同居
- 2. 別居

問40 主な介護者の方の年齢は。（○は1つ）

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

問41 ご家族やご親族の中で、あて名の方ご本人（介護が必要な方）の介護を主な理由として、過去1年間の間に仕事を辞めたり転職した方はいますか。（○はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- 3. 主な介護者が転職した
- 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6. わからない

問42 主な介護者の方の現在の勤務形態は。（○は1つ）

※ここであていう「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」か「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- 1. フルタイムで働いている
- 2. パートタイムで働いている } ⇒ 問42-1～問42-3へ
- 3. 働いていない
- 4. 主な介護者に確認しないとわからない } ⇒ 問43へ

【問42で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。】

問42-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。（○はいくつでも）

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、退社・早帰・中抜けなど）」しながら働いている
- 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」をとりながら働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
- 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている
- 6. 介護のために、転職先を探している
- 7. 介護のために、働くことを辞めることを検討している
- 8. 主な介護者に確認しないとわからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

【問42で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。】

問42-2 主な介護者の方は、勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 日営業・フリーランスなどのため、勤務先はない
2. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化 (在宅勤務、テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他 []
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないとわからない

【問42で「1」か「2」と答えた方にうかがいます。】

問42-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないとわからない

19

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス利用者調査)

ここから再びすべての方にうかがいます

問43 介護に関することについて、誰に(どこに)相談していますか。(〇はいくつでも)

1. ケアマネジャー (介護支援専門員)
2. 区役所
3. いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)
4. 友人、知人
5. 同店の家族
6. 別居の家族や親族
7. 近所の人
8. 介護者の団体 (家族の会など)
9. 働く人の介護サポートセンター (※)
10. 福祉相談
11. その他 []
12. 相談していない

※「働く人の介護サポートセンター」とは仕事と介護の両立支援を目的として開設した、平日の仕事帰りや休日にも対応する相談窓口です。専門の相談員が情報提供やアドバイスを行います。各種情報提供コーナーも設置しています。

【所在地】 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市民福祉プラザ3階
【お問い合わせ先・予約先】 TEL: 092-982-5407 FAX: 092-982-5409
【開設時間】 月・木曜日: 12時~20時 日曜日: 10時~18時

問44 現在、主な介護者の方が行っている介護の内容は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨きなど)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎など
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ など)
12. 食事の準備 (調理など)
13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物 など)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他 []
16. わからない

20

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問4.5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護の内容は何ですか。（○は3つまで）※現状で行っているか否かは問いません。

- 1. 日中の排せ
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎など
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応
- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ など）
- 12. 食事の準備（調理など）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 など）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 15. その他〔 〕
- 16. 不安に感じていることは、特になし
- 17. 主な介護者に確認しないとわからない

問4.6 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 本人が嫌がるのでサービスをせやせない（利用できない）
- 2. 本人が必要のないサービスをまで利用したがる
- 3. 家族などの理解が得られない
- 4. サービスを増やしたいが、近所に適当な事業所がないなど、頼める事業所がない
- 5. サービスの使い勝手が悪い（利用できる曜日や時間帯が限られているなど）
- 6. 利用料金（1割、2割または3割負担）の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない
- 7. 介護支援専門員と十分な意思の疎通が取れない
- 8. その他〔 〕
- 9. 特になし
- 10. 主な介護者に確認しないと分からない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問4.7 今後、どのように介護をしていきたいと思いますか。（○は1つ）

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

- 1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい
- 2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい
- 3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい
- 4. 施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい
- 5. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設への入所を、あて名の方ご本人と考える
- 6. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設にかぎらず、施設への入所を、あて名の方ご本人と考える
- 7. その他〔 〕

問4.8 在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要などの呼び出しサービスなど）
- 2. 昼間の見守りサービス
- 3. 重度の要介護者を地域の病院などが日中の一定時間預かるサービス
- 4. 身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることができるサービス
- 5. 定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することができるサービス
- 6. その他〔 〕

問4.9 今後も在宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。

（○はいくつでも）

- 1. 介護保険やその他の福祉サービスを充実する
- 2. 介護の悩みなどを相談できるところを整備する
- 3. 介護の技術を教える研修などを充実する
- 4. 介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する
- 5. 在宅で高齢者を介護している人同士の交流の場を提供する
- 6. 介護者を支えるボランティアなどの地域活動を充実する
- 7. 介護者の心身のリフレッシュに対する支援を行う
- 8. その他〔 〕
- 9. 特になし

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス利用者調査）

問50 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は各区地域保健福祉課やいきいきセンター・ふくおか（地域包括支援センター）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

【高齢者虐待の例】

- ①身体的虐待…「たたく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為
- ②介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為
- ③心理的虐待…「怒鳴る」「のしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為
- ④性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為
- ⑤経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

問51 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

- 1. 制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている
- 2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人（成年後見人等）を選ぶことで、法的に本人を支える制度です。
福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

＜福岡市成年後見推進センター＞

所在地：福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時（休日・年末年始を除く）

質問は以上です。

～ 長時間で協力いただき、本当にありがとうございました ～

4. 介護保険在宅サービス未利用者調査

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

【問5で「1」～「5」と答えた方にうかがいます】

問5-1 あなたは日常行き来がある親族の方が近くにいらっしゃいますか。2か所以上
にいる場合、一番近くにいる方はどこにいらっしゃいますか。（○は1つ）

- 1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
- 2. 同じ区内にいる
- 3. 福岡市内にいる
- 4. 福岡県内にいる
- 5. 福岡県外にいる
- 6. 日常行き来がある親族はいない

ここから再びすべての方にうかがいます

問6 あなたの世帯全員の年間総収入額（税込み）はどれくらいですか。（○は1つ）

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～300万円未満
- 6. 300～400万円未満
- 7. 400～500万円未満
- 8. 500～600万円未満
- 9. 600～1,000万円未満
- 10. 1,000万円以上

問7 現時点でのあなたの要介護度は次のどれですか。（○は1つ）

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

（注）本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか。（○は1つ）

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 世帯あて名の方の介護をしている家族・親族
- 3. 単独あて名の方の介護はしていない家族・親族
- 4. その他（ ）

問2 あなたの性別は。（○は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（○は1つ）

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたのお住まいは。（区、町名、丁番号を記入して下さい）

〔 〕区〔 〕〔 〕丁目
記入例：〔中央〕区〔天神〕〔1〕丁目

問5 あなたのご家族の状況は。（○は1つ）

- 1. 一人暮らし世帯
 - 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
 - 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
 - 4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
 - 5. あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯
 - 6. 二世代同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
 - 7. 三世代同居世帯
 - 8. その他の世帯（ ）
- 問5-1へ
- 問6へ

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問8 あなたが現在抱えている傷病は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（伸縮しやう症、脊柱管狭窄症など）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他〔 〕
15. ない
16. わからない

問9 介護が必要な状態となった原因は何ですか。（〇は1つ）

1. 脳血管疾患（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など）
2. 心臓病
3. 糖尿病
4. 呼吸器疾患（肺炎、ぜんそくなど）
5. パーキンソン病
6. 骨粗しょう症
7. リウマチ
8. リウマチ以外の関節疾患
9. 腰痛症
10. 認知症
11. 転倒などによる骨折
12. 高齢などによる衰弱
13. その他〔 〕
14. 不明

3

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（〇は1つ）

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます。

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

2 日常生活についておたずねします

問11 あなたのお住まいは次のどれですか。（〇は1つ）

1. 持ち家一戸建て
2. 分譲マンション
3. 借家一戸建て
4. 民間の賃貸マンション、アパート
5. 市営・県営住宅
6. UR（都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅
7. サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム・ケアハウス
9. その他〔 〕

問12 現在の住まいで困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

1. せまい
2. 老朽化している
3. 手すりが無い、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない
4. 日照・騒音など、環境が悪い
5. 家賃が高い
6. 立ち退き要求をうけている
7. 自分の居室がない
8. 集合住宅のエレベーターがない
9. その他〔 〕
10. 特にない

4

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問13 現在、施設などへの入所・入居を検討していますか（○は1つ）
※「施設など」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホームなど）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- 1. 検討していない
- 2. 検討している
- 3. すでに申し込みをしている

問14 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どんなサービスですか。（○はいくつでも）

※ 総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- 1. 配食（弁当の宅配など）
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他〔 〕
- 11. 利用していない
- 12. わからない

問15 今後の在宅生活の継続に必要と感ずる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感ずる支援・サービスを含む）は、どんなサービスですか。（○はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- 1. 配食（弁当の宅配など）
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉タクシーなど）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他〔 〕
- 11. 特にない

5

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問16 あなたは日常生活の支援を、どこから受けていますか。（○は1つ）

- 1. 同居の家族や親族
- 2. 別居の家族や親族など
- 3. 近所の知人や民生委員・児童委員などの地域の人
- 4. 主治医
- 5. 訪問看護師など
- 6. その他〔 〕
- 7. 特に支援などは受けていない

問17 食料や日用品の買い物は、どれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

- 1. 毎日
- 2. 週に5～6回
- 3. 週に3～4回
- 4. 週に1～2回

問18 食料や日用品の買い物で、困っていることはありますか。（○は1つ）

- 1. ある
- 2. ない

3 介護保険サービスについておたずねします

問19 あなたは、介護保険の在宅サービスを利用したことがありますか。（○は1つ）

- 1. 利用したことはない
- 2. 福祉用具の貸与・購入または住宅改修のみ利用したことがある
- 3. 以前はホームヘルプやデイサービスなどを利用していた
- 4. 現在は利用している ⇒ 問20へ

【問19で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問19-1 現在、介護保険サービス（福祉用具の貸与・購入、住宅改修以外）を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 現状では、介護保険サービスを利用するほどの状態ではない
- 2. 本人に介護保険サービス利用の希望がない
- 3. 家族が介護するため必要ない
- 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5. 利用料を支払うことが難しい
- 6. 利用したい介護保険サービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. 介護保険サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
- 9. その他〔 〕

6

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

ここから再びすべての方にうかがいます

問20 現在、在宅で生活する上で、どのようなことに困っていますか。（○はいくつでも）

1. 夜間や緊急時の不安がある
2. 介護者が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい
3. 自宅に閉じこもりがちになるなど、近所との交流がない
4. その他〔 〕
5. 特に困っていることはない

問21 今後の介護サービスの利用についてどのように考えていますか。（○は1つ）

1. 近いうちに在宅サービスを利用することを考えている
2. 要介護度が現在より重くなったら在宅サービスを利用したい
3. 家族介護が困難になったら在宅サービスを利用したい
4. 緊急時に在宅サービスを利用したい
5. 今後利用するなら施設サービスを利用したい
6. 将来的にもできるだけ利用したくない
7. その他〔 〕
8. わからない

問22 単身者となった場合、訪問やサービスによる「見守り」を希望しますか。（○は1つ）

1. 希望する ⇒ 問22-1へ
2. 当面は希望しないが、身体状況の変化などに応じて検討する
3. プライバシーの懸念など、見守りを受けることへの不安があり希望しない
4. 近くに家族や知人がいるため、希望しない
5. わからない

【問22で「1」と答えた方にうかがいます】

問22-1 どのような「見守り」を希望しますか。（○は1つ）

1. 近隣住民の見守り
2. 地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）
3. 親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り
4. 民間事業者または行政による緊急時に通報できるサービス
5. 民間事業者または行政による定期的な電話による見守りサービス
6. 民間事業者または行政によるセンサー等の情報通信機器を活用した見守りサービス

7

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 単身者となった場合、地域の訪問による「見守り」を行うとしたら、どのくらいの回数を希望しますか。（○は1つ）

1. 毎日
2. 週1回
3. 2週に1回
4. 月1回
5. 3か月に1回
6. 訪問による見守りは希望しない

4 現在利用している医療についておたずねします

問24 あなたには、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。（○は1つ）

1. いる
2. いない

問25 あなたは、在宅医療に関心がありますか。（○は1つ）

※在宅医療とは、さまざまな病気をお持ちの方が、入院せずに自宅などで医師や看護師などの訪問による医療サービスを受けることです。

1. ある
2. ない

問26 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者を定期的に訪問し、医療を提供することです。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれません。

1. 利用している
2. 利用していない

問27 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能に思えますか。（○は1つ）

1. 希望するし、実現可能だと思う ⇒ 問28へ
2. 希望するが、実現は難しいと思う ⇒ 問27-1へ
3. 希望しない
4. 現在、受けている
5. わからない ⇒ 問28へ

8

【問27で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問27-1 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。

(Oは1つ)

- 1. 往診などをしてくれる医師がいらないから
- 2. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 3. 家族に負担をかけるから
- 4. 介護してくれる家族がいらないから
- 5. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 6. 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから
- 7. 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから
- 8. 経済的に負担が大きいかから
- 9. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問28 万一、あなたが治る見込みがない病気になる場合、最期はどこで迎えたいですか。(Oは1つ)

- 1. 自宅（家族や親族の家を含む）
- 2. 医療機関
- 3. 介護サービスが受けられる施設
- 4. その他〔 〕
- 5. わからない

問29 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。(Oは1つ)

- 1. 言葉だけでなく、内容も知っている
- 2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
- 3. 知らない

※「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしものときのために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことで、「人生会議」という愛称で呼ばれています。

5 介護保険制度全般についておたずねします

問30 あなたは、介護保険制度全体について満足していますか。(Oは1つ)

- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 不満

問31 介護保険制度で不満に思うことは何ですか。(Oはいくつでも)

- 1. 制度の仕組みがわかりにくいこと
- 2. 介護認定の申請がわずらわしいこと
- 3. 介護サービス事業者について、情報が少ない、わかりにくい、不安があること
- 4. 希望するサービスが受けられないこと（利用するまでに日数がかかるなど）
- 5. サービス内容がよいくないこと
- 6. 介護サービス事業者との契約がわずらわしいこと
- 7. サービスの利用料金が高いこと
- 8. 介護保険料が高いこと
- 9. その他〔 〕
- 10. 特にない

問32 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。(Oはいくつでも)

- 1. 要介護認定を受けるための手続き
- 2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
- 3. ケアプラン（介護保険サービスの利用計画）を作成するまでの手続き
- 4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
- 5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
- 6. 介護サービス事業者との契約手続き
- 7. 不満や苦情の相談先
- 8. 介護保険料やサービス利用料の仕組みや内容
- 9. その他〔 〕
- 10. 特にない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問33 介護のことや市の福祉サービスなどについてわからないことや不満があるとき、あなたはまず、誰に（どこに）相談しますか。（〇は1つ）

- 1. 区役所の保健福祉窓口などの行政機関
- 2. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 3. ケアマネジャー（介護支援専門員）
- 4. ホームヘルパーやデイサービスセンターなどの介護サービス事業者
- 5. かかりつけの医師やかかりつけの薬剤師
- 6. 公民館や民生委員・児童委員など地域の人
- 7. 家族や親族
- 8. 福岡県の介護保険窓口
- 9. 福岡県国民健康保険障がい者支援会
- 10. その他（

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問34 あなたは、次に挙げるサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。（項目ごとに〇は1つ）
さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。（項目ごとに〇は1つ）

「現在利用している」に〇をした方は、その満足度をお答えください。

	利用状況・利用意向					満足度		
	現在利用している	必要なサービスを利用したいが、今後ぜひ利用したい	必要なサービスを利用するつもりはない	わからない		満足している	やや満足している	あまり満足していない
記入例	1	2	3	4	5	1	2	3
1 おむつサービス	1	2	3	4	5	1	2	3
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス	1	2	3	4	5	1	2	3
3 移送サービス	1	2	3	4	5	1	2	3
4 あんしんサポートステイ	1	2	3	4	5	1	2	3
5 家族介護者のつどい	1	2	3	4	5	1	2	3
6 住宅改造成	1	2	3	4	5	1	2	3

【問34で「不満である」と答えた方にうかがいます】
問34-1 具体的にどのようなことに不満がありますか。ご自由にお書きください。
（自由記載）

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

1	おむつサービス	介護用品（紙おむつ・尿取りパッド）費川の一部が助成される。
2	寝具施設草履消毒サービス	※要介護3～5と認定されたおむつが必要なおの人が対象 ふとんの洗濯や消毒をしてもらう。
3	移送サービス	※要介護3～5と認定された65歳以上の人が対象 寝台付きタクシーの費用の一部が助成される。
4	あんしんショートステイ	※要介護4・5と認定された65歳以上の人で座位が保てない人が対象 家族の入院などで、介護保険のショートステイとは別に、施設に宿泊できる。
5	家族介護者のつらい	※要介護1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人で、介護保険料所得段階第1～5段階までの人が対象 高齢者を介護している家族を、一時的に介護から解放し、相互交流・意見交換を行う交流会などを実施。
6	住宅改造成成	※要支援1・2、要介護1～5と認定された65歳以上の人が対象 住宅を改造する場合、費用の一部が助成される。

ここから再びすべての方にうかがいます

問35 今後、どのような介護を受けていきたいと思えますか。（○は1つ）

- ※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の寮を指します。
1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけの介護を受けたい
2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
4. 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
5. 住み慣れた地域の施設に入所したい
6. 住み慣れた地域でなくともいいので施設に入所したい
7. その他 []
8. わからない

あて名ご本人に対する質問は、ここまでです。
次ページからは、ご家族の方にご回答をお願いします。
なお、お一人暮らしの場合（ご家族の介護を受けていらっしゃらない場合）は、ここで調査は終了となります。
長時間にわたり調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

このページからは、ご家族の方にご回答ください

問36 主にあて名の方の介護にあたっている方（主な介護者）はどなたですか。あて名の方ご本人（介護が必要な方）からみた関係をお答えください。（○は1つ）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他 []

問37 主な介護者の方の性別は。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問38 主な介護者の方の居住状況は。（○は1つ）

1. 同居
2. 別居

問39 主な介護者の方の年齢は。（○は1つ）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

問 4 0 ご家族やご親族の中で、あての名の方ご本人 (介護が必要な方) の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めたり転職をした方はいますか。(○はいくつでも)

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問 4 1 主な介護者の方の現在の勤務形態は。(○は1つ)

※ここでの「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの方の場合も、就労時間・日数などから「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないとわからない

問 4 1-1 問 4 1-2 問 4 1-3 問 4 2

【問 4 1 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問 4 1-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていきますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、退社・早退・中抜けなど)」している
3. 介護のために、「休暇 (生体や介護休暇など)」を取りながら働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
5. 介護のために、2～4 以外の調整をしながら働いている
6. 介護のために、転職先を探している
7. 介護のために、働くことを辞めている
8. 主な介護者に確認しないとわからない

15

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険在宅サービス未利用者調査)

【問 4 1 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問 4 1-2 主な介護者の方は、勤務先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 自営業・フリーランスなどのため、勤務先はない
2. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化 (在宅勤務、テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他 ()
10. 知らない
11. 主な介護者に確認しないとわからない

【問 4 1 で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問 4 1-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないとわからない

16

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

ここから再びすべての方にうかがいます
問4.2 介護に関することについて、誰に（どこに）相談していますか。（○はいくつでも）

- 1. ケアマネジャー（介護支援専門員）
- 2. 区役所
- 3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 4. 友人、知人
- 5. 同居の家族
- 6. 別居の家族や親族
- 7. 近所の人
- 8. 介護者の団体（家族の会など）
- 9. 働く人の介護サポートセンター（※）
- 10. 福祉相談
- 11. その他〔
- 12. 相談していない

※「働く人の介護サポートセンター」とは仕事と介護の両立支援を目的として開設した、平日の仕事帰りや休日にも対応する相談窓口です。専門の相談員が情報提供やアドバイスを行います。各種情報提供コーナーも設置しています。

【所 在 地】 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階
【お問い合わせ先・予約先】 TEL：092-982-5407 FAX：092-982-5409
【開設時間】 月・木曜日：12時～20時 日曜日：10時～18時

問4.3 現在、主な介護者の方が行っている介護の内容などは何ですか。（○はいくつでも）

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎など
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応
- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）
- 12. 食事の準備（調理など）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 15. その他〔
- 16. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

問4.4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護の内容は何ですか。（○は3つまで）※現状で行っているか否かは問いません。

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎など
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応
- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）
- 12. 食事の準備（調理など）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 15. その他〔
- 16. 不安に感じていることは、特になし
- 17. 主な介護者に確認しないとわからない

問4.5 今後、どのように介護をしていきたいと思えますか。（○は1つ）

※ここで在宅とは、自宅または家族や親族の家を指します。

- 1. 在宅で、できるかぎり家族や親族だけで介護したい
- 2. 在宅で、家族や親族の介護と介護保険サービスを併せて介護したい
- 3. 在宅で、介護保険サービスを中心に介護したい
- 4. 施設への入所も検討するが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で介護したい
- 5. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設への入所をあて名の方ご本人と考えたい
- 6. あて名の方ご本人（介護が必要な方）が住み慣れた地域にある施設にかぎらず、施設への入所を、あて名の方ご本人と考えたい
- 7. その他〔

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

- 問46 在宅で介護を続けるために、特に必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何か。（〇はいくつでも）
- 1. 夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）
 - 2. 昼間の見守りサービス
 - 3. 低度の要介護者を地域の病院などが日中の一定時間預かるサービス
 - 4. 身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることができるサービス
 - 5. 定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することができるサービス
 - 6. その他〔 〕

- 問47 今後在宅で介護を続けるために、特に支援が必要と思うことは何ですか。（〇はいくつでも）
- 1. 介護休暇やその他の福祉サービスを充実する
 - 2. 介護の悩みなどを相談できるところを整備する
 - 3. 介護の技術を教える研修などを充実する
 - 4. 介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する
 - 5. 在宅で高齢者を介護している人同士の交流の場を提供する
 - 6. 介護者を支えるボランティアなどの地域活動を充実する
 - 7. 介護者の心身のリフレッシュに対する支援を行う
 - 8. その他〔 〕
 - 9. 特になし

- 問48 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（〇は1つ）
- ※通報先は各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 1. 知っている
 - 2. 知らない

【高齢者虐待の例】

①身体的虐待…「たたく」「蹴る」「物を投げつける」など、痛みや身体にあざ・傷を与える行為

②介護・世話の放棄・放任…介護や生活の世話をしている人が、入浴・食事・着替えなどの世話をしなくなり、高齢者の生活環境や身体・心の状態を悪化させる行為

③心理的虐待…「怒鳴る」「ののしる」「無視する」など、高齢者の心に苦痛を与える行為

④性的虐待…高齢者が性的に嫌がることを無理強いする行為

⑤経済的虐待…高齢者の財産やお金を勝手に使ったり制限したりする行為

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険在宅サービス未利用者調査）

- 問49 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（〇は1つ）
- 1. 制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている
 - 2. 制度の名称は知っているが、内容はよく知らない
 - 3. 知らない

【成年後見制度とは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない人のために、本人の権利を守る人（成年後見人等）を選ぶことで、法律的に本人を支える制度です。

福岡市成年後見推進センターでは、制度の利用を必要とする人やその家族、支援者や関係機関からの相談を受け、制度の利用促進を図っています。

＜福岡市成年後見推進センター＞

所在地：福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）3階

問い合わせ先：TEL 092-753-6450 FAX 092-734-2010

受付時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後5時（休日・年末年始を除く）

質問は以上です

～ 長時間で協力いただき、本当にありがとうございました ～

5. 介護保険施設等サービス利用者調査

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険施設サービス利用者調査）

問5 施設などに入居前のご家族の状況は。(○は1つ)

- 1. 一人暮らし世帯
- 2. 夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯
- 3. 夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯
- 4. 夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯
- 5. あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯
- 6. 二世代同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）
- 7. 三世代同居世帯
- 8. その他の世帯（ ）

問6 あなたの世帯全員の年間総収入（税込み）はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1. 50万円未満
- 2. 50～100万円未満
- 3. 100～150万円未満
- 4. 150～200万円未満
- 5. 200～300万円未満
- 6. 300～400万円未満
- 7. 400～500万円未満
- 8. 500～600万円未満
- 9. 600～1,000万円未満
- 10. 1,000万円以上

問7 現在、あなたが入っている施設などの種類はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

- 1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 2. 介護老人保健施設（老人保健施設）
- 3. 介護療養型医療施設（療養病床など）
- 4. 介護医療院
- 5. グループホーム

問8 日頃から面会や外泊などができる親族の方が施設の近くにいますか。(○は1つ)

- 1. 同じ町内（小学校区程度）にいる
- 2. 同じ区内にいる
- 3. 福岡市内にいる
- 4. 福岡県内にいる
- 5. 福岡県外にいる
- 6. 日頃かかわりのある親族はいない

福岡市 高齢社会に関する調査（介護保険施設サービス利用者調査）

(注) 本文中の「あなた」とは、あて名の方ご本人のことを指します。

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 現在、この調査票にご記入頂いている方は、どなたですか (○は1つ)

- 1. あて名の方ご本人
- 2. 家族・親族
- 3. 施設職員
- 4. その他（ ）

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢は。(令和7年10月1日現在) (○は1つ)

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 現時点でのあなたの要介護度は次のどれですか。(○は1つ)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問9 現在の施設などに入る前は、どちらにいましたか。(〇は1つ)

1. 自宅 (ショートステイ利用中を含む)
2. 子どもの家
3. その他の親族の家
4. 病院
5. 有料老人ホームやケアハウスなど
6. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
7. 介護老人保健施設 (老人保健施設)
8. 介護療養型医療施設 (療養病床等)
9. 介護医療院
10. グループホーム
11. その他の施設
12. その他 []

問10 なぜ施設などへの入所を希望したのですか。(〇はいくつでも)

1. 段差や手すりなど、住まいに問題があったから
2. 一人暮らしなど、介護する家族がいなかったから
3. 家族の介護では負担が重すぎたから
4. 日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから
5. 在宅サービスより施設などの方が、経済的負担が少なかったから
6. 在宅での介護より施設などの方が十分な介護が受けられるから
7. その他 []

問11 あなたが現在抱えている病病は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 糖尿病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障がいを含むもの)
14. その他 []
15. ない
16. わからない

3

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問12 介護が必要な状態となった原因は何ですか。(〇は1つ)

1. 脳血管疾患 (脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など)
2. 心臓病
3. 糖尿病
4. 呼吸器疾患 (肺炎、ぜんそくなど)
5. パーキンソン病
6. 骨粗しょう症
7. リウマチ
8. リウマチ以外の関節疾患
9. 腰痛症
10. 認知症
11. 転倒などによる骨折
12. 高齢による衰弱
13. その他 []
14. 不明

問13 万一、あなたが治る見込みがない病病になった場合、最期はどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

1. 現在、入っている施設
2. 医療機関
3. 自宅 (家族や親族の家を含む)
4. その他 []
5. わからない

2 利用している介護保険施設・グループホームについておたずねします

【「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)」「介護老人保健施設 (老人保健施設)」「介護療養型医療施設 (療養病床など)」「介護医療院」に入所している方 (問7で「1」～「4」と答えた方) にかかいます】※「グループホーム」に入所している方は回答不要です。

問14 あなたの食費の負担限度額認定の段階はどれですか。(〇は1つ)

1. 第1段階 (食費 1日あたり 300円)
2. 第2段階 (食費 1日あたり 390円)
3. 第3段階① (食費 1日あたり 650円)
4. 第3段階② (食費 1日あたり 1,360円)
5. 対象外・非該当
6. わからない

4

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

ここから再びすべての方にうかがいます

問15 あなたの負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）は月額いくらですか。（○は1つ）

※高額介護サービス費等を受給している場合は、その額を差し引いた残りの金額

- 1. 5万円未満
- 2. 5万円～7万円未満
- 3. 7万円～9万円未満
- 4. 9万円～11万円未満
- 5. 11万円～13万円未満
- 6. 13万円～15万円未満
- 7. 15万円以上
- 8. わからない

問16 現在、利用料金はあなたが負担していますか。（○は1つ）

- 1. すべて本人
- 2. 本人及び家族
- 3. すべて家族
- 4. その他 []

問17 現在の負担額（1割、2割または3割負担、食費・居住費の自己負担額、日常生活費などの合計）をどう思いますか。（○は1つ）

- 1. 安いと思う
- 2. やや安いと思う
- 3. 適当だと思う
- 4. やや高いと思う
- 5. 高いと思う

問18 施設などに入るに当たり、利用料金とサービスの関係についてどのように考えますか。（○は1つ）

- 1. 多少利用料金が高くても個室がよい
- 2. 利用料金が安ければ個室がよいが、高いのであれば多床室でもよい
- 3. 多床室程度の料金で入れる個室があれば、個室に入りたい
- 4. 部屋の種類は問わず、利用料金が安いほどよい
- 5. 多床室がよい
- 6. その他 []

5

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問19 施設などを選ぶときに、特にどのようなことを重視して決めますか。

（○はいくつでも）

- 1. 自宅または家族や親族の家に近い
- 2. 知り合いや友人が利用している
- 3. 施設などの運営方針
- 4. 職員の資格や経験年数
- 5. 職員の態度や対応
- 6. 施設などの独自のサービス
- 7. 評判が良い
- 8. 設備などが整っている
- 9. 個室がある
- 10. 多床室がある
- 11. 費用が安い
- 12. 苦情や相談の窓口が整っている
- 13. 事故の際の体制や保険が充実している
- 14. 医療・リハビリの体制が整っている
- 15. 交通の利便性が良い
- 16. その他 []

問20 現在の施設に満足していますか。（○は1つ）

- 1. 満足
- 2. やや満足 } ⇒ 問21へ
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満 } ⇒ 問20-1へ
- 5. 不満

6

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

【問20で「4」か「5」と答えた方にうかがいます】

問20-1 もっと充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 個室に入ることができるなど施設の環境
2. 家族との連絡
3. 地域の住民の方との交流
4. 職員の数
5. レクリエーションの充実
6. 食事の内容
7. 職員の介護技能の質
8. プライバシーの確保
9. いつでも相談ごとなどを聞いてくれること
10. リハビリテーションの体制
11. 医療サービス
12. 自分の最期に関する希望を相談する窓口
13. その他 []

3 介護保険制度全般についておたずねします

ここから再びすべての方にうかがいます

問21 あなたは、介護保険制度全般について満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

7

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護保険施設サービス利用者調査)

問23 あなたにとって介護保険制度でわかりにくいところはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

1. 要介護認定を受けるための手続き
2. 要介護認定通知が届いてから、サービスを利用するまでの手続き
3. ケアプラン (介護保険サービスの利用計画) を作成するまでの手続き
4. サービスの種類や内容、利用の仕組み
5. 介護サービス事業者をどうやって選んだらよいか
6. 介護サービス事業者との契約手続き
7. 不満や苦情の相談先
8. 介護保険料の内容
9. その他 []
10. 特にない

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

8

6. 介護支援専門員調査

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 保健師
5. 助産師
6. 看護師
7. 准看護師
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 社会福祉士
11. 介護福祉士
12. 知能訓練士
13. 義肢装具士
14. 歯科衛生士
15. 言語聴覚士
16. あん摩マッサージ指圧師
17. はり師
18. きゅう師
19. 柔道整復師
20. 栄養士（管理栄養士を含む）
21. 精神保健福祉士
22. その他（
23. なし

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 常勤・専従 ⇒ 問7へ
2. 常勤・兼務 ⇒ 問6-1 問6-2へ
3. 非常勤・専従 ⇒ 問7へ
4. 非常勤・兼務 ⇒ 問6-1 問6-2へ

【問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます】

問6-1 どのような業務を兼務していますか。(〇はいくつでも)

1. 管理・事務業務
2. 医療サービス
3. 介護サービス
4. 相談業務
5. その他（

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

1 勤務などの状況についておたずねします

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢は。(令和7年10月1日現在) (〇は1つ)

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60歳以上

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～6年未満
5. 6年以上

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンター（仮称）ほか（地域包括支援センター）は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。
（異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます）

〔 〕 か所目

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます】

問6-2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

平均〔 〕時間

ここから再びすべての方にうかがいます

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンター・ふくおか（地域包括支援センター）の法人種別などは何ですか。（○は1つ）

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 社団法人・財団法人
4. 営利法人・民間企業（株式会社、有限会社など）
5. 特定非営利活動法人（NPO法人）
6. 消費者生活協同組合
7. その他〔 〕

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンター・ふくおか（地域包括支援センター）には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

〔 〕人

2 ケアマネジメントについておたずねします

※以下の設問（問9～問14-2）は令和7年10月の状況についてお答えください

問9 あなたが給付管理を行ったケース（利用者が令和7年10月中にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）は何件ですか。

〔 〕件

問10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。（○は1つ）

あればその件数も記入してください。

1. ある〔 〕件 ⇒ 問10-1へ
2. ない ⇒ 問11へ

3

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問10で「1」と答えた方にうかがいます】

問10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。（○はいくつでも）

1. 緊急通報システム
2. 声の訪問
3. おむつサービス
4. 寝具・洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんジョイントステイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、捜索システム）
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス⇒ 問10-2 問10-3へ
10. その他〔 〕

※「9」を選択していない場合は、
問10-3へ

【問10-1で「9」と答えた方にうかがいます】

問10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。

（○はいくつでも）

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け（付添、介助、送迎など）
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他〔 〕

4

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問10で「1」と答えた方にかがいます】

問10-3 今後充実が必要と思うサービスは何か。○はいくつでも

- 1. 緊急通報システム
- 2. 声の訪問
- 3. おむつサービス
- 4. 寝具洗滌乾燥消毒サービス
- 5. 移送サービス
- 6. あんしんジョイントステイ
- 7. 認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、捜索システム）
- 8. ふれあいサロン
- 9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒ 問10-4へ
- 10. その他〔 〕

※「9」を選択していない場合は、
問11へ

【問10-3で「9」と答えた方にかがいます】

問10-4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何か。○は3つまで

- 1. ごみ出し
- 2. 買い物
- 3. 外出の手助け（付添、介助、送迎など）
- 4. 掃除
- 5. 話し相手
- 6. 洗濯
- 7. 食事の準備・調理・後始末など
- 8. 車取り・駐木の予定
- 9. 家の中の簡単な修理や電線交換など
- 10. その他〔 〕

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

ここから再びすべての方にかがいます

問11 現在、介護サービス受給者の場合、こういった「見守り」サービスが必要だと思えますか。○はいくつでも

- 1. 近隣住民の見守り
- 2. 地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）
- 3. 親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り
- 4. 民間事業者による緊急時に通報できるサービス
- 5. 緊急通報システム
- 6. 声の訪問

問12 今後、こういった「見守り」サービスを充実させるとよいと思いますか。

○は2つまで

- 1. 近隣住民の訪問による見守り
- 2. 近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り
- 3. 訪問員が訪問する見守り
- 4. 電話やメールのやり取りを行う見守り
- 5. ゴミ収集や宅配などのサービスを利用している見守り
- 6. その他〔 〕

問13 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。

○は2つまで

- 1. 認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広報、講座、講演会など）
- 2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）
- 3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
- 4. 認知症の人が緊急時に入院・入所ができる病院・施設
- 5. 認知症の人を地域で見守るしくみや居場所
- 6. 認知症の人の家族に対する支援
- 7. 認知症の人が活動できる場・機会
- 8. 認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
- 9. 認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
- 10. その他〔 〕

問14 在宅での生活が困難なケースはありますか。○は1つ

あればその件数も記入してください。

- 1. ある〔 〕件 ⇒ 問14-1 問14-2へ
- 2. ない ⇒ 問15へ

【問14で「1」と答えた方にうかがいます】

問14-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲んでください。(○はいくつでも) また、そのケースの件数も記入してください。

番号	具体的なケース	件数
1	認知症があり、BPSD（行動・心理症状）がある	件
2	食事や排せつなどのADL悪化により、一人での生活が難しくなった	件
3	在宅サービスのリハビリだけでは時間や回数が足りず、施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある	件
4	口中、介護する家族等がいらないなど、家族の介護が不十分である	件
5	家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある	件
6	家族に介護疲れが生じている	件
7	その他〔 〕	件

【問14で「1」と答えた方にうかがいます】

問14-2 どのような支援（サービス）があれば、在宅での生活を続けられると思いますか。ご自由にお書きください。（自由記載）

ここから再びすべての方にうかがいます

問15 これまでに小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。(〇は1つ)
あればその件数も記入してください。

1. ある [件] 16 < 問 15 - 1 <

【問15で「2」と答えた方にうかがいます】

問15-1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 利用が適切と思われる対象者が分からないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため
7. 小規模多機能型居宅介護のサービスの内容を知らないため
8. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。(〇は1つあればその件数もご記入ください)。

1. ある [問17 <] 作
2. ない [問16 - 1 <]

【問16で「2」と答えた方にうかがいます】

問16-1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 利用が適切と思われる対象者が分らないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包摂報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の存在自体を知らなかったため
7. その他

高岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問18 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス（過剰サービス）があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

【記入欄】	訪問介護	1	2	3	4	5	その他 詳細に記入してください	その他の 内容
1	訪問介護	1	2	3	4	5		
2	(介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5		
3	(介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5		
4	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5		
5	(地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5		
6	(介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5		
7	(介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5		
8	(介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5		
9	(介護予防) 短期入居生活介護	1	2	3	4	5		
10	(介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5		
11	(介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5		
12	住宅改修	1	2	3	4	5		
13	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
14	夜間対応・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5		
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5		
16	(介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5		
17	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
18	介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5		
19	介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5		
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5		
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5		
22	その他の介護（予防）サービス	1	2	3	4	5		

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

ここから再びすべての方にうかがいます

問17 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。

事業所の質を高めたい	高さいービスの利用者が	がさいービスの活用が	のさいービス内容が	※その右の欄に記入してください	その他の内容
【記入例】 訪問介護	2	3	4	5	
1 訪問介護	1	2	3	4	5
2 (介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5
3 (介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5
4 (介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
5 (地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5
6 (介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5
7 (介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5
8 (介護予防) 在宅療養支援指導	1	2	3	4	5
9 (介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5
10 (介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5
11 (介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5
12 住宅改修	1	2	3	4	5
13 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5
15 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5
16 (介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
17 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
18 介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5
19 介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5
20 生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5
21 生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5
22 その他の介護（予防）サービス	1	2	3	4	5

問19 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に改善を要すると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

	必要なサービスを提供 できなかった	事業所長が、あつたが、 関係ない	利用者がサービスを希望 しなかった	家族やこころを重視 したためだった	利用者の意向により入居を断り、 別施設へ移転した	その他の内容
【記入欄】訪問介護	1	2	3	4	5	6
1 訪問介護	1	2	3	4	5	6
2 (介護予防) 初回入浴介護	1	2	3	4	5	6
3 (介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5	6
4 (介護予防) 初回リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
5 (地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5	6
6 (介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
7 (介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6
8 (介護予防) 認知症管理指導	1	2	3	4	5	6
9 (介護予防) 短期生活介護	1	2	3	4	5	6
10 (介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6
11 (介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	6
12 指定改修	1	2	3	4	5	6
13 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6
14 定時巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	6
15 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6
16 (介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	6
17 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6
18 介護予防型訪問介護サービス	1	2	3	4	5	6
19 介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5	6
20 生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	6
21 生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	6
22 その他の介護（予防）サービス	1	2	3	4	5	6

11

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。
(○はいくつでも)

1. サービス提供事業所のパンフレットなどの収集
2. サービス提供事業所のホームページの閲覧
3. 地域単位の事業者情報誌などを閲覧
4. 市のホームページを閲覧
5. 介護サービス情報公表システムを閲覧
6. 事業者協議会に参加
7. 区の介護支援専門員の連絡会などに参加
8. 電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ
9. その他に行っていない

問21 ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などはどのようにして
いますか。(〇はいくつでも)

1. 主治医意見書を区役所から入手。
2. 主治医連絡票などを利用して問い合わせ
3. 主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ
4. ケアノート
5. その他〔
6. 特に行っていない

問22 本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでどの程度作成できたと考えますか。(〇は1つ)

- ⇒ 問 2 2 - 1
- ⇒ 問 2 3

【問22で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問22-1 そのように考える理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 対象者自身が、求めている支援以外は受け入れない。または積極的に受け入れない
2. 家族が必要と思うサービスのみのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない（受け入れない）
3. 「残存能力の維持向上につながる支援」について、介護支援専門員自身の知識または認識が不足している
4. プランが「残存能力の維持向上につながっているか」の判断ができない、あるいは自信が持てない
5. 「残存能力の維持向上につながる」支援について相談できる人がいない
6. 「残存能力の維持向上につながる」サービスや地域情報について把握が不十分である
7. 対象者の生活圏域に介護サービス以外に利用できるインフォーマルサービス（地域のサークルやふれあいサロンなど）が不足している
8. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。（○は1つ）

1. 同一法人の介護支援専門員
2. 他法人の介護支援専門員
3. 区の介護支援専門員の連絡会など
4. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
5. 区役所
6. 福岡市福祉局
7. 福岡県保健医療介護部
8. 国民健康保険団体連合会
9. その他 []
10. 相談できる相手がいらない

問24 どのようなことを相談していますか。（○はいくつでも）

1. 多方向の問題を抱えている事例への対応に関すること
2. 利用者・家族側の意見調整に関すること
3. サービスの適否判断
4. 「3. サービスの適否判断」以外の介護支援専門員業務に関すること
5. 介護保険外のサービス利用に関すること
6. 介護報酬請求事務に関すること
7. その他 []
8. 特に相談することはない

問25 ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、番号を記入してください。

- 1位 []
- 2位 []
- 3位 []
1. 自立支援の視点
2. 本人の希望
3. 本人の残存能力
4. 課題分析の結果
5. 家族の希望
6. 主治医の意見
7. 事業所の意向
8. その他 []

問26 あなたは利用者に対して、どんな基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。（○は2つまで）

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. 本人の残存能力を引き出せるようなサービス提供を行っているか
4. 介護支援専門員の日から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか
5. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
6. 利用者・家族が知っている又は希望する事業所であるかどうか
7. その他 []

3 介護予防・生活支援サービス事業についておたずねします

※この項目の設問（問27～問30）は、要支援者のケアプランを作成していない方は、問31へ
要支援者のケアプランを作成していない方は、問31へ

問27 訪問サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。（○は1つ）

1. 全て介護予防型を位置付けた ⇒ 問27-1へ
2. 介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある ⇒ 問27-1 問27-2へ
3. 全て生活支援型を位置付けた ⇒ 問27-2へ
4. 訪問サービス位置付けたことがない ⇒ 問28へ

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問27で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】
 問27-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)
 1. 身体介護(入浴、排せつ等)が必要
 2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意識疎通困難がみられる
 3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
 4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
 5. 本人・家族の希望(1～4に該当する場合を除く)
 6. その他〔 〕

【問27で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】
 問27-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)
 1. 身体介護(入浴、排せつ等)が必要
 2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
 3. 本人・家族の希望(1～2に該当する場合を除く)
 4. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます
 問28 通所サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。(〇は1つ)
 1. 全て介護予防型を位置付けた ⇒ 問28-1へ
 2. 介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けた ⇒ 問28-1 問28-2へ
 3. 全て生活支援型を位置付けた ⇒ 問28-2へ
 4. 通所サービスを位置付けたことがない ⇒ 問29へ

【問28で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】
 問28-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)
 1. 身体介護(入浴、排せつ等)が必要
 2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意識疎通困難がみられる
 3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
 4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
 5. 本人・家族の希望(1～4に該当する場合を除く)
 6. その他〔 〕

15

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問28で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】
 問28-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。(〇はいくつでも)
 1. 身体介護(入浴、排せつ等)が必要
 2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
 3. 本人・家族の希望(1～2に該当する場合を除く)
 4. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます
 問29 サービス選択のフローチャートを知っていますか。(〇は1つ)
 1. よく知っている
 2. 「介護予防マネジメントマニュアル」に記載されていることは知っている ⇒ 問29-1へ
 3. 知らない ⇒ 問30へ

【問29で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】
 問29-1 サービス選択のフローチャートを活用していますか。(〇は1つ)
 1. 毎回活用している ⇒ 問30へ
 2. 活用しているが毎回ではない } ⇒ 問29-2へ
 3. 活用したことがない }

【問29-1で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】
 問29-2 活用しなかった理由は何ですか(〇はいくつでも)
 1. 参考にならないから
 2. 生活支援型の事業所が不足しているから
 3. 本人・家族の希望を優先するため
 4. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます
 問30 生活支援型サービスの普及に有効な方法について、あなたの考えを教えてください。(〇はいくつでも)
 1. プランナーへの周知
 2. 市民への広報
 3. 生活支援型の利用料をさらに下げる
 4. 提供事業者の増加
 5. サービス提供人材の確保
 6. サービス選択基準(フローチャート)の活用促進
 7. その他〔 〕

16

4 他機関との連携についておたずねします

問31 主治医との連絡・報告を行っていますか。(○はいくつでも)

1. ケアプランの新規作成及び変更時に行っている } ⇒ 問31-1へ
2. 利用者の病状やケアなどが緊急時に行っている }
3. 上記の1・2以外に定期的に行っている }
4. 行っていないことが多い⇒ 問31-2へ

【問31で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問31-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(○はいくつでも)

1. 連絡する時間帯の判断に迷う
2. 連絡方法（電話、メール、面談など）の判断に迷う
3. 知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある
4. その他〔 〕
5. 特に苦慮していることはない

【問31で「4」と答えた方にうかがいます】

問31-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 連絡する時間がない
2. 主治医に時間をとってもらえない
3. 医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない
4. その他〔 〕
5. 特に必要がない

ここから再びすべての方にうかがいます

問32 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(○は1つ)

1. ある⇒ 問32-1へ
2. ない⇒ 問33へ

【問32で「1」と答えた方にうかがいます】

問32-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(○は1つ)

1. 専門職間の連携が進んだ
2. 医療機関との連携が進んだ
3. 利用者の納得を得やすくなった
4. 利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった
5. わからない
6. 特に役に立たなかった

ここから再びすべての方にうかがいます

問33 あなたは、8050問題など、対応の難しい複雑化した課題に関わることに
なった際、どのような機関に相談したり、連携を図りたいですか。(○はいくつでも)

1. 地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）
2. 障がい者福祉相談支援センター
3. 児童相談所
4. 生活自立支援センター
5. 区役所・保健福祉センター
6. その他〔 〕

5 処遇困難事例などへの対応についておたずねします

問34 処遇困難事例に対処する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターにお
か（地域包括支援センター）に相談していますか。(○は1つ)

1. よく相談している } ⇒ 問34-1へ
2. ときどき相談している }
3. 相談していない ⇒ 問35へ

【問34で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問34-1 どのような場合にどのようなことを相談していますか。ご自由にお書きくだ
さい。(自由記載)

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

ここから再びすべての方にかがいます
問35 給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要だと思われる場合、どの相談窓口(誰)に相談していますか。(〇はいくつでも)

1. 福岡市成年後見推進センター
2. 福岡県弁護士会 高齢者・障害者総合支援センターあいゆう
3. 成年後見センター・リーガルサポートセンターふくおか
4. 権利擁護センターばあとなどあ福岡
5. 法テラス福岡(日本司法支援センター)
6. いさいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
7. 区役所
8. 九州北部税理士会 成年後見センター
9. コスモスふくおか(コスモス成年後見サポートセンター福岡県支部)
10. NPOなど上記1〜9以外の相談窓口
11. 知っている弁護士
12. 知っている司法書士
13. 知っている社会福祉士
14. 知っている税理士
15. 知っている行政書士
16. その他〔

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問36 次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態像の例です。現在(回答時点) 給付管理を行っている方のうち、次の表の状態像の例に該当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になると思われる時期別に記入してください。

- ※1：対象者1人につき2つ以上の状態像に該当する場合は、最も当てはまる状態像にカウントして下さい。
- ※2：現在、成年後見制度を申立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。
- ※3：それぞれの状態像に該当する方で、把握している現状において、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下段に内数として記入してください。

	成年後見制度の利用が必要と考えられる状態像	制度利用が必要になると思われる時期	
		1年以内	1〜3年程度
1	本人の判断能力が不十分であるため、治療や介護・福祉サービスが必要と契約を結ぶことができない、申告があるなど支給が通じない 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のような金銭や財産の管理に関する状況が生じている。 ・商品や株主購入するなど、取入に見合った適切な支出ができない ・預貯金等の管理・解約ができない ・保険金の受け取りができない ・税や保険料、利用料などを現に滞納、または負債があるが、適切な返済等の対応ができていない ・土地や建物、有価証券等の資産の管理が適切でない 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
3	本人の判断能力が不十分であるため、税金や社会保険料を上げられるなど経済的負担や金銭的取その他の法律(身体拘束・性的・心身的・デジタル等)を受けている、またはその疑いがある 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
4	本人の判断能力が不十分であるため、不動産の処分や遺産分割協議、相続、訴訟手続きなどの法事行為を行えない。消費者被害や悪徳業者につきまともわれている、またはその疑いがある。 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人
5	本人の判断能力が不十分であるために、その他困難な事情があるが、適切に対応できない 上記状態像に該当する方のうち、本人や家族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人

6 行政の役割についておたずねします

問37 介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。

(Oはいくつでも)

- 1. 相談機能の充実
- 2. A I などの先進的技術の推進
- 3. 介護ロボット、福祉用具などの介護の身体的負担を軽減する機器等の普及
- 4. 介護人材の確保に向けた取り組みの充実
- 5. 研修機能の充実
- 6. サービス基盤の整備 ⇒ 問37-1へ
- 7. 情報提供の充実
- 8. その他 []

- 24. 介護予防型訪問サービス
- 25. 介護予防型通所サービス
- 26. 生活支援型訪問サービス
- 27. 生活支援型通所サービス
- 28. その他 []

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

【問37で「6」と答えた方にうかがいます】

問37-1 特にどのサービス基盤を整備する必要がある（需要に対して不足している）
と思いますか。（Oはいくつでも）

- 1. 訪問介護
- 2. (介護予防) 訪問入浴介護
- 3. (介護予防) 訪問介護
- 4. (介護予防) 訪問リハビリテーション
- 5. (地域密着型) 通所介護
- 6. (介護予防) 通所リハビリテーション
- 7. (介護予防) 福祉用具貸与
- 8. (介護予防) 居宅療養管理指導
- 9. (介護予防) 短期入所生活介護
- 10. (介護予防) 短期入所療養介護
- 11. (介護予防) 特定福祉用具販売
- 12. 住宅改修
- 13. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
- 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護
- 15. 夜間対応型訪問介護
- 16. (介護予防) 認知症対応型通所介護
- 17. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護
- 18. 看護小規模多機能型居宅介護
- 19. (介護予防) 特定施設入居者生活介護
- 20. 介護老人福祉施設
- 21. 介護老人保健施設
- 22. 介護療養型医療施設
- 23. 介護医療院

令和 7 年度福岡市高齢者実態調査

令和 8 年 7 月

発 行 福岡市

企 画 福岡市 福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課

〒 8 1 0 - 8 6 2 0 福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 号

電 話 (0 9 2) 7 1 1 - 4 5 9 5

F A X (0 9 2) 7 3 3 - 5 9 1 4

編 集 株式会社東京商工リサーチ 福岡支社

〒 8 1 2 - 0 0 0 7 福岡市博多区東比恵 3 丁目 1 9 番 2 6 号

Q D H ビル 2 F

電 話 (0 9 2) 4 3 1 - 2 1 3 1
